Clarion

基本操作ガイド
ROAD EXPLORER HDD 9.0

NX811

ワイド7型　VGA 2DIN 地上デジタルTV/
DVD/HDD　AV-Naviシステム

CRASVIA

チズルとススム βver.
Chizu-Route-Susumu

ドライブをもっとわくわくさせる地図コミュニティサイト
「チズルとススム」
http://chizu-route-susumu.jp/

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全で快適なカーライフにお役だてください。
・お車をゆずられるときには、次のオーナー様のために、本書を車につけておいてください。また、暗証番号も解除し、目的地などの個人情報も削除してください。
・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ナビゲーションシステムについて

ハイブリッドナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS（Global Positioning System：全地球測位システム）、ジャイロセンサーと車速センサーを使って車の移動量を検出する自律航法などによって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。
本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。
ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。
なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。
その際は、恐れ入りますが十分にご注意をくださいます様にお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●基本操作ガイド：本書
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの基本的な操作について説明しています。本機をお使いになる前に、この基本操作ガイドをよくお読みいただき、本機の基本操作を理解してください。

●取扱説明書
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの操作と機能の詳細をご理解いただくため、項目別に説明しています。

●本機取付説明書
・お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。
※本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

本書の構成

基本的な操作や機能などを紹介しています。
さらに詳しい内容は、「取扱説明書」をご覧ください。

最初に覚えてください

各ボタンの名称と機能、地図画面上のキーの名称など、本機に関して最初に覚えておいていただきたいことを説明しています。

ナビゲーションを使ってみよう

目的地設定の操作方法やルート誘導中の画面表示など、ナビゲーション機能を使う上でまず知っておいていただきたいことを説明しています。

オーディオ・ビジュアルを使ってみよう

ミュージックキャッチャーやCD、DVD、MP3など、本機で楽しめるさまざまな音楽メディアの操作方法を説明しています。

FUN RINGを使ってみよう

FUN RINGを使った目的地の設定方法や、最近聴いたアルバムの再生方法などについて説明しています。

覚えてほしい操作

画面に表示されるコントロールバーの操作や文字入力など、本機のさまざまな機能を使いこなすために知っておいていただきたいことを説明しています。

さらにこんなこともできます

カーナビの便利な機能を紹介しています。詳しい操作については、各項目に記載されている参照先のページをご覧ください。

お知らせ

- 本機では、2013年度版の最新地図データに無償でバージョンアップできるサービスを提供しております。詳しくは**P.125**をご覧ください。

本書の見方

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。
本書をお読みになる前に、よく理解しておいてください。

ボタン
操作パネル上のボタンを表します。

お願い
お車や本体のために必ず守っていただきたいことです。

アドバイス
操作をする上で、本機を使いこなすためのアドバイスです。

お知らせ
操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことです。

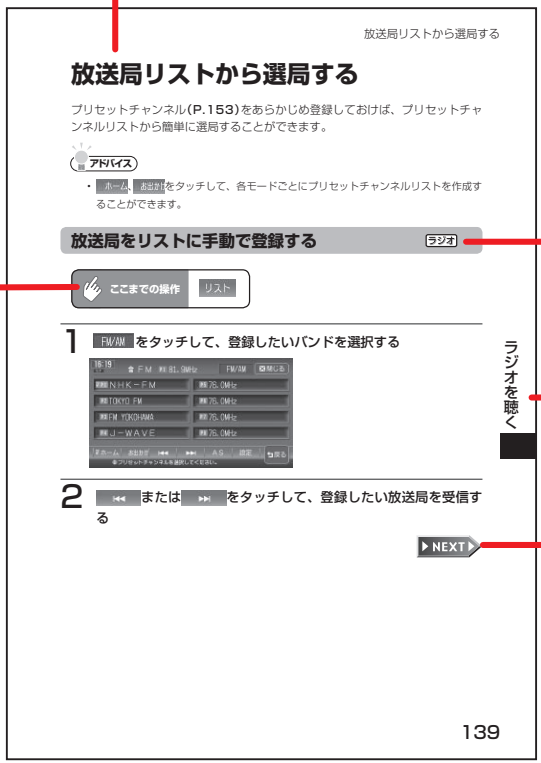


インデックス
章の内容を示すインデックスです。

参照ページ
参照先のページ数を示しています。

END
操作の終わりを表します。

タイトル
タイトルを表します。主に各操作方法で構成されています。



アイコン
画面上に表示されるキーを表します。

ソース名
この操作が適用できるソースを表します。

インデックス
章の内容を示すインデックスです。

NEXT
操作手順や説明が次ページに続くことを表します。

ドライブを楽しめる機能がいっぱい（機能紹介）

② さあ出発!目的地を設定しよう

行きたい場所をすばやく見つけることができる豊富な検索機能。

■FUN RINGメニュー(P.84)



■目的地メニュー(取-P.49)



③ 都市高速入口。高低差も感知!

高精度ジャイロ搭載だから傾斜などの高低差もすぐに感知･判別。

⑧ さあ、安全運転で自宅へ帰りましょう

簡単操作で自宅までのルートが設定できます。
さあ、ゴールを目指して安全運転。

④ スクエアビュー描画で快適ドライブ

複雑な都市部の街並などを、リアルな3D_CGで表示。



休日に家族で海へお出かけ。家を出るその時から目的地までの道のりはもちろん、
帰宅するまですべての移動空間を快適空間に。
快適なドライブシミュレーションへご案内いたします。
※参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

① お出かけ前のドライブプラン

ナビゲーションによるドライブを、もっとわくわくさせる、地図コミュニケーションサイト「チズルとススム」に対応。(P.124)

⑤ お気に入りのCDを録音

お気に入りのCDを聴きながら、ハードディスクへ自動録音(ミュージックキャッチャー)。
(取-P.262)



⑥ SAでトイレ休憩

SA／PAに近づくと施設の情報を表示(SA/PA情報表示)。
(取-P.34)



⑦ 目的地に到着

駐車場が満車。こんなときはすぐに次の駐車場を探します(駐車場リレー検索)。(取-P.72)

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みいただきたい注意事項などを説明しています。

絵表示について

本取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。
	この絵表示の記載事項を守らないと、人が傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

絵表示の例

絵表示の記号には、それぞれ意味があります。絵表示の意味をご理解いただき、安全に正しくお使いください。

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

安全上のご注意

・安全のため、ご使用の前に下記のご注意を含めて本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
・本取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

使用上のご注意

⚠ 警告

運転時の警告

走行中は運転者による操作をしない



運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる



本機は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

走行中、運転者はナビゲーションの地図を見ない



走行中は音声案内を参考として、実際の交通規則に従ってください。

ナビゲーションによるルート誘導・音声案内時は、実際の交通規則に従って走行する



ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する場合があり、交通事故の原因となります。

走行中、運転者は本機の画像を注視しない



前方不注意となり、交通事故の原因となります。

運転時の警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない



本製品では全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

本機の扱い上の警告

本本機の分解、改造をしない



本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油は、やめてください。
事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する



規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない



事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店に相談してください。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止する



そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ずお買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

本機の取り付け・取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店に依頼する

専門技術と経験が必要です。

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

モニターの立ち上げ収納が、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行う。

可動部などに手や指を挟まれないよう注意する

液晶パネル開閉時に手や指を入れると、けがの原因になることがありますので、差し込まないでください。

ディスク挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電源を切るときは、音量を最小にする

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

お使いになる前に

ナビゲーションについて

お願い

●バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。
●本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンを切った直後の取り扱いは、十分に注意してください。
●接続コードの取り付け、取り外しをする場合は、エンジンを切ってください。エンジンをかけた状態で作業すると、故障や誤作動の原因となります。
●タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。

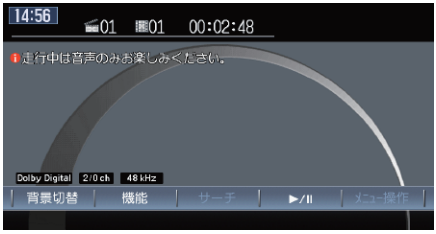
お知らせ

●購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分～ 3分程度かかることがあります。
●GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
●検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
●提供されるVICS情報は、最新のものではない場合もあります。提供されるVICS情報は、あくまで参考情報としてご利用ください。
●ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
●キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。

●キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーをナビゲーション本体やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合があります。キーから離してご使用ください。
●本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
●画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。

安全運転への配慮

●安全運転への配慮から、ナビゲーションは停車させていないと、一部の操作ができないようになっています。
●テレビなどの映像が表示されるのは、停車中だけです。テレビなどをご覧になるときは、必ず、車を停車させてお楽しみください。走行中は、音声のみを聴くことができます。



＜走行中の画面＞

目次

本書の構成 …… 3
本書の見方 …… 4
ドライブを楽しめる機能がいっぱい（機能紹介） …… 6
安全にお使いいただくために …… 8
お使いになる前に …… 12
早わかり一覧 …… 18
メニューマップ …… 22

最初に覚えてください …… 28
ボタンの名称とはたらき …… 28
本体に関するご注意 …… 31
電源を入れる …… 32
オーディオをON/OFFする …… 33
画面の表示を消す／時計画面にする …… 34
操作パネルを開閉する …… 36
操作パネルの角度を調節する（チルト機能） …… 37
表示画面を切り替える …… 38
音量を調節する …… 39
現在地の地図画面 …… 40
いろいろな地図画面 …… 42

ナビゲーションを使ってみよう …… 44
まずは、自宅を登録しよう …… 44
次に、目的地を設定しよう …… 52
施設名称を入力して目的地を設定する …… 52
地図をスクロールして目的地を設定する …… 55
ルート誘導中の動作 …… 57
ルート誘導中の画面表示 …… 57
ルート誘導中の音声案内 …… 61
細街路案内 …… 62
自宅へ帰ろう …… 63

オーディオ・ビジュアルを使ってみよう …… 66
オーディオを切り替えましょう …… 66
メディアの出し入れ …… 68
DVDやCD …… 68

メモリーカード…… 70
オーディオを操作しよう …… 72
ラジオ…… 72
DVDビデオ …… 73
DVD-VR …… 74
CD・MP3・WMA・AAC…… 75
ミュージックキャッチャー …… 76
ファイルキャッチャー …… 77
テレビ…… 78
メモリーカードのMP3/WMA/AAC …… 79
USBメモリーのMP3/WMA/AAC …… 80
iPod ／ iPodビデオ…… 81
Bluetoothオーディオ …… 82
道路交通情報…… 83

FUN RINGを使ってみよう …… 84
FUN RINGメニューからできること …… 84
マイリストを使う …… 85
マイリストを登録する…… 85
マイリストから目的地を探す…… 87
マイリストを整理する…… 88
マイリストアイコンを移動する…… 89
よく行く場所から目的地を探す …… 90
最近聴いたアルバムの曲を聴く …… 91

覚えてほしい操作…… 92
タッチパネルで操作する …… 92
コントロールバーを表示する …… 94
ナビゲーションコントロールバー …… 94
AVコントロールバー …… 95
地点メニューを表示する …… 96
文字の入力方法 …… 98
入力した文字を編集する…… 100
自動で候補を表示させる（50音検索入力支援機能）……104
リストの操作方法 …… 105
リストを送る…… 105
タブでリストを飛ばす…… 106
リストを絞り込む…… 107
リストを並べ替える…… 111
リストの表示方法を変える…… 113

さらにこんなこともできます…… 116
便利な機能 …… 116
地上デジタル放送で美しい映像を！ …… 116
ハンズフリーでお手軽通話…… 116
ユーザーごとにお好みの設定でナビゲーション！
…… 117
マップクリップでスムーズに到着…… 117
TV・雑誌の情報を検索 …… 118
メモリーカードをフルに活用…… 118
盗難防止機能の充実でひと安心…… 119
ボイスコントロールで安全運転…… 119
ETC連動で安心ドライブ …… 120
渋滞情報をすばやくキャッチ…… 120
ドライブ中もiPodと一緒 …… 121
サイドビューカメラで視野拡大 …… 121
リアカメラシステムで楽々駐車…… 122
リアモニターでみんなenjoy …… 123
地図コミュニケーションサイト「チズルとススム」
…… 124
地図データ無償バージョンアップサービスの
お知らせ…… 125

Memo

早わかり一覧

目的地を探したいとき



※参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

電話番号から目的地を探す
▶▶取-P.52

住所から目的地を探す
▶▶取-P.53

目的地の名称を入力して探す
▶▶取-P.56

施設のジャンルから探す
▶▶取-P.57

本機に登録された地点を目的地にする
▶▶取-P.61

現在地や目的地の周辺にある施設を探す
▶▶取-P.66

TV番組・雑誌で紹介された施設を探す
▶▶取-P.75

最後に表示した地図から目的地を探す
▶▶取-P.79

よく行く場所を目的地に設定する
▶▶P.87

自宅を目的地として設定する
▶▶P.44

その他の方法

ハイウェイ、緯度･経度、マップコード、郵便番号、メモリーカード内の登録地点、MYスポット、MYコース、スクエアビュー表示施設から目的地を探す
▶▶取-P.80

目的地解除

目的地を解除する
▶▶取-P.114

音楽・映像を楽しみたいとき



FM/AM ラジオを聴く
▶▶取-P.176

DVD/CD DVDビデオ／DVD-VRを再生する
▶▶取-P.220

DVD/CD CD・MP3・WMA・AACを聴く
▶▶取-P.248

M. CATCHER 本機に録音した曲を聴く
▶▶取-P.270

F. CATCHER 本機に取り込んだMP3・WMA・AACを聴く
▶▶取-P.302

TV テレビを観る
▶▶取-P.195

ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ メモリーカードの曲を聴く※1
▶▶取-P.254

USB USBメモリーの曲を聴く※2
▶▶取-P.316

iPod iPodの曲を聴く／iPodのビデオを観る※3
▶▶取-P.322

VTR 接続したVTR機器を再生する※4
▶▶取-P.427

Bluetooth Bluetoothオーディオを聴く※5
▶▶取-P.338

※1 別売のメモリーカードが必要です。
※2 別売のUSBメモリーが必要です。
※3 別売のiPodが必要です。
※4 別売のVTR機器が必要です。
※5 別売のBluetooth対応機器が必要です。

交通情報などを確認したいとき





※参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

FM VICS情報を見る
▶▶取-P.125

ラジオの交通情報を聴く
▶▶取-P.133

本機のハードディスク情報を見る
▶▶取-P.134

お車のメンテナンス情報を設定する
▶▶取-P.135

Bluetooth対応携帯電話を操作する
▶▶取-P.151

携帯電話から渋滞情報を受信する
▶▶取-P.168

ビーコンVICS情報を設定する※1
▶▶取-P.130

ETCの履歴などを確認する※2
▶▶取-P.143

昼画面と夜画面を切り替える
▶▶取-P.403

VICSの設定をする
▶▶取-P.361

それぞれの道路情報を見る
▶▶取-P.119

※1　別売のVICS光・電波ビーコンユニット（VCB990）が必要です。

※2　別売のETCユニット（ETC010）が必要です。
なお、本機はETCカード有効期限切れ通知機能には対応しておりません。

ナビゲーションの設定を変更したいとき





画面 画面表示を設定する
▶▶取-P.344

アイコン 表示されるアイコンを設定する
▶▶取-P.346

軌跡設定 走行した道のりの表示を設定する
▶▶取-P.348

VIEW設定 案内表示を設定する
▶▶取-P.352

誘導設定 ルート誘導を設定する
▶▶取-P.355

音と音声 音声案内を設定する
▶▶取-P.358

VICS VICS情報を設定する
▶▶取-P.361

VICS/ETC ETCの設定をする
▶▶取-P.378

その他 その他の設定をする
▶▶取-P.365

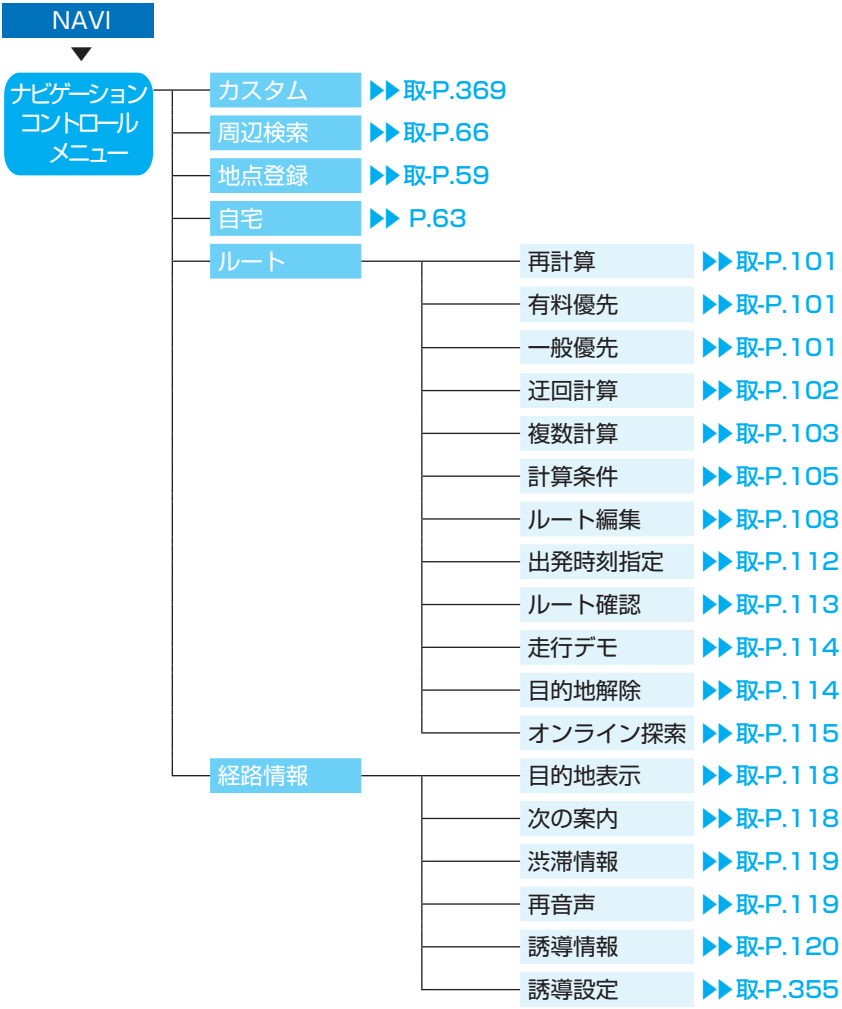
販売店
使用しません。

初期設定
ナビゲーションの設定をする
▶▶取-P.376

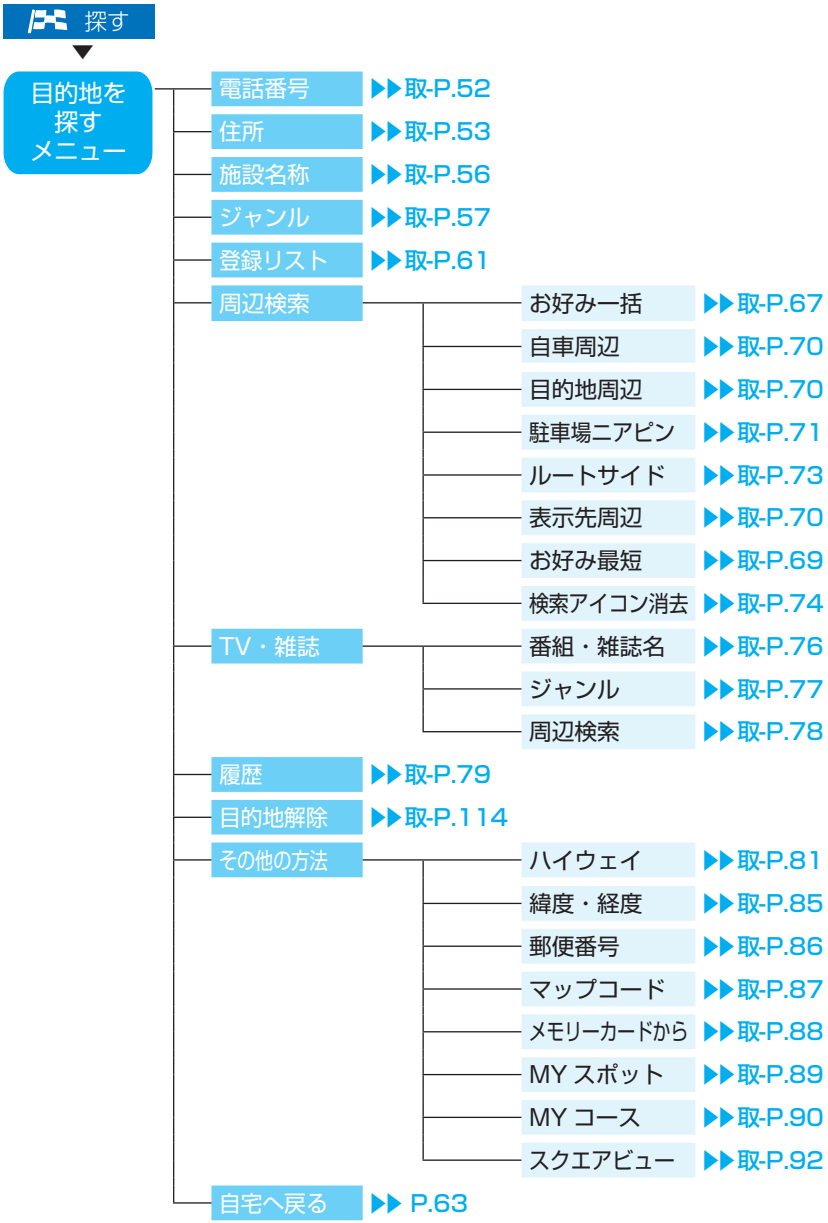
メニューマップ

本機で操作できるメニューのすべてを、一覧で示しています。
使いたい機能を呼び出す方法がわからないときにお使いください。
※ 参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

ナビゲーションコントロールメニュー



目的地選択メニュー


探す
目的地を探すメニュー
電話番号 ▶▶取-P.52
住所 ▶▶取-P.53
施設名称 ▶▶取-P.56
ジャンル ▶▶取-P.57
登録リスト ▶▶取-P.61
周辺検索
お好み一括 ▶▶取-P.67
自車周辺 ▶▶取-P.70
目的地周辺 ▶▶取-P.70
駐車場ニアピン ▶▶取-P.71
ルートサイド ▶▶取-P.73
表示先周辺 ▶▶取-P.70
お好み最短 ▶▶取-P.69
検索アイコン消去 ▶▶取-P.74
TV・雑誌
番組・雑誌名 ▶▶取-P.76
ジャンル ▶▶取-P.77
周辺検索 ▶▶取-P.78
履歴 ▶▶取-P.79
目的地解除 ▶▶取-P.114
その他の方法
ハイウェイ ▶▶取-P.81
緯度・経度 ▶▶取-P.85
郵便番号 ▶▶取-P.86
マップコード ▶▶取-P.87
メモリーカードから ▶▶取-P.88
MY スポット ▶▶取-P.89
MY コース ▶▶取-P.90
スクエアビュー ▶▶取-P.92
自宅へ戻る ▶▶ P.63

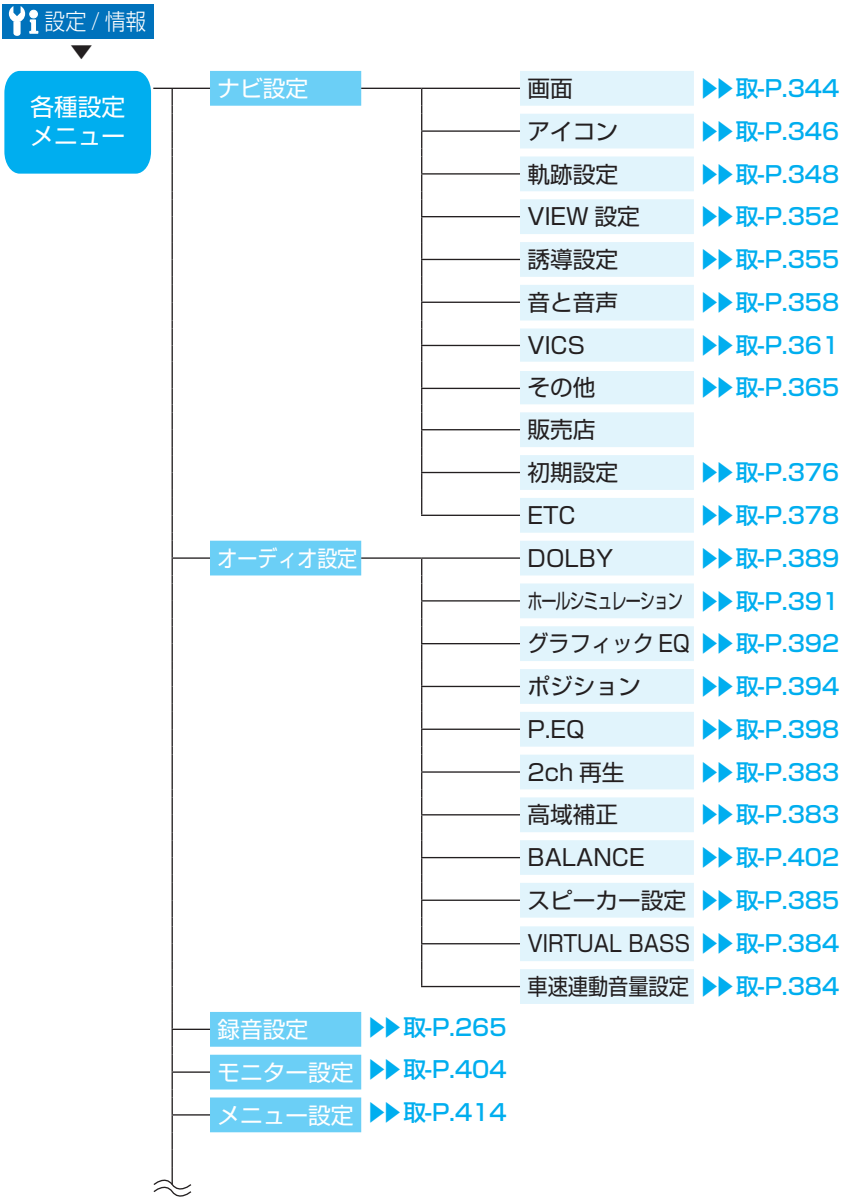
情報メニュー

設定 / 情報

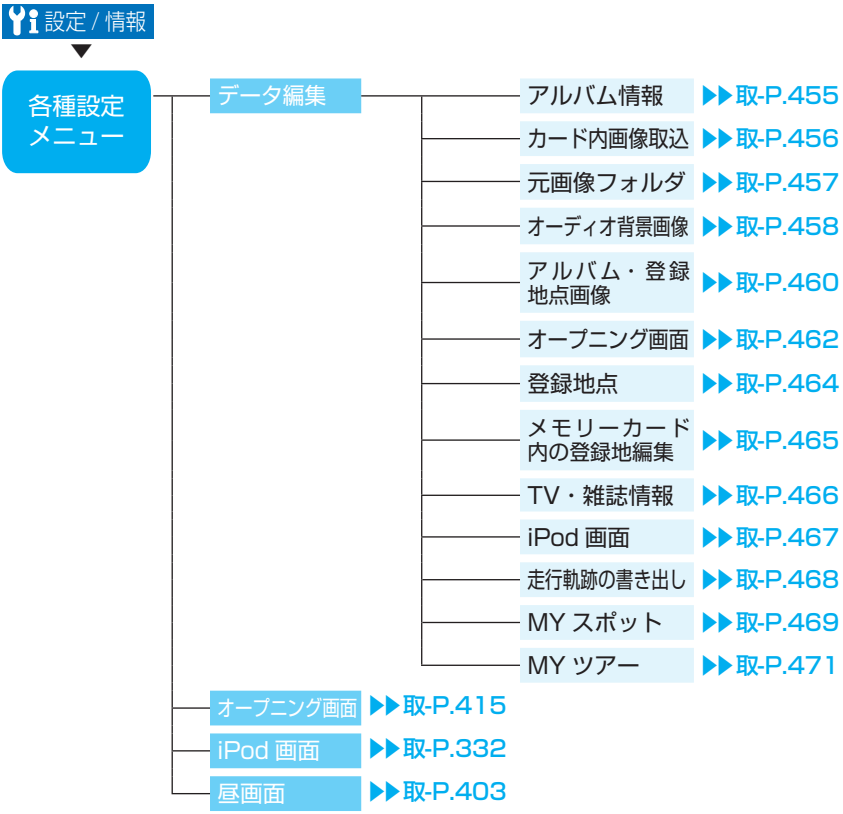
情報を見るメニュー

- FM VICS ▶▶取-P.125
- 交通情報 ▶▶取-P.133
- HDD 情報 ▶▶取-P.134
- メンテナンス
  - オイル関連 ▶▶取-P.137
  - タイヤ関連 ▶▶取-P.137
  - 消耗品 ▶▶取-P.138
  - 点検・車検 ▶▶取-P.138
  - 販売店情報 ▶▶取-P.139
  - 初期化 ▶▶取-P.135
- ビーコン ▶▶取-P.130
- 電話
  - リダイヤル ▶▶取-P.161
  - ダイヤル ▶▶取-P.160
  - 電話帳 ▶▶取-P.162
  - 着信履歴 ▶▶取-P.161
  - 発信履歴 ▶▶取-P.162
  - 登録機器の選択 ▶▶取-P.152
  - 電話設定 ▶▶取-P.166
- オンライン ▶▶取-P.168
- ETC
  - 履歴 ▶▶取-P.144
  - 最新利用履歴 ▶▶取-P.144
  - 精算 ▶▶取-P.145
  - ETC 設定 ▶▶取-P.378
  - セットアップ情報 ▶▶取-P.144
- 昼画面 ▶▶取-P.403
- VICS 設定 ▶▶取-P.361
- 高速道交通情報 ▶▶取-P.122
- 一般道交通情報 ▶▶取-P.122

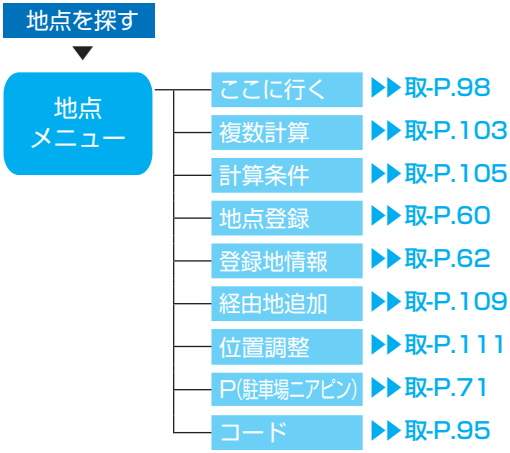
設定メニュー


設定 / 情報
各種設定メニュー
ナビ設定
画面 ▶▶取-P.344
アイコン ▶▶取-P.346
軌跡設定 ▶▶取-P.348
VIEW 設定 ▶▶取-P.352
誘導設定 ▶▶取-P.355
音と音声 ▶▶取-P.358
VICS ▶▶取-P.361
その他 ▶▶取-P.365
販売店
初期設定 ▶▶取-P.376
ETC ▶▶取-P.378
オーディオ設定
DOLBY ▶▶取-P.389
ホールシミュレーション ▶▶取-P.391
グラフィック EQ ▶▶取-P.392
ポジション ▶▶取-P.394
P.EQ ▶▶取-P.398
2ch 再生 ▶▶取-P.383
高域補正 ▶▶取-P.383
BALANCE ▶▶取-P.402
スピーカー設定 ▶▶取-P.385
VIRTUAL BASS ▶▶取-P.384
車速連動音量設定 ▶▶取-P.384
録音設定 ▶▶取-P.265
モニター設定 ▶▶取-P.404
メニュー設定 ▶▶取-P.414

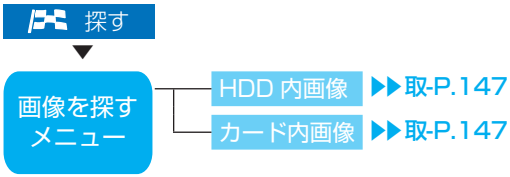
設定メニュー（つづき）


設定 / 情報
各種設定メニュー
データ編集
アルバム情報 ▶▶取-P.455
カード内画像取込 ▶▶取-P.456
元画像フォルダ ▶▶取-P.457
オーディオ背景画像 ▶▶取-P.458
アルバム・登録地点画像 ▶▶取-P.460
オープニング画面 ▶▶取-P.462
登録地点 ▶▶取-P.464
メモリーカード内の登録地編集 ▶▶取-P.465
TV・雑誌情報 ▶▶取-P.466
iPod 画面 ▶▶取-P.467
走行軌跡の書き出し ▶▶取-P.468
MY スポット ▶▶取-P.469
MY ツアー ▶▶取-P.471
オープニング画面 ▶▶取-P.415
iPod 画面 ▶▶取-P.332
昼画面 ▶▶取-P.403

地点メニュー



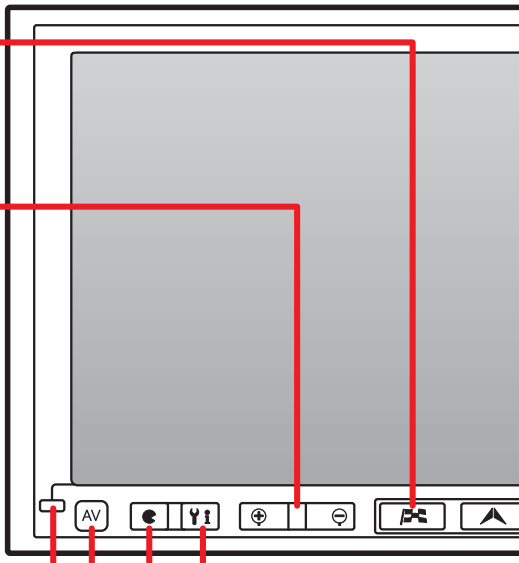
画像を探すメニュー



ボタンの名称とはたらき

参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

●操作パネル部



目的地
目的地メニューを表示できます。
(取-P.50)

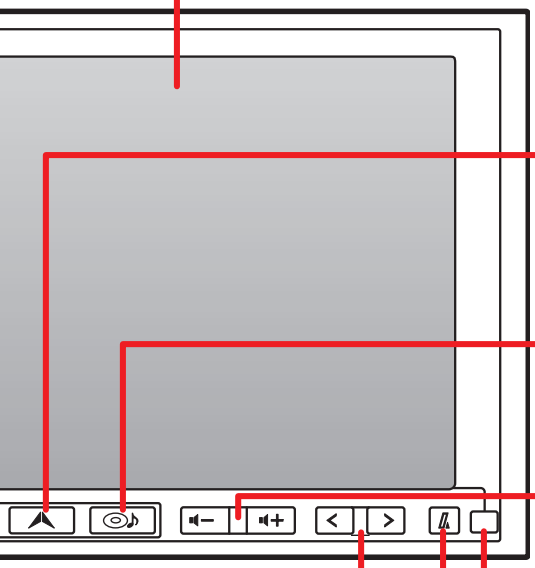
詳細／広域
地図画面では、地図の表示の大きさを調節できます。(取-P.25)
長く押すことで、細かく調節することもできます。
また、リスト画面では、リストの前後のページに移動することもできます。

盗難防止ランプ
盗難防止設定を「する」に設定している場合にランプを点滅させて、盗難を抑止します。(取-P.367)

AV
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り替えます。(P.38)
長く押し続けると、時計を表示したり画面を消すメニューを表示できます。(P.34)

発話
対話形式による音声操作を始めます。(取-P.445)
このボタンにお好みの機能を割り当て、すぐに呼び出すことができます。(取-P.380)

設定／情報
「情報を見る」メニュー画面、「各種設定」メニュー画面を表示できます。(取-P.122、取-P.342)



モニター兼タッチパネル
画面が表示されます。画面をタッチすることで、タッチパネルとして機能します。(P.92)

現在地
現在地の地図画面を表示できます。(取-P.22)

SOURCE
オーディオのソース選択メニューを表示します。(P.66)
また、オーディオのON/OFFをします。(P.33)

VOL
オーディオ・ビジュアル機能の音量を調節できます。(P.39)

リモコンの受光部です。リモコンからの信号を受信します。

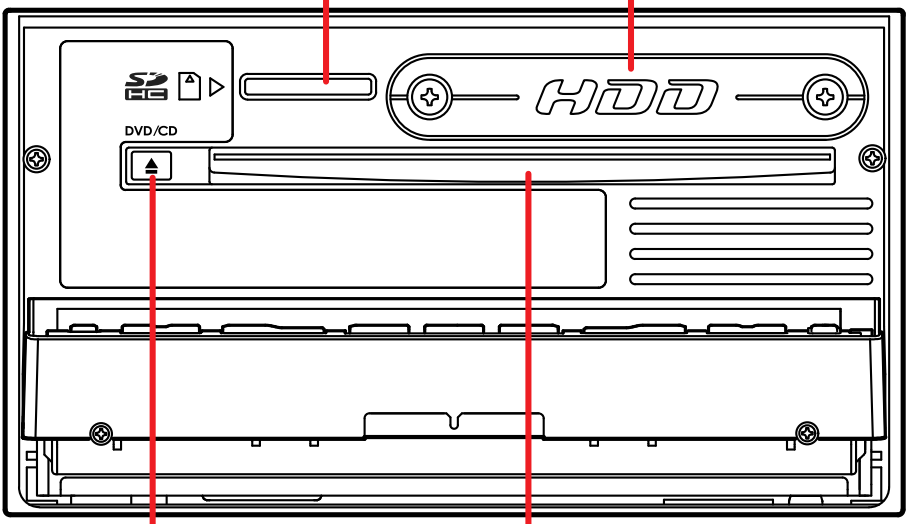
OPEN/TILT
モニターを開閉したり、モニターの角度を調節できます。(P.36、P.37)

P.CH/TRACK
オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択できます。長く押し続けることで、早送り、早戻しができます。

●本体

メモリーカード挿入口
メモリーカードを挿入する場所です。(P.70)

ハードディスク
お願い
本機は専用ハードディスクを使用していますので、お客様ご自身でのハードディスクの取り外しは絶対におやめください。



DVD/CDイジェクトボタン
挿入されているディスクを取り出します。(P.69) ディスクが挿入されている場合は、▲マークが点灯します。

DVD/CD挿入口
DVDやCDを挿入する場所です。(P.68)

本体に関するご注意

ハードディスク（HDD）

- 本機の故障、誤作動または不具合によりハードディスクに保存されなかったデータ、および消失したデータの保証はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
- お客様自身によるハードディスクの取り外しは絶対におやめください。お客様の作業によりハードディスクのデータ消失、本機の誤作動、故障が発生した場合、当社はいっさいの保証を負いません。
- 高温時、低温時は、ハードディスクの保護のため、動作を制限することがあります。

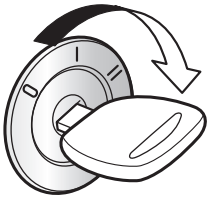
DVD/CDプレーヤー部

- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- ディスクをイジェクトした状態のままで走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」か「ON」にすると電源がONになります。

1 エンジンをかける





電源がONになります。オープニング画面が表示された後、現在地の地図が表示されます。

- ユーザーを設定するとユーザー選択画面が表示されます。ユーザーごとにお好みのナビに設定できます。（取扱説明書 P.406）
- 盗難防止機能を設定すると暗証番号入力画面が表示される場合があります。（取扱説明書 P.374）

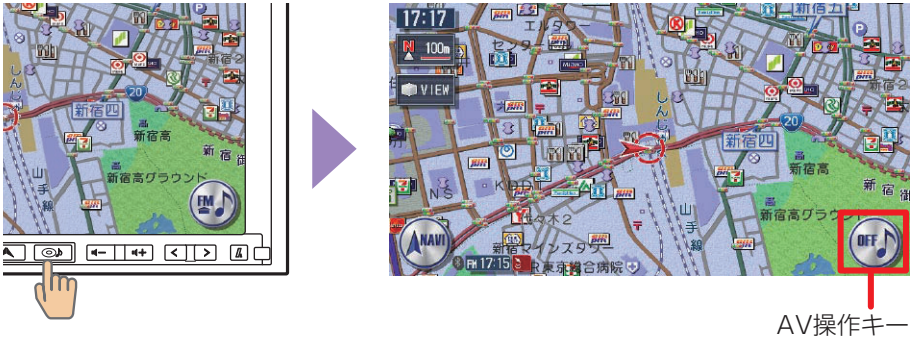
2 イグニッションキーを「ACC」から「OFF」にする

電源がOFFになります。

END

オーディオをON/OFFする

1 を約2秒以上押し続ける



オーディオが「OFF」になり、AV操作キーがOFFになります。

2 をタッチするか、もう一度 を押す

オーディオがONになります。

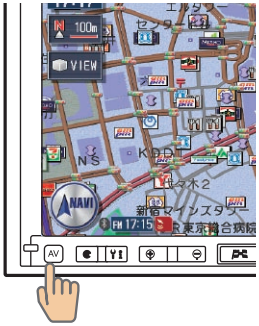
お知らせ

- オーディオOFF時も、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

END

画面の表示を消す／時計画面にする

1 AV を約2秒以上押し続ける



画面選択画面が表示されます。

2 画面消し をタッチする



画面がOFF（非表示）になります。

3 もう一度 AV を押す

画面がONになります。

お知らせ

- 画面をOFFにしてエンジンを切った場合、次にエンジンをかけたときに画面はON（表示）になります。
- 画面がOFFのときに、画面をタッチするか、、、、、のどれかを押すと、通常画面が表示されます。

アドバイス

- 手順２で時計画面表示をタッチすると、時計画面表示になります。画面をONにする方法は、画面消しをタッチした場合と同様です。

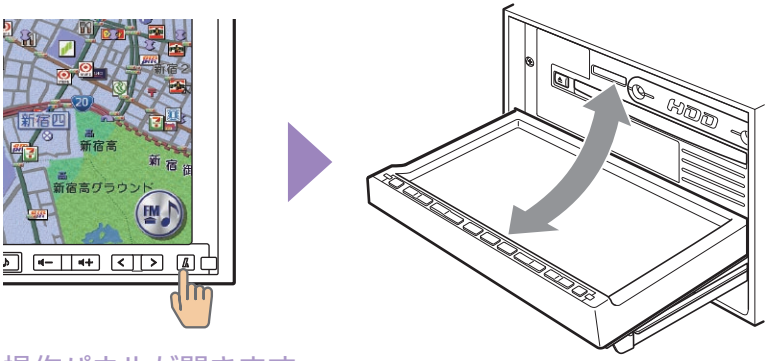


END

操作パネルを開閉する

CDやDVD、メモリーカードなどを利用するときは、操作パネルの開閉が必要になります。

1 を押す



操作パネルが開きます。

2 もう一度 を押す

操作パネルが閉じます。
しばらく開けた状態にしていると、操作パネルが自動的に閉まります。

お願い

- 操作パネルの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。また、機構部に指を近づけないでください。挟まれてケガの原因となることがあります。

お知らせ

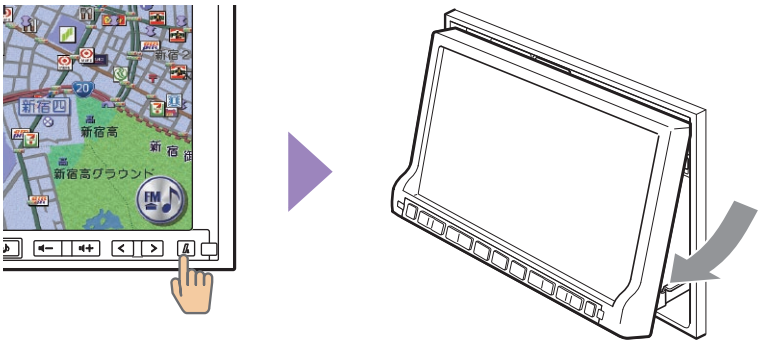
- 操作パネルが開いた状態では、タッチパネルは操作できません。

END

操作パネルの角度を調節する（チルト機能）

操作パネルの角度を、見やすい角度に調節できます。調節できる角度は0度～30度の範囲です。

1 を約2秒以上（ピピッと音がするまで）押し続ける



操作パネルが移動しはじめます。

2 止めたい位置まで移動したら から指を離す

操作パネルが止まります。
操作パネルの角度を戻す場合は、操作パネルの角度を30度にした後、再度 を押し続けてください。

お願い

- 操作パネルの角度調節時に無理な操作や異常な使用をしないでください。また、機構部に指を近づけないでください。挟まれてケガの原因となることがあります。

お知らせ

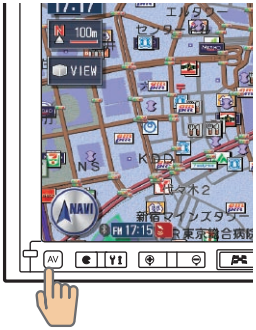
- 角度を調節した後は、操作パネルを開閉しても調節した角度に戻ります。

END

表示画面を切り替える

表示画面をナビゲーション画面とオーディオ画面の2種類に切り替えて操作できます。

1 AV を押す





オーディオ画面に切り替わります。

2 もう一度 AV を押す

ナビゲーション画面に戻ります。

お知らせ

・オーディオ再生中にナビゲーション画面を表示しても、オーディオ音声を聴くことができます。

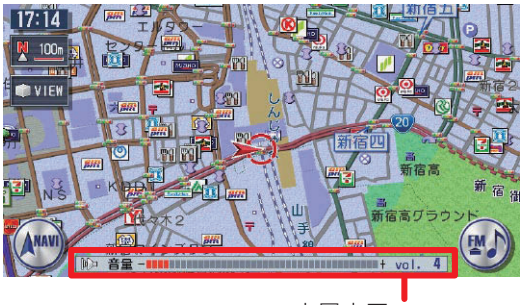
END

音量を調節する

オーディオの音量を調節できます。

1 [−] [+] を押す





音量表示
音量が数字とバーで
表示されます。

＋：音量が大きくなります。
－：音量が小さくなります。

アドバイス

- [−] [+] を押し続けると、音量が連続して変化します。
- 音声案内の音量調整については、「音声案内の設定をする」（取扱説明書 P.358）をご覧ください。

END

現在地の地図画面

エンジンをかけると現在地の地図画面が表示されます。
地図画面に表示されるボタンやマークなどについて説明します。



11:28 現在時刻

GPS信号をもとに表示されています。手動での調整はできません。
・時刻表示を切り替えたい (取-P.344)

方位マーク

現在の地図の向きです。

N-UP（北方向上向き）

H-UP（進行方向上向き）

タッチするごとに地図の向きが切り替わります。(取-P.27)

VIEW VIEWキー

地図の表示方法を選択します。(2D、3D、2画面表示、AV2画面) (取-P.28)

・エリアによって表示が異なります。

スクエアビュー表示エリア

市街地図表示エリア

上記以外のエリア

NAVI NAVI操作キー

タッチすると、ナビゲーションコントロールバー (P.94) が表示されます。



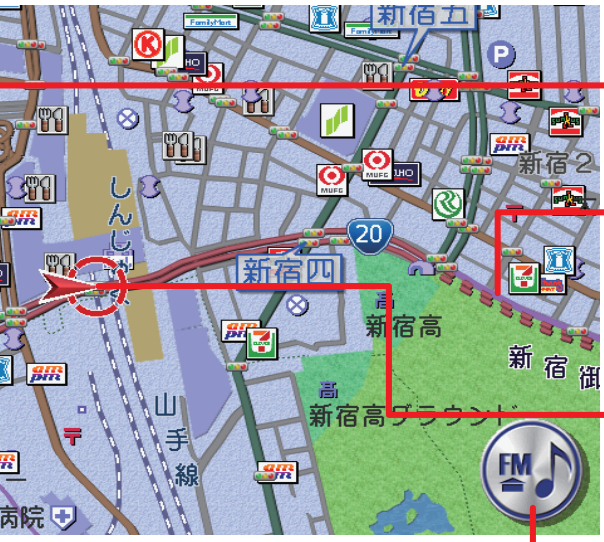
ETCユニット接続情報 (※2)

ビーコンVICS情報提供時間 (※1)

Bluetoothインジケーター

Bluetooth対応携帯電話が接続状態のとき点灯します。
(取-P.151、取-P.335)

参照先ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。



※　消音（MUTE）時には、画面下部に MUTE と表示されます。

オンライン通信中インジケータ

オートアンテナアイコン
オートアンテナでラジオ受信中に表示されます。

GPS測位状態

- 4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を三次元で測位しています。
- 3つのGPS衛星から電波を受信し、現在地を二次元で測位しています。
- GPS衛星からの電波が受信されていません。

100m スケール表示
現在の地図スケールです。
スケールは ⊕ ⊖ で切り替えます。（取-P.25）

抜け道表示
紫色の点滅で表示されます。
・抜け道表示のON/OFFを切り替えたい
（取-P.353）

自車位置マーク
現在のお車の位置を表示します。
・マークの種類を変えたい
（取-P.344）
・位置が実際とずれている
（取-P.371、取-P.474）

AV操作キー
タッチすると、AV（オーディオ･ビジュアル）コントロールバー（P.95）が表示されます。



※1　別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時は、FM VICS情報またはビーコンVICS情報の提供時間が表示されます。
（未接続時は、FM VICS情報提供時間のみ表示されます）
※2　別売のETCユニット接続時

いろいろな地図画面

現在地の地図画面表示をお好みで変えたり、役立つ情報を表示しておくことができます。

軌跡表示画面

走行した道のりを表示します。



アドバイス

- 軌跡の表示／非表示、軌跡マークや軌跡の間隔の変更、軌跡の消去などができます。詳しくは、「走行軌跡の設定をする」（取扱説明書 P.348）をご覧ください。

3Dマップ星座表示画面

3D表示地図の空に、星座を表示します。昼画面にも表示されます。

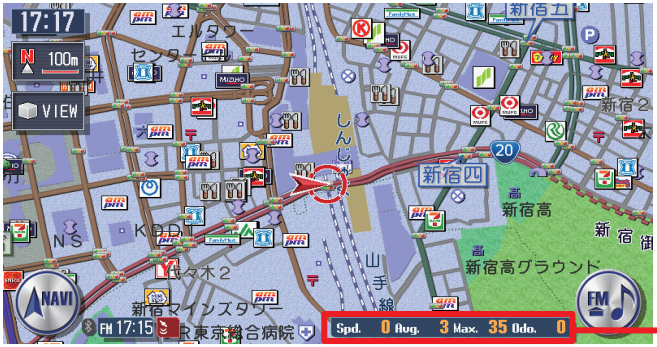


アドバイス

- 星座の表示／非表示の切り替えについては、「3Dマップ星座表示」（取扱説明書 P.344）をご覧ください。

マルチメーター表示画面

速度や走行距離などの情報を表示します。



Spd：速度
Avg：平均速度
Max：最高速度
Odo：走行距離

アドバイス

- マルチメーター表示／非表示の切り替えについては、「マルチメーター表示」（取扱説明書 P.344）をご覧ください。
- マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。車両速度は、お車の実際のメーター表示で判断してください。

まずは、自宅を登録しよう

初めて使う場合は、まず自宅の場所を登録しておきましょう。
ここでは、自宅の住所を入力して自宅を登録する方法について説明します。

1 エンジンをかける

本機の電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地の地図が表示されます。

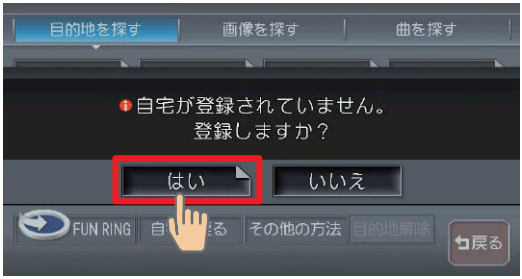
2 を押す



3 自宅へ戻る をタッチする



4 はい をタッチする



5 住所 をタッチする



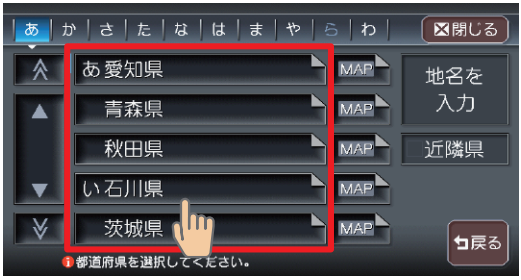
今いる場所が自宅の場合は、地図から をタッチして、手順12へ進んでください。

アドバイス

・電話番号などの方法で探すこともできます。詳しくは、「目的地を探す」（取扱説明書 P.49）をご覧ください。

NEXT

6 都道府県を選択してタッチする



目的の都道府県が表示されていない場合は、都道府県の頭文字（あ～わ）をタッチし、次に目的の都道府県が表示されるまで▲、▼（または⩓、⩔）をタッチしてください。

アドバイス

- ▲、▼をタッチすると、リストを1行ずつ送ります。また⩓、⩔をタッチすると、リストを1ページずつ送ります。リスト画面の詳細については、「リストの操作方法」（P.105）をご覧ください。
- 近隣県をタッチして、現在地近隣の都道府県から探すこともできます。（P.109）
- MAPをタッチすると、選択中の場所の地図と地点メニューを表示します。
- 地名を入力をタッチして、地名から探すこともできます。（取扱説明書 P.55）

7 市区町村を選択してタッチする



目的の市区町村が表示されていない場合は、市区町村の頭文字（あ～わ）をタッチし、次に目的の市区町村が表示されるまで▲、▼（または⩓、⩔）をタッチしてください。

アドバイス

- ◄ ►をタッチすると、行（あ行、か行、さ行･･･）が切り替わります。リスト画面の詳細については、「リストの操作方法」（P.105）をご覧ください。

8 地域を選択してタッチする



アドバイス

・選びかたは、市区町村と同じです。

9 番地入力 を選択してタッチする



アドバイス

・番地と号はリストから選択することもできます。

NEXT

10 番地と号を入力する



アドバイス

- 番地と号を直接入力する場合は、番地と号の間にハイフン（−）を必ず入力してください。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

11 決定 をタッチする



入力した番地・号の場所の地図が表示されます。

12 検索結果の内容を確認し、決定 をタッチする



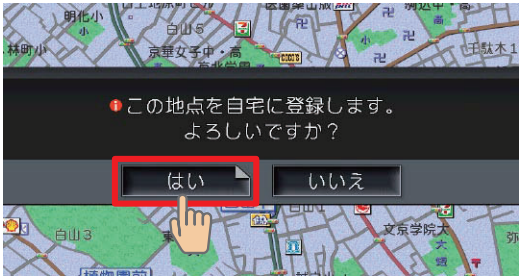
設定した場所の中心（⊹）付近の地図が表示されます。

アドバイス

- 表示された場所の中心がずれている場合は、**「地図をスクロールして目的地を設定する」（P.55）**の手順2を参照して調整してください。

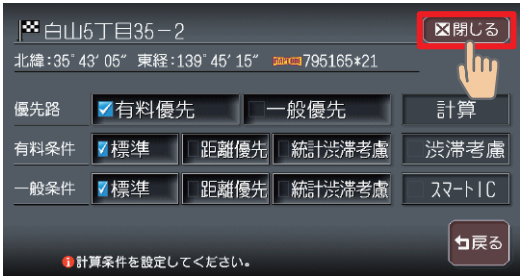
NEXT

13 はい をタッチする



自宅の場所が登録され、メッセージのあとに計算条件画面が表示されます。

14 閉じる をタッチする



アドバイス

- この画面で 戻る をタッチすると、目的地メニュー画面が表示され、続けて目的地を設定することができます。

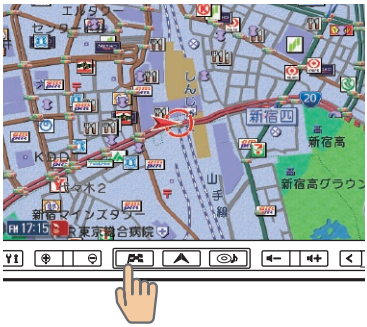
END

次に、目的地を設定しよう

ここでは、施設名称を入力して探す方法と地図をスクロールして探す方法について説明します。

施設名称を入力して目的地を設定する

1 を押す



2 施設名称 あ をタッチする



3 施設名称を入力し、決定 をタッチする



アドバイス

- 文字入力の詳細については、「文字の入力方法」（P.98）をご覧ください。

NEXT

4 目的の施設を選択してタッチする



アドバイス

- 文字抽出、ジャンル、エリアをタッチして、リストを絞り込むことができます。(P.107)

5 ここに行く をタッチする



目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

END

地図をスクロールして目的地を設定する

1 画面をタッチして、目的地の地図を表示する



画面をタッチし続けている間、地図が移動（スクロール）します。

2 16方向の矢印（16方向アイコン）をタッチして、カーソル（⊹）を目的地の中心に合わせる



表示された場所の中心がずれている場合は、画面をタッチして中心（⊹）位置を修正してから 決定 をタッチしてください。
⊕ を押すと地図が拡大表示され、調整しやすくなります。⊖ を押すと地図が縮小表示されます。

NEXT

3 決定 をタッチする



4 ここに行く をタッチする



目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

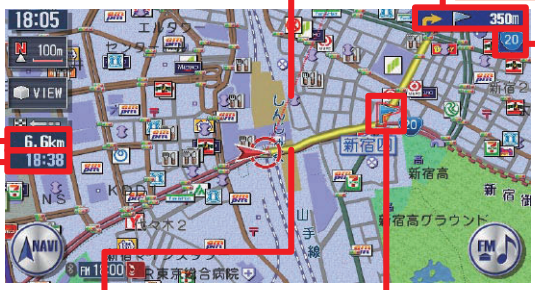
END

ルート誘導中の動作

ルート誘導中の画面表示

案内ポイントや渋滞情報をわかりやすく案内します。

ルート誘導中の現在地画面



アドバイス

- ルート誘導中の画面表示の詳細については、「ルート誘導中の地図表示」（取扱説明書 P.38）をご覧ください。
- 音声案内は、目的地の約30m手前で終了します。

⚠警告

安全のため、運転者は走行中に操作しない

前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

交差点の案内表示

交差点の約700m手前にさしかかると、レーンガイドと方面看板を表示します。



交差点の約300m手前にさしかかると、交差点を拡大表示します。



アドバイス

- 交差点の案内表示方法を切り替えることができます。詳しくは、「誘導画面の種類」（取扱説明書 P.356）をご覧ください。

高速道路での案内表示



都市高速道路入口では、入口の名称と通行車線がイラストで表示されます。



分岐点にさしかかると、分岐点名・分岐点までの距離、車線表示がイラストで表示されます。



走行中は、通過する施設についての情報や、到着予想時刻・料金が表示されます。

関係者以外立ち入り禁止区間での案内表示



ルートの途中に関係者以外立ち入り禁止区間がある場合、その区間の入口にアイコンが表示されます。

また、ルート誘導開始時と禁止区間接近時は、下記のような音声案内でお知らせします。

●ルート誘導開始時

『目的地へのルートガイドを開始します。およそ、1km先、右方向です。関係者以外立ち入り禁止区間を含むルートです。目的地には10:00頃到着の予定です。』

アドバイス

- 上記音声案内の下線がある箇所は、ルート誘導の内容によって異なります。

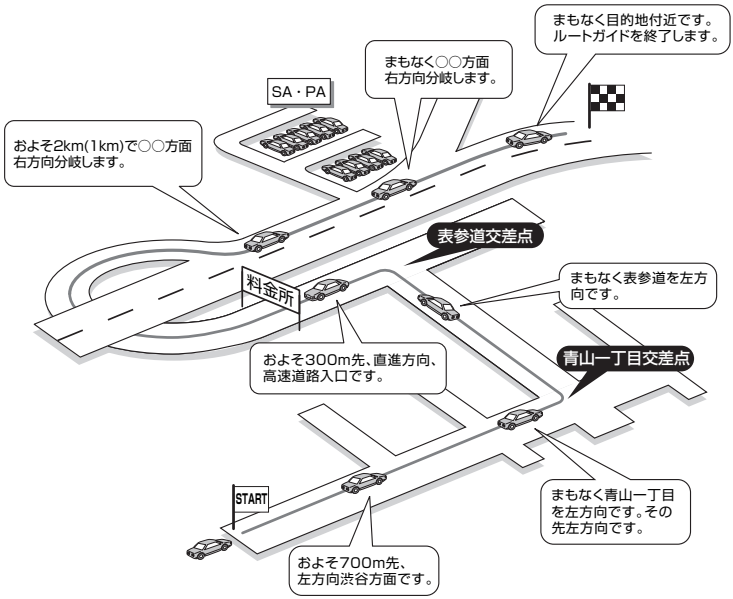
●禁止区間接近時

『この先、関係者以外立ち入り禁止区間です。現地の指示に従ってください。』

ルート誘導中の音声案内

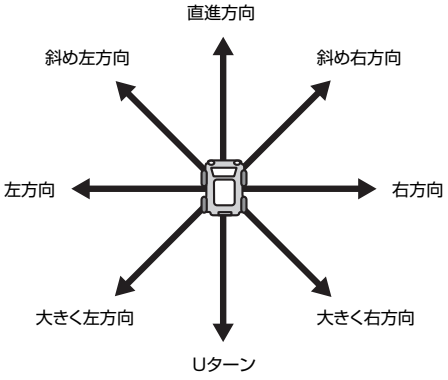
案内ポイントが近づくと、音声でナビゲーションします。初めて行く場所でも安心して運転に集中できます。

■走行中の音声案内例



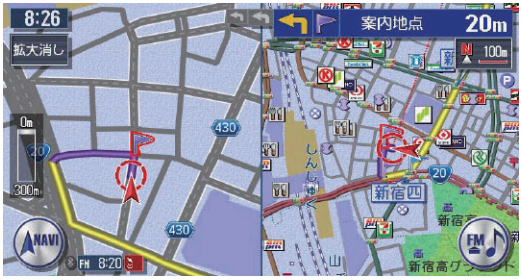
■進行方向の案内について

進行方向の音声案内は図の8方向で案内します。



細街路案内

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、遠回りをすることもなく最短距離でのルート誘導を実現します。



お知らせ

・走行中は安全のため、細街路を表示しません。ただし、200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中（50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も表示されます）は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。細街路表示は、地図のスクロール中は消えます。

⚠警告

出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3～5.5mの一般道を紫色の線で経路表示します。また、これらの経路は交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報が無い道路を含みますので、必ず実際の交通規制や道路標識などに従って走行してください。

自宅へ帰ろう

ここでは、自宅までの誘導方法について説明します。

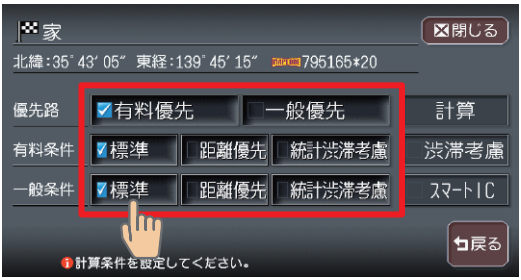
1 自宅 をタッチする



アドバイス

- 自宅 が表示されていない場合は、NAVI をタッチします。

2 計算条件（優先路、有料条件、一般条件）を設定する



アドバイス

- 計算条件の詳細については、「ルートの優先路・計算条件を変える」（取扱説明書 P.105）をご覧ください。

NEXT

3 計算 をタッチする





自宅までのルートが設定され、ルート誘導を開始します。

アドバイス

- ルート誘導を中止する場合は、[メニュー]→目的地解除→はいの順にタッチします。詳しくは、「設定したルートを削除する」（取扱説明書 P.114）をご覧ください。

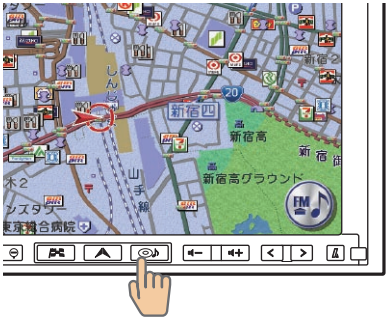
END

Memo

オーディオを切り替えましょう

本機で対応しているディスク、ファイルについては、「対応メディア・対応ファイルについて」（取扱説明書 P.536）をご覧ください。

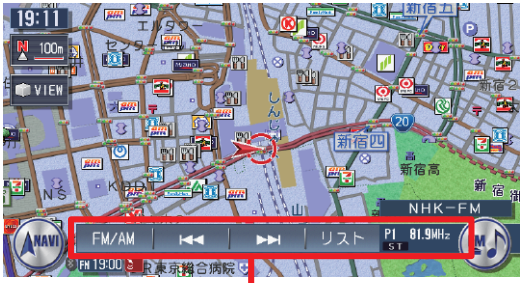
1 を押す



オーディオソース選択画面が表示されます。

2 お好みのソースをタッチする





選択したソースのコントロールバーが表示されます。

アドバイス

・ソースとは、ラジオやCD、DVDなどの音源のことです。本書では「ソース」とあるときはいずれかの音源再生モードを示しています。

選択したソースに切り替わります。

END

メディアの出し入れ

DVDやCD、メモリーカードの入れかたと取り出しかたについて説明します。

DVDやCD

お知らせ

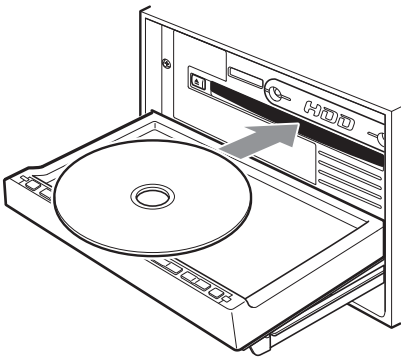
・ディスクの出し入れ時には、記録面（光沢面）に触れないようにしてください。

入れかた

1 ⏏ を押す

操作パネルが開きます。

2 DVDまたはCDをディスク挿入口に差し込む



ある程度差し込むとディスクが自動的に中に取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。
操作パネルが閉じると再生がはじまります。

お願い

・ディスクを2枚重ねて挿入しないでください。重ねて挿入した場合、2枚のうち1枚が飛び出していると、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

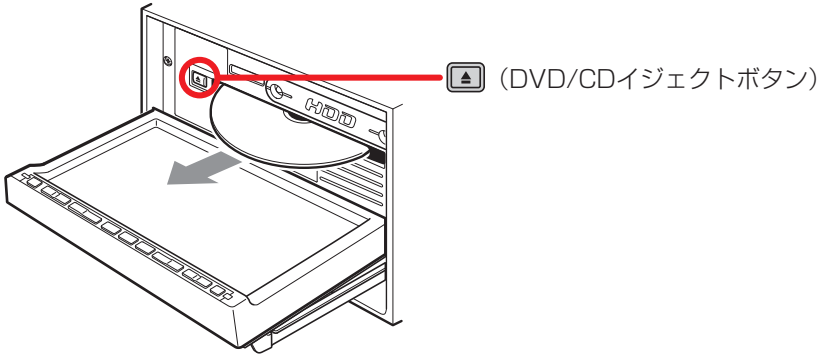
お知らせ

・ディスクを入れるときは、記録面（光沢面）を下にして差し込んでください。

END

取り出しかた

1 操作パネルを開き、⏏ を押す



2 を押す

操作パネルが閉じます。

お知らせ

- エンジンがかかった状態で、出てきたディスクを取り出さずにそのままにしておくと、ふたたび中に取り込まれ、操作パネルが閉じます。

END

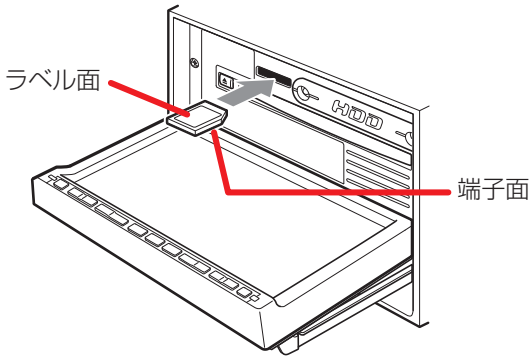
メモリーカード

入れかた

1 を押す

操作パネルが開きます。

2 メモリーカードをメモリーカード挿入口に差し込む



メモリーカードが止まるまで奥に差し込んでください。

お知らせ

- 端子面を下、ラベル面を上にして差し込んでください。また、端子面に触れないようにしてください。

3 を押す

操作パネルが閉じます。

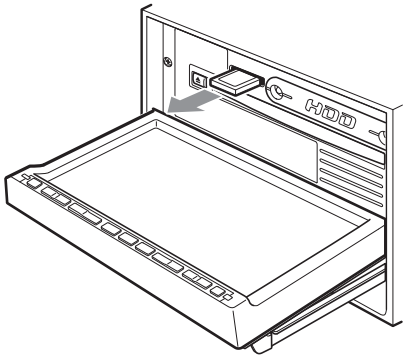
お知らせ

- メモリーカードが正しく差し込まれていないと操作パネルを閉じることはできません。正しく差し込まれていれば、を押さなくても、操作パネルは自動的に閉じます。

END

取り出しかた

1 操作パネルを開き、メモリーカードを押す



メモリーカードが少し飛び出しますので、端子面に触れないように取り出してください。

お知らせ

- 操作パネルが完全に開いてから、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカードを取り出す際は、指を添えておいてください。飛び出すおそれがあります。

2 を押す

操作パネルが閉じます。

END

オーディオを操作しよう

ラジオ

FM/AM

ラジオのコントロールバーが表示され、現在選択されている放送局が受信されます。



アドバイス

・ラジオ操作の詳細については、「ラジオを聴く」（取扱説明書 P.175）をご覧ください。

DVDビデオ

ディスクを挿入する（または、 ▶ ）

ディスクを挿入すると、DVDビデオのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、 ▶ の順に操作します。
何も操作しないとDVDビデオのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。



アドバイス

・DVDビデオ操作の詳細については、「DVDを観る」（取扱説明書 P.219）をご覧ください。

DVD-VR

ディスクを挿入する（または、 ▶ ）

ディスクを挿入すると、DVD-VRのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、 ▶ の順に操作します。
何も操作しないとDVD-VRのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。



アドバイス

・DVD-VR操作の詳細については、「DVDを観る」（取扱説明書 P.219）をご覧ください。

CD・MP3・WMA・AAC

音楽CD以外に自分で編集したMP3やWMA、AACも再生できます。

ディスクを挿入する（または、 ▶ ）

ディスクを挿入すると、CDのコントロールバーなどが表示され、再生がはじまります。
ディスクがすでに挿入されている場合は、 ▶ の順に操作します。



アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（取扱説明書 P.538）をご覧ください。
- CD・MP3・WMA・AAC操作の詳細については、「CD・MP3・WMA・AACを聴く」（取扱説明書 P.247）をご覧ください。
- 上記の画面はCDの画面表示です。MP3・WMA・AACの画面表示については、取扱説明書のP.250をご覧ください。

ミュージックキャッチャー

ミュージックキャッチャー機能で音楽CDをハードディスクに自動録音。マイアルバム機能でオリジナルアルバムを編集できます。



ミュージックキャッチャーのコントロールバーなどが表示され、自動的に再生がはじまります。



アドバイス

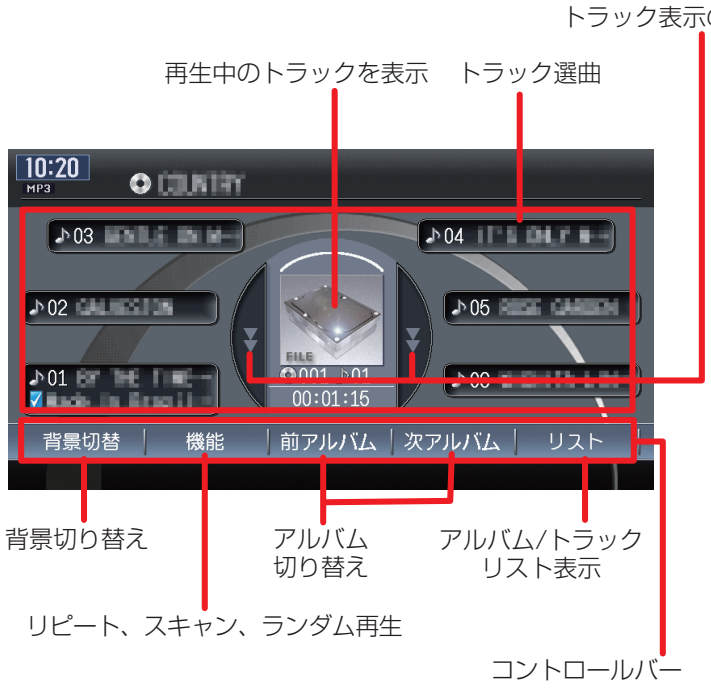
- ミュージックキャッチャー操作の詳細については、「ミュージックキャッチャー・マイアルバムを聴く」（取扱説明書 P.261）をご覧ください。

ファイルキャッチャー

ファイルキャッチャー機能でメモリーカード・USBメモリーのMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルをハードディスクに取り込むことができます。



ファイルキャッチャーのコントロールバーなどが表示され、自動的に再生がはじまります。



アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（取扱説明書 P.538）をご覧ください。
- ファイルキャッチャー操作の詳細については、「ファイルキャッチャーを聴く」（取扱説明書 P.297）をご覧ください。

テレビ

現在選択されている放送局が表示され、テレビのコントロールバーなどが表示されます。
何も操作しないとテレビのコントロールバーなどは消えますが、画面をタッチすると、ふたたび表示されます。



アドバイス

- テレビ操作の詳細については、「地上デジタル放送のテレビを観る」（取扱説明書 P.187）をご覧ください。

メモリーカードのMP3/WMA/AAC

PCなどで作成したMP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルを、メモリーカードに記録し、再生できます。

メモリーカードを差し込む ▶  ▶ 

メモリーカードのコントロールバーなどが表示され、MP3/WMA/AAC形式で保存されている音楽データの再生がはじまります。



アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（取扱説明書 P.538）をご覧ください。
- メモリーカード操作の詳細については、「CD・MP3・WMA・AACを聴く」（取扱説明書 P.247）をご覧ください。

USBメモリーのMP3/WMA/AAC

USBメモリーを本機に接続し、MP3/WMA/AAC形式の音楽ファイルを再生できます。

USBメモリーを接続する ▶ ▶

USBメモリーのコントロールバーなどが表示され、MP3/WMA/AAC形式で保存されている音楽データの再生がはじまります。



アドバイス

- AACは、iTunesで作成したファイルのみ再生できます。詳しくは、「MP3・WMA・AACファイルについて」（取扱説明書 P.538）をご覧ください。
- USBメモリー操作の詳細については、「USBメモリーのオーディオを聴く」（取扱説明書 P.313）をご覧ください。

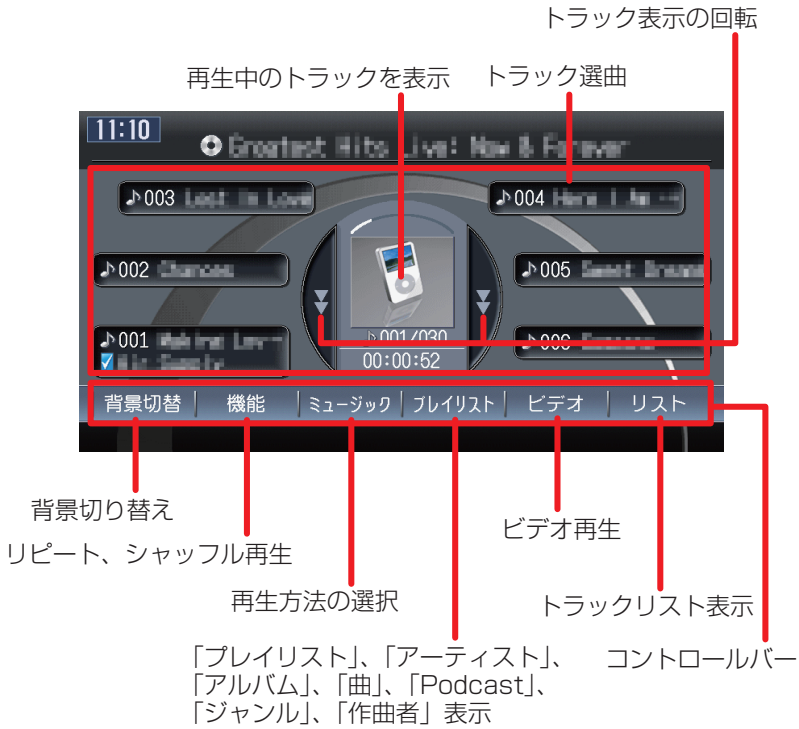
お知らせ

- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただし、ファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ替えることができます。

iPod ／ iPodビデオ

iPodをつなぐ ▶ ▶

iPodのコントロールバーなどが表示され、自動的に再生がはじまります。



アドバイス

- 別売のiPod接続ケーブル（EA-1403A）が必要です。
- iPod操作の詳細については、「iPodを聴く／観る」（取扱説明書 P.319）をご覧ください。

Made for iPod

Bluetoothオーディオ

Bluetooth対応携帯電話やBluetooth対応オーディオを本機に登録して、音楽ファイルを再生できます。

Bluetooth

Bluetoothのコントロールバーが表示され、Bluetooth対応機器で再生すると、本機に転送再生されます。



アドバイス

・Bluetoothオーディオ操作の詳細については、「Bluetoothオーディオを聴く」（取扱説明書 P.335）をご覧ください。

道路交通情報

高速道路や主要幹線道路で放送している道路交通情報を聞くことができます。

交通情報

交通情報のコントロールバーが表示され、交通情報が受信されます。



背景切り替え

受信周波数選択

コントロールバー

交通情報解除
タッチすると受信前のオーディオソースに戻ります

FUN RINGメニューからできること

FUN RINGメニューを表示して、マイリストやよく行く場所から目的地を設定できます。また、最近聴いたアルバムの曲を選択して聴くこともできます。



マイリストのFUN RING画面が表示されます。（マイリスト登録時）

マイリスト登録順で、アイコンが4個表示されます。タッチすると検索結果画面が表示され、そのまま目的地に設定できます。(P.87)

全てのアイコン（最大16個）のリストが表示されます。



よく行く登録地のFUN RINGが表示されます（未登録時はグレー表示）。タッチすると、その登録地を目的地に設定できます。(P.90)

最近聴いたアルバムのFUN RINGが表示されます（未登録時はグレー表示）。タッチすると、そのアルバムの曲を再生します。(P.91)

ライン上をタッチして、前後のFUN RINGを表示できます。

マイリストを使う

マイリストを使って目的地を設定できます。また、アイコンの削除や移動もできます。

マイリストを登録する

マイリストには、登録リストから最大16個の地点を登録できます。
マイリストに地点を登録するには、まず登録リストへ地点を登録してください。（取扱説明書 P.59）



1 をタッチする



よく行く登録地の16地点までのアイコンリストが表示されます。
「よく行く登録地」に表示される地点は、登録リストに登録した地点で、目的地に設定された頻度の高い地点です。

NEXT

2 マイリストに登録したい地点のアイコンをドラッグし へドロップする



メッセージが表示され、ドラッグしたアイコンの地点がマイリストへ登録されます。

アドバイス

- ドラッグとは、アイコンをタッチしたまま移動させることです。ドロップとは、タッチしているアイコンを離すことです。
- マイリストに登録されている地点の名称や画像を、FUN RINGメニューから変更することはできません。マイリストに表示される名称や画像を変更したい場合は、登録地点リストで名称や画像を変更してから、マイリストへ登録してください。

END

マイリストから目的地を探す

マイリストから目的地を探して目的地として設定できます。

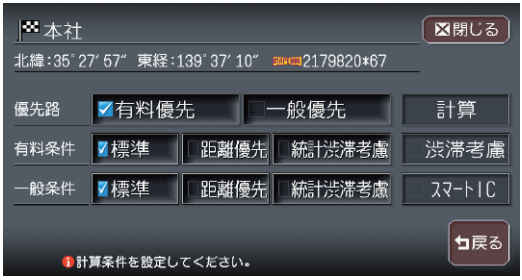
▶ FUN RING

1 設定したい目的地のアイコンをタッチする



目的の地点が表示されていない場合は、ライン上をタッチして、目的の地点を表示してください。  をタッチして、全てのリストを表示させ、そこから目的地のグループを選択することもできます。

2 計算 をタッチする



お知らせ

- 走行中に目的地のアイコンをタッチした場合、この画面は表示されません。自動的にルート誘導を開始します。

目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

END

マイリストを整理する

マイリストアイコンの削除や移動ができます。

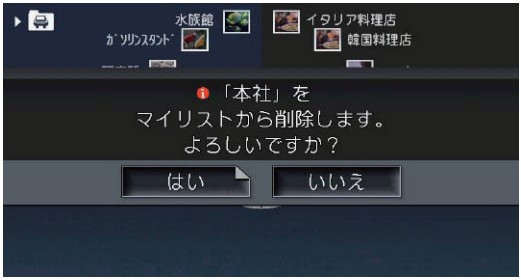
FUN RING

1 削除したいアイコンをドラッグし へドロップする



削除確認メッセージが表示されます。

2 はい をタッチする



選択したアイコンが削除されます。

END

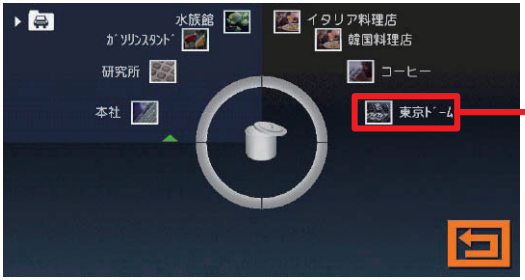
マイリストアイコンを移動する

お知らせ

・マイリストから移動することもできます。



1 移動したいアイコンをドラッグし、移動先のアイコンの間へドロップする



移動したいアイコンをタッチしてドラッグします。



アイコンが移動されます。

END

よく行く場所から目的地を探す

よく行く場所を目的地に設定できます。この操作を行うには、まず登録リストへ地点を登録してください。（取扱説明書 P.59）

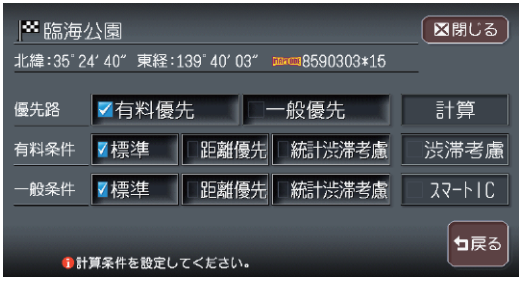


1 設定したい目的地のアイコンをタッチする



目的の地点が表示されていない場合は、ライン上をタッチして、目的の地点を表示してください。  をタッチして全てのリストを表示させ、そこから目的地のグループを選択することもできます。

2 計算 をタッチする



お知らせ

- 走行中に目的地のアイコンをタッチした場合、この画面は表示されません。自動的にルート誘導を開始します。

目的地が設定され、ルート誘導が開始されます。

END

最近聴いたアルバムの曲を聴く

最近聴いたアルバムの曲を聴くことができます。

FUN RING

1 聴きたいアルバムのアイコンをタッチする



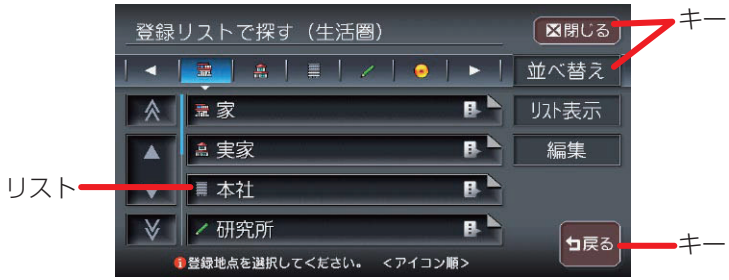
選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。
目的のアルバムが表示されていない場合は、ライン上をタッチして目的のアルバムを表示してください。  をタッチして全てのリストを表示させ、そこから目的のアルバムのグループをタッチすることもできます。

END

タッチパネルで操作する

本機の操作パネルは、指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。タッチできる場所は以下のようになっています。

リスト画面



地図画面



キータッチ

メニューなどに表示されるキーをタッチすると、キーに表示されている内容を実行するための画面を表示します。

アイコンタッチ

地図画面上に常に表示されているアイコンをタッチすると、地図画面の表示方法などを変更できます。

リストタッチ

選択項目が多い場合はリスト表示されますので、項目を選択してタッチすることにより、絞り込むことができます。

地図画面タッチ

地図画面をタッチすると、タッチした場所が画面のセンターに移動（スクロール）します。また、画面をタッチし続けると、タッチしている方向に地図が移動（スクロール）し続けます。
※ 3D地図の場合は、向きを回転させることができます。

お願い

- タッチパネルに保護シートやシールを貼らないでください。操作を検出できなくなることがあります。

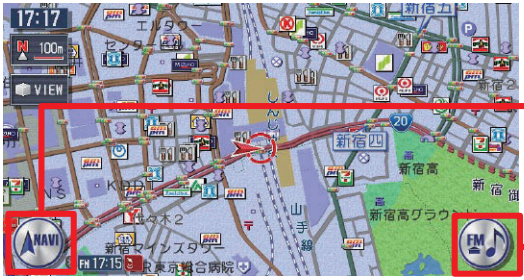
アドバイス

- リストが多いときなどは、▲、▼をタッチするとリストをスクロールできます。≪、≫をタッチすると、画面（ページ）単位でリストをスクロールできます。

コントロールバーを表示する

コントロールバーには、ナビゲーションとオーディオ・ビジュアルの2種類があります。コントロールバーから、便利な操作をワンタッチで行うことができます。

1 NAVI操作キー、またはAV操作キーをタッチする



コントロールバーが表示されます。

お知らせ

- NAVI操作キーは地図表示のときに表示され、常に「NAVI」と表示されています。
- AV操作キーは、現在選択されているソース名が表示されています。
- コントロールバーを消したい場合は、もう一度操作キーをタッチします。

ナビゲーションコントロールバー

ルート未設定時



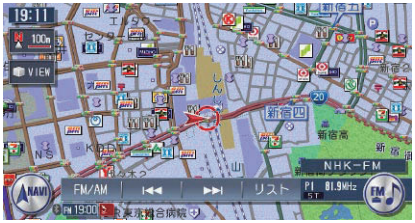
ルート設定時



参照ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

カスタム	（取-P.369）	よく使う機能を簡単に呼び出すことができます。
周辺検索	（取-P.66）	自車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。
地点登録	（取-P.59）	現在表示されている地点を登録します。
自宅	（P.63）	ルートが設定されておらず、自宅が登録されている場合に表示されます。 自宅までのルートを設定します。
ルート	（取-P.100）	ルート設定時に表示されます。ルートの再計算や複数計算、ルート確認などができます。
経路情報	（取-P.117）	ルート設定時に表示されます。ルート上のさまざまな情報を確認できます。

AVコントロールバー



ソースによって表示内容が異なります。詳しくは、「オーディオを操作しよう」（P.72～P.83）をご覧ください。

お知らせ

- ナビゲーション画面でAVコントロールバー非表示中（P.41）にAV操作キー、＜、＞のいずれかを押すと、トラックタイトルや受信中のチャンネルの放送局名などが一定時間表示されます。

END

地点メニューを表示する

ここでは、例として地図をスクロールさせたときの表示方法について説明します。

1 スクロール先の地図上で、決定 をタッチする



地点メニューが表示されます。

ルート未設定時



ルート設定時



前回計算した条件が表示されます。

参照ページ数の「取-」は「取扱説明書」を表しています。

ここに行く （取-P.98）

現在の条件でルート計算します。初期設定では、以下の条件で計算します。
優先路　：有料優先
有料条件：標準
一般条件：標準
区間設定：しない※
（※経由地設定時のみ表示されます。）
スマートIC：使用しない

複数計算	（取-P.103）	計算条件を変えて最大で8つのルートを計算します。
計算条件	（取-P.105）	ルート設定の計算条件を変えます。
地点登録	（取-P.60）	スクロール先の ⊹ 地点を登録リストに登録します。
登録地情報		すでに登録されている地点上にカーソルがある場合に表示されます。画面に 👆 が表示されます。登録地点情報の表示、編集、削除ができます。
経由地追加	（取-P.109）	目的地設定時、表示中の地点を経由地として追加します。
P	（取-P.71）	スクロール先周辺の駐車場を探します。
コード	（取-P.95）	携帯電話で2次元バーコード（QRコード）を撮影することにより、検索した地図の位置情報をもとに携帯電話で地図を見ることができます。

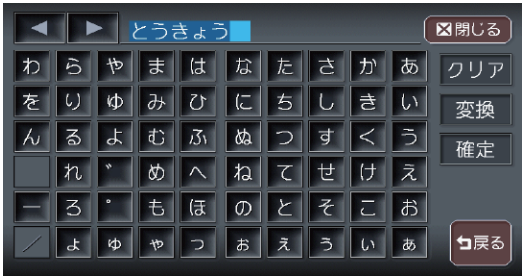


- 地点メニューは、目的地を探して決定した後にも表示されます。
- 戻るをタッチすると、スクロール直後の画面に戻ります。

END

文字の入力方法

1 画面上の文字をタッチして入力する



2 文字変換する場合は、変換 をタッチする



アドバイス

- ミュージックキャッチャーのアルバム検索や目的地メニューの施設名称検索では、変換の必要はないので、そのまま 決定 をタッチしてください。
- 文字列の並び方を左並び／右並びに切り替えることができます。詳しくは「50音並び」（取扱説明書 P.367）をご覧ください。

3 変換された文字がOKなら、確定 をタッチする



さらに変換候補を見る場合は、手順4に進みます。

4 さらに文字変換する場合は、変換 をタッチする



変換候補が表示されます。

5 目的の文字をタッチし、確定 をタッチする

END

アドバイス

- すべての文字を入力後に変換をタッチして、目的の漢字やカタカナを選択することもできます。

入力した文字を編集する

文字の訂正や挿入について説明します。

文字を選んで消去する

1 ◀、▶ で消去する文字の下にカーソルを移動する



2 クリア をタッチする



文字が消去されます。

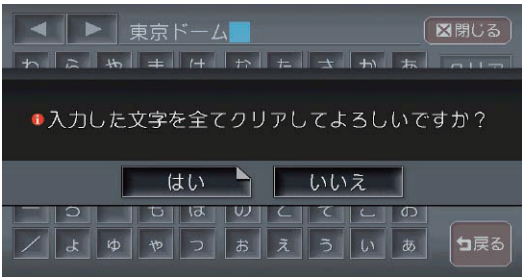
END

文字をすべて消去する

1 クリア をタッチし続ける



2 はい をタッチする



文字がすべて消去されます。

END

文字を挿入する

1 ◀、▶で文字の挿入位置の右にカーソルを移動する



2 挿入する文字をタッチする



文字が挿入されます。

END

入力文字の種類を切り替える

ミュージックキャッチャーのアルバム名編集など、編集時のみの操作です。

1 入力文字 をタッチする



2 入力したい文字の種類をタッチする



入力文字が切り替わります。

END

自動で候補を表示させる(50音検索入力支援機能)

入力した文字から始まる語句の候補をすばやく表示する機能です。

1 文字を入力し、候補を表示 をタッチする



入力する文字数によって、候補は絞り込まれていきます。

2 目的の候補をタッチする



タッチした候補が文字入力欄に表示されます。
表示される候補は、それまでに入力した語句や、県名・ブランド名などよく入力される語句、また有名施設の名称などです。

END

アドバイス

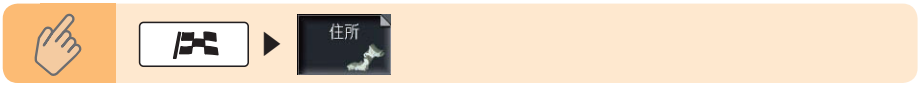
- 候補画面で施設名にMAPが表示されている場合、タッチするとその施設の地図と地点メニューが直接表示されます。

リストの操作方法

リスト画面では、項目が簡単に探し出せるような機能がいくつか用意されています。

リストを送る

リストを送る方法は、リストを1行ずつ送る方法と1ページずつ送る方法の2種類があります。



1 ▲、▼ または ⏫、⏬ をタッチする



▲、▼：リストが上下に1行ずつ移動します。



⏫、⏬：リストが上下に1ページずつ移動します。⊕、⊖でページを移動することもできます。

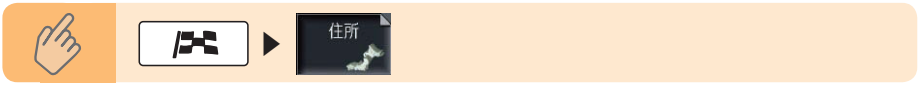
アドバイス

- スクロールバーを見ることで、現在表示されている項目がリスト全体から見て、どの程度の位置なのかがわかります。
- ⏫、⏬をタッチし続けると、連続してページが切り替わります。リストの最後と最初の間に、境界線が表示されます。

END

タブでリストを飛ばす

50音の並びでリストが表示されている場合は、タブを利用することで50音の先頭文字の位置までリストを飛ばすことができます。
ここでは、例として住所検索で東京都を探す場合の方法について説明します。



1 た をタッチする



「た」行から始まるリストが表示されます。

2 と 東京都 をタッチする



東京都の市区町村リストが表示されます。

アドバイス

・タブの左右に◀、▶が表示されている場合があります。
◀、▶をタッチすると、前後の文字が表示されます。

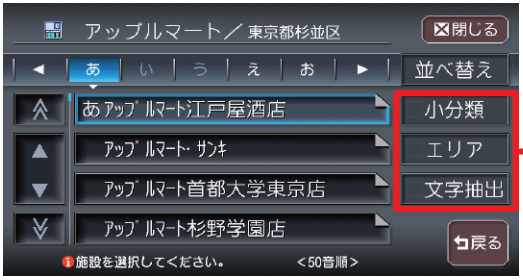
END

リストを絞り込む

収録されているデータの中から、すばやく目的地などを探し出すために、リストを絞り込むことができます。

お知らせ

- 複数の絞り込み検索を行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。例えば、文字抽出と エリア で絞り込み検索を行ったとき、文字抽出でリストアップされた項目に「東京都」がない場合には、「エリア」の選択項目の中に「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除するときは、戻る をタッチしてください。



絞り込みキー

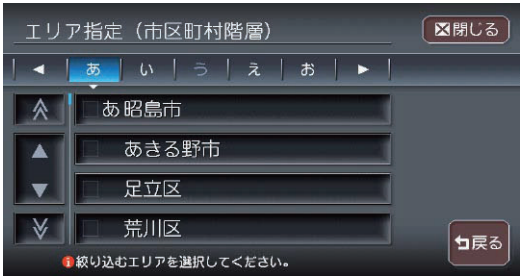
文字抽出をタッチして絞り込む

施設の完全な名称をおぼえていなくても、施設名称に含まれている文字列で絞り込むことができます。（1文字でも絞り込むことができます）



エリアをタッチして絞り込む

都道府県を指定して、その都道府県の施設のみに絞り込むことができます。
（市区町村まで指定できれば、さらに絞り込むことができます）

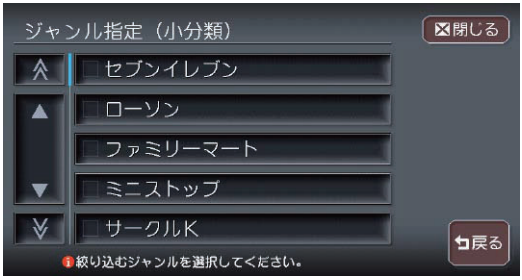


お知らせ

・エリアでは、複数の項目を選択できます。
県　　：5項目まで
市区町村：制限なし

小分類、ジャンルをタッチして絞り込む

検索内容を、ジャンルで絞り込むことができます。

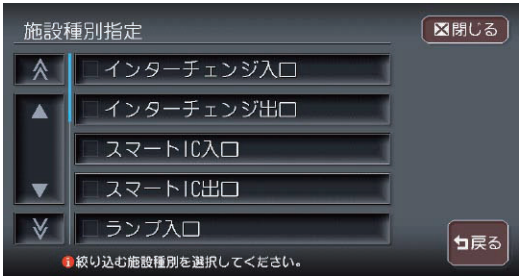


お知らせ

・小分類では、複数の項目を選択できます。

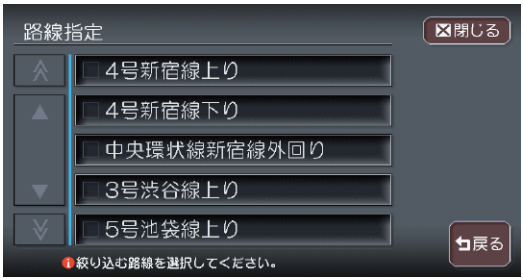
施設種別をタッチして絞り込む

検索内容を、ハイウェイの施設リストで絞り込むことができます。



路線選択をタッチして絞り込む

検索内容を、ハイウェイの路線リストで絞り込むことができます。



近隣県をタッチして絞り込む

検索内容を、現在地の近隣の県で絞り込むことができます。



全ての項目を選択する

全選択 が表示されている場合は、ワンタッチでリストの全ての項目を選択できます。



全選択 をタッチして全ての項目を選択すると、タッチキーは 選択解除 に変わります。タッチすると、全選択を解除できます。



アドバイス

- 全選択 が表示されているリストでは、複数の項目を選択できます。

リストを並べ替える

目的地検索の施設リスト画面（P.54）および登録リスト画面（取扱説明書P.61）で、リストの表示順をお好みの順序に並べ替えることができます。

1 並べ替え をタッチする



※この画面は例です。

2 並べ替えの方法を選択してタッチする



リストが並べ替えられて表示されます。

NEXT

並べ替え方法の種類と内容

近い順	現在地から近い順に表示します。（ハイウェイ-道路別検索は非対応）
50音順	50音順で表示します。このとき、50音はタブで表示されます。
日付順	登録した日付の新しい順に表示します。（登録リストのみ）
ｱｲｺﾝ順	登録地に設定されているアイコンごとに表示します。このとき、登録地が6点以上ある場合には、アイコンのタブが表示されます。（登録リストのみ）
使用頻度順	使用頻度の高い順に表示します。（登録リストのみ）
新着順	番組放送日または雑誌発売日の新しい順に表示します。（TV・雑誌情報検索のみ）
路線順	選択した路線上で上りまたは下り順に表示します。（ハイウェイ検索のみ）

END

リストの表示方法を変える

登録リスト（取扱説明書 P.61）、ミュージックキャッチャーのアルバムリスト（取扱説明書 P.273）を、お好みのリスト表示に変えることができます。

1 リスト表示 をタッチする



※この画面は例です。

NEXT

2 リストの表示方法を選択してタッチする



選択した項目のチェックマークが表示され、選択した表示方法のリストが表示されます。

登録リストでのリスト表示方法

通常リスト	通常のリスト表示です。
愛称リスト	ボイスコントロール時に使用する愛称が設定されている登録地のみをリスト表示します。この状態で登録リストを終了すると、次回は通常リストでの表示になります。
画像リスト	各地点に設定されている画像を表示します。

アルバムリストでのリスト表示方法

アルバム名	アルバム名をリスト表示します。
アーティスト名	アーティスト名をリスト表示します。
ジャンル	ジャンルをリスト表示します。
画像リスト	画像付きでアルバムをリスト表示します。

END

Memo

便利な機能

地上デジタル放送で美しい映像を！



本機では12セグ＋ワンセグ対応の地上デジタルTVチューナーを内蔵し、地上デジタル放送の美しい映像をお届けします。
受信状況に応じて、ワンセグと12セグの切り替えを自動で行うこともできます。（取扱説明書 P.187）

ハンズフリーでお手軽通話



お手持ちの携帯電話がBluetooth対応なら、本機と無線接続して簡単にハンズフリー通話を楽しむことができます。
発信・着信時の操作もワンタッチでOK。本機で検索したお店などにそのまま電話をかけることもできます。（取扱説明書 P.151）

ユーザーごとにお好みの設定でナビゲーション！



本機の各種機能の設定やお知らせ情報などを、本機を使用するユーザーごとに設定しておくと、エンジンをかけた後に表示されるユーザー選択画面からワンタッチ操作で使用するユーザーの設定内容に切り替えることができます。（取扱説明書 P.406）

※ユーザー選択画面を表示するには設定が必要です。（取扱説明書 P.408）

マップクリップでスムーズに到着



目的地を決めたら携帯電話で2次元バーコード（QRコード）を撮影。車を降りても、本機で見ていた地図を引き続き携帯電話で見ることができます。途中で周辺を探索したり、お店に電話を掛けたり…携帯電話でも施設の地図や情報を見ることができます。（取扱説明書 P.95）

※NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話からご利用いただけます。（2次元バーコードの読み取りが可能な機種のみ）

TV・雑誌の情報を検索



テレビで紹介されたあのお店に行ってみたい、雑誌に載っていた気になるお店はどこにあるのか。そんなときは、「TV・雑誌で探す」機能におまかせください。テレビ番組や雑誌で紹介されたお店などのデータベースが収録されているので、気になっていたあのお店まで案内してくれます。（取扱説明書 P.75）

※TV・雑誌の情報を更新することもできます。（取扱説明書 P.466）

メモリーカードをフルに活用



※市販のSDメモリーカードが必要です。

PCで作成した音楽ファイルをメモリーカードに記録し、再生できます。また、画像の設定やミュージックキャッチャーのアルバム情報の書き出しなどを行うことができます。（取扱説明書 P.452）

盗難防止機能の充実でひと安心



盗難されたときなど、一度バックアップ電源が切れた後に起動すると暗証番号入力画面が表示され、暗証番号を入力しないと本機の機能を操作できなくできます。（取扱説明書 P.374）また、エンジンがOFFのときに操作パネルのランプを点滅させて、盗難を抑制することもできます。（取扱説明書 P.367）

※暗証番号は必ずメモを取るなどして大切に保管してください。暗証番号を忘れてしまうと本機を使用できなくなってしまいます。

ボイスコントロールで安全運転



目的地の検索やオーディオなどのさまざまな操作を、マイクに話しかけてボイスコントロール（音声操作）で操作できます。
また、対話形式のアンサーバック方式により、キー操作や目視による画面確認を極力減らし、セーフティドライブをサポートします。（取扱説明書 P.444）

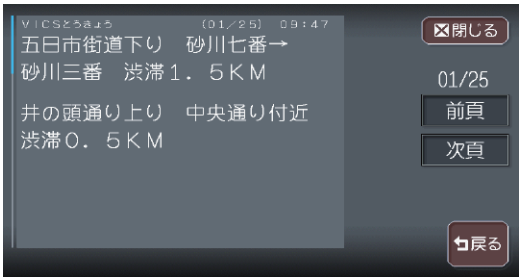
ETC連動で安心ドライブ



ETCユニットとの連動を実現。料金表示はもちろん、音声でも料金を案内します。また、全履歴表示や一日分の履歴リストと合計金額などの履歴表示も充実。割り勘機能もあり、コスト計算や通行履歴としても役立ちます。（取扱説明書 P.141）

※別売のETCユニット（ETC010）が必要です。
なお、本機はETCカード有効期限切れ通知機能には対応しておりません。

渋滞情報をすばやくキャッチ



FM多重情報やビーコン情報で渋滞をすばやくキャッチ。Bluetooth対応携帯電話をご利用なら、リアルタイムに交通状況を感知し、よりスムーズにストレスの少ないスマートなドライブを実現してくれます。（取扱説明書 P.123）

※ビーコン情報の受信には、別売のVICS光・電波ビーコンユニット（VCB990）が必要です。

ドライブ中もiPodと一緒



お気に入りのあの曲を満載したiPod。ドライブ中も一緒です。本機の画面からiPodを操作できるので操作性も向上。ドライブ中もいつものお気に入りライブラリーを楽しめます。（取扱説明書 P.319）

※別売のiPod接続ケーブル（EA-1403A）が必要です。

サイドビューカメラで視野拡大



サイドビューカメラシステムで、車の前方やコーナーの視野範囲をモニターで確認することができます。苦手な縦列駐車をサポートします。（取扱説明書 P.440）

※別売のサイドビューカメラシステム（CC-2016A）が必要です。

リアカメラシステムで楽々駐車



リバースギヤと連動し、画面に車両の後方を写し出します。車幅や後方の距離感の目安となるガイドライン表示機能も搭載。運転席からの視野を大きく広げ、後方が見えにくいときのセーフティドライブをサポートします。（取扱説明書P.436）

※別売の後方確認カラーカメラ（RC11D）が必要です。

リアモニターでみんなenjoy

ビデオ出力端子を装備しているので、後部座席専用のモニター（リアモニター）を増設することでリアエンターテイメントを楽しむことができます。
（取扱説明書 P.429）



※別売のリアモニター本体とAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）が必要です。

地図コミュニケーションサイト「チズルとススム」

「チズルとススム」は新しい地図情報サイト。お出かけ前にWeb上で充実したドライブプランを立てることができます。

「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。

特長１　ドライブルートの下調べに威力を発揮

過去の統計渋滞状況を考慮した、高精度なルートシミュレーションをWebで実現。おおよその所要時間や到着時刻、出発推奨時刻も自宅にいながら分かるので、ドライブ前のプラン作りにもぴったりです。

特長２　楽しく探せる「スポット検索」

お目当てのスポットをジャンルごとに検索したり、各スポットに関する写真・動画といった詳細情報も閲覧が可能。また、目的地周辺の見どころもまとめて探せます。

特長３　会員登録すれば、スポット情報を保存、投稿できる！

『チズルとススム』で検索したスポット情報は、サイト内の自分のページに保存が可能。さらに、訪れたスポットで撮影した写真を地図上に保存、公開（投稿）できるので、お気に入りのスポットをまるごと記録して楽しめます。

特長４　クラリオンHDDカーナビのオーナーならデータを転送して利用可能！

『チズルとススム』で検索したスポット情報を、HDDカーナビに転送し、利用できます！

クラリオン地図コミュニケーションサイト「チズルとススム」
http://chizu-route-susumu.jp

地図データ無償バージョンアップサービスのお知らせ

本機では、2013年度版の最新地図データに無償でバージョンアップできるサービスを提供しております。

サービスを受けるには…

「チズルとススム」の会員登録（無料）を行ってください。会員登録後、弊社よりご登録いただいた住所にバージョンアップキットを郵送いたします。

●「チズルとススム」会員登録について詳しくは、同梱のお客様登録案内書をご覧ください。

お願い

●ご住所が変更になった場合は、必ず「チズルとススム」ログイン後のプロフィール編集画面から住所変更を行ってください。

●パソコンまたは携帯電話での会員登録をご利用でないお客様は、弊社「お客様相談室」までお問い合わせください。

Memo

カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

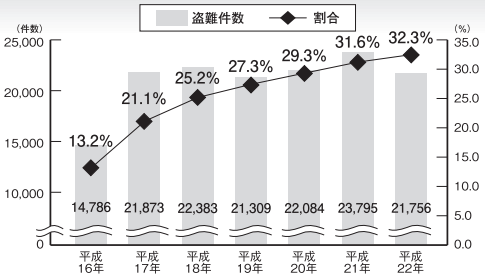
今カーナビが危ない！

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。



カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



出典:警察庁犯罪統計　平成22年は暫定値

製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先　ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカ宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ　**http://www.clarion.com**

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル　**0120-112-140**
（土・日・祝・祭日を除く　9:30～12:00、13:00～17:00）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.

280-9033-00

QX-6910A
Printed in Japan　2011/4

Clarion

取扱説明書

ROAD EXPLORER HDD 9.0

NX811

ワイド7型　VGA 2DIN 地上デジタルTV/
DVD/HDD　AV-Naviシステム

CRASVIA

チズル&ススム β ver.
Chizu-Route-Susumu

ドライブをもっとわくわくさせる地図コミュニティサイト
「チズルとススム」
http://chizu-route-susumu.jp/

このたびはお買い求めいただき ありがとうございます

ご使用の前に本書をよくお読みいただき、安全で快適なカーライフにお役だてください。
・お車をゆずられるときには、次のオーナー様のために、本書を車につけておいてください。また、暗証番号も解除し、目的地などの個人情報も削除してください。
・仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ナビゲーションシステムについて

ハイブリッドナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS（Global Positioning System：全地球測位システム）、ジャイロセンサーと車速センサーを使って車の移動量を検出する自律航法などによって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。
本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。
ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。
なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。
その際は、恐れ入りますが十分にご注意をくださいます様にお願い申し上げます。

各取扱説明書の使いかた

本機には、次の説明書が添付されています。必要に応じてお読みください。

●基本操作ガイド
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの基本的な操作について説明しています。本機をお使いになる前に、この基本操作ガイドをよくお読みいただき、本機の基本操作を理解してください。

●取扱説明書：本書
・ナビゲーションおよびオーディオ／ビジュアルの操作と機能の詳細をご理解いただくため、項目別に説明しています。

●本機取付説明書
・お買い求め後、本機を車に取り付ける方がお読みください。
※本機に接続される機器（ユニット）ごとに取付・取扱説明書が添付されていますので、あわせてお読みください。

本書の構成

ナビゲーション編

地図の見かたと操作

地図画面の操作方法、表示内容を説明します。

目的地を探す

目的地をいろいろな方法で探します。

ルートの設定と誘導

目的地までのルート設定や条件、誘導時の便利な機能などを説明します。

情報を利用する

渋滞を避けるために役立つVICS情報などの利用のしかたについて説明します。

AV編

ラジオを聴く

ラジオの操作方法を説明します。

地上デジタル放送のテレビを観る

テレビの操作方法を説明します。

DVD を観る

DVDビデオ／ DVD-VRの操作方法を説明します。

CD・MP3・WMA・AAC を聴く

CD・MP3・WMA・AACの操作方法を説明します。

ミュージックキャッチャーを聴く

ミュージックキャッチャー・マイアルバムの操作方法を説明します。

ファイルキャッチャーを聴く

ファイルキャッチャーの操作方法を説明します。

USB メモリーのオーディオを聴く

本機にUSBメモリーを接続した場合の操作方法を説明します。

iPod® を聴く／観る

本機にiPodを接続した場合の操作方法を説明します。

Bluetooth オーディオを聴く

Bluetoothオーディオの操作方法を説明します。

設定編

各種設定

ナビゲーションや音質の設定について説明します。

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を譲渡や廃棄などで手放す場合のご注意について説明します。

便利な機能

便利な機能（アクセサリー）の使いかた

さまざまなアクセサリー機器の使いかたについて説明します。

困ったときに

困ったときに

操作方法などに困ったときにご利用ください。

付録

付　録

参考となる資料について説明します。

本書の見方

この『取扱説明書』は、本機をさらに使いこなすためのものです。
本機の全ての機能を、機能の内容ごとに説明しています。
仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

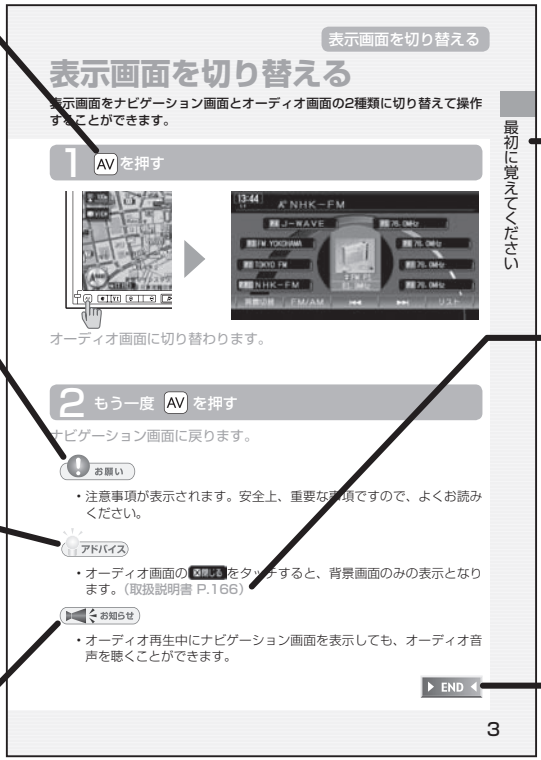
本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。
本書をお読みになる前に、よく理解しておいてください。

ボタン
操作パネル上のボタンを表します。

お願い
お車や本体のために必ず守っていただきたいことです。

アドバイス
操作をする上で、本機を使いこなすためのアドバイスです。

お知らせ
操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことです。

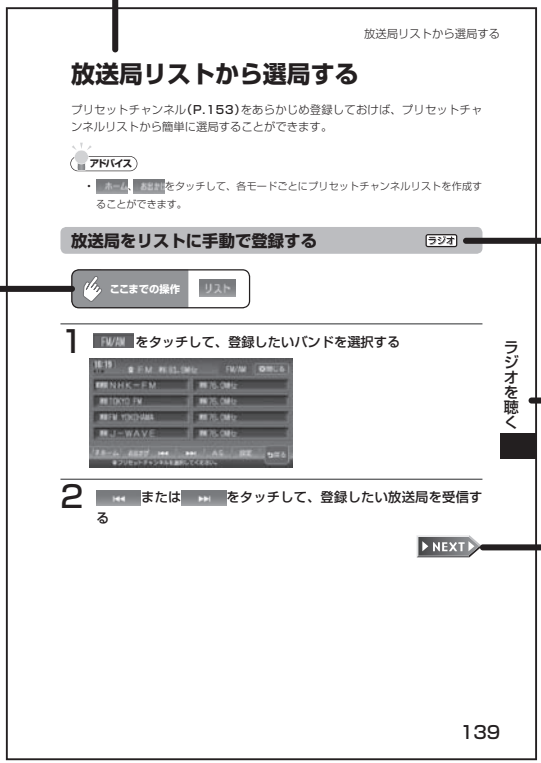


インデックス
章の内容を示すインデックスです。

参照ページ
参照先のページ番号を示しています。

END
操作の終わりを表します。

タイトル
タイトルを表します。主に各操作方法で構成されています。



アイコン
画面上に表示されるキーを表します。

ソース名
この操作が適用できるソースを表します。

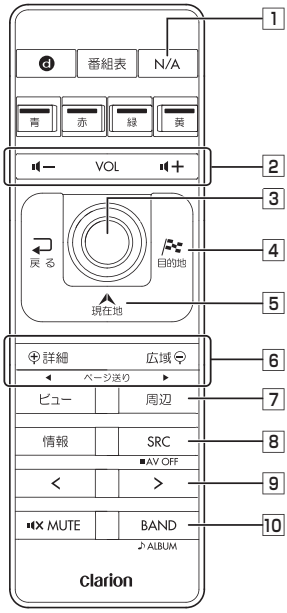
インデックス
章の内容を示すインデックスです。

NEXT
操作手順や説明が次ページに続くことを表します。

リモコンの使いかた

本機には、ナビやオーディオ、地上デジタルTVの操作をするためのナビ用リモコンが同梱されています。ここでは、ナビ用リモコンの基本的な使いかたを説明しています。

ナビ用リモコン



1 **N/A ボタン**
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

2 **VOL − ボタン／ VOL ＋ ボタン**
音量を調節します。

3 **ジョイスティック 実行 ボタン**
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。

4 **目的地 ボタン**
行き先を設定するための目的地メニューが表示されます。

5 **現在地 ボタン**
現在地の地図画面を表示します。

6 **詳細 ボタン／広域 ボタン**
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。（フリースケール）
リスト画面では、リストを1ページずつ送ります。

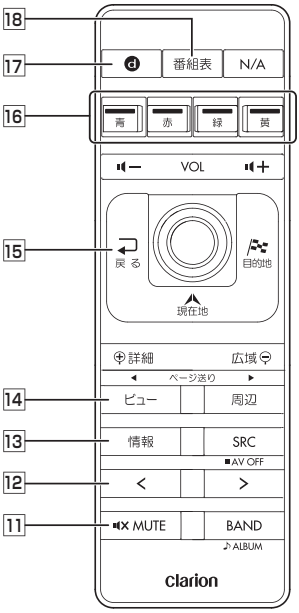
7 **周辺 ボタン**
現在地周辺の施設を検索します。

8 **SRC ボタン**
オーディオモードのソースを切り替えます。押し続けるとオーディオの電源をOFFにします。

9 **＞ ボタン**
テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルアップ
長押し時：チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時：
トラックアップ、トラックのサーチアップ

※DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。

10 **BAND ボタン**
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。
テレビ／ラジオ／ iPod以外では、フォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。



11 **MUTEボタン**

消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

12 **＜ボタン**

テレビ／ラジオ時：
プリセットチャンネルダウン
長押し時：チャンネルのシークダウン

その他のオーディオソース選択時：
トラックダウン、トラックのサーチダウン

※DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。

13 **情報ボタン**

VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

14 **ビューボタン**

地図の表示方法を変えます。

15 **戻るボタン**

前の画面に戻ります。

16 **カラーボタン**

地上デジタルTV放送のカラーキーを操作するときに押します。

17 **dボタン**

地上デジタルTV放送のデータ放送を受信させるときに押します。

18 **番組表ボタン**

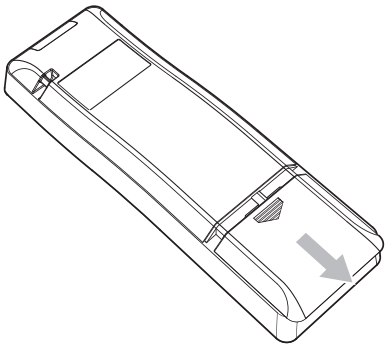
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。押し続けるとEPGを更新します。

リモコンの電池を交換する

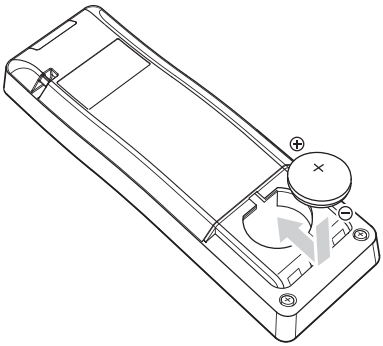
お知らせ

- 工場出荷時は電池が入っておりません。ご使用の前に付属の電池を入れてください。
- 電池を交換する際の注意事項については、**「電池に関するご注意」（P.425）**をご覧ください。

1 電池カバーを開ける



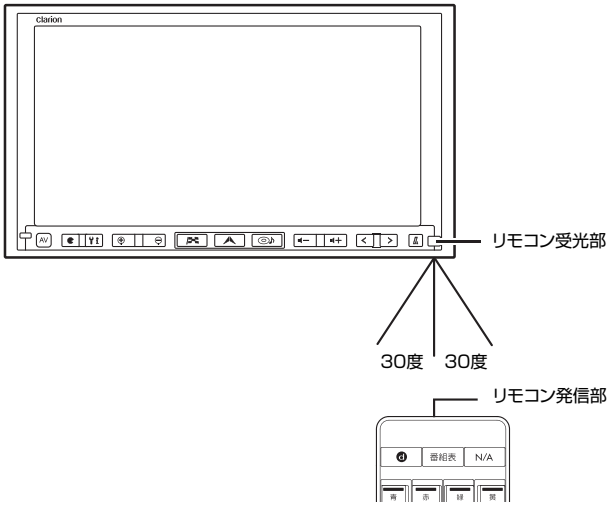
2 リチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



END

リモコンを操作する

1 本機のリモコン受光部に向けて操作する



お知らせ

- リモコンを操作する際の注意事項については、**「リモコン操作時の注意」（P.426）**をご覧ください。
- 2ZONE「ON」時 **（P.430）**は、後席でリモコンを使用してDVDを操作した際に誤って本機が動作しないよう、以下のリモコンボタン操作は無効となります。
  - VOL [−] ／ VOL [+] ボタン
  - [SRC] ボタン
  - [>] ／ [<] ボタン
  - [MUTE] ボタン
  - [BAND] ボタン

  2ZONEを「OFF」にすれば、すべてのボタン操作が可能になります。

END

目次

リモコンの使いかた …… 6
リモコンの電池を交換する …… 8
リモコンを操作する …… 9
地図の見かたと操作…… 21
現在地を表示する …… 22
地図を動かす（スクロール） …… 23
スクロール時の地図表示…… 24
地図を縮小、拡大する …… 25
スケールを細かく調整する…… 26
地図の向きを変える …… 27
地図の表示方法を変える …… 28
地図表示の種類…… 29
ルート誘導中の地図表示 …… 38
交差点の手前で出る表示…… 39
交差点表示…… 40
VICS情報画面 …… 42
VICS情報が表示された地図画面 …… 42
地図凡例一覧 …… 44
地図ランドマーク一覧 …… 46
目的地を探す…… 49
目的地を探すには …… 50
電話番号から探す …… 52
住所から探す …… 53
地名を入力して探す…… 55
施設の名前から探す …… 56
ジャンルから探す …… 57
キーワードを入力して探す…… 58
よく行く場所を目的地にする …… 59
よく行く場所をナビに登録する…… 59
登録リストから探す…… 61
登録リストを編集する…… 62
周辺の施設を探す …… 66
よく使うジャンルの施設を一括検索する…… 67
現在地・目的地・地図表示位置の周辺から探す…… 70
目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン）…… 71
別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）…… 72

ルート沿いの施設を探す…… 73
TV・雑誌の情報から探す …… 75
TV番組・雑誌の名前から探す …… 76
ジャンルから探す…… 77
周辺から探す…… 78
履歴から探す …… 79
その他の方法で探す …… 80
ハイウェイから探す…… 81
緯度経度で探す…… 85
郵便番号で探す…… 86
マップコードで探す…… 87
メモリーカードに登録した地点から探す…… 88
メモリーカードに登録したMYスポットから探す … 89
メモリーカードに登録したMYコースから探す …… 90
スクエアビューから探す…… 92
こんな画面が表示されたら …… 93
検索結果画面表示について…… 93
施設情報について…… 94
マップクリップを利用する…… 95
ルートの設定と誘導…… 97
目的地を設定したら… …… 98
設定したルートを変更する …… 100
ルートを再設定する…… 101
迂回したい場所を設定する…… 102
複数のルートを比べる…… 103
ルートの優先路・計算条件を変える…… 105
設定したルートを編集する…… 108
出発時刻ごとのルートを表示する…… 112
ルートを確認する…… 113
設定したルート上をデモ走行する…… 114
設定したルートを削除する…… 114
最速のルートを探す…… 115
ルート上の情報を表示する …… 117
目的地の地図を表示する…… 118
次の案内地点を確認する…… 118
ルート上の渋滞を確認する…… 119
音声案内をもう一度聞く…… 119
ルート上の情報を確認する…… 120

情報を利用する……121
情報を見るには …… 122
FM VICS情報を利用する …… 123
VICS情報について …… 123
FM VICS情報／FM文字多重放送を見る …… 125
FM VICS情報の種類 …… 127
ビーコンVICS情報を利用する …… 128
ビーコン情報について…… 128
ビーコンVICS情報を見る …… 130
ビーコンVICS情報の種類 …… 132
ラジオの交通情報を受信する …… 133
ハードディスク情報（確認コード）を見る …… 134
お車のメンテナンス時期を登録する …… 135
お知らせ設定をする…… 136
販売店情報を登録する…… 139
ETC情報を利用する …… 141
ETC画面表示について …… 141
ETC情報を見る …… 143
ETC料金を割り勘にする …… 145
静止画データを利用する（画像を探す） …… 146
静止画データを見る…… 146
スライドショーを見る…… 148
静止画データを編集する…… 149
電話を利用する …… 151
Bluetoothとは …… 151
携帯電話を登録する（ペアリング）…… 152
携帯電話を切り替える…… 157
電話をかける…… 158
電話を受ける…… 165
電話の設定をする…… 166
携帯電話から交通情報を受信する（オンライン） …… 168
交通情報をオンラインで受信する…… 169
オンラインの設定をする…… 171
ラジオを聴く……175
画面表示とタッチキーについて …… 176
選局する …… 178
自動選局する…… 178
手動で選局する…… 178

放送局リストから選局する …… 179
放送局をリストに手動で登録する…… 179
放送局をリストに自動で登録する（オートストア）…… 180
放送局リストからチャンネルを選ぶ…… 181
放送局名を編集する…… 182
ラジオの設定を変更する …… 183
受信エリアを切り替える…… 183
背景を設定する …… 184
カレンダーを設定する…… 185
写真を設定する…… 186
地上デジタル放送のテレビを観る…… 187
地上デジタル放送とは …… 188
12セグとワンセグについて …… 188
マルチチャンネル放送について…… 189
テレビ放送の受信について…… 190
アナログ放送からデジタル放送への移行について…… 190
アナログ放送終了後の周波数リパックについて… 191
テレビを視聴する前に …… 192
B-CASカードとは …… 192
B-CASカードについて …… 192
B-CASカードを台紙からはがす …… 192
B-CASカードを入れる …… 193
B-CASカードを抜く …… 194
画面表示とタッチキーについて …… 195
放送局を登録する（初めてお使いになる場合） …… 198
ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える …… 200
ワンセグ／ 12セグの自動切替機能について …… 200
バンドを切り替える …… 201
選局する …… 202
メイン／サブチャンネルを選局する…… 202
チャンネル番号を入力して選局する…… 203
番組表（EPG）から選局する …… 204
手動で選局する…… 205
受信可能な中継局／系列局を探す…… 205
放送局リストから選局する …… 206
放送局をリストに手動で登録する…… 206

放送局をリストに自動で登録する（オートストア）…… 207
放送局リストからチャンネルを選ぶ…… 208
番組の詳細を表示する…… 209
データ放送を利用する（12セグ放送のみ）…… 210
緊急放送を観る …… 211
音声を切り替える …… 212
地上デジタル放送の設定をする …… 213
優先エリアを切り替える…… 214
放送メールを表示する…… 216
B-CASカードのID情報を確認する …… 217
個人情報を初期化する…… 218
DVDを観る ……219
画面表示とタッチキーについて …… 220
再生する …… 223
ディスクが本機に入っている場合の再生方法…… 223
ディスクが本機に入っていない場合の再生方法… 223
再生を停止する…… 223
いろいろな再生方法 …… 224
タイトル／チャプター番号を選んで再生する…… 224
リストから選んで再生する…… 225
ディスクメニューを利用して再生する…… 226
プレイリストから選んで再生する…… 229
スロー再生する…… 230
静止画を再生する…… 230
リピート、スキャン再生をする…… 231
字幕・音声・アングルを切り替える…… 232
字幕表示・音声チャンネルを切り替える…… 233
初期設定を変更する …… 234
モニターサイズを切り替える…… 236
メニュー言語、音声言語、字幕言語を切り替える…… 237
パスワードを設定・変更する…… 238
パスワードを消去する…… 239
国別の視聴制限を設定する（カントリーコード）…… 240
視聴制限を設定する（パレンタルレベル設定）… 241
再生状態表示を設定する…… 242
ダイレクト操作の確認画面を表示する…… 243

アングルマークの表示時間を設定する…… 244
画面サイズを切り替える …… 245
CD・MP3・WMA・AACを聴く ……247
画面表示とタッチキーについて …… 248
ディスク／メモリーカードへの音楽データの保存方法について…… 251
再生する …… 253
ディスクが本機に入っている場合の再生方法…… 253
ディスクが本機に入っていない場合の再生方法… 253
メモリーカードから再生する…… 254
いろいろな再生方法 …… 255
リストから選んで再生する…… 255
トラック番号を選んで再生する…… 256
リピート、スキャン、ランダム再生をする…… 257
情報を表示する …… 259
トラックの情報を表示する…… 259
CD-TEXT/TAG情報を表示する …… 260
ミュージックキャッチャー・マイアルバムを聴く…261
ミュージックキャッチャーとは …… 262
ミュージックキャッチャーに録音する …… 263
録音する前に必ずお読みください…… 263
タイトル表示について…… 263
録音についてのご注意…… 264
自動録音…… 265
手動録音…… 266
マイアルバムを作成する …… 267
画面表示とタッチキーについて …… 270
再生する …… 272
いろいろな再生方法 …… 273
リストから選んで再生する…… 273
アルバム名を選んで再生する…… 274
アーティスト名を選んで再生する…… 275
ジャンルを選んで再生する…… 275
最近聴いた曲を選んで再生する…… 276
アルバム番号を選んで再生する…… 277
トラック番号を選んで再生する…… 277
リピート、スキャン、ランダム再生をする…… 278
指定したアルバムを再生する…… 279

オートプレイリストを作成して再生する…… 280
類似曲を再生する…… 285
ソングパレットから再生する…… 286
「探す」メニューから聴きたい曲を選んで再生する
…… 289
アルバム、トラックを編集する …… 290
アルバム情報を編集する…… 290
不要なアルバムを削除する…… 291
アルバムの再生順序を変更する…… 292
トラック情報を編集する…… 293
不要なトラックを削除する…… 294
トラックの再生順序を変更する…… 294
トラック情報を表示する…… 295
ファイルキャッチャーを聴く……297
ファイルキャッチャーとは …… 298
音楽データの保存方法について…… 299
ファイルキャッチャーにデータを取り込む …… 300
画面表示とタッチキーについて …… 302
再生する …… 304
いろいろな再生方法 …… 305
リストから選んで再生する…… 305
アルバム番号を選んで再生する…… 306
トラック番号を選んで再生する…… 306
リピート、スキャン、ランダム再生をする…… 307
情報を表示する …… 308
トラックの情報を表示する…… 308
TAG情報を表示する …… 309
アルバム・トラックを編集する …… 310
不要なアルバムを削除する…… 310
不要なトラックを削除する…… 311
USBメモリーのオーディオを聴く ……313
USBの接続と取り外し …… 314
USBメモリーを接続する …… 314
USBメモリーを取り外す …… 314
音楽データの保存方法について…… 315
画面表示とタッチキーについて …… 316
再生する …… 318
iPodを聴く／観る ……319
接続できるiPod …… 320

画面表示とタッチキーについて …… 322
オーディオを再生する …… 324
いろいろな再生方法（オーディオ） …… 325
リストから選んで再生する…… 325
トラック番号を選んで再生する…… 325
リピート、シャッフル再生をする…… 326
条件を指定して再生する…… 327
情報を表示する（オーディオ） …… 329
ビデオを再生する …… 330
いろいろな再生方法（ビデオ） …… 331
リピート、シャッフル再生をする…… 331
iPod画面を設定する …… 332
Bluetoothオーディオを聴く……335
Bluetoothオーディオを登録する（ペアリング） …… 336
画面表示とタッチキーについて …… 338
再生する …… 340
各種設定……341
ナビゲーションの設定をする …… 342
画面の設定をする…… 344
地図上のアイコンの設定をする…… 346
走行軌跡の設定をする…… 348
走行中の地図の設定をする…… 352
ルート案内の設定をする…… 355
音声案内の設定をする…… 358
VICS情報の設定をする …… 361
その他の設定をする（自宅編集・登録地点編集・
自車位置の調整・カーソル表示…） …… 365
初期設定…… 376
ETCの設定をする …… 378
OPTIONボタンの操作方法 …… 380
OPTIONボタンの機能変更 …… 380
OPTIONボタンの操作 …… 381
音質を設定する …… 382
スピーカーを設定する…… 385
フィルター調整をする…… 388
ドルビープロロジックⅡを設定する…… 389
音場を設定する（ホールシミュレーション設定）
…… 391

音質を設定する
（グラフィックEQ設定<EQ BASIC>） …… 392
お好みの音質に調整する
（グラフィックEQ設定<EQ USER>） …… 393
ポジションを設定する…… 394
タイムアライメントを調整する…… 395
スピーカーゲインを調整する…… 397
パラメトリックイコライザーを設定する…… 398
パラメーターを調整する…… 399
音量バランスを調整する（BALANCE） …… 402
映像を設定する …… 403
昼画面と夜画面を切り替える…… 403
ディスプレイの明るさを調整する…… 404
画質を調整する…… 405
ユーザーを設定する …… 406
ユーザーを選択する…… 406
途中でユーザーを切り替える…… 407
ユーザーを登録する…… 408
ユーザーを削除する…… 409
ユーザー情報を編集する…… 410
画面の表示色を設定する …… 414
オープニング画面を設定する …… 415
製品を廃棄・譲渡・転売するときは……417
データを消去（初期化）する …… 418
ナビゲーション内のデータ消去について…… 418
データを消去する…… 419
便利な機能（アクセサリー）の使いかた……421
本機に接続できる機器 …… 422
地上デジタルTV用リモコンを使う（別売） …… 423
各部の名称と働き…… 423
リモコンの操作…… 425
接続したビデオを観る（別売） …… 427
画面サイズを切り替える…… 428
リアモニターを使う（別売） …… 429
リアモニターに表示できる映像…… 429
前席とリアモニターで別々のソースを選択する
（2ZONE） …… 430
リアモニターの映像（後席ソース）を操作する… 435
リアカメラシステムを使う（別売） …… 436

リアカメラシステムの操作…… 436
オプションカメラを使う（別売） …… 440
オプションカメラの操作…… 441
AV/カメラ2画面表示について…… 443
音声で操作するには（ボイスコントロール） …… 444
音声操作について…… 444
ボイスコントロールに入る…… 445
知っておきたい言葉…… 446
正しく認識させるために…… 446
音声操作例…… 447
メモリーカードを使う（別売） …… 450
使用可能なメモリーカード…… 450
メモリーカードのデータを編集する…… 452
困ったときに……473
自車位置がずれていたら …… 474
自車位置のずれを修正するには…… 474
3Dセンサーによる上下道路判定について …… 475
自車位置の精度について…… 476
故障かなと思ったら …… 480
ナビゲーション関連…… 480
オーディオ関連…… 482
リアカメラシステム…… 486
オプションカメラシステム…… 487
Bluetooth対応電話 …… 487
その他…… 488
よくある質問について（Q&A） …… 489
エラーメッセージ一覧 …… 498
付録……501
収録データベースについて …… 502
市街地図収録エリア一覧 …… 510
VICSシステムの問い合わせ先 …… 517
VICS情報有料放送サービス契約約款 …… 518
カントリーコード一覧 …… 519
ボイスコントロールで操作できる言葉 …… 521
ナビゲーションモードで操作できる言葉…… 521
オーディオモードで操作できる言葉…… 530
電話操作に関する言葉…… 535
オンラインに関する言葉…… 535

認識愛称に登録できる語句一覧…… 535
対応メディア・対応ファイルについて …… 536
お手入れ …… 540
ディスクのお手入れ…… 540
本体のお手入れ…… 540
TVアンテナのお手入れ …… 541
保証書とアフターサービス …… 542
仕様 …… 543
構成内容…… 544
商標について …… 545
暗証番号照会申込書 …… 549

索引 …… 551

地図の見かたと操作

地図画面の操作について説明しています。
地図を3Dで表示したり、向きを変えて表示したりできます。

目次

現在地を表示する ……22
地図を動かす（スクロール）……23
地図を縮小、拡大する ……25
地図の向きを変える ……27
地図の表示方法を変える ……28
ルート誘導中の地図表示 ……38
VICS情報画面……42
地図凡例一覧 ……44
地図ランドマーク一覧 ……46

現在地を表示する

ナビゲーションの設定途中の画面、スクロール先の地図画面などやオーディオ画面であっても、現在地の地図画面を表示させることができます。

現在地の地図画面が表示されている状態で[ ]を押すと、現在地の地名などを表示します。表示内容については、**「スクロール時の地図表示」（P.24）**をご覧ください。

1 [ ] を押す



現在地の地図画面を表示します。

地図を動かす（スクロール）

地図を好きな方向に自由に動かすことができます。
スクロール地図の表示内容については、**「スクロール時の地図表示」（P.24）**をご覧ください。

1 見たい方向の画面の端をタッチする

画面をタッチすると、タッチした場所が画面のセンターに移動（スクロール）します。また、画面をタッチし続けると、タッチしている方向に地図が移動（スクロール）し続けます。

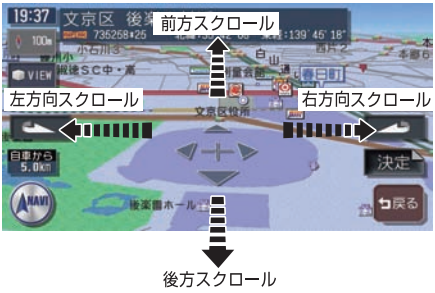
2D地図のスクロール



タッチポイントの目安
（表示はされません。）

3D地図のスクロール

や  をタッチして、3D地図を回転表示することができます。



アドバイス

- 走行中は1ステップのスクロールとなり、連続したスクロールはできません。
- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

2 現在地の地図に戻るには、  を押す

スクロール時の地図表示

地図表示を移動（スクロール）しているときは、スクロール先の地名とマップコード（P.87）が表示されます。

スクロール先の地名表示は、スケールにより表示内容が変わります。

市街地図収録エリアの10m ～ 500mスケール：市区町村名＋町名＋丁目名

それ以外のスケール：都道府県名＋市区町村名

2D地図表示のとき



タッチすると地点メニューが表示され、目的地として設定できます。

タッチすると現在地を表示します。

3D地図表示のとき



アドバイス

- スクロール先の地名・マップコードなどは、非表示にすることもできます。
  詳しくは、「スクロール位置情報表示」（P.344）をご覧ください。

地図を縮小、拡大する

10mスケールの詳細な市街地図から、256kmスケールの日本全国地図まで、16段階に拡大／縮小して表示します。
2画面で表示している場合は、左地図のスケールが変更されます。右地図のスケールを変更するには、**「2画面表示時の右地図を操作する」（P.32）**をご覧ください。

お知らせ

- 道路拡張などで幅員が変更された道路については、表示された地図と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示しない場合があります。

1 地図を広く見たい場合は ⊖ を押す
詳しく見たい場合は ⊕ を押す



画面下にスケールバーが表示されます。

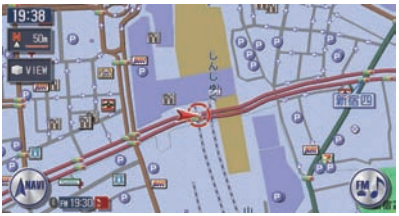
■市街地図エリアの地図尺度（16段階）

市街地図：10m、25m、50m
通常地図：50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、16km、32km、64km、128km、256km

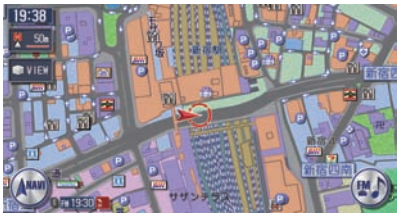
■市街地図がないエリアの地図尺度（15段階）

通常地図：10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、16km、32km、64km、128km、256km

通常地図50m



市街地図50m



お知らせ

- 市街地図の表示中に、車が市街地図の収録エリア外に出たときは、同じスケールの通常地図で表示されます。
- 市街地図の表示中に、市街地図と通常地図の境界付近を走行中の場合には、市街地図収録エリア外の部分がグレーの背景で表示されます。
  このような状態が続く場合には、⊖でスケールを切り替えて通常地図にしてください。

スケールを細かく調整する

お知らせ

- 市街地図50mスケールと通常地図50mスケールの間、および256kmスケールはこの操作はできません。

1 ⊖か⊕を押し続ける

スケールを細かく設定できます。



詳細なスケールが表示されます。

地図の向きを変える

地図の向きを進行方向上向き（ヘディングアップ）、または北方向上向き（ノースアップ）に変更できます。
3D地図では、地図の向きは変更できません。

1 方位マークをタッチする

タッチするたびに、地図の表示方向が進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

：進行方向上向き
（ヘディングアップ：H-UP）



：北方向上向き
（ノースアップ：N-UP）



2画面表示では、右地図の方位マークにタッチして、右地図の向きを変更できます。

地図の表示方法を変える

地図の表示方法を変更できます。

1 VIEWをタッチする

2 表示方法をタッチする



選択した表示方法で地図が表示されます。
現在選択可能な表示方法のタッチキーのみが表示されます。

タッチキー	機能の内容	参照ページ
1画面	画面を分割しないで表示する（通常の地図画面）	P.29
2画面	画面を左右に分割して表示する	P.29
AV2画面	ナビ画面とオーディオ画面に分割して表示する	P.29
2D地図	平面地図を表示する（通常の地図画面）	P.30
3D地図	地図を立体的に表示する	P.30
一方通行	一方通行の道に矢印を表示する	P.30
抜け道表示	抜け道表示のON/OFFを切り替える	P.353
シティ	ルート誘導中にシティモード画面に切り替える	P.31
ハイウェイ	高速道路およびハイウェイモード対象の有料道を走行中にハイウェイモード画面に切り替える	P.30
スクエアビュー	対象エリアを走行中にスクエアビュー画面に切り替える	P.31
ピクチャービュー	自車付近のグルメ・観光スポットを写真で表示する	P.31

タッチキー	機能の内容	参照ページ
VIEW設定	地図表示に関する設定メニュー画面を表示する	P.352
軌跡の保存	表示中の軌跡を保存する	P.349
保存軌跡の表示	保存された軌跡を表示する	P.350

地図表示の種類

1画面



画面を分割しないで表示します。

2画面



画面を左右に分割にして表示します。

- 右画面のスケール変更、向きなどの切り替えができます。(P.32)
- 割り込み表示などは左画面に表示されます。
- スクロールなどの操作は左画面で行います。

AV2画面



画面をナビとオーディオで分割して表示します。

- メニュー操作時などは、一時的に解除されます。
- VICSアイコンの文字情報は表示されません。
- 映像画面の大きさの変更（P.32）

2D地図



平面地図を表示します。

3D地図



立体地図を表示します。地図スケールを市街地図にすると、ビルなどの建物は立体表示されます。

- 視点の高さを調節できます。(P.354)
- 空に星座を表示できます。(P.344)

一方通行



一方通行の道に矢印を表示します。50m以下のスケールで表示されます。

- 矢印の表示／非表示を切り替えることができます。(P.352)

ハイウェイモード



高速道路およびハイウェイモード対象の有料道を走行中に表示されます。
IC、ランプ、JCT出口までの合計料金などの情報も表示されます。詳しくは**「ハイウェイモードの表示について」(P.33)**をご覧ください。

- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。
- 渋滞状況が白、灰色で表示されるときは、ＶＩＣＳ渋滞情報が配信されていないか、本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない場合が考えられます。

シティモード



ルート誘導時、一般道を走行中に表示されます。
1～3つ先の案内地点の情報、目的地および目的地までの料金を表示します。詳しくは**「シティモードの表示について」(P.36)**をご覧ください。

スクエアビュー



一般道および都市高速道路走行中の画面を、リアルな3D実写風景で表示します。
詳しくは**「スクエアビューの表示について」(P.36)**をご覧ください。

- 建物の形状や位置は、実際のものと異なる場合があります。
- 高架道路が正しく表示されないことがあります。

ピクチャービュー



自車付近のグルメ・観光スポットを写真で表示します。弊社Webサイト「チズルとススム」から取り込んだMYツアーデータ**(P.471)**がある場合は、データ内の各スポットを写真で表示することもできます。表示中の施設は、目的地や経由地に設定することができます。
詳しくは**「ピクチャービューの表示について」(P.37)**をご覧ください。

2画面表示時の右地図を操作する

■右地図を縮小、拡大する

1 右地図をタッチし、⊖か⊕を押す



アドバイス

- 3D地図をタッチした場合は、角度調整をタッチして視点の角度を調整することもできます。(P.354)

2 戻るをタッチする

通常の2画面表示に戻ります。
しばらく操作しなくても、自動的に通常の2画面表示に戻ります。

END

■右地図の向きを変える

1 方位マークをタッチする



タッチするたびに、地図の向きが切り替わります。

END

映像画面の大きさを変更する

1 映像画面をタッチし、希望の大きさをタッチする



1/12画面



1/8画面



均等画面右



均等画面左



アドバイス

- 1/12画面と1/8画面の映像は常に右上に表示されます。
- AVを押すと、映像が全画面表示となります。元のAV2画面に戻すには、AVか を押します。

ハイウェイモードの表示について

ハイウェイモードの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- ハイウェイモード自動切替（P.352）が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 高速道路、都市高速道路、一部の有料道を走行している

以上の条件を満たしていない場合は、**「地図の表示方法を変える」（P.28）**を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



渋滞状況（赤：渋滞、オレンジ：混雑）が表示されます。

- 次の施設、前の施設をタッチすると、前後の施設情報を表示します。元に戻るには、戻るをタッチします。
- 施設名称をタッチすると、施設の種類に応じてSA/PA図、分岐図、またはETCレーン情報が表示されます。
- SA/PAをタッチすると、ルート上のサービスエリア・パーキングエリアのみの一覧が表示されます。
- 右地図は常にH-UPで表示され、スケール変更と2D/3D切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、 を押します。
- VICSの規制アイコンは、最大8個まで表示されます。

お知らせ

- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、出口までの料金は表示されません。
- オートリルート（P.356）すると、ハイウェイモードは一時的に解除されます。
- 一部の有料道、または変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引などの変則的な料金体系には対応しておりません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。
- 新直轄方式区間にも対応しています。（新直轄方式区間とは、国と地方自治体によって建設された無料の高速道路区間です。）

■SA/PA図

サービスエリアやパーキングエリアの2km手前で、施設情報が自動的に表示されます。

通常のハイウェイモード画面で、SA/PAの名称をタッチしても情報を表示することができます。

SA/PA図から通常のハイウェイモード画面に戻るには、路線図をタッチします。



SA/PA図の表示マークは、下記の通りです。

マークのデザインおよび名称などは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

- スナックコーナー
- お土産コーナー
- 休憩所
- レストラン
- ハイウェイ情報ターミナル
- スマートインターチェンジ
- インフォメーション
- FAX
- ポスト
- 障害者用トイレ
- トイレ
- 宿泊・休憩施設
- お風呂
- コインランドリー
- キャッシュディスペンサー
- シャワー
- ドッグラン
- セブンイレブン
- ファミリーマート
- サンクス
- サークルK
- ミニストップ
- デイリーヤマザキ
- ローソン
- セイコーマート
- ポプラ
- セーブオン
- マクドナルド
- ロッテリア
- モスバーガー
- 吉野家
- ミスタードーナツ
- モービル石油
- エネオス
- キグナス石油
- ゼネラル石油
- 昭和シェル石油
- 出光
- エッソ石油
- コスモ石油
- その他ガソリンスタンド

■スマートインターチェンジについて

SAやPAなどから一般道への出入りが可能なETC専用のインターチェンジをスマートインターチェンジ（スマートIC）と呼びます。

誘導をタッチして表示されるサービス情報に、スマートICのアイコン表示があればスマートICが設置されています。



お知らせ

- ETCユニットを搭載していない車両は、スマートICを通行できません。
- スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所もあります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますので、ご利用の際はご注意ください。

■分岐図

ジャンクションまたは高速道路／有料道路の出口の2km手前にさしかかると、分岐図が自動的に表示されます。分岐図が表示されるのは、目的地が設定されている場合のみです。

分岐図はあくまでもイメージであり、実際の形状とは異なる場合があります。

分岐図から通常のハイウェイモード画面に戻るには、路線をタッチします。



■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。支払いが発生する場合は、同時に料金が音声で案内されます※。

ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。



※ETC連動時（ETCユニットが接続され、かつETCカードが挿入されている状態）は料金の表示のみとなり、音声案内は行いません。

お知らせ

- ETCレーン図は、誘導画面の種類（P.40）を「拡大」に設定している場合に表示されます。
- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETCレーン図は、ETC未接続時にも表示されます。

■料金案内について



料金所がある場合に料金が表示されます。

シティモードの表示について

シティモードの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- シティモード自動切替(P.352)が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 一般道を走行している

以上の条件を満たしていない場合は、**「地図の表示方法を変える」(P.28)**を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



- 前の案内、次の案内をタッチすると、前後の案内地点の情報を表示します。元に戻るには、戻るをタッチします。
- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 右地図は常にH-UPで表示され、スケール変更と2D/3D切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、[NAVI]を押します。

スクエアビューの表示について

スクエアビューの画面は、以下の場合のみ自動的に表示されます。

- スクエアビュー自動切替(P.352)が「する」に設定されている
- 目的地が設定されている
- 対象エリアを走行している

以上の条件を満たしていない場合は、**「地図の表示方法を変える」(P.28)**を参照してVIEW選択画面から手動で表示させてください。



- 高速道路と一般道が近接している場合は、スクエアビューが表示されなかったり、走行していない道路のスクエアビューが表示される場合があります。
- スクエアビュー表示中に対象外のエリアに入ると、スクエアビューは終了します。
- 高速道路のスクエアビュー表示は、目的地が設定されている場合のみです。
- 一般道のスクエアビュー表示中は、方面看板は表示されません。
- 右地図はスケール・向き変更・2D/3Dの切り替えができます。
- 通常の地図画面に戻るには、[NAVI]を押します。

ピクチャービューの表示について

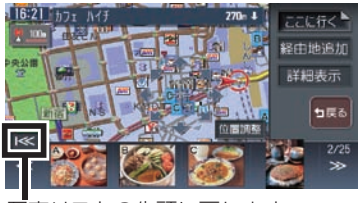
ピクチャービューモードでは、現在走行中のエリアにあるグルメスポット・観光スポット、弊社Webサイト「チズルとススム」から取り込んだスポット（MYツアーデータ）を写真付きで紹介し、そこからお好みの施設を目的地や経由地に設定することができます。

ピクチャービューは手動でのみ表示できます。詳しくは**「地図の表示方法を変える」（P.28）**をご覧ください。



- 写真リストは、自車位置に近い順に表示されます。
- 走行中、車速が一定以上になると、各施設は写真ではなくアイコンで表示されます。
- グルメ、レジャー、をタッチして、表示される施設の種類を切り替えることができます。
- ≪、≫をタッチして、前のページ、次のページを表示させることができます。
- は、本機にMYツアーデータを取り込んだ場合にのみ表示されます。MYツアーデータの取込方法については、**「MYツアーの取り込み」（P.471）**をご覧ください。
- 写真をタッチすると、その施設への地点メニューが表示されます。

▼



写真リストの先頭に戻ります。

- 地点メニューでの操作について詳しくは、**「目的地を設定したら…」（P.98）**をご覧ください。
- ここに行くをタッチすると、選択中の施設へのルートが設定されます。
- 詳細表示をタッチすると、選択中の施設の情報が表示されます。
- 経由地追加は、すでに目的地へのルートが設定されている場合にのみ表示されます。
- 位置調整をタッチすると、地図をスクロールして表示中の位置を修正することができます。
- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の右上にが表示されます。
- シティモードまたはスクエアビューに切り替えると、ピクチャービューモードは解除されます。
- 通常の地図画面に戻るには、を押します。

ルート誘導中の地図表示

目的地を設定し、ルート誘導を開始したときに表示されます。

自車位置から目的地までのルート距離
ルート外を走行中は、目的地までの直線距離が表示されます。

誘導ルート

次の案内地点情報※2
矢印は、次とその次の案内方面を示しています。
高速・有料道路を走行する場合は、入口や出口の名称と料金を表示します。



到着予想時刻※1
24時間以上かかる場合は、黄色で表示されます。
到着予想時刻は、統計渋滞情報データやビーコンVICS情報データをもとに計算されます。

目的地方向表示

※1 **「到着予想渋滞考慮」（P.356）**が「しない」に設定されていると、到着予想時刻は**「到着予想速度設定」（P.357）**で定めた平均速度で計算され、統計渋滞情報データやビーコンVICS情報データは用いられません。

※2 次の案内地点情報は、入口や出口までの距離が近いときや、案内すべき交差点が付近にある場合には表示されない場合があります。

交差点の手前で出る表示

交差点の700m手前からレーンガイド、方面看板案内を表示します。

各画面とも、案内消しをタッチすると、表示案内を消します。

レーンガイドと方面看板案内の表示／非表示を切り替えることができます。詳しくは、**「ルート案内の設定をする」（P.355）**をご覧ください。

レーンガイド



方面看板案内



レーンガイド＋方面看板案内



アドバイス

- 案内地点でない交差点でもレーンガイドが表示される場合があります。

交差点表示

ルート誘導中の交差点表示を「拡大」、「オートスケール」、「地図」から選択できます。

各画面とも、拡大消しまたはイラスト消しをタッチすると、通常の地図画面に戻ります。

「拡大」、「オートスケール」、「地図」のどのモードの場合にも、都市高速道路の入口約300m手前ではイラスト表示して案内します。（道路形状などの条件により、表示できない場合もあります。）

交差点表示の設定については、**「ルート案内の設定をする」（P.355）**をご覧ください。

■「拡大」

交差点や都市高速入口の約300m手前で、拡大して案内します。

交差点の手前



都市高速入口の手前



立体交差点の手前



複雑交差点の手前



■「オートスケール」

交差点の約300m手前で100mスケールに、約140m手前で50mスケールに変わり、表示案内します。
一部のものを除き、前ページにあるような拡大イラストは表示されません。

100mスケール



50mスケール



サイドワイド機能について



「オートスケール」誘導の場合に、進行方向上向きで地図を表示していると、約300m手前で曲がる方向を広く表示するように地図が左右に移動します（サイドワイド機能）。ただし、方面看板が表示されているときの左折案内では、地図は移動しません。

■「地図」

表示されている地図のまま表示案内します。
一部のものを除き、前ページにあるような拡大イラストは表示されません。



VICS情報画面

VICS情報とは、NHK-FMなどのFM文字多重放送を受信して表示される、交通などの情報です。
詳しくは、**「FM VICS情報を利用する」（P.123）**をご覧ください。

VICS情報が表示された地図画面

文字表示
すべてのスケールで表示します。（地域によっては、文字情報は発信されない場合があります。）



渋滞情報を線で表示
赤色：渋滞（1km以下のスケールで表示）
オレンジ色：混雑（1km以下のスケールで表示）
緑色：渋滞なし（1km以下のスケールで表示）
黄色：規制区間（1km以下のスケールで表示）

受信マーク表示
FM多重放送の情報提供時刻を表示します。
別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時は、FM多重放送またはビーコンの情報提供時刻を表示します。

駐車場表示
1km以下のスケールで表示

地図をスクロールしてカーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。



カーソルの置かれたアイコンの情報が表示されます。

VICS情報の受信マーク

FM多重放送情報　光・電波ビーコン

VICS情報のランドマーク

交通障害情報

事故　障害物・路上障害　工事　故障車
作業　凍結

交通規制情報

通行止・閉鎖　速度規制 10km/h　速度規制 20km/h　速度規制 30km/h
速度規制 40km/h　速度規制 50km/h　速度規制 60km/h　速度規制 70km/h
速度規制 80km/h　車線規制　入口制限　徐行
進入禁止　片側交互通行　対面通行　入口閉鎖
大型通行止め　チェーン規制　その他の情報・規制

駐車場情報

駐車場満車　駐車場混雑　駐車場空車　駐車場閉鎖
駐車場不明

SA/PA情報

SA/PA満車　SA/PA混雑　SA/PA空車　SA/PA閉鎖
SA/PA不明

地図凡例一覧

凡例の色は、印刷の都合上、本機で表示される色と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

市街地図凡例

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	街区(A)
	街区(B)
	街区(C)
	街区(D)
	街区(E)
	街区(F)
	水系
	高層集合住宅
	工場・銀行・ビル・タンク・舗装地・歩道橋
	トンネル出入口
	一般装飾線 道路の地下部分
	都道府県界・郡・市（指定市含む）・町・村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界
	水門
	料金所
	フェリー航路/その他旅客線航路
	砂地
	一般国道、主要地方道
	舗装地その他敷地
	病院の敷地
	学校の敷地

	工場の敷地
	駅（地上）
	官公署
	病院
	学校
	鉄道敷地
	ランプ出口
	ランプ入口
	歩道
	庭園路
	その他道路
	有料道路
	中央分離帯
	娯楽デパート
	ホテル
	植栽地
	山林
	芝生などその他緑地
	堤外地、湿地
	路線
	ビル等
	一般家屋
	一方通行

一般地図凡例1

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	高速道・有料道
	国道・高速道（無料）
	主要地方道
	都道府県道・幹線
	その他案内道
	導入路
	細街路
	フェリー航路・航路
	抜け道

	0m以上1000m未満
	1000m以上1500m未満
	1500m以上2000m未満
	2000m以上2500m未満
	2500m以上3000m未満
	3000m以上3500m未満
	3500m以上4000m未満

一般地図凡例2

凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

	水系
	公園、庭園、緑地、植栽地、山林、牧場、観光果樹園、観光牧場、観光農園
	工場の敷地、墓地、病院の敷地、その他の宗教施設、体験・学習館
	射撃場、乗馬、サイクルスポーツセンター、ゴルフ練習場、その他スポーツ施設、総合スポーツ公園、陸上競技場、野球場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート
	鉱山・砂地
	学校、テーマパーク、史跡・名勝、天然記念物、陵墓、動物園、植物園、水族館、遊園地、総合リゾート
	堤外地、湿地
	空港の敷地、民間飛行場の敷地、ヘリポートの敷地、自衛隊、米軍
	工場、鉄道、その他鉄道施設、その他施設、発電所·変電所、刑務所、研究所、浄水場·終末処理場、倉庫、公設の研究所
	その他の娯楽施設、展望台、健康ランド、ボウリング場、体育館、ヨットハーバー·マリーナ、競艇場、物産館·観光市場、専門店、市場、複合商業施設、飲食店·レストラン、ショッピングセンター、スーパー、DIY、百貨店、温泉

	公立図書館、美術館・博物館、文学館、科学館・資料館、ホール・劇場・文化施設
	都道府県庁、市役所、町村役場、区役所、青年の家、官公署、裁判所、保健所、皇室施設、その他の公共施設、公民館
	病院
	警察署
	ホテル・公共宿泊施設
	道の駅
	駅
	駐車場
	河川、沢、谷
	新幹線、JR線、第3セクター、貨物線、鉄道側線部、私鉄
	地下鉄（地上）路線、モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ
	防波堤
	国境線、都道府県界、郡・市（指定市含む）・町・村・支庁界

地図ランドマーク一覧

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

都道府県庁	企業・法人・その他公的施設・工場・研究所など	キャンプ場
市役所・区役所		スキー場
町役場・村役場・その他役所関係		総合スポーツ公園
	ホテル	美術館
官公署	公共宿泊施設	陵墓・博物館など・その他宗教施設
裁判所	デパートなど	
空港・民間飛行場	ショッピング街	図書館
ヘリポート	衣料品店	ホール
フェリー乗り場	駐車場	牧場・観光牧場
灯台	道の駅・旅の駅	競輪・競馬・競艇
港	JA	主要都市
インターチェンジ／ランプ	クラリオン関連会社	温泉
	城・城跡	銭湯
スマートインターチェンジ	寺院	公園・庭園
	神社	史跡・名勝
サービスエリア	教会	霊園・墓地
パーキングエリア	ゴルフ場	海水浴場
料金所（高速・有料道）	ゴルフ練習場	山岳
信号機	遊園地	コスモ石油
トンネル	テーマパーク	出光
関係者以外立入禁止区域	動物園	エネオス
	植物園	エッソ石油
警察署	水族館	昭和シェル石油
駐在所・交番	プール	キグナス石油
消防署	観光遊覧船乗り場	ゼネラル石油
刑務所	健康ランド	モービル石油
病院	展望台	その他ガソリンスタンド
大学	ボーリング場	ファミリーマート
短期大学	スタジアム・スポーツ施設	ローソン
高校・高専	野球場	セブンイレブン
中学校	テニスコート	サークルK
小学校	乗馬	サンクス
幼稚園	ヨットハーバー・マリーナ	ミニストップ
保育園	体育館	デイリーヤマザキ
その他学校	モータースポーツ施設	セーブオン
郵便局	サイクルスポーツセンター	セイコーマート
自衛隊	射撃場	ポプラ
米軍	その他スポーツ施設	スリーエフ

am/pm	その他カー用品店	ジャパレン
ヤマザキYショップ	りそな銀行・埼玉りそな銀行	日産レンタカー
ショップ99		バジェットレンタカー
その他コンビニエンスストア	三井住友銀行	ジャパンレンタカー
ロイヤルホスト	三菱東京UFJ銀行	トヨタレンタリース
デニーズ	みずほ銀行	その他レンタカー
ガスト	その他の金融機関	マクドナルド
ジョナサン	HondaCars	モスバーガー
バーミヤン	スバル	ケンタッキーフライドチキン
藍屋	日産	吉野家
夢庵	マツダ	ロッテリア
CASA	アンフィニ	ファーストキッチン
リンガーハット	マツダオートザム	ミスタードーナツ
COCO'S	スズキ	CoCo壱番屋
ジョイフル	いすゞ	小僧寿し
かっぱ寿司	ダイハツ	その他ファーストフード
すしおんど	トヨタ	西友
スシロー	ネッツトヨタ	ジャスコ
くら寿司	レクサス	ダイエー
その他回転寿司	三菱自動車	イトーヨーカドー(堂)
その他ファミリーレストラン	三菱ふそう	丸井
オートバックス	UDトラックス	高島屋
スーパーオートバックス	日野自動車	三越
イエローハット	フォード	パルコ
コクピット	ヤナセ	スーパー・商業施設など
タイヤ館	フォルクスワーゲン	ディスカウントストア
オートハローズ	アウディ	家電店
オートアールズ	ポルシェ	DIY
タイヤセレクト	その他カーディーラー	各種学校
ジェームス	エックスレンタカー	NTT
タイヤランド	オリックスレンタカー	結婚式場
タイヤガーデン	ニッポンレンタカー	マンション
ミスタータイヤマン	マツダレンタカー	

Memo

目的地を探す

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

目次

目的地を探すには ……50
電話番号から探す ……52
住所から探す ……53
施設の名前から探す ……56
ジャンルから探す ……57
よく行く場所を目的地にする ……59
周辺の施設を探す ……66
TV・雑誌の情報から探す ……75
履歴から探す ……79
その他の方法で探す ……80
こんな画面が表示されたら ……93

目的地を探すには

本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。

お願い

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承の上、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。

お知らせ

- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

1 を押す

2 目的地を検索する方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
電話番号	目的地の電話番号を入力して探す	P.52
住所	住所を入力して探す	P.53
施設名称 あ	行きたい施設の名称を入力して探す	P.56
ジャンル	大／中分類からジャンルを選択し、選択したジャンルに該当する施設を探す	P.57

タッチキー	検索の内容	参照ページ
	登録リストから探す	P.61
	自車位置や目的地などの周辺の施設を探す	P.66
	TV番組や雑誌で紹介されたお店などを探す	P.75
	過去に表示した地図の履歴から地点を探す	P.79
	FUN RINGメニューから目的地を探す	基本操作ガイド P.84
その他の方法	• ハイウェイから探す • 緯度経度で探す • 郵便番号で探す • マップコードで探す • メモリーカードに登録した地点から探す • メモリーカードに登録したMYスポットから探す • メモリーカードに登録したMYコースから探す • スクエアビューから探す	P.81 P.85 P.86 P.87 P.88 P.89 P.90 P.92
自宅へ戻る	自宅として登録した地点を目的地として設定する	—

アドバイス

• 走行中は、選択できる項目が限定されます。

電話番号から探す

目的地の電話番号を入力して、その番号の施設を検索できます。

お知らせ

- 携帯電話・PHSの番号は検索対象外です。
- データの整備状況により、検索できない施設やできても位置がピンポイントではない施設があります。
- ピンポイントではない施設の場合には警告音と共に「ピンポイントのデータではありません…」とメッセージが数秒表示された後、地図を表示します。その場合の地図位置はあくまでも、おおよその位置であり、施設位置とは異なりますので十分ご注意ください。
- 電話番号に該当する候補が複数検索された場合は、リストが表示されるので目的の施設を選択してください。

ここまでの操作 ▶▶▶ 電話番号

1 目的地の電話番号を市外局番から入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

■個人宅を検索する場合

- 入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
  名字とデータが一致していれば、地図と地点メニューが表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
- 個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読み方で登録されている場合があります。

住所から探す

全国の住所データから、目的地を検索できます。住所がわからない場合は、地名を文字入力して位置を検索することもできます。

お知らせ

- 住所データの整備状況により、一部検索できない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

ここまでの操作



1 目的地の都道府県をタッチする



アドバイス

- 地名を入力 をタッチして、地名から検索することもできます。
- 近隣県 をタッチすると、自車位置周辺の都道府県のみをリスト表示します。

2 市区町村、丁目、番地、号の順に選択してタッチする



NEXT

番地入力 ：番地・号を数字で直接入力できます。
入力後は 決定 をタッチしてください。

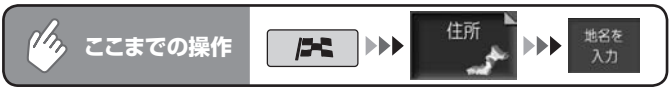
MAP ：選択した場所の地図と地点メニューが直接表示されます。
目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… **「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。**

END

地名を入力して探す

都道府県名や市町村名が分からなくても、地名から位置を検索できます。



1 地名を入力して 決定 をタッチする



地名の途中までででも検索できます。

2 目的の地名を選択してタッチする



3 番地・号をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

施設の名前から探す

行きたい施設の名称から、位置を検索できます。

アドバイス

- 施設名称の一部からでも検索できます。入力途中で検索対象が絞られた場合は、自動的に施設リストが表示されます。ただし、すべての施設を省略した名称で検索できるわけではありませんので、できるだけ正式名称で入力してください。
- 入力文字数が少ないと、対象件数が膨大となるため、入力した文字に完全に一致する施設のみがリスト表示されます。入力文字数を多くすることにより、部分一致する施設まで検索できるようになります。

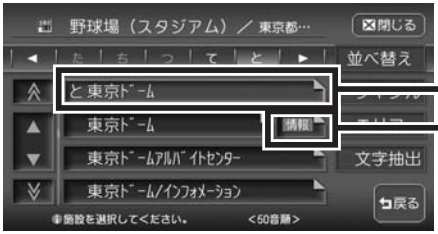
ここまでの操作 ▶▶▶ 施設名称 あ

1 施設名を入力して 決定 をタッチする



入力文字から予想される変換候補を表示します。**（基本操作ガイド P.104）**

2 目的の施設を選択してタッチする



施設に専用駐車場または契約駐車場がある場合は、施設名称の下に駐車場名が表示される場合もあります。

施設の情報が表示されます。**（P.94）**

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

ジャンルから探す

「食べる・飲む」「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択し、選択したジャンルに該当する施設が検索できます。ジャンルがよくわからない場合は、目的の施設に関連するキーワードから検索することもできます。



1 目的の施設のジャンル（大分類）を選択してタッチする



施設リストが表示されるまで、同様の手順を繰り返します。
該当件数の多いジャンルを選択した場合は、都道府県や市区町村の選択画面が表示されます。

2 目的の施設のジャンル（中分類）を選択してタッチする



小分類のジャンルのリストが表示されます。

3 目的の施設を選択してタッチする

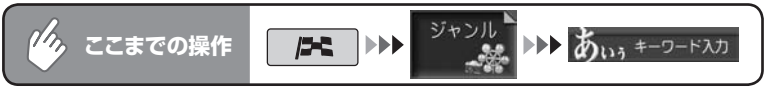
目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

キーワードを入力して探す

お好みのジャンルが見つからない場合は、キーワード入力からジャンルを特定することができます。
キーワードを入力すると、大分類、中分類、小分類に分類されていない多くのジャンルを選択することができます。



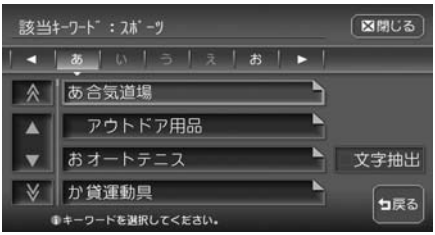
1 施設のキーワードを入力して 決定 をタッチする

キーワードの入力途中で検索対象が絞られた場合や、すべて同じ名称の場合には、入力中でも自動的にリストが表示されます。

アドバイス

- 検索の結果で、一部施設の収録件数が少ないジャンルもあります。その場合は、別の類似名称のジャンルにデータが含まれていることがあります。

2 目的のジャンルを選択してタッチする



施設リストが表示されるまで、お好みのジャンルをタッチします。

3 目的の施設を選択してタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

よく行く場所を目的地にする

登録リストに登録されている地点から、目的地を検索できます。

よく行く場所をナビに登録する

地図に表示されている場所や目的地として設定した場所を、本機に500件まで登録しておくことができます。
登録した場所は、登録リストから簡単に検索できます。また、登録リストの中から特によく行く場所を1グループにつき16か所選んで、マイリストとして保存しておくことができます。

アドバイス

- 本機内の登録地点をメモリーカードに書き出すことができます。詳しくは**「登録地点の取り込み／書き出し」(P.464)**をご覧ください。
- 目的地として設定した地点は、自動的に本機に登録されます。自動的に登録しないように設定することもできます。詳しくは、**「計算と同時に地点登録」(P.366)**をご覧ください。

登録リストに登録する

アドバイス

- 登録リストに登録された地点の名称や位置は、あとで修正することもできます。詳しくは**「登録リストを編集する」(P.62)**をご覧ください。
- 本機お買い上げ時には、一度目的地として設定した地点を自動的に登録リストへ登録する設定になっています。この設定を解除することもできます。詳しくは**「計算と同時に地点登録」(P.366)**をご覧ください。

■現在地を登録する

登録したい自車位置で、ナビゲーションコントロールバーの地点登録をタッチする



現在地が登録され、登録リストに追加されます。

■現在地以外の場所を登録する

登録したい地点の地点メニューを表示させ、地点登録をタッチする



表示中の地点が登録され、登録リストに追加されます。

マイリストに登録する

以下で説明する方法のほかに、設定メニューおよびFUN RINGメニューからも登録できます。詳しくは、**「登録地点編集」(P.366)**、**「FUN RINGを使ってみよう」(基本操作ガイド P.84)**をご覧ください。

ここまでの操作



1 登録したいグループを選択してタッチする



2 編集をタッチする



3 マイリスト登録をタッチする



4 マイリストに登録したい地点をタッチする



すでにマイリストに登録されている地点には、1～16が表示されています。

5 決定をタッチする

選択した地点がマイリストに登録されます。

アドバイス

- マイリストから目的地を探す方法については、**「マイリストから目的地を探す」(基本操作ガイド P.87)**をご覧ください。

END

登録リストから探す

ここまでの操作 ▶▶▶ 登録リスト

1 目的のグループを選択してタッチする（グループ設定時のみ）



2 目的の登録地を選択してタッチする



認識愛称が登録されている地点に表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

アドバイス

- 登録地点に電話番号が登録されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると が表示され、タッチして電話をかけることができます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

登録リストを編集する

登録リストに登録されている地点の情報を編集します。

アドバイス

・マイリストの編集方法については、**「マイリストを整理する」（基本操作ガイド P.88）**、**「マイリストアイコンを移動する」（基本操作ガイド P.89）**をご覧ください。

ここまでの操作 ▶▶▶ 登録リスト ▶▶▶ **［編集したいグループ］**※

※グループ選択時のみ

1 編集 をタッチする

2 ﾃﾞｰﾀ編集 をタッチする



3 編集したい地点をタッチする

4 目的の項目をタッチし、編集する





ｱｲｺﾝ 名称：タッチするとアイコン選択画面が表示され、選択して 決定 をタッチすると名称入力画面が表示されます。自宅の場合は、アイコンの編集はできません。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ：タッチするとグループ選択画面が表示されます。

電話番号：タッチすると電話番号入力画面が表示され、登録地点の電話番号を編集できます。

位置：タッチすると登録地点の地図が表示され、スクロールして位置を編集できます。

認識愛称：ボイスコントロール時の登録地点の呼び方を設定します。タッチすると愛称入力画面が表示されます。認識愛称として入力できる文字には制限があります。詳しくは、**「認識愛称に登録できる語句一覧」（P.535）**をご覧ください。

音声選択：車が登録地点に近づいたときの音声案内を設定します。タッチすると音声選択画面が表示されます。

画像：画像リスト**（基本操作ガイド P.114）**または地点データ画面で表示される画像を設定します。タッチするとフォルダ選択画面が表示され、希望のフォルダを選択して、設定したい画像を選択します。

5 はいをタッチする

設定が本機に登録され、地点データ画面に戻ります。

END

グループを編集する

グループ名の変更、また登録地のグループ設定／解除を行うことができます。

■グループを設定／解除する

登録地をグループに分けて管理できます。ここでは、例として「登録地の所属するグループ」を設定する方法、またグループ設定を解除する方法について説明します。

グループ設定されていない登録地は、「1：グループ1」に所属しています。

地点データ編集画面からも、同様の操作ができます。詳しくは、**「登録リストを編集する」****(P.62)**をご覧ください。

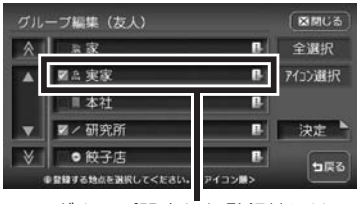
ここまでの操作

メニュー ▶ 登録リスト ▶ [設定したいグループ] ▶ 編集 ▶ グループ編集

1 設定したいグループをタッチする

登録地点リストが表示されます。

2 設定したい登録地を選択し、決定をタッチする



グループ設定した登録地には✓が表示されます。

グループ設定を解除するには、登録地点を再度タッチして✓を消します。

END

■グループ名称を変更する

グループ名称を変更できます。

お買い上げ時のグループ名称は、「グループ1～5」となっています。

ここまでの操作

メニュー ▶ 登録リスト ▶ [設定したいグループ] ▶ 編集 ▶ グループ編集

1 名称変更をタッチする

2 名称を変更したいグループをタッチする



3 変更したいグループ名称を入力し、決定をタッチする

メッセージ画面が表示され、グループ編集画面に戻ります。

END

登録リストから地点を削除する

登録リストに登録されている地点の情報を削除します。

ここまでの操作



1 地点削除 をタッチする

2 削除したい地点をタッチして選択する

地点は複数選択できます。

3 決定 をタッチする

4 はい をタッチする

選択した地点が削除されます。

▶ END ◀

周辺の施設を探す

自車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。走行中も操作はできますが、検索された施設を目的地として設定することはできません。

ここまでの操作



または

ナビゲーションコントロールバーの 周辺検索

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
お好み一括	お好み最短リスト（P.68）に登録されているすべてのジャンルの施設を、自車周辺で一括して探す	P.67
お好み最短	お好み最短リスト（P.68）に登録されているジャンルの施設を、ジャンルごとに探す	P.69
自車周辺	自車、目的地、地図をスクロールさせた表示先周辺の施設をジャンルごとに探す	P.70
目的地周辺		
表示先周辺		
駐車場ニアピン	目的地に最も近い駐車場を探す	P.71
駐車場リレー検索	目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合、その周辺の他の駐車場を探す	P.72

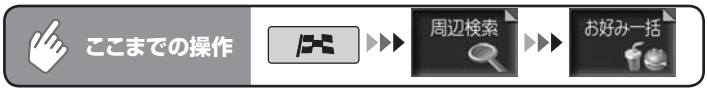
タッチキー	検索の内容	参照ページ
	目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定する	P.73

アドバイス

- 目的地が設定されていない場合は、周辺検索メニューで選択できる項目は限定されます。
- 走行中はナビゲーションコントロールバーの周辺検索から「お好み検索」の各アイコンのみ選択できます。アイコン選択時は検索した施設を地図上に表示します。

よく使うジャンルの施設を一括検索する

よく使うジャンルをお好み最短リストに登録しておくと、そのすべてのジャンルの施設を一括して周辺検索できます。検索できるのは、周辺10km以内の地域で1ジャンルにつき5件までです。お好み最短リストに登録されているジャンルは、追加および変更ができます。詳しくは、**「よく使う周辺施設検索のジャンルを本機に登録する」（P.68）**をご覧ください。



1 行きたい施設のジャンルをタッチする



ジャンルのキーをタッチすると、次の候補施設が表示されます。周辺に対象施設がないときは、そのジャンルはリストに表示されません。

現在地と選択した施設が表示されるスケールで、地図が表示されます。
地図は北方向上向きで表示され、スクロールおよび向きの変更はできません。

2 施設の場所を確認して、決定をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… **「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。**

END

よく使う周辺施設検索のジャンルを本機に登録する

よく検索する周辺施設検索のジャンルを、5つまで本機に登録しておくことができます。

コンビニやガソリンスタンドでは、店名まで指定して登録することもできます。

ここまでの操作



1 お好み変更をタッチする

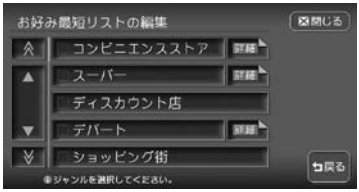
2 登録したいお好み番号をタッチする



登録済みの番号を選択すると、現在の設定に上書きされます。

3 登録したいジャンル（大分類）をタッチする

4 目的の項目をタッチする



選択した項目を登録する場合は、手順7へ進みます。

5 店名を指定する場合は、詳細をタッチする

6 お好みの店名をタッチする

7 決定をタッチする

選択した項目がお好み最短リストに登録され、周辺検索メニューにアイコンが表示されます。

END

■登録したジャンルを削除する

ここまでの操作

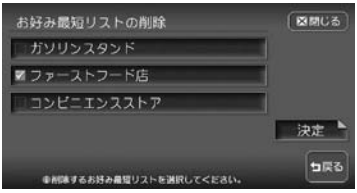
周辺検索 ▶ お好み変更

または

周辺検索 ▶ お好み変更

1 お好み削除をタッチする

2 削除する項目をタッチし、決定をタッチする



全ての項目を削除することはできません。少なくとも1つは項目を残してください。

3 はいをタッチする

選択した項目がお好み最短リストから削除されます。

END

お好みのジャンル施設を周辺から探す

お好み最短リストに登録されたジャンルで、ジャンルごとに現在地周辺の施設を検索することもできます。この場合は、周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を検索できます。

アドバイス

- 目的地周辺検索・表示先周辺検索・ルートサイド検索でも同様の操作ができます。

ここまでの操作



1 お好み最短リストアイコンから行きたい施設ジャンルのアイコンをタッチする



2 施設リストから行きたい施設をタッチする

3 施設の場所を確認して、決定をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

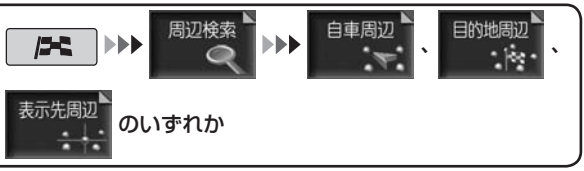
「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

現在地・目的地・地図表示位置の周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。自車・目的地周辺では、周辺100km以内の施設を、最大100件まで検索できます。

ここまでの操作



1 目的の施設のジャンルを選択してタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設を選択してタッチする



※画面は自車周辺検索の場合です。

選択中の施設名、自車位置からの距離と方向が表示されます。

自車位置と選択した施設が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする



リスト上の前後の施設を表示します。

施設の情報を表示します。
選択した施設によっては、表示されないことがあります。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

目的地周辺の駐車場を探す（駐車場ニアピン）

目的地に最も近い駐車場を行き先に設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を、最大10件まで検索できます。目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

ここまでの操作

周辺検索 ▶▶▶ 駐車場ニアピン または

地点メニューの P

1 行きたい駐車場を選択してタッチする



駐車場の情報を表示します。

選択中の駐車場名、目的地からの距離が表示されます。

自車位置と選択した駐車場を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

選択した駐車場までのルートが設定され、目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。



駐車場（白い旗）

目的地（黄色い旗）

P60は、コインパーキングの表示です。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）

ジャンル検索、お好み最短検索、駐車場ニアピンで目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合に、その周辺の別の駐車場を探すことができます。
ルートガイド終了時、またはルート外で目的地に約300mまで近づいたときに操作できます。

お知らせ

- 以下の場合には、駐車場リレー検索は解除されます。
  目的地を解除または変更した場合
  他の駐車場が表示されている状態で、車のエンジンスイッチを切った場合
  一度目的地に近づいてから1ｋｍ以上離れた場合
- 目的地周辺に他の駐車場がなく、駐車場ニアピンで検索した場合、この操作はできません。

1 目的地到着後、他の駐車場をタッチする

周辺の駐車場が地図上に10件まで表示されます。



目的地周辺に駐車場が1件しかない場合は表示されません。

2 行きたい駐車場を選択し、決定をタッチする

選択した駐車場までのルートが設定され、目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。

アドバイス

- 一度行った駐車場は、アイコンが水色からグレーに変わって区別されます。ただし、目的地解除またはエンジンを切ることにより、区別は解除されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。
目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

お知らせ

- 立寄地は、目的地までのルート沿いにある施設です。経由地としては設定されません。
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 周辺検索 ▶▶▶ ルートサイド

1 ジャンルを選択してタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設を選択してタッチする



自車位置と選択した施設を入れた地図が表示されます。

施設名称、自車位置からの距離、道路に対しての施設の位置（右または左）が表示されます。

3 場所を確認して 立寄地に設定 をタッチする



リスト上の前後の施設を表示します。

施設の情報を表示します。

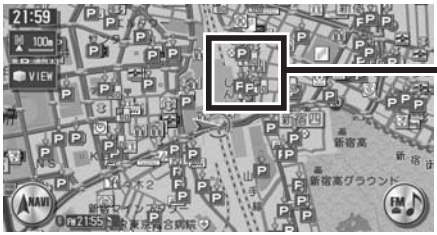
ルート案内を開始すると、立ち寄る施設に「立寄地点」と表示されたマークが点灯し、約300m以内に近づくと、効果音で案内します。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

検索アイコンについて

検索アイコンは、周辺検索で検索した施設のアイコンの上に矢印が付いたもので、500m以下のスケールで表示されます。



検索アイコンを消すには

周辺検索メニューの 検索アイコン消去 をタッチします。



TV・雑誌の情報から探す

TV番組や雑誌で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV・雑誌の情報を更新するには、**「TV・雑誌情報の取り込み」（P.466）**をご覧ください。

お知らせ

- メディアで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組・雑誌は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

ここまでの操作 ▶▶▶ TV・雑誌

1 検索方法を選択してタッチする

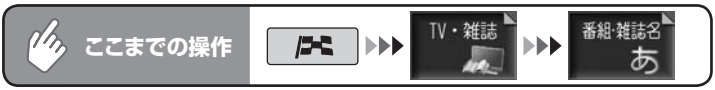


以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
番組・雑誌名 あ	TV番組・雑誌の名前から施設を探す	P.76
ジャンル	「食べる・飲む」「遊ぶ・見る」「泊まる」「買う」の4つのジャンルから探す	P.77
周辺検索	自車、目的地周辺および地図をスクロールした表示先周辺にある施設を、ジャンルから探す	P.78

TV番組・雑誌の名前から探す

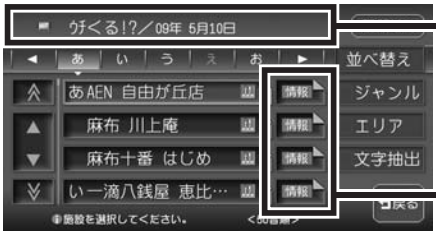
目的の施設がどのTV番組・雑誌などで紹介されたかわかっている場合の検索方法です。



1 目的の番組または雑誌名をタッチする



2 目的の施設をタッチする



紹介された番組・雑誌名、放送日または発売日が表示されます。
番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。

施設の情報を表示します。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

アドバイス

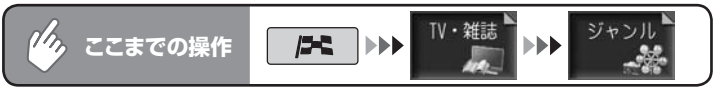
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。
  : 食べる・飲む : 遊ぶ・見る : 泊まる : 買う

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

ジャンルから探す

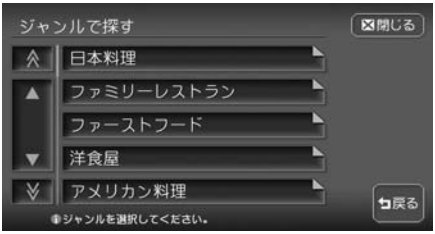
目的の施設を、ジャンルから検索します。
ジャンルは、大きく分けて「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。



1 目的のジャンルをタッチする



2 目的の詳細ジャンルをタッチする



3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。



1 自車周辺、目的地周辺または表示先周辺をタッチする

2 目的のジャンルをタッチする



詳細ジャンルリストから絞り込めます。

自車周辺、目的地周辺または地図をスクロールした表示先周辺の施設が検索され、結果がリスト表示されます。

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

履歴から探す

過去に設定した目的地の一覧から、目的地を検索できます。

お知らせ

・ピクチャービューモードで設定した目的地は、履歴には登録されません。

ここまでの操作 ▶▶▶ 履歴

1 目的の地点を選択してタッチする



削除画面が表示され、削除する地図を選択できます。

選択した地図と地点メニューが表示されます。
ここで表示される地点メニューには、地点登録は表示されません。

次の操作は…「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

その他の方法で探す

緯度・経度や郵便番号を入力して目的地を検索することができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	機能の内容	参照ページ
ハイウェイ	サービスエリア、高速道路の入口・出口などを探す	P.81
緯度・経度	目的地の緯度・経度を入力して探す	P.85
郵便番号	目的地の郵便番号を入力して探す	P.86
ﾏｯﾌﾟｺｰﾄﾞ	目的地のマップコードを入力して探す	P.87
ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞから	メモリーカード内の登録地を目的地に設定する	P.88
MYスポット	メモリーカード内のMYスポットを目的地に設定する(*)	P.89
MYコース	メモリーカード内のMYコースを目的地へのコースとして設定する(*)	P.90
ｽｸｴｱﾋﾞｭｰ	スクエアビュー表示が可能な施設を目的地に設定する	P.92

(*) 本機はドライブをもっとわくわくさせる地図コミュニティサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）に対応しています。

ハイウェイから探す

サービスエリア、高速道路の入口・出口などの施設を目的地として設定できます。

お知らせ

- この方法で目的地検索を行うと、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整していただくようお願いいたします。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ ハイウェイ

1 検索方法を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	検索の内容	参照ページ
道路別	道路名からハイウェイの施設を探す	P.82
最寄の入口	自車位置から一番近いハイウェイの入口を探す	P.83
目的地周辺施設	設定した目的地の周辺にあるハイウェイの出口を探す	P.83
文字入力 あ	施設の名称を文字入力して、ハイウェイの施設を探す	P.84

道路名から探す

ハイウェイの施設を道路名や路線図から検索して、目的地として設定できます。

ここまでの操作



1 目的の道路の種類を選択してタッチする



自車位置周辺の都道府県に施設がある道路に限定して検索を行います。

路線のリストが表示されます。

※ 高速道路 をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が検索される場合があります。

2 目的の路線を選択してタッチする



選択した路線の施設リストが表示されます。

3 目的の施設をタッチする



料金やサービス内容などの情報が表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

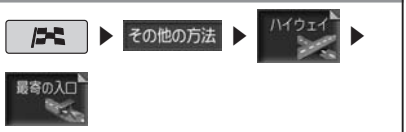
「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

最寄りの入口から探す

自車位置から近い順にハイウェイの入口を検索して、目的地として設定できます。

ここまでの操作



1 行きたい最寄りの入口を選択してタッチする



路線選択 ： 検索する路線を絞り込めます。

文字抽出 ： 名称を入力して絞り込めます。

900m ： 自車位置からの距離、方向が表示されます。

自車位置と選択した入口を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

目的地周辺の施設を探す

目的地から近い順にハイウェイの出口を検索して、目的地として設定できます。

目的地が設定されていないとこの操作はできません。

ここまでの操作



1 目的の施設を選択してタッチする

目的地と選択した出口を入れた地図が表示されます。

2 場所を確認して、決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

施設名称を入力して探す

ハイウェイの施設名を入力して、目的地として設定できます。

ここまでの操作



1 行きたい施設名を入力して 決定 をタッチする

2 目的の施設を選択してタッチする



選択施設の道路名が表示されます。

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は…

「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

緯度経度で探す

目的地の緯度・経度を入力して検索できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ 緯度・経度

1 目的の場所の緯度経度を入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

郵便番号で探す

目的地の郵便番号を入力して検索できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ 郵便番号

1 目的の場所の郵便番号を入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

お知らせ

- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて入力画面に戻ります。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

マップコードで探す

行きたい場所のマップコードを入力して、目的地として設定することができます。マップコードは、出版物などで調べることができます。

アドバイス

- マップコードとは地点を表わすコードで、6～ 12桁の数字と＊で構成されています。6～ 10桁のコードを標準マップコード、12桁のコードを高精度マップコードと呼び、場所を表わす精度が異なっています。本機は、どちらのマップコードにも対応しています。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ マップコード

1 目的の場所のマップコードを入力して 決定 をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

マップコードに関するお問い合わせ先

ホームページ

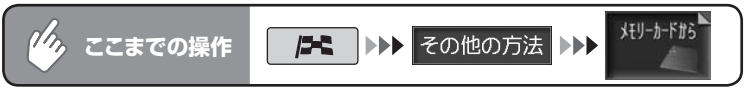
http://guide2.e-mapcode.com/

電話0566-61-4210

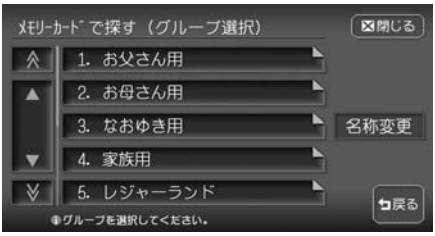
（株式会社デンソー MCプロジェクト）

メモリーカードに登録した地点から探す

メモリーカードに取り込んだ登録地点を目的地として設定できます。
メモリーカードの操作について、詳しくは**「メモリーカードを使う（別売）」（P.450）**をご覧ください。



1 目的の登録地点が含まれているグループをタッチする



2 目的地にしたい登録地点をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

メモリーカードに登録したMYスポットから探す

弊社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）では、お好みのスポット（位置情報）をメモリーカードに保存できます。これを「MYスポット」と呼びます。MYスポットを利用してルートを設定できます。
メモリーカードの操作について、詳しくは**「メモリーカードを使う（別売）」（P.450）**をご覧ください。

お知らせ

- あらかじめ、メモリーカードにMYスポットを保存しておく必要があります。MYスポットの保存・取り込み方法については、**「MYスポットの取り込み／書き出し」（P.469）**をご覧ください。

アドバイス

- メモリーカードに保存できるMYスポットは最大550件です。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ MYスポット

1 目的のMYスポットをタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

メモリーカードに登録したMYコースから探す

弊社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）では、お好みのスポット（位置情報）を目的地、経由地に指定してドライブコースを作成できます。作成したドライブコースは、メモリーカードに保存できます。これを「MYコース」と呼びます。MYコースを利用してルートを設定できます。

メモリーカードの操作について、詳しくは**「メモリーカードを使う（別売）」（P.450）**をご覧ください。

お知らせ

- あらかじめ、メモリーカードにMYコースを保存しておく必要があります。MYコースの保存・取り込み方法については、**「MYコース用ファイルの保存方法について」（P.91）**をご覧ください。

アドバイス

- MYコースの作成方法について詳しくは上記Webサイトをご覧ください。
- MYコースで作成したルート・所要時間・渋滞情報はWebの検索結果とは異なります。
- 出発地はMYコースデータとして書き出せません。

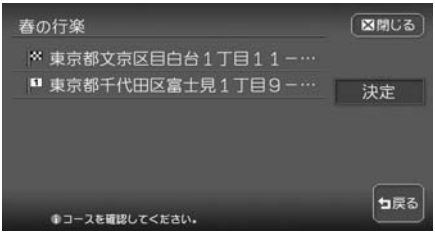
ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ MYコース

1 目的のMYコースをタッチする



経由地、目的地を確認できます。

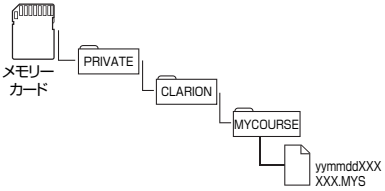
2 決定をタッチする



ルートを設定するための計算条件画面が表示されます。

MYコース用ファイルの保存方法について

「チズルとススム」からMYコースを取り込むには、つぎの図のようなイメージでファイルが保存されている必要があります。



⚠注意

- 1つのSDカードを複数のクラリオン製のナビゲーションで使用した場合、MYコースの取り込みができないことがあります。
  MYコースは、弊社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）で登録を行ったナビゲーションにのみ取り込むことができますので、「チズルとススム」で取り込むナビゲーションの情報を正しく登録してください。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」（P.98）をご覧ください。

END

スクエアビューから探す

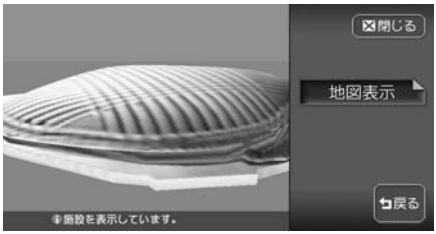
スクエアビュー画面を表示して目的地として設定できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ その他の方法 ▶▶▶ スクエアビュー

1 目的の施設を選択してタッチする



2 地図表示をタッチする



目的地の地図と地点メニューが表示されます。

次の操作は… 「目的地を設定したら…」(P.98) をご覧ください。

END

こんな画面が表示されたら

検索結果画面表示について

施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」

→ピンポイントで地点を検索できなかった場合のメッセージです。正確な位置ではありませんので、施設位置をご確認の上、位置調整をしてください。

「施設入口地点を表示します。」

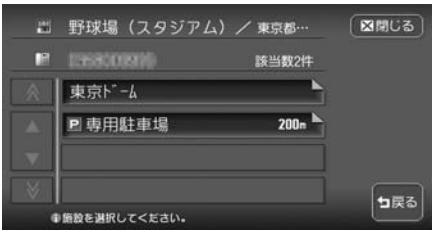
→通常表示される検索位置は施設の中心ですが、このメッセージが表示されるときは、施設の入口地点が画面に表示されています。そのまま目的地として設定すると、施設入口まで誘導されます。（ただし、誘導された場所に駐車場などがあるとは限りませんので、ご注意ください。）

「経路誘導に最適な地点を表示します。」

→目的地が山の上など誘導に適さない場所にある場合、このメッセージが表示され、車で行ける最適な位置が画面に表示されます。
目的地と誘導地点が離れている場合は、誘導地点が地図画面の中心に表示され、目的地は黄色の旗で表わされます。



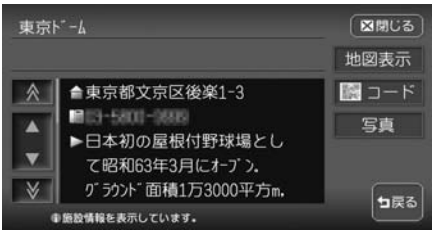
専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図を表示します。駐車場を選択した場合は、中心位置に駐車場地点が、目的地施設の地点に黄色の旗が表示されます。



施設情報について

施設リスト画面で情報が表示されている施設には、住所や電話番号などの施設情報が登録されています。

情報をタッチすると、施設情報画面が表示されます。



：電話番号が登録されているときBluetooth対応携帯電話を接続すると、タッチして電話をかけることができます。詳しくは、**「電話を利用する」（P.151）**をご覧ください。

地図表示 ：施設の地図と地点メニューが表示されます。

コード ：QRコードが表示されます。QRコードを利用して、施設の情報を携帯電話で確認することができます。詳しくは、**「マップクリップを利用する」（P.95）**をご覧ください。

写真 ：施設の写真が表示されます。

マップクリップを利用する

施設情報画面の2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で撮影して、本機で見ていた地図を引き続き携帯電話で見ることができます。

お知らせ

- 「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話でご利用いただけます。2次元バーコードの読み取りに対応していない機種もございます。ご了承ください。
- 「マップクリップ」は、予告なくサービスが変更、中断、中止される場合があります。
- 携帯電話での地図表示サービスは、下記のとおりです。

  ドコモ：iMapFan ／月額315円（税込）

  au：ケータイ地図 MapFan ／月額315円（税込）

  ソフトバンク：ケータイ地図 MapFan ／月額315円（税込）

  iMapFan、ケータイ地図MapFan会員の方は、読み取った地図の縮尺変更や移動など、1画面分を超える範囲を見ることができます。また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- 2次元バーコードで読み取った地図は、1画面のみ閲覧無料です。通信費、パケット料はお客様負担となります。

ここまでの操作　施設リスト画面の 情報 ▶▶▶ コード

1 地図情報または ガイド情報 をタッチする



QRコードが縮小表示されます。
QRコードのサイズはお手持ちの携帯電話に合わせて設定してください。

地図情報：施設の地図情報を携帯電話に表示します。
ガイド情報：施設のガイド情報を携帯電話に表示します。

2 QRコードを読み取る

コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

END

Memo

ルートの設定と誘導

目的地までの行き方や計算方法を設定する、便利な誘導の機能を説明します。

目次

目的地を設定したら… ……98
設定したルートを変更する …… 100
ルート上の情報を表示する …… 117

目的地を設定したら…

目的地を探したら、そこに行くまでのルートを設定します。
現在の計算条件でルートを設定する方法、計算条件を変更してからルートを設定する方法の2つがあります。
目的地を探す方法について詳しくは、**「目的地を探す」（P.49）**をご覧ください。

⚠警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

1 地点メニューの 計算条件 をタッチする



現在の計算条件が表示されます。

計算条件画面が表示されます。

お知らせ

- 計算条件を変更せずにルートを設定する場合は、ここに行くをタッチします。

2 ルートを設定するための計算条件を選択してタッチする



設定項目については、**「ルートの優先路・計算条件を変える」（P.105）**をご覧ください。

3 計算 をタッチする

設定した計算条件で、目的地までのルートが設定されます。



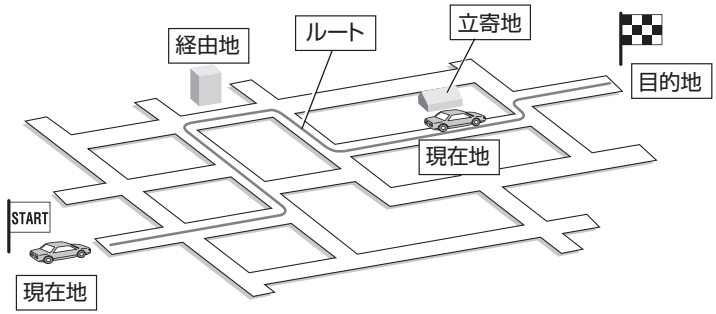
音声案内地点には、旗のアイコンが表示されます。

- （青）：通常道路での右左折案内
- （紫）：細街路での右左折案内
- （黄緑）：走行レーンの案内

車をルートに従って走らせると、ルート誘導が開始されます。
目的地に到着すると、自動的にルート誘導が終了します。
ルート誘導終了時には、目的地あるいはルートの終端の約30m手前で音声案内が流れます。

アドバイス

- 本機では、ルート設定と誘導の説明に以下の用語を使用しています。



現在地…現在、自車がいる場所を指します。走行に伴って現在地は移動します。
経由地…目的地以外に、経由したい場所を指します。(P.109)
立寄地…ルート沿いにある場所に立ち寄りたいときに指定できます。経由地とは異なり、ルート上の地点としては設定できません。(P.73)

END

設定したルートを変更する

1 ナビゲーションコントロールメニューのルートをタッチする

2 希望の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
再計算	現在の計算条件で、ルートを再設定する	P.101
有料優先計算	有料道を優先して、ルートを再設定する	P.101
一般優先計算	一般道を優先して、ルートを再設定する	P.101
迂回計算	渋滞など、現在地から10km以内の避けたい場所を迂回するルートを設定する	P.102
複数計算	計算条件を変えて、最大8つのルートを表示する	P.103
計算条件	設定したルートの計算条件を変更する	P.105
ルート編集	経由地の追加や削除、目的地の位置の修正をする	P.108
経由地削除	経由地を削除する (※)	P.111
出発時刻指定	出発予定時刻を含めた前後2時間の出発時刻から、ルートと到着予想時刻を比較する	P.112

※経由地を設定したルートを走行中に表示されます。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
ルート確認	設定したルート上を、画面上で移動しながら確認する 現在地から目的地までのルートを全体表示する	P.113
走行デモ	設定したルート上をデモ走行する	P.114
目的地解除	設定した目的地を解除する	P.114
オンライン探索	Bluetooth対応携帯電話で取得した交通情報をもとに、最速ルートを計算する	P.115

ルートを再設定する

設定したルートを、お好みの条件で計算し直すことができます。

計算条件を変えずに再設定する



現在の条件でルートを再計算します。

END

優先路を変更して再設定する

オートリルート機能が「しない」の時にルートを間違えてしまった場合、優先的に走行するルートを選択して再計算します。ルート誘導中に優先路を変更することもできます。
オートリルートの設定について詳しくは、**「ルート案内の設定をする」（P.355）**をご覧ください。



選択した道路を優先してルートを再計算します。

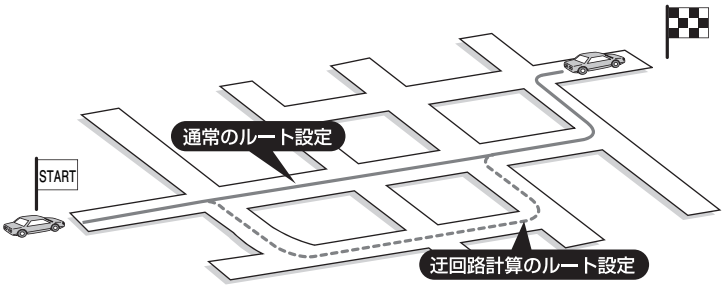
END

迂回したい場所を設定する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルート（現在地から10km以内）を再計算します。

お知らせ

- 別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、あらかじめ渋滞考慮計算を適用しておくと、ビーコンからのVICS渋滞情報を考慮した迂回ルートが設定されます。渋滞考慮計算の設定については、**「VICS情報の設定をする」（P.361）**をご覧ください。



ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 迂回計算

迂回するルートの再計算をはじめます。

END

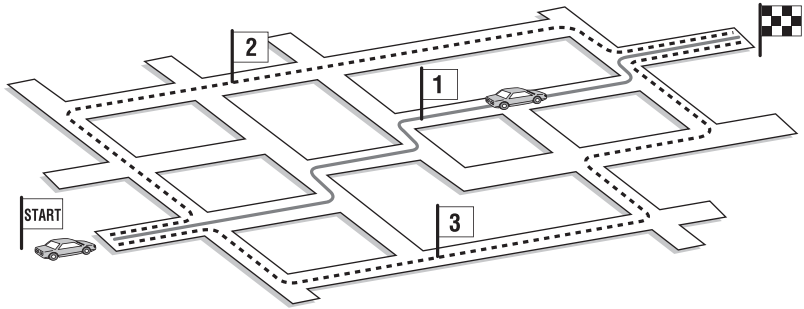
複数のルートを比べる

計算条件を変えて、最大で8つのルートを計算します。ただし、目的地の位置によっては、8つのルートを表示できない場合があります。また、8つのルートの一部が同じルートになる場合もあります。

お知らせ

- 経由地を設定している場合は、複数ルートの計算はできません。
- 料金表示は、一部の有料道や変則的な料金体系の高速道には対応していない場合があります。このため、表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

1：有料道、標準
2：一般道、標準
3：有料道、標準2（1の別ルート）
4：一般道、標準2（2の別ルート）
5：有料道、距離優先
6：一般道、距離優先
7：有料道、統計渋滞考慮
8：一般道、統計渋滞考慮



NEXT

ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 複数計算 、または地点メニューの 複数計算

アドバイス

・地点メニューでは、目的地までのルートを設定していなくても、複数ルートの計算をすることができます。

1 希望のルートを選択してタッチする



各ルートには、総走行距離と料金が表示されます。実際の料金が表示より多い可能性がある場合は、「￥○○以上」と表示されます。

選択したルートの色が前面に表示されます。

2 決定をタッチする

3 ルートを確認して案内開始をタッチする



計算したルートは、重なって表示される場合があります。

手順2の画面に戻って他のルートを選択できます。

選択したルートが設定されます。

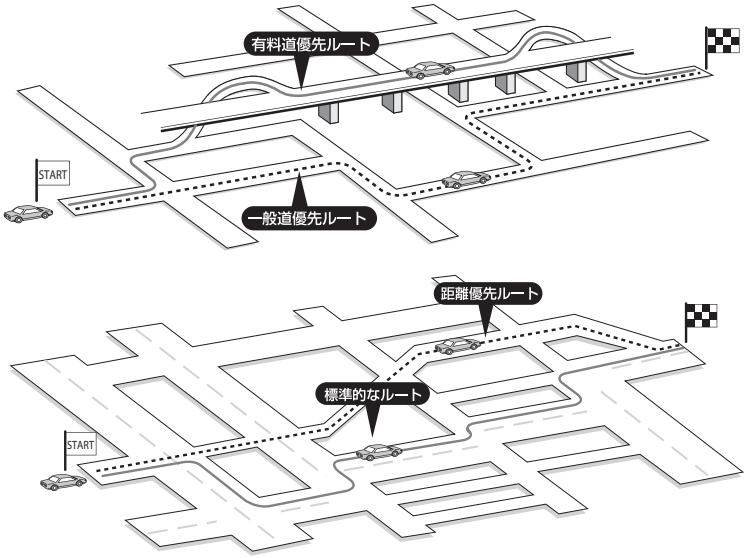
アドバイス

・地図の縮小／拡大やスクロールで、ルートを確認できます。

END

ルートの優先路・計算条件を変える

有料道路と一般道路のどちらを優先とするか、また計算の詳細な条件を設定します。



ここまでの操作 ルート ▶▶▶ 計算条件

1 優先路、計算条件を選択してタッチする



NEXT

設定項目	設定の内容	設定値
優先路	有料道路と一般道路のどちらを優先するかを設定します。	有料優先 一般優先
有料条件	[優先路]で「有料優先」を選択した場合の詳細な計算条件を設定します。	**標準**：標準条件 **距離優先**：距離を優先 **統計渋滞考慮**：渋滞の統計データ※1を利用して計算
一般条件	[優先路]で「一般優先」を選択した場合の詳細な計算条件を設定します。	
渋滞考慮※2	Bluetooth対応携帯電話で受信した交通情報やビーコンVICS渋滞情報を考慮してルート計算するかどうかを設定します。	利用する 利用しない
スマートIC	利用できるスマートIC（SAやPAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ）を考慮してルート計算するかどうかを設定します。※3	利用する 利用しない

※1 渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。（スマートICの営業時間や営業期間は統計処理されません）

※2 渋滞情報を考慮するには、オンラインで交通情報を受信しているか、VICS光・電波ビーコンユニットが接続されている必要があります。

※3 スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート計算は行っていません。あくまで利用可能なスマートICを考慮したルートを計算するかどうかの設定となるので、ご利用の際はご注意ください。

2 計算 をタッチする

変更した条件でルートが再計算されます。

お知らせ

- 有料優先 を選択しても、有料道を使用しないルートを設定する場合があります。また、一般優先 を選択しても有料道を使用するルートを設定する場合があります。
- 道路状況によっては、計算条件を変更しても同じルートになる場合があります。また、どの計算条件でも、道路状況によっては設定どおりのルートを計算できない場合があります。
- 有料条件／一般条件で 統計渋滞考慮 を選択した場合の到着予想時刻は、 統計渋滞考慮 以外を選択した場合の到着予想時刻より遅くなることがあります。
- 自車位置が有料道路上にある場合、または近くに有料道路がある場合は、一般道路と有料道路のどちらを走行しているかを確認する画面が表示されます。走行している道路のキーをタッチすると、その条件で計算されます。
- スマートICはETCユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- 計算条件画面でスマートICを「利用する」に設定した場合に、スマートICを含むルートの計算を行うと、スマートICを利用するかどうかの確認画面が表示されます。営業時間を確認して、はい または いいえ を選択してください。

⚠注意

- スマートICには、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。また、社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。

END

経由地ごとに優先路を設定する

経由地を設定した場合は、区間ごとに優先路を設定できます。

経由地の設定については、「経由地を追加する」（P.109）をご覧ください。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 計算条件

1 ［区間設定］の する をタッチする



2 経由地ごとの優先路を設定する



3 決定 をタッチする

4 計算 をタッチする

設定した条件でルートが再計算されます。

END

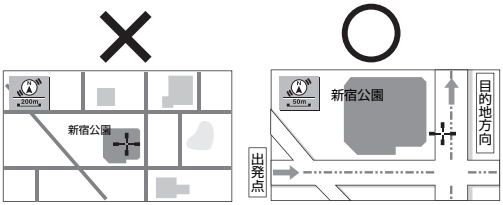
設定したルートを編集する

設定したルート上に寄り道したい場所を追加したり、目的地の位置を修正したりすることができます。

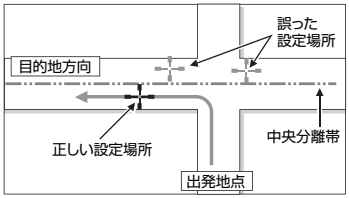
経由地は正しく設定されていないと、経由地に到達しないことがあります。以下のことにご注意ください。

1 経由地は、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

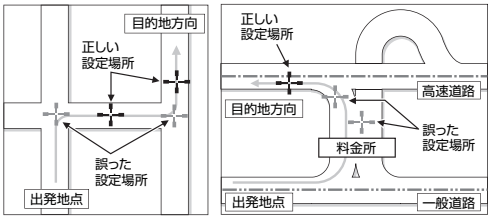
2 施設を経由地に設定すると、近くの経路対象道路を通るルートとなります。経由地に行く道路が細街路の場合は、近くの経路対象道路を通るルートとなります。



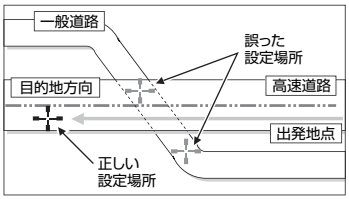
3 上下線や一方通行路は、車線を正確に設定してください。



4 交差点やインターチェンジなどには設定しないでください。目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。



5 高速道と一般道が交差している場所や、高速道が一般道上に高架になっている道路には設定しないでください。



お知らせ

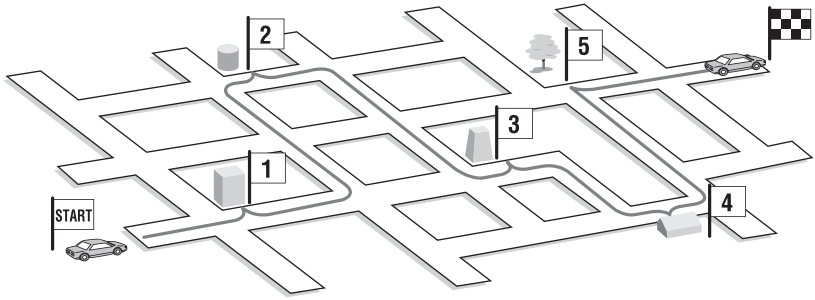
- 経由地を通過しないで先に進んだ場合、通らなかった経由地に向かってルートを設定し直すことがあります。
- ルート編集後に計算条件画面で 計算 をタッチせずに終了すると、設定済みのルートは計算されず、ルート誘導を開始しません。

経由地を追加する

最大で5つまでの経由地を設定できます。

お知らせ

- 経由地を設定すると、複数ルートの計算および到着予想時刻の比較はできません。



ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

または地点メニューの 経由地追加

1 地点追加 をタッチする



1つめの経由地を設定するときは、経由地の探しかたを選択する画面が表示されます。
2つめ以降の経由地を設定する場合は、手順2の経由地追加画面が表示されます。

2 経由地を追加したい順序の ◂追加 をタッチする



3 経由地を探す

探し方は、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」(P.49)**をご覧ください。
ルート編集画面に戻り、指定した場所に経由地が追加されます。

NEXT

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地を含む新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

経由地の順序を並べ替える

設定した経由地を経由する順序を並べ替えます。
経由地が2ヶ所以上設定されている場合にのみ操作できます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 地点並替 をタッチする

経由地並替画面が表示されます。

2 順序を変えたい地点をタッチする

3 地点を移動したい順序にある ◀移動 をタッチする



4 決定 をタッチする

5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地の順序を変更した新たなルートが設定されます。

▶ END ◀

目的地や経由地の位置を修正する

目的地や経由地の位置を修正できます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 位置を修正したい地点をタッチする

2 修正する方法を選択してタッチする



位置調整 :
タッチすると地図画面が表示され、スクロールして位置を修正することができます。

検索から変更 :
目的地検索と同様の方法で位置を修正します。

3 地図をスクロールして位置を修正し、決定をタッチする

4 決定をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算をタッチする

位置を修正した新たなルートが設定されます。

END

経由地を削除する

設定した経由地を削除します。削除後は、新たなルートが設定されます。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

1 地点削除をタッチする

2 削除したい地点をタッチする

3 決定をタッチする

4 はいをタッチする

5 決定をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算をタッチする

経由地を削除した新たなルートが設定されます。

END

出発時刻ごとのルートを表示する

お知らせ

・経由地が設定されている場合は、この操作はできません。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 出発時刻指定

1 出発日時、時刻を入力して 決定 をタッチする



入力した時間と、その1時間／2時間前後に出発した場合の到着予想時刻・総走行距離がリスト表示されます。

2 ルートを表示したい時間をタッチする



選択したルートが表示されます。

3 案内開始 をタッチする



リストに戻って他のルートを選択できます。

表示中のルートが設定され、ルート誘導が始まります。

END

ルートを確認する

設定したルートを、走行する前に確認できます。

設定したルートを確認する

お知らせ

- 走行中は確認できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。
- スクロール地図では、ルートの確認はできません。
- 3D地図表示時は、自動的に2D地図に切り替わってルート確認に入ります。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

ルート確認画面が表示されます。



スクエアビュー：
スクエアビュー表示（対象地域内の場合）でルートを確認できます。

自動後退 自動前進：
ルートを自動的に前進または後退します。止めるときは、解除をタッチします。

左回転 右回転：
スクエアビュー表示を、左回転または右回転します。

後退 前進：
タッチしている間、ルート上を前進または後退します。

アドバイス

- 走行を始めると、ルート確認は解除されます。
- 自動前進（自動後退）時は、通常のスケール変更はできますが、詳細スケール調整はできません。

END

設定したルートを全体表示する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認 ▶ 全ルート表示

現在地から目的地までの全ルートが表示されます。
全ルート表示画面では、地図のスクロール、広域、詳細切り替えを行うことができます。



END

設定したルート上をデモ走行する

お知らせ

- 走行中はデモ走行できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 走行デモ

デモ走行が自動的に始まります。
デモ走行中にも、地図スクロールやメニュー操作などを行うことができます。



デモ走行が解除されます。

アドバイス

- 走行を始めると、デモ走行は解除されます。
- 再度 走行デモ をタッチしても、デモ走行は解除されます。

END

設定したルートを削除する

お知らせ

- 目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

ここまでの操作　ルート ▶▶▶ 目的地解除 、または ▶▶▶ 目的地解除

1 確認画面で はい をタッチする

目的地の設定が解除され、現在地画面が表示されます。

END

最速のルートを探す

オンライン（P.168）で受信した交通情報をもとに、目的地までのオンライン（最速）ルートを探すことができます。

お知らせ

- Bluetooth対応携帯電話の接続が必要です。詳しくは、**「携帯電話を登録する（ペアリング）」（P.152）**をご覧ください。
- オンラインについて、詳しくは**「携帯電話から交通情報を受信する （オンライン）」（P.168）**をご覧ください。

ここまでの操作　ルート

1 オンライン探索 をタッチする

交通情報が受信されます。走行中のルートよりも早く到着するルートが探索された場合は、新ルートが表示されます。

2 今までの経路を使用する か 新しい経路を使用する をタッチする



新しい経路は一般道がピンク、有料道が水色で表示されます。また、画面上部に新しい候補ルートを通った際の距離と時間短縮予想が表示されます。
いずれかのタッチキーをタッチすると、選択したルートに基づいて案内を再開します。5秒間操作がない場合は、自動的に新しいルートが選択されます。

NEXT

お知らせ

- 交通情報を受信しても新しいルートが見つからない場合は、以下の画面が表示され、地図画面に戻ります。



- お車がルートを外れて走行している場合は、受信した交通情報をもとにルートを再計算します。

END

ルート上の情報を表示する

設定したルート上のさまざまな情報を利用できます。
操作は、経路情報メニューから行います。

1 ナビゲーションコントロールメニューの経路情報をタッチする

2 希望の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
目的地表示	目的地の地図を表示する	P.118
次の案内	ルート誘導中に、現在地から約60km以内にある次の案内地点を確認する	P.118
渋滞情報	現在地から10km以内のルート上に渋滞がある場合、その距離や位置を確認する	P.119
再音声	一度流れた音声案内を再度確認する	P.119
誘導情報	60km以内のルート上の情報を確認する	P.120

お知らせ

- 走行中は、選択できる項目が限定されます。

目的地の地図を表示する

ここまでの操作 → 経路情報 → 目的地表示

目的地の地図が表示されます。
この画面から、目的地の変更や修正はできません。



END

次の案内地点を確認する

ここまでの操作 → 経路情報 → 次の案内

自車位置付近の地図と、案内地点の拡大図が表示されます。



END

ルート上の渋滞を確認する

渋滞のあるルートと現在地の距離によって、表示される情報の種類が異なります。

現在地から2km以内：渋滞の起点までの地図※、起点までの距離と渋滞距離、音声案内

現在地から2km ～ 10km以内：音声案内のみ

現在地から10km以上先：案内しません。

※渋滞の長さに応じて、100m/200m/500m/1kmの4段階でスケールを自動的に切り替えて表示します。

お知らせ

- **「音声案内の設定をする」（P.358）**の音声案内が「しない」に設定されている場合でも、音声案内は行います。
- VICS情報更新時は、現在地画面に戻ります。

ここまでの操作 経路情報 ▶▶▶ 渋滞情報

自車位置から渋滞の起点までの地図が表示されます。また、音声でも案内します。



渋滞の起点までの距離と渋滞距離を表示します。

END

音声案内をもう一度聞く

ここまでの操作 経路情報 ▶▶▶ 再音声

一つ前の音声案内を、再度流します。

音声案内された案内地点を通過後は、通過した地点に対する音声案内はされません。

END

ルート上の情報を確認する

確認できる情報：信号の有無／案内地点（交差点）／自車位置からの距離、時間／高速道路の入口、出口、料金／案内地点間の渋滞状況／規制情報／案内区間の渋滞表示／案内区間の所要時間

お知らせ

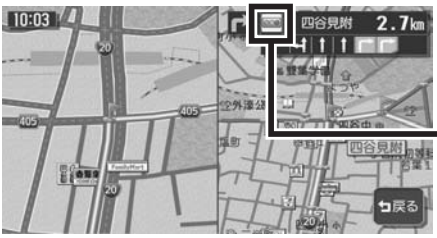
- 走行中は操作できません。必ず車を安全な所に止めて操作してください。
- 表示される料金は、実際の料金と異なることがあります。

ここまでの操作 経路情報 ▶▶▶ 誘導情報

1 詳細を確認したい案内地点名をタッチする



案内地点付近の地図画面と、案内地点の拡大図が表示されます。



、は、ルートが増加した車線を通る／5車線以上ある交差点／5差路以上ある交差点／ルートが狭角で右左折する案内地点に表示されます。

アドバイス

- ルートによっては、直近区間料金が表示される場合があります。

END

情報を利用する

情報メニューでは、VICS情報やビーコン情報を受信して交通情報などを見ることができます。また、車のメンテナンスに関する情報やハードディスクの情報、ETC履歴などの情報を見ることもできます。

目次

情報を見るには …… 122
FM VICS情報を利用する …… 123
ビーコンVICS情報を利用する …… 128
ラジオの交通情報を受信する …… 133
ハードディスク情報（確認コード）を見る … 134
お車のメンテナンス時期を登録する …… 135
ETC情報を利用する …… 141
静止画データを利用する（画像を探す）…… 146
電話を利用する …… 151
携帯電話から交通情報を受信する（オンライン）
…… 168

情報を見るには

情報は、情報メニューから見ることができます。

1 を押す



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
FM VICS	FM VICSで受信した渋滞情報や所要時間、緊急情報などを表示する	P.125
ビーコン	光ビーコンや電波ビーコンから受信した交通情報などを表示する （別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時）	P.130
交通情報	交通情報（ラジオ）を受信する	P.133
HDD情報	本機のハードディスクの情報を表示する	P.134
メンテナンス	車のメンテナンスに関する情報をお知らせするための設定をする	P.135
電話	Bluetooth対応携帯電話を利用して電話を使う	P.151
オンライン	Bluetooth対応携帯電話を利用して交通情報を受信する	P.168
ETC	ETCの履歴や情報を表示する （別売のETCユニット接続時）	P.143
VICS設定	VICSに関する設定メニュー画面を表示する	P.361
高速道交通情報 一般道交通情報	渋滞情報表示のON/OFFを切り替える	P.119

FM VICS情報を利用する

VICSとは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
また、VICS画面(カラー写真)、VICS情報のランドマーク、受信マークについては、**「VICS情報画面」（P.42）**をあわせてご覧ください。

VICS情報について

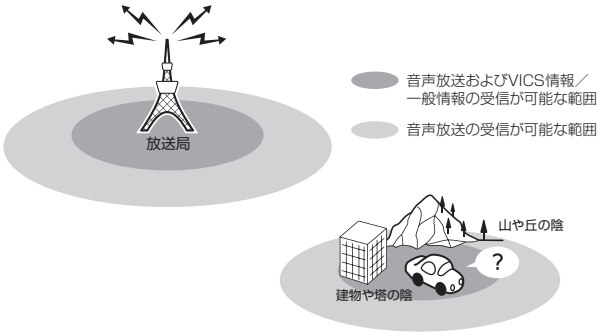
VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示させることができます。
VICS画面（カラー）、VICS情報のランドマークおよび受信マークについては、**「VICS情報画面」（P.42）**をご覧ください。

お願い

- 表示されている情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

■VICS情報／一般情報が取得できないときは

VICS情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。



VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が次第に出てきます。この現象が起きるのはレベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因はVICSセンターの採用するVICSリンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。

道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。

そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。

現在ご使用中のナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、**「VICSシステムの問い合わせ先」（P.517）**をご覧ください。

情報提供時間※1	FM多重、VICS光・電波ビーコンともに24時間
情報の種類	渋滞情報：渋滞区間を表示します。 所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示します。 交通障害情報：事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについてお知らせします。 交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因についてお知らせします。 駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報についてお知らせします。
情報画面の種類※2	文字情報※3（レベル1） 図形情報（レベル2） 地図情報（レベル3）

※1 メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります。

※2 画面例については、**「FM VICS情報の種類」（P.127）**をご覧ください。

※3 発信していない地域もあります。

FM VICS情報／FM文字多重放送を見る

NHK-FM受信時の操作です。

民放のFM文字多重放送局を受信しているときは、タッチキーが「見えるラジオ」や「アラジン」と表示され、VICS以外の情報を楽しむことができます。

情報を受信する放送局の設定については、**「VICS情報の設定をする」（P.361）**をご覧ください。

お知らせ

- 詳細スケール調整時**（P.26）**は、各情報が表示されない場合があります。
- VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチを切って約1時間経過した場合、または新たにVICS情報を受信できない場合、VICS情報は消去されます。
- VICS情報を受信すると、『VICS情報を受信しました』とアナウンスします。2回目以降は『ポーン』という音でお知らせします。アナウンスを消したい場合は、**「VICS情報の設定をする」（P.361）**をご覧ください。

アドバイス

- VICS情報を非表示にすることもできます。詳しくは**「VICS情報の設定をする」（P.361）**をご覧ください。

ここまでの操作 → FM VICS

1 見たい情報を選択してタッチする



NEXT

タッチキー	情報の内容
文字情報	文字による渋滞情報を表示する※
図形情報	渋滞情報を図形表示で確認する
所要時間	各地への所要時間を見る
緊急情報	FM VICS情報から受信した緊急情報を見る

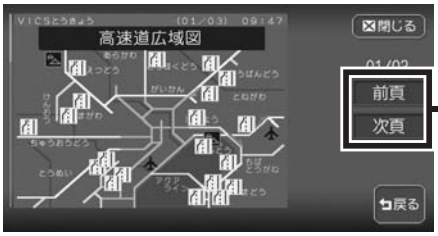
※ 地域によっては、情報が発信されない場合があります。

お知らせ

・走行中は選択できる項目が限定されます。

2 目次番号が表示された場合は、希望の番号をタッチする





情報が複数のページにまたがる場合に表示され、タッチするとページを移動できます。

END

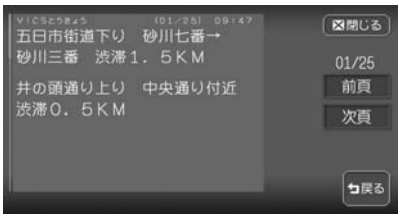
FM VICS情報の種類

本機で表示できるVICS情報画面には、以下の画面があります。

■文字情報画面

渋滞情報や、民放のFM文字多重放送を文字で表示します。

渋滞文字情報画面



■図形情報画面

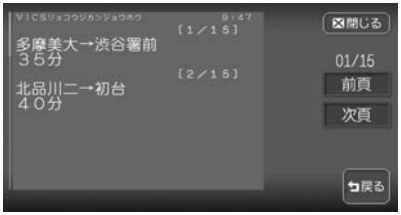
渋滞情報を図形で表示します。



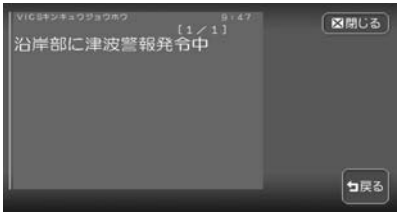
■所要時間・緊急情報画面

各地への所要時間や、緊急情報を表示します。

所要時間表示画面



緊急情報表示画面



ビーコンVICS情報を利用する

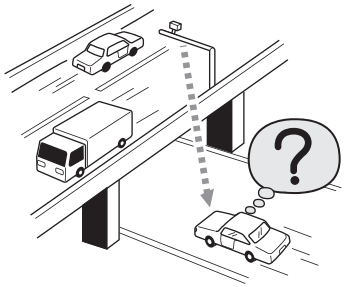
別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に受信できる情報です。

ビーコン情報について

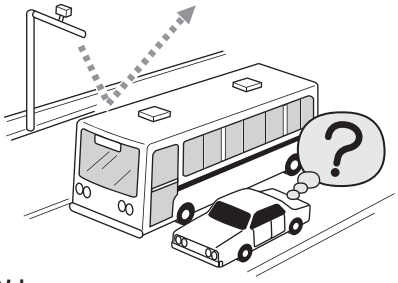
VICS光・電波ビーコンユニットから受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、**「ビーコンVICS情報を見る」(P.130)**からの手順で手動で表示させます。
ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。
ビーコン情報の受信については、以下の点にご注意ください。

■一般道路走行中には

・高速道と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道のVICS情報を受信することがあります。

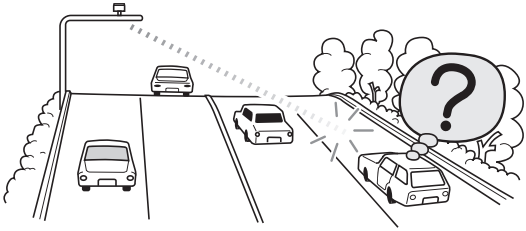


・道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
・VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。



■高速道路走行中には

・トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
・道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
・豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。



■VICS光・電波ビーコンアンテナ（別売）の取り扱いについて

・別売のVICS光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。VICS情報が受信できなくなります。

ビーコンVICS情報を見る

最新VICS情報の表示時間、また情報を自動的に表示するかしないかを設定できます。詳しくは、**「VICS情報の設定をする」（P.361）**をご覧ください。

お知らせ

- 「ビーコン」は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。

ここまでの操作 ▶▶▶ ビーコン

1 見たい情報を選択してタッチする



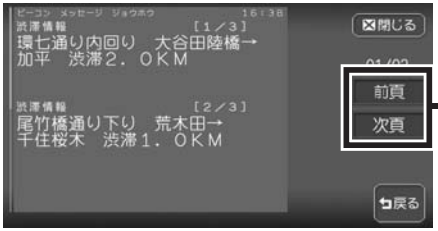
タッチキー	情報の内容
文字情報	渋滞情報を表示する
図形情報	渋滞情報を図形表示で確認する
所要時間	各地の所要時間を見る
注意警戒	ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見る
緊急情報	

お知らせ

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

2 目次番号が表示された場合は、希望の番号をタッチする





情報が複数のページにまたがる場合に表示され、タッチするとページを移動できます。

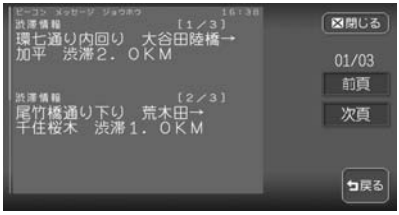
END

ビーコンVICS情報の種類

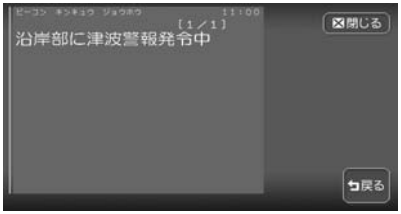
簡易図形情報



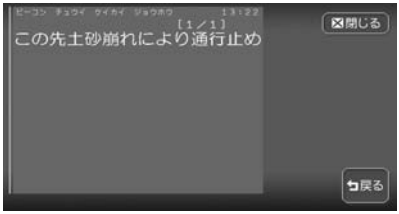
文字情報



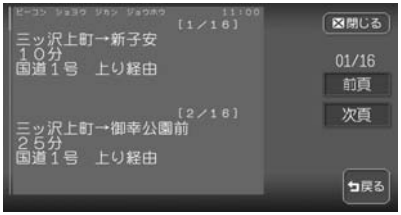
緊急情報



注意警戒情報



所要時間



ラジオの交通情報を受信する

交通情報（ラジオ）を受信できます。

ここまでの操作

1 交通情報 をタッチする



AV操作キーが［TI］と表示されます。

周波数は、オーディオコントロールメニューの 1620 と 1629 から選択できます。

2 解除する場合は、オーディオコントロールメニューの 解除 をタッチする

交通情報を聴く前のソースに戻ります。

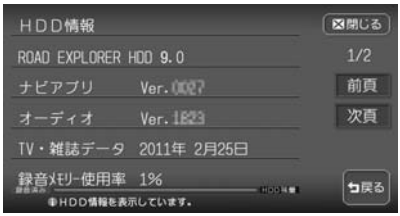
END

ハードディスク情報（確認コード）を見る

ハードディスクの情報を見ることができます。

ここまでの操作

1 HDD情報 をタッチする





ハードディスク情報が表示されます。地図データの情報、TV・雑誌データの最終更新日、ミュージックキャッチャーとファイルキャッチャーのメモリー使用率の合計が表示されます。

次頁 をタッチすると、本機の製品情報が表示されます。

END

アドバイス

- 製品情報は、弊社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）で会員登録する際に必要となります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、コード をタッチして表示される2次元バーコード（QRコード）を携帯電話に読み取ってご登録ください。
  コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

お車のメンテナンス時期を登録する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検などの時期をお知らせすることができます。

お知らせ

- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

ここまでの操作

1 メンテナンス をタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
オイル関連 など	オイルやタイヤの交換時期や点検時期をお知らせする設定ができます。	P.136
販売店情報	販売店情報を登録する	P.139
初期化	設定したメンテナンス情報および販売店情報を、一括して初期化する	—

お知らせ設定をする

ここでは、例として「エンジンオイル」の交換時期を設定する方法について説明します。

ここまでの操作

メンテナンス ▶▶▶ オイル関連 ▶▶▶ エンジンオイル

1 各項目を設定する



クリア：設定値をすべてクリアします。

更新：お知らせ日を、設定した更新間隔で更新します。走行距離はリセットされます。

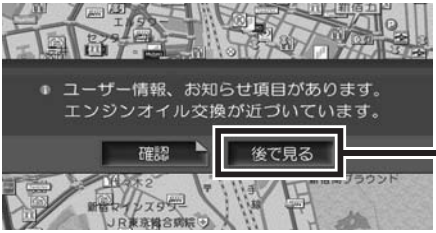
設定項目	設定内容
お知らせ表示	お知らせ内容をメッセージ表示するかどうかを設定します。
更新間隔	1ヶ月単位で更新間隔を変更します。 例：［更新間隔］を24ヶ月に設定し 更新 をタッチすると、現在の日付から24ヵ月後がお知らせ日に設定されます。お知らせ日に、再度同じ間隔で案内させる場合は、 更新 をタッチすると、さらに24ヶ月後がお知らせ日に設定されます。
お知らせ日	お知らせする年月日を入力します。
お知らせ距離	お知らせする走行距離を入力します。計測される走行距離と、実際の走行距離で誤差が生じる場合があります。

※設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

2 ☒閉じる をタッチする

設定した年月日や走行距離になると、次に本機を起動したときにメッセージが表示されます。

3 メッセージが表示されたら、確認 をタッチする



後でメンテナンスメニューから項目を確認したい場合にタッチします。お知らせ項目は、メンテナンスメニューに ! が表示されています。 ! は、お知らせ設定を更新すると消えます。



登録した販売店の地点メニューが表示されます。
詳しくは、**「販売店情報を登録する」**(P.139) をご覧ください。

■各メンテナンス項目の設定内容

メンテナンス項目		日付設定※	距離設定※	お知らせ設定	更新間隔設定／更新機能
オイル関連	エンジンオイル	○	○	○	○
	オイルフィルタ	○	○	○	○
	ミッションオイル	○	○	○	○
	ブレーキオイル	○	○	○	○
タイヤ関連	空気圧チェック	○	○	○	○
	タイヤローテーション	○	○	○	○
	タイヤ交換	○	○	○	○

NEXT

メンテナンス項目		日付設定※	距離設定※	お知らせ設定	更新間隔設定／更新機能
消耗品	ワイパーブレード	○	○	○	○
	エアクリーナー	○	○	○	○
	クーラント	○	○	○	○
	バッテリー	○	○	○	○
	ブレーキパッド	○	○	○	○
点検・車検	車検	○		○	
	定期点検	○		○	

※日付と距離を両方設定できる項目でも、どちらか一方だけの設定も可能です。両方設定した場合は、どちらかの設定に到達するとお知らせを行います。

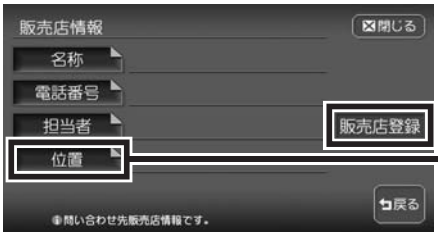
END

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート誘導することができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ メンテナンス ▶▶▶ 販売店情報

1 販売店登録をタッチする



地図から位置登録を行う場合にタッチしてください。

2 販売店を探す方法を選択し、販売店を設定する



販売店を探す方法は、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」(P.49)**をご覧ください。



担当者名を文字入力します。

登録位置を調整できます。

設定後は、販売店情報画面に戻ります。
設定した販売店の名称、電話番号、位置は、自動で入力されます。

END

■販売店情報を登録したら

・販売店情報を設定したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認には、お店へ行くが表示されます。タッチすると、販売店までの地図と地点メニューが表示されます。

・地点メニューのここに行くをタッチすると、販売店までのルートが設定されます。



ETC情報を利用する

別売のETCユニット接続時に表示される情報です。
ETCユニットについて詳しくは、ETCユニット付属の取扱説明書をご覧ください。

ETC画面表示について

料金所ゲート通過時に、画面表示と音声で案内を行います。
案内の画面表示時間の変更、音声案内をするかしないかの設定については、**「ETCの設定をする」（P.378）**をご覧ください。

■画面表示

ETCユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容は、ナビゲーション・オーディオ画面とも同様です。
メッセージ表示を消すには、地図をスクロールするか、何らかのタッチキー操作を行ってください。



■案内／警告表示

ETCユニットからの案内、警告情報を受信すると、案内、警告が表示されます。

●予告案内

料金所に予告アンテナが設置されている場合のみ、表示されます。

- **「ETCがご利用できません」**
- **「ETCがご利用可能です」**

お知らせ

- 本機は、ETC010のカード有効期限切れ通知機能には対応しておりません。

●警告

・「ETCカードを確認してください」
ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。

・「ETCに異常が検出されました販売店に連絡してください」
ETCユニットの異常により、本機との接続ができないときに表示されます。

・「ETCカードを挿入してください」
「ETCの設定をする」（P.378）のETCカード入れ忘れ警告を「する」に設定した場合、本機起動時に表示されます。

・「ETCユニットがセットアップされていません」
ETCユニット本体がセットアップされていないときに表示されます。

■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。支払いが発生する場合は、同時に料金が音声で案内されます※。
ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。



※ ETC連動時（ETCユニットが接続され、かつETCカードが挿入されている状態）は料金の表示のみとなり、音声案内は行いません。

お知らせ

・ETCレーン図は、表示されない場合があります。
・ETCレーン図は、ETC未接続時にも表示されます。

ETC情報を見る

ETCのさまざまな情報を見ることができます。

ここまでの操作 ▶▶ ETC

1 見たい情報を選択してタッチする



タッチキー	情報の内容	参照ページ
履歴	ETCの履歴情報を表示する	P.144
最新利用履歴	1日分のETC履歴リストと合計金額を表示する	P.144
精算	ETC料金を希望の人数で割った金額を計算する	P.145
ETC設定	ETCについての設定をする	P.378
セットアップ情報	車載器管理番号や型式登録番号などを表示する	P.144

お知らせ

- 走行中にETCをタッチしても、ETCメニューは表示されず、最後に課金されたETCの金額が再度音声で案内されます。

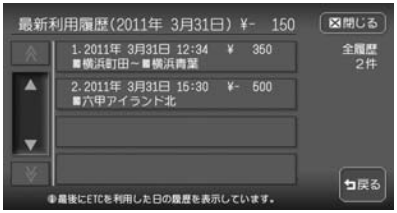
NEXT

2 情報を確認する

ETC履歴画面



最新利用履歴画面



ETCセットアップ情報画面



アドバイス

- ETC履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

END

ETC料金を割り勘にする

ETC履歴の中から精算したい履歴を指定し、希望の人数で割った金額を算出できます。
また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

お知らせ

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。

ここまでの操作 ▶▶▶ ETC ▶▶▶ 精算

1 精算したい履歴をタッチして、決定をタッチする



履歴は複数選択できます。

2 精算人数を＋、－をタッチして入力する



一人あたりの支払い金額が表示されます。
金額の調整をしない場合は、手順5へ進みます。

3 ETC以外にかかった料金が必要であれば、金額入力（¥0）をタッチする

4 金額を入力し、決定をタッチする

5 金額を確認し、閉じるをタッチする

END

静止画データを利用する（画像を探す）

SDメモリーカードの静止画データやスライドショーを見ることができます。また、静止画データを「オーディオ用の背景」や「アルバム・登録地点用」として保存させることもできます。
静止画データとして利用できる画像のファイル形式などについては、以下の表をご覧ください。

ファイル形式	JPEG	デジタルカメラの写真画像など（JPEGベースラインプロセス準拠）
	ビットマップ（BMP）	16色、32色、256色、16bit色、24bit色、32bit色（すべて非圧縮）
ファイル制限	ファイルサイズ	ハードディスク：14MBまで メモリーカード：8MBまで
	総画素数	ハードディスク：2172万画素 メモリーカード：1270万画素

静止画データを見る

メモリーカードや、本機のハードディスク内の静止画データを見ることができます。

お知らせ

- メモリーカード内の静止画データを見る場合は、静止画データを見る前に必ずメモリーカードを挿入してください。
- 静止画データは、所定フォルダ構成でメモリーカードに保存されている必要があります。詳しくは、**「カード内画像の取り込み」（P.456）**をご覧ください。
- ハードディスク内の空き容量が不足していると、静止画データの表示や編集ができなくなる場合があります。不要な静止画データは削除してください。データの削除方法については、**「元画像フォルダの削除／画像削除」（P.457）**をご覧ください。

1 を押し、画像を探すをタッチする

画像選択画面が表示されます。

2 HDD内画像 または カード内画像 をタッチする



フォルダ／画像の選択画面が表示されます。

3 見たいフォルダや画像ファイルをタッチする



選択した画像とタッチキーが表示されます。



約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

 ：前後の画像を表示します。

編集：画像をオーディオ用の背景やアルバム・登録地点用の画像として編集します。詳しくは、**「静止画データを編集する」（P.149）**をご覧ください。

左回転：表示中の画像を左に90°回転します※。

右回転：表示中の画像を右に90°回転します※。

スライドショー：スライドショーを開始します。詳しくは、**「スライドショーを見る」（P.148）**をご覧ください。

全画像補正：フォルダ内の全ての画像の横幅を拡大して表示します。

画像補正：表示中の画像の横幅を拡大して表示します。

※ハードディスク内の画像を回転させた場合は、次回表示時も回転された状態となっています。

END

スライドショーを見る

静止画データを連続してスライドショーを見ることができます。

ここまでの操作

メニュー ▶▶▶ 画像を探す ▶▶▶ HDD内画像

（または カード内画像 ）▶▶▶［最初に再生したい画像ファイル］

1 スﾗｲﾄﾞｼｮｰをタッチする



スライドショーが開始されます。



スライドショーを停止するときは 停止 をタッチします。

アドバイス

- 約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

END

静止画データを編集する

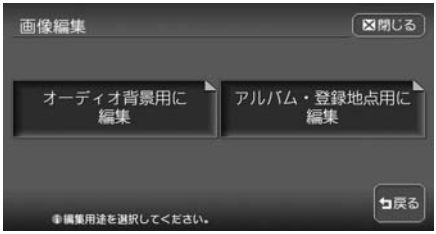
静止画データを「オーディオ用の背景」や「アルバム・登録地点用」として保存させることができます。

ここまでの操作　▶▶▶ 画像を探す ▶▶▶ HDD内画像
（または カード内画像 ）▶▶▶ **［編集したい画像ファイル］**

1 編集 をタッチする

画像編集の選択画面が表示されます。

2 オーディオ背景用に編集 または アルバム・登録地点用に編集 をタッチする



画像編集画面が表示されます。

NEXT

3 保存する画像の範囲を設定する



オレンジ枠内の画像が保存の対象となります。

約5秒間操作をしないと、タッチキーは消えます。再度表示させるには、画面をタッチします。

拡大 ：オレンジ枠が小さくなります。

縮小 ：オレンジ枠が大きくなります。

◀、▶、▼、▲ ：オレンジ枠が移動します。

クリア ：編集する前の状態に戻ります。

4 保存 をタッチする

プレビュー画面が表示されます。

5 保存 をタッチする



アルバム・登録地点用画像の場合は、保存フォルダ選択画面が表示されます。

オーディオ背景用画像では、そのまま画像が保存されます。

6 画像を保存するフォルダをタッチする

画像が保存されます。

END

電話を利用する

Bluetooth対応携帯電話を登録して本機から電話の発着信を行うことができます。Bluetooth対応携帯電話を用いるとケーブルを接続することなく、Bluetoothを利用したハンズフリー機能を使用できます。

Bluetoothとは

Bluetoothとは、産業団体Bluetooth SIGにより提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz帯の電波を利用してBluetooth対応機器どうしで通信を行います。

本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル（HFP）	本機でBluetooth対応機器とハンズフリーで通話できます。
オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）	Bluetooth対応機器から本機に電話帳などを転送することができます。
オーディオプロファイル（A2DP、AVRCP）	Bluetooth対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールをすることができます。
ダイヤルアップネットワークプロファイル（DUN）	Bluetooth対応機器と接続し、インターネットにアクセスして情報を取得することができます。

※Bluetoothは、ブルートゥースと読みます。

お知らせ

- 本機では、Bluetoothに対応した携帯電話およびオーディオ機器を利用できます。
- Bluetooth対応機器を利用するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります。携帯電話のペアリングについては、**「携帯電話を登録する（ペアリング）」（P.152）**をご覧ください。また、オーディオ機器のペアリングについては、**「Bluetoothオーディオを登録する（ペアリング）」（P.336）**をご覧ください。
- 本機では、Bluetooth対応携帯電話（ハンズフリー）とBluetoothオーディオを同時に使用することができます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。接続できる携帯電話の情報は、弊社ホームページ（http://www.clarion.com/jp/ja/support/index.html）をご覧ください。
- 携帯電話、オーディオ機器の収納場所、距離によっては、接続できない場合があります。本機との間に障害物のない場所に携帯電話、オーディオ機器を置いてご使用ください。
- Bluetooth対応携帯電話、オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- 通話中に音量を調節した場合、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときに元の音量で通話できます。

携帯電話を登録する（ペアリング）

初めてBluetooth対応携帯電話を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。ペアリングすることにより、ハンズフリーで通話できる携帯電話を限定します。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかのBluetooth対応機器の接続(通話、通信)やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- 携帯電話は、10台までペアリングすることができます。11台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。
- 携帯電話にBluetooth対応機器を登録する方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- 携帯電話が「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態でない場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によって、数値が一致しない場合があります。
- あらかじめ携帯電話もBluetooth機能をONに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ここまでの操作

1 電話 をタッチする



電話メニューが表示されます。

2 登録機器の選択 をタッチする



3 探索待ち をタッチする



携帯電話会社の選択画面が表示されます。

4 お使いの携帯電話会社をタッチして、決定 をタッチする



接続待機中の画面が表示されます。



NEXT

5 携帯電話側のBluetooth機能から本機を探索する

アドバイス

- あらかじめ、ご使用の携帯電話でBluetooth機能のONや、登録ができるように設定しておいてください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

6 携帯電話から「NX-BT」（初期値）を選択し、パスキー「1234」（初期値）を入力する

ペアリング完了後、登録機器リストが表示されます。



アドバイス

- 探索 をタッチした場合には、本機から携帯電話を探索します。お使いの携帯電話によっては、本機からの機器登録ができない場合があります。その際は 探索待ち をタッチして携帯電話側から登録してください。
- 登録名称は変更できません。
- パスキーは変更可能です。詳しくは**「パスキーを変更する」(P.167)** をご覧ください。
- ペアリング完了後、携帯電話側で「ダイヤルアップ」や「DUN」の接続設定が必要になる場合があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ペアリング完了後、携帯電話側で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「ハンズフリー」を選択してください。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- リストから携帯電話を切り替えると、それまで使用していた携帯電話の発着信履歴は消去されます。
- ☑自動接続 のチェックマークがONのときは、ペアリング済みの他の携帯電話をリストから選択するだけで、自動的に本機と接続されます。自動接続をOFFにするには、☑自動接続 をタッチしてチェックマークを外します。
- 自動接続は、下記の場合に行われます。
  - Bluetooth対応携帯電話を接続したまま本機の電源を切り、再び本機の電源を入れた場合に前回接続していた電話と自動接続されます。
  - Bluetooth対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は、リストから接続したい携帯電話を選択してください。
- Bluetooth非対応の携帯電話をお使いで専用の接続コネクタをご利用になる場合は、携帯電話会社選択画面で ｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ をタッチしてチェックマークをONにし、以降の操作をアダプター側から行ってください。
- Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

END

登録情報を削除する

ペアリング済みの携帯電話情報を削除します。

ここまでの操作 ▶▶▶ 電話 ▶▶▶ 登録機器の選択

1 削除 をタッチする

登録機器削除リスト画面が表示されます。

2 削除したい携帯電話をタッチして、決定 をタッチする



3 はい をタッチする

お知らせ

- 携帯電話の登録情報を削除すると、該当する携帯電話の発着信履歴、電話帳情報も削除されます。
- 現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、発着信履歴も削除されます。
- 複数の携帯電話の登録情報を削除している最中に本機の電源を切ると、削除できないことがあります。その場合は、電源を入れ、再度削除の操作を行ってください。

END

携帯電話を切り替える

接続する携帯電話をリストから選んで切り替えることができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 電話 ▶▶▶ 登録機器の選択

1 接続したい機器をタッチする



選択した機器が接続されます。

END

電話をかける

⚠注意

• 走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

お知らせ

- 通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波の届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- 通話中は、以下の機能のみ操作が可能です。
  - ノースアップ／ヘディングアップの切り替え（通話中地図画面のみ）
  - 地図の拡大／縮小（通話中地図画面のみ）
  - 地図スクロール（通話中地図画面のみ）
  - 音量調整
  - 現在地表示
  - 操作パネル開／閉

アドバイス

- 相手が先に電話を切った場合や、回線が切れてしまった場合は、電話メニューに戻ります。
- 携帯電話が待受け状態でないと、発着信できないことがあります。
- 通話中に[ ]を押すと、地図画面に切り替わります。[電話画面]をタッチすると通話中画面に戻ります。

ここまでの操作

1 [電話]をタッチする

電話メニューが表示されます。

2 目的の操作を選択してタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	情報の内容	参照ページ
リダイヤル	最後にかけた電話番号にかけ直す	P.161
ダイヤル	電話番号を入力して電話をかける	P.160
電話帳	携帯電話の電話帳を本機に登録して電話をかける	P.162
着信履歴	本機の着信履歴から電話をかける	P.161
発信履歴	本機の発信履歴から電話をかける	P.162
登録機器の選択	本機と接続可能な携帯電話のリスト表示や切り替え、本機と携帯電話のペアリングを行う	P.152
電話設定	ハンズフリーに関する設定をする	P.166

電話番号を入力してかける

お知らせ

・一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。

ここまでの操作



1 電話番号を入力して 決定 をタッチする



2 はい をタッチする



電話番号が発信され、電話がかかります。

▼



呼び出し途中でタッチすると、電話を切り、電話メニューに戻ります。

3 通話を終了したい場合は、 をタッチする



タッチするとチェックマークが表示され、携帯電話本体での通話に切り替わります。（ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。）

電話を切り、地図画面に戻ります。発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。

END

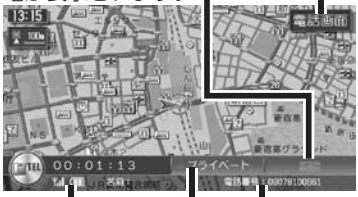
通話中の地図画面

通話中に を押すと、以下のような画面になります。

通話中地図画面

通話中画面に切り替わります。

タッチして電話を切り、現在地が表示されます。



携帯電話の接続状態、受信感度、電池残量、通話時間が表示されます。

相手先の名前、電話番号が表示されます。

タッチするとチェックマークが表示され、携帯電話本体での通話に切り替わります。

通話中地図スクロール時



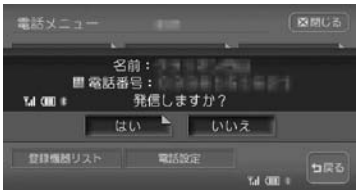
通話中地図画面に戻ります。

リダイヤルでかける

ここまでの操作

▶ 電話 ▶ リダイヤル

1 はいをタッチする



最後にかけた電話番号に電話をかけます。

▶ END ◀

着信履歴からかける

お知らせ

- 着信履歴の登録数は、最新の５件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。
- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。

ここまでの操作

▶ 電話 ▶ 着信履歴

1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



着信履歴をすべて消去します。

▶ NEXT

2 はいをタッチする

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

発信履歴からかける

お知らせ

- 発信履歴の登録数は、最新の5件分です。この履歴は、携帯電話ではなく本機に記録されているものです。

ここまでの操作

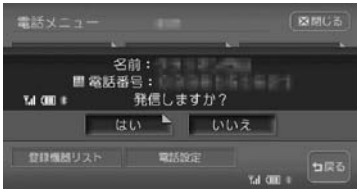
設定 ▶ 電話 ▶ 発信履歴

1 ダイヤルしたい相手先を選んでタッチする



発信履歴をすべて消去します。

2 はいをタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

電話帳からかける

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけることができます。

携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。

詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

- 電話帳を転送後、携帯電話の接続が切断される場合があります。
  その場合は、再度、登録機器リストから接続したい携帯電話を選択してください。

ここまでの操作

設定 ▶ 電話 ▶ 電話帳

1 読み出しをタッチする



電話帳転送の待ち受け画面になります。

2 携帯電話側で電話帳転送を行う

登録機器リストで現在選択されている携帯電話のアドレス帳が本機に転送されます。

次回から電話をかける場合は、手順3から始めます。

アドバイス

- Bluetooth対応オーディオ機器に接続中の場合は、接続を解除する確認画面が表示されるのではいをタッチします。
- アドレス帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を削除してください。電話番号の削除方法は、**「電話番号を削除する」(P.164)** をご覧ください。

3 ダイヤルしたい名前を選択してタッチする



電話番号が1件しか登録されていない場合は、手順5に進みます。

4 ダイヤルしたい電話番号を選択してタッチする



5 はいをタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

アドバイス

- 登録可能な電話帳データは登録機器全体で2500件です。1台の最大登録件数は1000件です。
- 電話帳の1つの名称に対して、最大5件まで電話番号を表示できます。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （一般）／（自宅）／（事務所）／（携帯電話）／etc（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

END

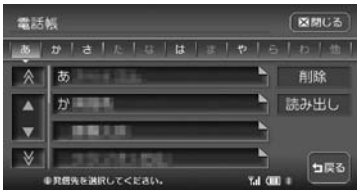
■電話番号を削除する

本機に転送したアドレス帳から電話番号を削除することができます。

ここまでの操作



1 削除 をタッチする



電話帳削除画面が表示されます。

2 削除したい電話番号をタッチして、決定 をタッチする



3 はい をタッチする

END

登録リストや施設情報から電話をかける

登録リストや施設情報画面に電話アイコンが表示されている場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけることができます。

登録リスト画面

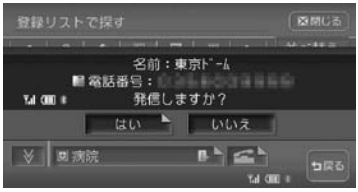


施設情報画面



1 または をタッチする

2 はい をタッチする



登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

END

電話を受ける

本機に接続した携帯電話が電話着信した場合、着信画面が表示されます。

⚠注意

- **走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。**

1 着信画面で にタッチする



2 通話を終了したい場合は、 をタッチする

電話を切り、着信直前の画面に戻ります。
着信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、着信日時が着信履歴として保存されます。

アドバイス

- 着信中に をタッチすると、着信を拒否します。

END

電話の設定をする

ハンズフリー電話に関する設定ができます。



電話設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自動応答	電話がかかってきたときに、自動的に電話をつなぐよう設定する（自動応答時間は約8秒）	する※／しない	—
マイク感度	ハンズフリーマイクの感度を設定する	LO/MID※/HIGH	—
着信音量	着信音量を調整する (*1)	レベル0～7（レベル0※）	—
設定とメモリの初期化	ハンズフリーの設定とメモリを初期化する (*2)	—	—
本体情報	Bluetoothパスキー、名称、アドレス、ファームウェアVer.を表示する	—	—
自局番号	接続中の携帯電話の電話番号を表示する	—	—

(*1) 着信音量を0以外に設定した場合、VOLキーでの着信音量の変更はできません。

(*2) 設定値が初期設定に戻るほか、電話帳データ／着信履歴／発信履歴／リダイヤル／登録機器リストがクリアされます。

パスキーを変更する

ここまでの操作

▶ 電話 ▶ 電話設定 ▶ 次頁

1 本体情報の情報表示をタッチする

2 現在設定されているBluetoothパスキーをタッチする



アドバイス

・工場出荷時、パスキーは「1234」に設定されています。

3 新しいパスキーを入力して決定をタッチする



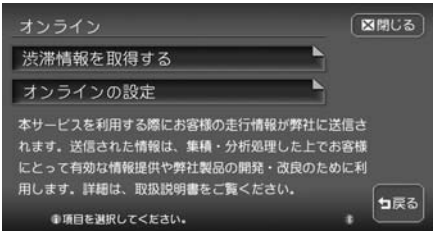
▶ END ◀

携帯電話から交通情報を受信する（オンライン）

Bluetooth対応携帯電話から渋滞・規制情報などをリアルタイムに受信することができます。受信した情報は地図上に表示されるほか、渋滞を考慮したルートの再計算に使用されます。

ここまでの操作

1 オンラインをタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

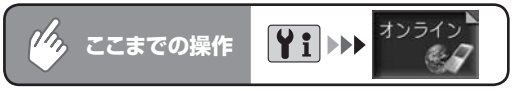
タッチキー	機能	参照ページ
渋滞情報を取得する	Bluetooth対応携帯電話から交通情報を受信する	P.169
オンラインの設定	オンラインに関する設定メニュー画面を表示する	P.171

交通情報をオンラインで受信する

Bluetooth対応携帯電話を使用して、交通情報を受信します。
交通情報を受信すると、ルート案内中の場合は渋滞を考慮した新しいルートが計算されます。また、受信した情報は地図上に表示されます。
受信できる交通情報の種類および表示形式については、以下の表をご覧ください。

情報の種類	表示形式
渋滞情報	混雑状態により、下記の色の矢印で表示されます。 赤色：渋滞 オレンジ色：混雑 緑色：渋滞なし 実線：VICS情報 破線：プローブ情報をもとにした交通情報（*）
規制情報 SA/PA情報	アイコンで表示されます。詳しくは、**「VICS情報のランドマーク」（P.43）**をご覧ください。
駐車場情報	地図をスクロールしている場合にのみ取得・アイコン表示されます。詳しくは、**「VICS情報のランドマーク」（P.43）**をご覧ください。

（*）ご提供いただいた情報（プローブ情報の送信）をもとに、統計的に算出して渋滞情報を割り出しています。



1 渋滞情報を取得する をタッチする



交通情報が受信されます。
この後の動作は、お車およびナビのご使用状況によって異なります。

NEXT

ルート走行中の場合

「渋滞考慮オートリルート」（P.362）がONになっていて地図が現在地を表示している場合は、受信した交通情報をもとに新しいルートを計算します。



新しい経路は一般道がピンク、有料道が水色で表示されます。また、画面上部に新しい候補ルートを通った際の距離と時間短縮予想が表示されます。

今までの経路を使用する か 新しい経路を使用する をタッチしてルートを選択します。5秒間操作がない場合は、自動的に新しいルートが選択されます。

お車がルートから外れている場合

受信した交通情報をもとに、現在の位置からルートを再計算します。

目的地が設定されていない場合

現在地周辺の交通情報を受信し、地図上に表示します。地図をスクロールしている場合は、表示中の地点周辺の交通情報が受信および表示されます。

アドバイス

- ルート走行中であっても、条件によって動作は異なります。

  「渋滞考慮オートリルート」がOFFの場合：

  地図画面に戻り、受信した情報を表示します。また、目的地への到着予想時刻が更新されます。

  地図をスクロールしている場合：受信した情報を表示します。
- 新ルートが見つからない場合は、地図画面に戻り、受信した情報を表示します。

お知らせ

- 情報受信を中止するには、通信中に情報メニュー画面から オンライン をタッチし、通信中止 をタッチしてください。
- 情報受信中は電話の操作はできません。

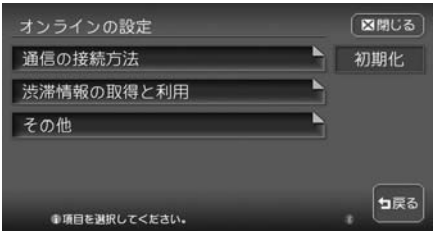
END

オンラインの設定をする

オンラインに関する設定ができます。



オンライン設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
通信の接続方法	Bluetooth対応携帯電話の接続を設定する	—	P.172
渋滞情報の取得と利用	情報受信時の動作を設定する	—	P.173
その他	渋滞考慮オートリルートをON/OFFする	する※／しない	P.174
初期化	オンライン設定を初期化する	—	P.174

通信の接続方法を設定する

設定方法には、携帯電話会社のプロバイダを選択する方法、任意のプロバイダに手動で接続の設定を行う方法の二つがあります。

■携帯電話会社のプロバイダを選択する場合

ここまでの操作

▶ オンライン ▶ オンラインの設定 ▶ 通信の接続方法

1 携帯電話会社をタッチする



タッチすると、接続中の機器リストが表示されます。

携帯電話会社のプロバイダリストが表示されます。

2 設定したいプロバイダを選択してタッチする



選択したプロバイダが接続先として設定されます。

▶ END ◀

■手動で設定する場合

ここまでの操作

▶ オンライン ▶ オンラインの設定 ▶ 通信の接続方法

1 マニュアル設定をタッチする

お知らせ

- マニュアル設定がタッチできない場合は、情報メニュー画面から オンライン → オンラインの設定 → 通信の接続方法 → 携帯電話会社の順にタッチし、マニュアルをタッチしてプロバイダの選択を解除してください。

2 各項目を入力する





3 閉じるをタッチする

設定が保存され、現在地画面に戻ります。

▶ END ◀

渋滞情報の取得と利用を設定する

情報受信時の動作や、受信した情報の利用に関する設定を行います。

ここまでの操作

▶ オンライン ▶ オンラインの設定 ▶ 渋滞情報の取得と利用

1 各項目を設定する



■情報の自動取得

交通情報を自動で受信する場合に、受信時間の間隔を設定します。

- [情報の自動取得]の しない をタッチし、希望の受信時間を選択してタッチします。
- 設定値は「しない」／「5分ごと」／「10分ごと」／「30分ごと」／「60分ごと」です。
- 工場出荷時の初期設定は「しない」です。

お知らせ

- カメラ画面、メニュー画面、スクロール地図画面の表示中は、交通情報の自動受信および新ルートの計算は行われません。

■案内開始時の情報取得

ルート案内の開始時に交通情報を取得するかどうかを設定します。

- 設定値は「する」／「しない」です。
- 工場出荷時の初期設定は「しない」です。
- この設定は、**「オンライン探索の設定」（P.173）**と連動しています。詳しくは下記をご覧ください。
- この設定を「する」にしても、以下の場合は交通情報は受信されません。
  - ＊ 再計算 または 迂回計算 からルートを再計算した場合
  - ＊出発時刻を指定してルート設定した場合**（P.112）**
  - ＊お車がルートを外れた、またはルート上に規制が表れた場合のオートリルート時
  - ＊ 有料優先計算 一般優先計算 でルート再計算したとき**（P.101）**の計算条件が前回と同じだった場合

■プローブ情報の利用

プローブ情報を利用した交通情報を取得するかどうかを設定します。

- 設定値は「する」／「しない」です。
- 工場出荷時の初期設定は「する」です。

■オンライン探索の設定

オンライン探索に関連する各機能を自動で設定します。

- 「する」に設定すると、以下の機能が自動で設定されます。

オンラインの設定

案内開始時の情報取得：する
渋滞考慮オートリルート：する

計算条件

渋滞考慮計算：する
統計渋滞考慮：する

NEXT

・「しない」に設定した場合は、上記の4つの設定のうち、「案内開始時の情報取得」のみが「しない」に変更されます。
・設定値は「する」／「しない」です。
・工場出荷時の初期設定は「しない」です。

2 閉じる をタッチする

設定が保存され、現在地画面に戻ります。

END

その他の設定をする

渋滞考慮オートリルートの設定を行います。
ここでの設定内容は、VICS設定の渋滞考慮オートリルート（P.362）と連動しています。
工場出荷時の初期設定は「する」です。

ここまでの操作

▶ オンライン ▶ オンラインの設定 ▶ その他

1 希望の設定をタッチする



2 閉じる をタッチする

設定が保存され、現在地画面に戻ります。

END

オンライン設定を初期化する

ここまでの操作

▶ オンライン ▶ オンラインの設定 ▶ 初期化

1 初期化したい項目をタッチする



確認画面が表示されます。

2 はい をタッチする

選択した項目が初期化されます。

アドバイス

・「通信の接続方法」を初期化すると、マニュアル設定の内容がすべて消えます。ただし、携帯電話会社プロバイダリストでの選択は保持されます。

END

オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く

ラジオの操作について説明します。

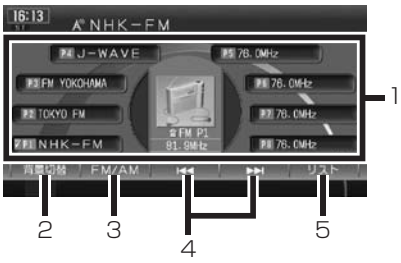
目次

画面表示とタッチキーについて …… 176
選局する …… 178
放送局リストから選局する …… 179
ラジオの設定を変更する …… 183
背景を設定する …… 184

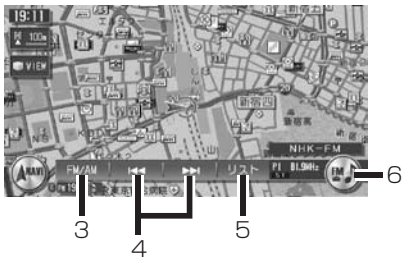
画面表示とタッチキーについて



オーディオ画面



ナビ画面



1	プリセットチャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネル表示 タッチすると、そのチャンネルを受信します。
2	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する **(P.184)**
3	FM/AM	受信バンド（FM/AM）を切り替える タッチするたびに、FM→AMの順に切り替わります。
4	⏮、⏭	受信する周波数を切り替える（自動選局／手動選局）**(P.178)** 操作パネルの＜／＞を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。
5	リスト	プリセットチャンネルリストを表示する
6	AV操作キー	現在選択されているソース（FM/AM）表示 「ホーム」のモードが選択されているときは、ホームマークも表示されます。 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

■プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。

プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の2種類があります。詳しくは**「放送局リストから選局する」（P.179）**をご覧ください。

■「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内のプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

たとえばお住まいのエリアが東京でよく大阪に出かけられる場合、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を設定しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

選局する

自動選局する

ここまでの操作　FM/AM で目的のバンドを選択

1 AVコントロールバーの ⏮ または ⏭ を「ピッピッ」と音がするまでタッチし続ける

放送を受信すると、自動的に選局が止まります。

アドバイス

・操作パネルの < または > を押し続けても、同様の操作ができます。その場合、音は「ピッ」と一回しか鳴りません。

END

手動で選局する

ここまでの操作　FM/AM で目的のバンドを選択

1 AVコントロールバーの ⏮ または ⏭ をタッチして、希望の周波数に合わせる

アドバイス

・受信可能な放送局をあらかじめ本機に登録し、そこから選局することもできます。詳しくは、**「放送局リストからチャンネルを選ぶ」（P.181）**をご覧ください。

END

放送局リストから選局する

プリセットチャンネル（P.177）をあらかじめ登録しておけば、プリセットチャンネルリストから簡単に選局することができます。
プリセットチャンネルは、「ホーム」「お出かけ」の各バンドに8つずつ、合計16チャンネルまで登録することができます。

放送局をリストに手動で登録する

ここまでの操作 リスト

1 FM/AM をタッチして、登録したいバンドを選択する



アドバイス

- ホーム 、お出かけ をタッチして、各モードごとにプリセットチャンネルリストを作成することができます。

2 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する

3 登録するチャンネルを、「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

受信中の放送局がそのチャンネルに登録されます。
ここで登録した内容はプリセットチャンネルキーにも反映されます。プリセットチャンネルキーには、チャンネル番号が表示されます。

END

放送局をリストに自動で登録する（オートストア）

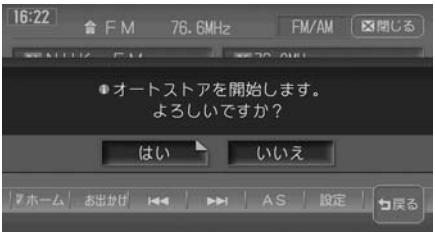
受信可能な放送局を自動で探し出し、8局まで登録します。（地域によっては8局に満たない場合があります）
お出かけ先で、周波数がわからないときに便利です。

ここまでの操作　リスト

1 AS をタッチする

メッセージ画面が表示されます。

2 はい をタッチする



オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されていきます。

アドバイス

- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書きして登録されます。
- オートストア中は、すべての選局操作はできません。終了するまでお待ちください。

END

放送局リストからチャンネルを選ぶ

1 FM/AMで目的のバンドを選択する

2 リストをタッチする

3 目的の放送局のキーをタッチする

4 閉じるをタッチする

選択した放送局が受信され、初期画面に戻ります。

END

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。

お知らせ

・編集を中止するには、編集中に 戻る をタッチします。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶［編集したいチャンネル］

1 設定 をタッチする

各編集画面が表示されます。

2 受信局編集 をタッチする

3 放送局名 をタッチする

4 お好みの放送局名を10文字以内で入力し、決定 をタッチする

放送局名が確定され、受信局編集画面に戻ります。

お知らせ

・「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

END

ラジオの設定を変更する

受信エリアを切り替える

受信エリアを選択することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定

1 エリア選択をタッチする

2 切り替えたい放送局エリアをタッチする



選択した放送局エリアにチェックマークが表示され、エリアが切り替えられます。ユーザータイトルを使用をタッチすると、**「放送局名を編集する」（P.182）**で設定した放送局名（ユーザータイトル）を表示します。

お知らせ

- 「お出かけ」モード選択時は、ユーザータイトルを使用は表示されません。

END

背景を設定する

初期画面の背景をお好みの画像やカレンダーに設定できます。

1 背景切替をタッチする

2 設定したい項目をタッチする



タッチキー	設定の内容	参照ページ
メイン画面	カレンダーの表示をOFFにしてリスト画面に戻る	—
カレンダー	カレンダーを表示する	P.185
写真	本機に登録してある画像を背景に設定する	P.186

以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

カレンダーを設定する

初期画面に重ねてカレンダーを表示します。
カレンダー表示中は、ミュージックキャッチャーなどのタイトルリストは表示されません。

ここまでの操作 背景切替 ▶▶▶ カレンダー



今日 ：当月のカレンダーを表示する
前月 ：前月のカレンダーを表示する
次月 ：次月のカレンダーを表示する

END

写真を設定する

あらかじめ本機に登録された7種類の画像のほか、お好みの画像を登録しておいて、そこから選択することもできます。

お知らせ

・登録画像の変更･追加については、**「オーディオ背景画像の取り込み／削除」（P.458）**をご覧ください。

ここまでの操作　背景切替 ▶▶▶ 写真

1 、で設定したい画像を選択し、背景に設定をタッチする



登録してある写真のスライドショーが開始されます。スライドショーを中止するには、再度タッチします。

壁紙が変更されます。

END

地上デジタル放送のテレビを観る

地上デジタル放送テレビの操作や設定について説明します。

目次

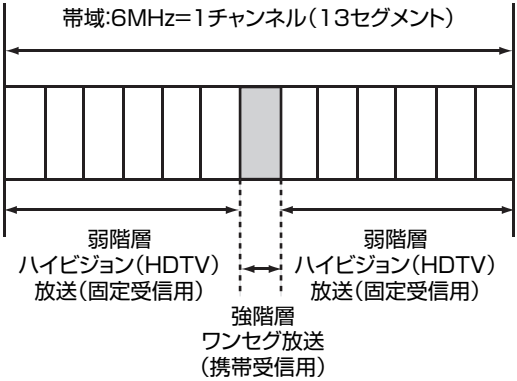
地上デジタル放送とは …… 188
テレビを視聴する前に …… 192
画面表示とタッチキーについて …… 195
放送局を登録する（初めてお使いになる場合）
…… 198
ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える …… 200
バンドを切り替える …… 201
選局する …… 202
放送局リストから選局する …… 206
データ放送を利用する（12セグ放送のみ）… 210
緊急放送を観る …… 211
音声を切り替える …… 212
地上デジタル放送の設定をする …… 213

地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。
本機では、ワンセグ／ 12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF帯域の電波を使用しており、約6MHzの帯域を１つのチャンネルとして13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けのHDTV放送（弱階層）を行うサービスを12セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。
ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2～ 5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。

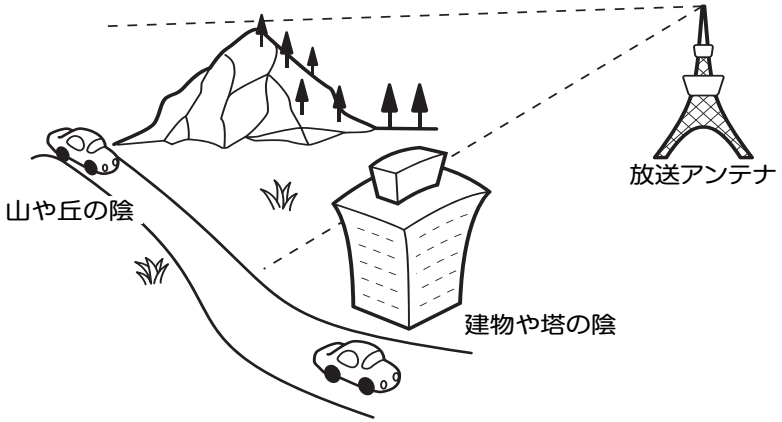
上記の放送の例では、○○○chを**メインチャンネル**、△△△chと×××chを**サブチャンネル**と呼びます。

本機はマルチチャンネルに対応しています。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、下記のような現象が起こることがあります。

- ●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- ●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- ●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送終了後の周波数リパックについて

2011年7月24日の地上アナログ放送停波後から、周波数の再編（周波数リパック）が実施されます。
地上デジタル放送については現在13ch ～ 62chが割り当てられていますが、2011年7月24日以降、13ch ～ 52chの割り当てに変更になります。53ch以上の放送は、地上デジタル放送のチャンネルが切り替わることで視聴ができなくなるため、本機でオートストアする必要があります。(P.207)
なお周波数の切り替え時期は地域によって異なります。

周波数リパックの情報に関しては下記のURLをご覧ください。
デジサポのホームページ
http://digisuppo.jp/index.php/repack/
総務省の資料
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/090403_02_bt.pdf

テレビを視聴する前に

テレビを視聴するために必要なB-CASカードについて説明します。

B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。地上デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードリーダーにB-CASカードを入れてください。

お知らせ

・B-CASカードは本機に付属のものを使用してください。

B-CASカードについて

●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードの金属端子部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。

B-CASカードを台紙からはがす

B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。
B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

お知らせ

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00～ PM8：00）
- 盗難防止のため、車から離れるときはB-CASカードをB-CASカードリーダーから抜いて持ち歩くようにしてください。

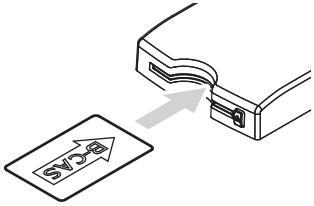
B-CASカードを入れる

お願い

- B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る

2 B-CASカードリーダーに、B-CASカードを挿入する



アドバイス

- B-CASカードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。

END

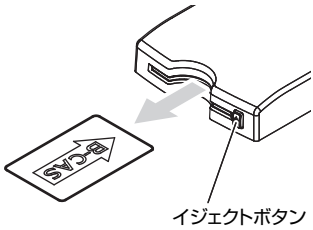
B-CASカードを抜く

お願い

・B-CASカードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。

1 エンジンを切る

2 イジェクトボタンを押して、B-CASカードを抜く



お願い

・B-CASカードは高温で変形するおそれがあるので、使用後はカードを抜くかまたは高温にならない場所にセッティングしてください。

END

画面表示とタッチキーについて

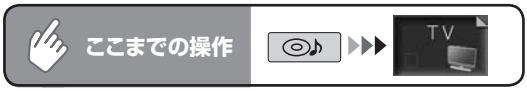
⚠警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみテレビの映像を観ることができます。走行中は、音声だけを聴くことができます。**

お知らせ

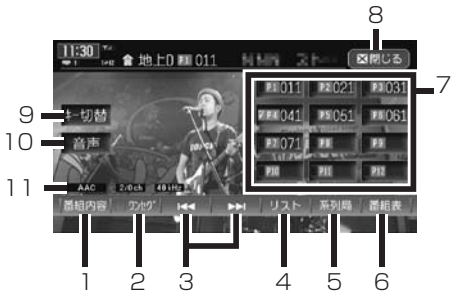
- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。
- 本機は、地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます。(P.200)
- 自動切替機能をONに設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合に12セグ放送に切り替わります。
- テレビ受信中に音量を調節した場合、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回テレビを受信したときに元の音量で観ることができます。
- テレビ受信時に（おもに弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また、画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

テレビの画面は、オーディオ画面を例に説明しています。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いはP.196をご覧ください。

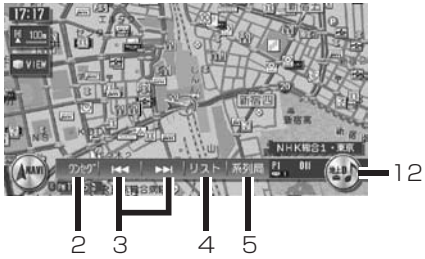


約５秒間操作しないと、テレビのタッチキーは消えます。再度表示させるには、画面内をタッチします。

オーディオ画面



ナビ画面



1	番組内容	番組内容を表示する 走行中は背景切替に変わります。
2	ﾜﾝｾｸﾞ	ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える
3	⏮、⏭	受信可能なメイン／サブチャンネルを選局する 操作パネルの＜、＞を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。
4	リスト	プリセットチャンネルリストを表示する
5	系列局	走行エリア付近の系列局をサーチする（P.205）
6	番組表	番組表を表示する（P.204） 走行中は表示されません。
7	プリセット チャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネルのキー ご希望のチャンネルのキーにタッチすると、選択したチャンネルを受信します。
8	閉じる	画面に表示されている操作メニューの表示を消す
9	キー切替	データ放送用のジョイスティックメニューを表示する（P.210）
10	音声	受信中番組の音声を切り替える（P.212）
11	マルチチャンネル 情報	音声形式（AAC）、チャンネル、サンプリング周波数情報を表示
12	AV操作キー	現在選択されているソース（地上D/1SEG）表示 「ホーム」のモードが選択されているときは、ホームマークも表示されます。 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

■プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは**「放送局リストから選局する」（P.206）**をご覧ください。

■「ホーム」と「お出かけ」を使い分ける

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内のプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

たとえばお住まいのエリアが東京でよく大阪に出かけられる場合、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を設定しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

アドバイス

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、12セグのメインチャンネルのみです。ワンセグや12セグのサブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。



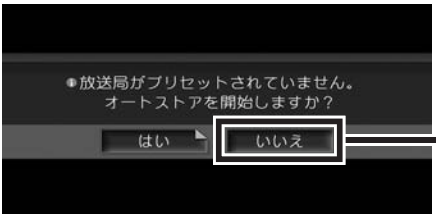
ﾒｯｾｰｼﾞ削除をタッチすると、自動表示メッセージを消去します。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

放送局を登録する（初めてお使いになる場合）

本機お買い上げ後に初めてテレビを受信すると、放送局を自動的にプリセットチャンネルリストに登録するかどうかの確認メッセージが表示されます。
ここで放送局登録の操作を行ってから、ご使用ください。
あとで同様の操作を行うこともできます。詳しくは、**「放送局をリストに自動で登録する（オートストア）」（P.207）**を参照してください。

ここまでの操作 TV

1 はいをタッチする



タッチすると、放送局を登録せずに受信画面を表示します。

受信可能な放送局が12局まで登録されます。

アドバイス

- いいえをタッチすると、テレビの受信画面が表示されます。＜または＞を押して希望のチャンネルに合わせてください。

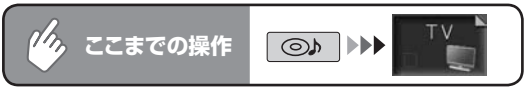
END

お知らせ

- ここで自動登録の操作を行わなかった場合、次回テレビ受信時も同様のメッセージが表示されます。
- この操作は、「ホーム」「お出かけ」の各バンドでそれぞれ行われます。「ホーム」で放送局を登録しても、初回電源投入時から初めて「お出かけ」モードに切り替えたときは、同様のメッセージが表示されます。
- はいをタッチしても受信可能な放送局が見つからなかったために登録ができず、その後**オートストア（P.207）**を行わなかった場合は、ソース切り替え時に同様のメッセージが表示されます。
- ここで自動登録の操作を行わずにあとで**オートストア（P.207）**を行った場合、次回以降は確認メッセージは表示されません。

ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える

視聴する放送（12セグ放送／ワンセグ放送）に切り替えられます。



1 ワンセグをタッチする

ワンセグをタッチするたびに、ワンセグ放送と12セグ放送が切り替わります。

お知らせ

- 12セグ放送のサブチャンネル（**P.202**）を視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

END

ワンセグ／ 12セグの自動切替機能について

本機の地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。自動切替機能ON時に、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

お知らせ

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていなくても、自動切替機能が動作する場合があります。
- 自動切替機能をONに設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても、12セグ放送の受信電波が強くなった場合は12セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能OFF時に、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。（**「ノイズコンシールメント機能」（P.213）**）

バンドを切り替える

地上デジタルTVチューナーには、2つのバンド（ホーム／お出かけ）があります。地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内のプリセットチャンネルをホーム、お出かけにそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

ここまでの操作　リスト

1 ホームまたはお出かけをタッチして、観たいバンドを切り替える



お知らせ

- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

END

選局する

メイン／サブチャンネルを選局する

3桁チャンネル番号のメインチャンネル、サブチャンネルを自動的に選局します。

1 AVコントロールバーの ⏮ または ⏭ をタッチする

現在受信中のチャンネルを含む次、または前のチャンネルのメイン／サブチャンネルを探して選局します。



- 画面上にSEEKインジケーターが表示され、次の放送局が見つかるまで選局を継続します。

END

チャンネル番号を入力して選局する

12セグ放送のメイン／サブチャンネル、およびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 番号入力

1 観たい3桁チャンネル番号を入力し、決定をタッチする



アドバイス

- 3桁に満たない番号を入力した場合は、エラーとなります。
- ワンセグ自動切替（P.213）が「しない」の場合、ワンセグ放送を選んでいるときはワンセグの3桁チャンネル番号のみ入力を受け付けて選局できます。12セグ放送を選んでいるときは、12セグの3桁チャンネル番号のみ入力を受け付けて選局できます。いずれも放送局がない場合は、入力した番号がキャンセルされるので再入力します。
  ワンセグ自動切替が「する」の場合は、ワンセグ／12セグのどちらの3桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- プリセットチャンネルリストで観たい番組のチャンネル番号をタッチし、直接選局することもできます。

END

番組表（EPG）から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

ここまでの操作　番組表

お知らせ

- 番組表は、他のソース選択時やオーディオパワー OFF時などテレビモードがOFFのときに、15分ごとに自動で更新されます。

1 ▲、◀、▶、▼で観たい番組を選択し 決定 をタッチする



番組表の内容が更新されます。

選択キー

番組表を操作します。

選択した番組の放送を受信します。

- 前日：翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。
- 翌日：翌日の番組表を表示します。
- 番組内容：番組の詳細内容を表示します。
- 拡大縮小：タッチするごとに4パターンの拡大縮小表示を行います。

END

手動で選局する

ここまでの操作 リスト

1 ⏮ch または ch⏭ をタッチして、希望のチャンネルに合わせる

アドバイス

- UHF放送の13ch ～ 62chまでを１チャンネルずつ選局できます。
- ⏮ch または ch⏭ をタッチし続けると、画面上にSEEKインジケーターが表示され、次の放送局が見つかるまで選局を継続します。
- 受信可能な放送局をあらかじめ本機に登録し、そこから選局することもできます。詳しくは、**「放送局リストからチャンネルを選ぶ」（P.208）**をご覧ください。

END

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。
はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

お知らせ

- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

1 走行中に 系列局 をタッチする

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます。詳しくは、**「系列局自動サーチ」（P.214）**をご覧ください。

END

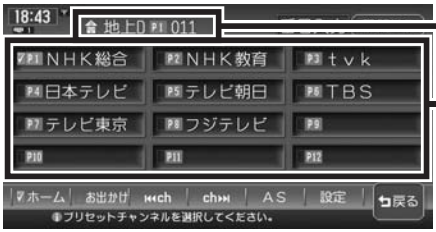
放送局リストから選局する

放送局をリストに手動で登録する

プリセットチャンネル（P.197）をあらかじめ登録しておけば、プリセットチャンネルリストから簡単に選局することができます。
プリセットチャンネルは、「ホーム」「お出かけ」の各バンドに12ずつ、合計24チャンネルまで登録することができます。

ここまでの操作　リスト

1 ホームまたはお出かけをタッチして、登録したいバンドを選択する



受信中の放送局が表示されます。

受信中の放送局を登録するキーです。

2 chまたはchをタッチして、登録したいチャンネルを選択する

3 登録するプリセットチャンネルキーを、「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

選択したチャンネルがプリセットチャンネルに登録されます。
ここで登録した内容はオーディオ画面のプリセットチャンネルキーにも反映されます。プリセットチャンネルキーには、チャンネル番号が表示されます。

お知らせ

- プリセットチャンネルキーに表示される内容は、12セグの放送局名とチャンネルです。

END

放送局をリストに自動で登録する（オートストア）

受信可能な放送局を自動で探し出し、12局まで登録します。（地域によっては12局に満たない場合があります）
お出かけ先で、チャンネルがわからないときに便利です。

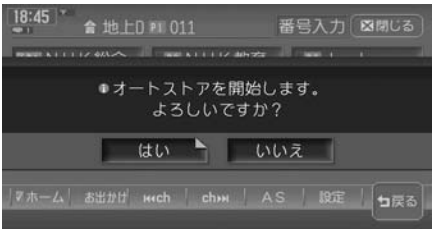
お知らせ

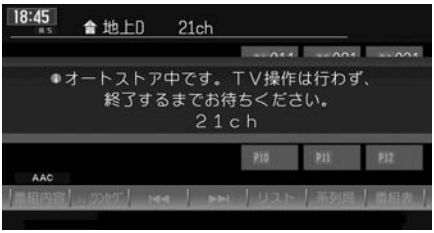
- オートストアを実行すると、現在選択している受信バンド（ホーム、お出かけ）別にチャンネルリストが登録できます。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ ホーム または お出かけ で目的のバンドを選択

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする





オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されます。

アドバイス

- 受信状態によっては、約1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートストア中は、＜／＞を押してキャンセルすることができます。
- リモコンからオートストアを行った場合は手順2の確認画面は表示されず、すぐにオートストアが開始されます。

NEXT

- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書きして登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルがクリアされる場合もあります。
- オートストアを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートストア前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定（P.214）で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートストアしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。

END

放送局リストからチャンネルを選ぶ

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ ホーム または お出かけ で目的のバンドを選択

1 プリセットチャンネルキーをタッチする

選択した放送局が受信されます。

アドバイス

- ＜／＞を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。また、初期画面のプリセットチャンネルキーから直接選局することもできます。

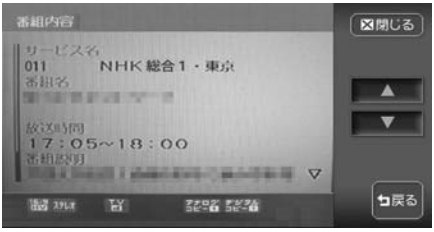
END

番組の詳細を表示する

現在観ている番組の詳細内容を表示します。

1 番組内容をタッチする

番組の詳細内容が表示されます。



END

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

お知らせ

- データ放送を利用するには、あらかじめ現在地の郵便番号を設定しておく必要があります。(P.214)
- データ放送がない番組の場合、d をタッチしても何も表示されません。

ここまでの操作 キー切替

1 d をタッチする

データ放送画面が表示されます。



数字入力メニューに切り替わります。
画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

タッチキーを切り替えます。
メニューを右に移動します。

アドバイス

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- 画面右下に「⇒⇒⇒データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから d をタッチしてください。

END

緊急放送を観る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送が始まると、画面に「緊急放送」または「EWS」（Emergency Warning System）と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

オーディオ画面



ナビゲーション画面



放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

END

音声を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりします。

1 受信中にオーディオ画面で 音声 をタッチする

現在選択中の音声が表示されます。



受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。音声をタッチするたびに12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。また、音声多重放送時には各音声の主音声と副音声を切り替えられます。

12セグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→
・・・第16音声（主）→第16音声（副）→第1音声（主）・・・

ワンセグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→
第1音声（主）

2ヶ国語放送受信中などで番組に主音声、副音声がある場合は、音声をタッチして切り替えることができます。

副音声の状態で他のチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

副音声の状態で再度音声をタッチすると、主音声に切り替わります。

お知らせ

- 音声情報のない箇所は飛ばして切り替わるので、必ずしも上記の動作にはなりません。

END

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ここまでの操作　リスト

1 設定 をタッチする

設定メニュー画面が表示されます。







以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
字幕表示	字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定する 表示する場合は「第1」「第2」の各言語から選択します。	第1／第2／非表示※	—
ワンセグ自動切替	12セグ受信中に受信感度が悪くなった場合、自動でワンセグモードへ切り替える機能を設定する	する※／しない	—
イベントリレー自動選局	放送中に放送局が変更される番組について、放送局の切り替えを自動で行う	する／しない※	—
遅延補正	12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声ズレを軽減する	する／しない※	—
ノイズコンシールメント	受信が困難になったときに、表示可能な最後の画面を静止画として表示する	する／しない※	—

NEXT

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
デジタル音声出力	デジタル音声の出力形式を設定する <PCM> マルチチャンネル放送は2チャンネルになります。また、データ放送画面に切り替えたとき、操作音を出力することができます。 <STREAM> 臨場感あふれるマルチチャンネル放送を楽しめます。	PCM※／STREAM	—
地域設定	オートストア実行時に重複した放送局がある場合の表示優先順位を決定する。またデータ放送受信時に、地域情報を取得するために郵便番号を設定する。	東京※	P.214
放送メール	放送局から送られてくるメールの内容を表示する	—	P.216
B-CASカード	B-CASカードのID情報を表示する	—	P.217
個人情報初期化	個人情報を初期化する	—	P.218
系列局自動サーチ	30秒間受信レベルが回復しない場合、走行地域を考慮して中継局／系列局を自動で検出する	する／しない※	—

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 ［地域設定］の 地域設定 をタッチする

エリア選択画面が表示されます。

2 優先させたい放送局エリアをタッチして、 決定 をタッチする



現在選択中の放送局エリアには☑が表示されます。

3 放送局エリアの郵便番号を入力し、決定をタッチする



アドバイス

- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、ランダムな数字を入力してください。（ゼロを7桁入力した場合は設定できません）データ放送は受信できませんが、エリア設定を行うことができます。

END

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 ［放送メール］の 受信メール表示 をタッチする

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

2 表示させたいメールをタッチする





選択した放送メールの内容が表示されます。

お知らせ

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲、▼で画面をスクロールして表示します。
- 受信した放送メールは最大８個まで保存されます。８個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態でも削除されます。
- すべての放送メールを削除することもできます。（P.218）
- 放送メールの受信が１通もない場合、受信メール表示はタッチできません。

END

B-CASカードのID情報を確認する

B-CASカードのID情報などを確認します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 [B-CASカード] の［ＩＤ番号表示］をタッチする

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

2 B-CASカードのID情報などを確認する



B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

アドバイス

- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードIDの確認画面の「グループID」以外に［－－－－］が表示されます。

END

個人情報を初期化する

個人情報を初期化します。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 設定 ▶▶▶ 次頁

1 ［個人情報初期化］の 項目選択 をタッチする

初期化項目選択画面が表示されます。

2 初期化したい個人情報をタッチする



全データの初期化 ：設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。

受信メールの消去 ：放送メールをすべて消去します。

各種設定の初期化 ：設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストの初期化および放送メールの消去は行いません。

削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

選択した各設定が初期化されます。

お知らせ

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。

END

オーディオ・ビジュアル編

DVDを観る

DVDビデオおよびDVD-VRの再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

画面表示とタッチキーについて …… 220
再生する …… 223
いろいろな再生方法 …… 224
初期設定を変更する …… 234
画面サイズを切り替える …… 245

画面表示とタッチキーについて

⚠警告

- **運転者がDVDの映像を観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみDVDの映像を観ることができます。走行中は、音声だけを聴くことができます。**

DVDビデオ／ DVD-VRの画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

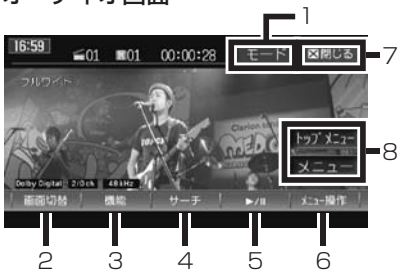
- 本機で対応しているディスクについては、**「対応メディア・対応ファイルについて」（P.536）**をご覧ください。
- DVDモード時に音量を調節した場合、ディスクを取り出したり、他のソースに切り替えて音量を変更しても、次回DVDを再生したときに元の音量で観ることができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ DVD/CD **またはDVDディスクを挿入**

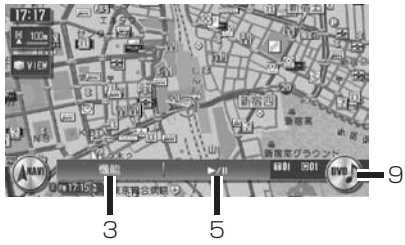
5秒間操作をしないと、DVDのタッチキーは消えます。再表示させるには、画面内をタッチします。

DVDビデオ

オーディオ画面



ナビ画面



1	モード	字幕言語、音声言語、アングルを切り替える（P.232）
2	画面切替	画面サイズを切り替える（P.245）
3	機能	リピート再生、スキャン再生をするための機能メニューやDVDの初期設定画面を表示する（P.231、P.234）

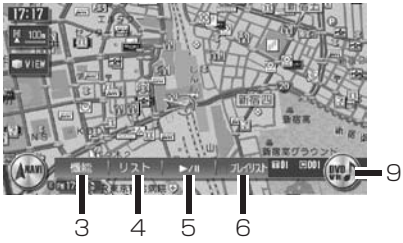
4	サーチ	タイトルやチャプターをダイレクトに選択する（P.224）
5	▶/II	一時停止する 再度タッチすると再生が始まります。また、タッチし続けると再生を中止することもできます。
6	メニュー操作	DVDメニュー操作画面を表示する（P.226）
7	☒閉じる	画面に表示されている操作メニューの表示を消す
8	トップメニュー メニュー	DVDメニューを表示する（P.228）
9	AV操作キー	現在選択されているソース（DVD）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

DVD-VR

オーディオ画面



ナビ画面



1	モード	字幕表示、音声チャンネルを切り替える（P.233）
2	画面切替	画面サイズを切り替える（P.245）
3	機能	リピート再生、スキャン再生をするための機能メニューを表示する（P.231）
4	リスト	タイトルリストを表示する（P.225）
5	▶/II	一時停止する 再度タッチすると再生が始まります。また、タッチし続けると再生を中止することもできます。
6	プレイリスト	プレイリスト表示のON/OFFを切り替える（P.229）
7	タイトル名称	現在再生中のタイトル名表示 タッチするとスクロールします。
8	☒閉じる	画面に表示されている操作メニューの表示を消す
9	AV操作キー	現在選択されているソース（DVD-VR）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。



- 一時停止中に以下の状況が発生した場合は、一時停止が解除され再生を再開します。
  交通情報（P.133）を聴き、解除した場合
  電話を受発信し、終了した場合
- ＜、＞を押してチャプターのアップ／ダウン操作をすることもできます。また、＜、＞を押し続けて、早送り（＞）／早戻し（＜）再生をすることもできます。
- DVDビデオでは、ディスクにより、メニュー中にキー操作（再生／一時停止）ができない場合があります。その場合は、メニュー操作でDVDメニューの操作キーを出して操作をしてください。

再生する

ディスクが本機に入っている場合の再生方法

1 を押す

2 

をタッチする

再生が始まります。

END

ディスクが本機に入っていない場合の再生方法

1 「DVDやCD」（基本操作ガイド P.68）を参照して、ディスクを本機に挿入する

自動的に操作パネルが閉じ、再生が始まります。

END

再生を停止する

1 再生中に ▶/II をタッチし続ける

再生が停止します。

END

停止位置から再生を再開する

1 ▶/II をタッチする

前回の停止位置から再生が始まります。

END

ディスクの先頭から再生を再開する

1 再生停止状態で ▶/II をタッチし続ける

2 ▶/II をタッチする

ディスクの先頭から再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

タイトル／チャプター番号を選んで再生する DVDビデオ

再生中のDVDビデオから、見たいタイトルやチャプターの番号を入力して再生します。

お知らせ

- タイトル番号が指定できるのは、複数のタイトルが収録されているDVDビデオディスクを再生しているときです。
- ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

ここまでの操作　サーチ

1 見たいタイトル番号を入力して 決定 をタッチする



チャプター番号を入力する画面に切り替わります。

選択したタイトル／チャプター番号の映像が再生されます。

2 閉じる または 戻る をタッチする

テンキーが消え、映像画面に切り替わります。

END

リストから選んで再生する

DVD-VR

タイトルリストからタイトルを直接選択して再生できます。

ここまでの操作 リスト

1 観たいタイトルをタッチする



選択したタイトルが再生されます。

2 閉じる または 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

アドバイス

- 番号指定 をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

END

ディスクメニューを利用して再生する　DVDビデオ

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たいメニューを再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

お知らせ

・ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

ここまでの操作　メニュー操作

1 トップメニューまたはメニューをタッチし、DVDメニューを表示する



ディスクによってはこの操作ができない場合があります。

2 ▲、▼、◀、▶をタッチして目的のメニュー項目を選択し、決定をタッチする



ﾀﾞｲﾚｸﾄ ： メニュー項目をダイレクトに選択できます。(P.228)

10キー ： メニュー番号をダイレクトに入力して選択できます。
選んだメニュー項目が再生されます。

10キー入力画面



通常のDVDメニュー画面に戻るには、戻るをタッチします。

END

ダイレクト操作で再生する

DVDメニューの項目をじかにタッチして再生することができます。

アドバイス

- DVDディスクメニューのダイレクト操作をする前に、確認画面を表示することもできます。(P.243)

ここまでの操作

メニュー操作 ▶▶▶ トップメニュー または メニュー ▶▶▶ ダイレクト

または 初期画面で トップメニュー メニュー のいずれか

1 目的のメニュー項目をタッチする



DVDメニュー操作のタッチキーが表示されます。再度 ⊕ または ⊖ を押すとメニュー操作画面に戻ります。選んだメニュー項目が再生されます。

アドバイス

- ディスクメニューの間隔が狭くダイレクトタッチで操作できない場合は、初期画面の トップメニュー または メニュー をタッチして表示されるメニュー操作画面から操作してください。

END

プレイリストから選んで再生する DVD-VR

お手持ちのDVDレコーダーで作成したプレイリストから再生できます。

1 プレイリストをタッチする



チェックマークが表示されます。

2 リストをタッチする

プレイリストが表示されます。

3 観たい項目をタッチする



選択した項目が再生されます。

4 閉じるまたは戻るをタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

END

アドバイス

- プレイリストからの再生中に再度プレイリストをタッチすると、プレイリスト再生は終了し、プレイリスト選択前に再生していたタイトルの先頭から再生が始まります。

スロー再生する

再生中のDVDをスロー再生できます。

1 ▶/II をタッチして、再生を一時停止する

2 ＞ を押し続ける

スロー再生がはじまります。

アドバイス

- ＞ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「1/3」と表示されます。

▶ END ◀

静止画を再生する DVD-VR

DVD-VRの静止画を再生できます。静止画に音声が記録されている場合は、音声も再生されます。

1 ディスクを再生する

ディスク内の最初の静止画が再生されます。

2 静止画を送るには、⊖ を押す

▶ END ◀

お知らせ

- 静止画の送りには、時間がかかることがあります。

アドバイス

- ⊖ を押して送られるのは、チャプター内の静止画のみです。チャプターを切り替えるには、＜、＞ を押します。
- AV2画面表示中は、⊖ による静止画の切り替えはできません。

リピート、スキャン再生をする

1つのチャプター／タイトルを繰り返し再生したり、各チャプター／タイトルを10秒間ずつ再生して観たいチャプター／タイトルを探すことができます。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目の CHAPTER をタッチする

DVDビデオ



DVD-VR



REPEAT　：現在再生中のチャプター／タイトルのみをリピート再生します。

SCAN　　：現在再生中のチャプター／タイトルから、各チャプター／タイトルの先頭を10秒間ずつ再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生になります。

選択を解除し、再生中のチャプター／タイトルから通常の再生になります。

アドバイス

- チャプター／タイトルスキャン再生は早送り／早戻しした場合に自動的に解除されます。

END

字幕・音声・アングルを切り替える

DVDビデオ

再生中のディスクの字幕言語、音声言語、映像のアングルを切り替えることができます。

お知らせ

- ディスクによっては、この操作はディスクメニューからしか行えない場合があります。
- アングルが切り替えられるのは、DVDビデオディスクのみです。

ここまでの操作 モード

1 目的の項目をタッチする



現在の設定が表示されています。

アングル ：再生中に映像のアングルを切り替えます。
複数のアングルが収録されている場面（（マルチアングルインジケータマーク）が表示されます）の再生中にのみ有効です。

字幕 ：字幕言語を切り替えます。
ディスクに字幕が収録されている場合のみ有効です。

音声 ：音声言語を切り替えます。
ディスクに複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

タッチするたびに、音声言語、字幕言語またはアングルの設定が切り替わります。

アドバイス

- **初期設定（P.234）**で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、音声言語を切り替えることができない場合があります。

2 戻るをタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

END

字幕表示・音声チャンネルを切り替える DVD-VR

再生中のディスクの字幕のON/OFF、また音声のチャンネルを切り替えることができます。

ここまでの操作 モード

1 目的の項目をタッチする



現在の設定が表示されています。

字幕 ：字幕のON/OFFを切り替えます。
ディスクに字幕が収録されている場合のみ有効です。

音声 ：音声の出力チャンネルを切り替えます。
ディスクに複数の音声チャンネルが収録されている場合のみ有効です。

タッチするたびに、字幕または音声の設定が切り替わります。

2 戻るをタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

END

初期設定を変更する

メニュー言語や、国別の視聴制限などを設定できます。
ここでの設定は、DVDモード全体に適用されます。

お知らせ

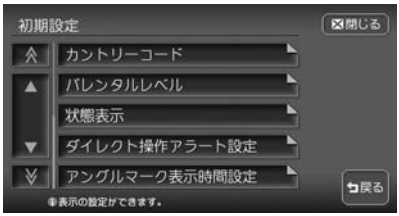
- 初期設定画面から各設定画面に移行すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、設定内容によってディスクの先頭もしくは設定前の場所から再生が始まります。何もしないで初期設定画面を閉じると、途中から再生が始まります。

ここまでの操作 機能

1 初期設定をタッチする

2 各種設定を行う





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.236
メニュー言語	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.237
音声言語	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.237
字幕言語	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.237
パスワード	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.238
カントリーコード	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.240
バレンタルレベル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.241

設定項目	設定の内容	参照ページ
状態表示	再生情報（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.242
ダイレクト操作アラート設定	DVDビデオディスクメニューのダイレクト操作をする前に確認画面を表示する	P.243
アングルマーク表示時間設定	アングルの切り替えが可能な画面で表示される  （マルチアングルインジケータマーク）の表示時間を設定する	P.244

お知らせ

・設定を中止するには、設定中に戻るをタッチします。

モニターサイズを切り替える

DVDビデオ

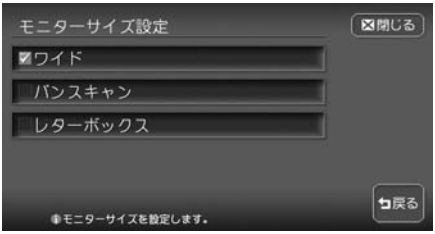
再生時に優先するモニターサイズを、ワイド、パンスキャン、レターボックスから選択します。

お知らせ

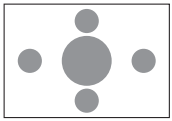
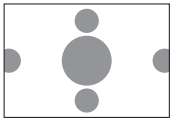
- 収録されているモニターサイズはディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」あるいは「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生されることがあります。

ここまでの操作　機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ モニターサイズ設定

1 お好みのモニターサイズをタッチする



選択したモニターサイズのチェックマークが表示されます。

ワイド		映像はモニターにぴったり収まり、映像が切れる部分はありません。
パンスキャン		画像の変形はありませんが、左右の映像が切れます。パン（スクロール）しながら画像を表示することもあります。
レターボックス		通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するために、上下部分を黒く表示します。

END

メニュー言語、音声言語、字幕言語を切り替える DVDビデオ

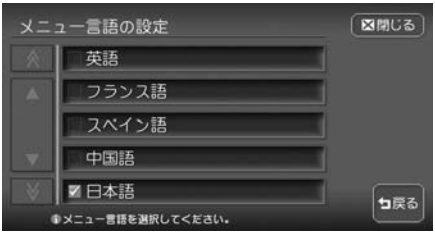
再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語それぞれについて設定できます。

お知らせ

- 本設定は、再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。
- 工場出荷時の初期設定は「日本語」です。

ここまでの操作　機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ メニュー言語 、音声言語 、字幕言語 のいずれか

1 お好みの言語をタッチする



※画面はメニュー言語選択画面です。選択した言語のチェックマークが表示されます。選択できる言語は「英語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「日本語」です。

アドバイス

- 字幕言語の設定画面で OFF を選択すると、字幕は表示されなくなります。

END

パスワードを設定・変更する

DVDビデオ

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

お知らせ

・パスワードは、はじめは設定されていませんので、お客様ご自身で設定してください。

ここまでの操作　機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パスワード

1 数字をタッチし、現在設定されているパスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁の数字）を入力する



入力されたパスワードは「※※※※」と表示されます。

アドバイス

・パスワード未設定の場合は、新規パスワード設定画面が表示されます。

2 決定をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。
新規パスワード設定の場合は、手順4に進みます。

3 パスワードの変更をタッチする

パスワード画面が表示されます。

4 新しいパスワードを入力し、決定をタッチする

5 同じパスワードを再度入力し、決定をタッチする

パスワード設定のメッセージが表示され、初期画面に戻ります。

END

パスワードを消去する

DVDビデオ

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作　機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パスワード

1 数字をタッチし、現在設定されているパスワードを入力する

2 決定をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。

3 パスワードの消去をタッチする

4 はいをタッチする

パスワードが消去され、初期設定画面へ戻ります。

アドバイス

- いいえをタッチすると、パスワードは消去されずに、パスワード編集画面に戻ります。

END

国別の視聴制限を設定する（カントリーコード） DVDビデオ

視聴制限（P.241）に使用する国を設定します。
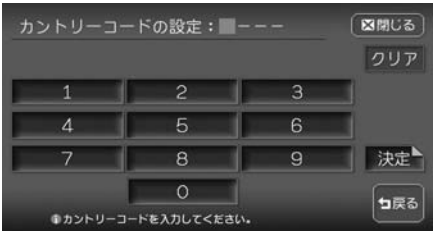
カントリーコードは、視聴制限のために使用する国を識別するためのコードです。詳しくは、「カントリーコード一覧」（P.519）をご覧ください。

お知らせ

- 初期設定は「7480」（JAPAN）です。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ カントリーコード

1 DVDビデオディスクに記録してある国（または地域）のコードを入力し、決定をタッチする



カントリーコードが設定され、初期設定画面に戻ります。

END

視聴制限を設定する（パレンタルレベル設定） DVDビデオ

視聴制限について

DVDビデオディスクには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。視聴制限はレベル1～8まであり、レベル1が最も制限が厳しくなっています。

視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：ディスク側の視聴制限がレベル3の場合

本機のパレンタルレベルが「レベル1～3」の場合のみ、再生できます。

本機のパレンタルレベルが「レベル4～8」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、視聴制限レベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまくかからない場合があります。

お知らせ

- パレンタルレベル変更の警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。
- 初期設定はOFFです。
- 視聴制限レベルは、ディスクのパッケージなどに記載されています。パッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ パレンタルレベル

1 パスワード（P.238）を入力し、決定をタッチする

2 設定したいパレンタルレベルをタッチする



希望のパレンタルレベルが表示されていない場合は、タッチしてリストを送ります。

選択したレベルのチェックマークが表示されます。

END

再生状態表示を設定する

映像画面に再生情報を常に表示しておくことができます。

ここまでの操作

DVDビデオ ▶▶▶ 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ 状態表示

DVD-VR ▶▶▶ 機能

1 再生情報を表示させたい場合は 常に状態を表示する （DVDビデオ）または 状態表示 （DVD-VR）をタッチする



チェックマークが表示されます。
※画面はDVDビデオの場合です。

2 閉じる をタッチする

映像画面に戻ります。



常に表示されます。

アドバイス

- 再生情報表示を解除する場合は、 常に状態を表示する または 状態表示 を再度タッチします。

お知らせ

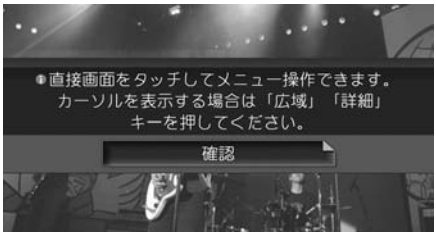
- リアモニター接続時、状態表示を設定するとリアモニターにも再生情報が表示されます。なお、映像をリアモニターから本機の画面に切り替えたときに、リアモニターの再生情報の一部が本機の画面に残る場合があります。

END

ダイレクト操作の確認画面を表示する

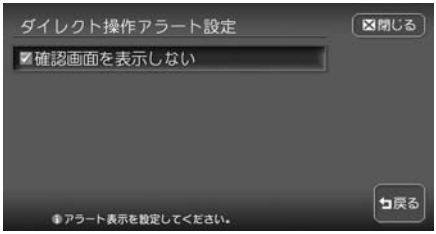
DVDビデオ

この設定をONにすると、DVDディスク挿入後最初にメニュー画面を表示させたときに、以下に示すダイレクト操作アラート確認画面を表示させることができます。



ここまでの操作 機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ ダイレクト操作アラート設定

1 ☑確認画面を表示しない をタッチする



チェックマークが消え、メニュー画面表示時に確認画面が表示されるようになります。

アドバイス

- 確認表示を解除する場合は、☑確認画面を表示しない を再度タッチします。

END

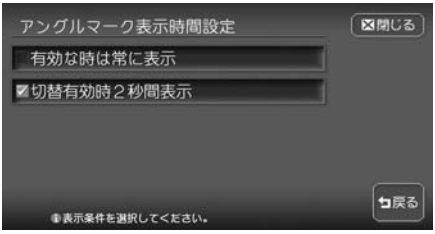
アングルマークの表示時間を設定する

DVDビデオ

アングルの切り替えが可能な画面で表示される「マルチアングルマーク」の表示時間を設定することができます。

ここまでの操作　機能 ▶▶▶ 初期設定 ▶▶▶ アングルマーク表示時間設定

1 表示時間を設定する



☑有効な時は常に表示　：アングルマーク有効時は常に表示します。

☑切替有効時２秒間表示　：アングルマーク有効時に2秒間だけ表示します。

設定した項目のチェックマークが表示されます。

END

画面サイズを切り替える

DVD画面の表示サイズを、ノーマル、フルワイド、シネマに切り替えます。

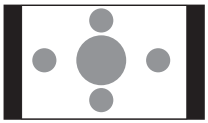
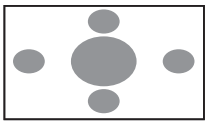
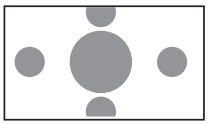
お知らせ

・画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ることがあります。

ここまでの操作　画面切替

1 希望の画面サイズを選択してタッチする



ノーマル		画面の左右が黒画面となります。
フルワイド		画面全体が横方向に広がります。
シネマ		画面上下の映像が見えなくなります。

通常のDVD画面に戻ります。
AVコントロールバーが消えると同時に、選択した画面のサイズが反映されます。

END

Memo

CD・MP3・WMA・AACを聴く

CD・MP3・WMA・AACの再生方法などの操作について説明します。

目次

画面表示とタッチキーについて …… 248
再生する …… 253
いろいろな再生方法 …… 255
情報を表示する …… 259

画面表示とタッチキーについて

「再生する」（P.253）からの操作説明では、主にCDの画面を使って説明しています。ソースによって表示内容が異なる画面もありますが、特に記載のない限り、操作方法は同じです。CDの画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

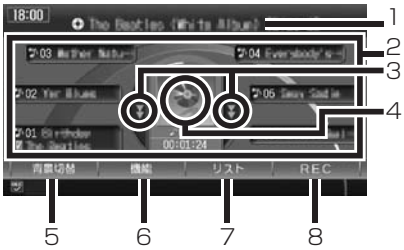
お知らせ

- 本機で対応しているディスクについては、**「対応メディア・対応ファイルについて」（P.536）**をご覧ください。

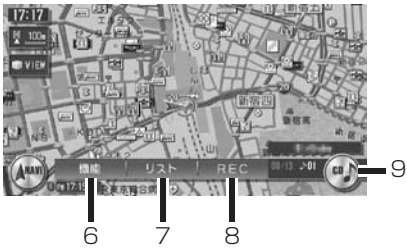


CD

オーディオ画面



ナビ画面



1	ディスク名称	現在再生中のディスク名表示 タッチするとスクロールします。
2	トラックキー	再生中のディスクにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する**（P.184）**
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューやCDの初期設定画面を表示する**（P.257、P.260）**
7	リスト	トラックリストを表示する

8	REC	手動録音の方法を選択する録音メニュー画面を表示する
9	AV操作キー	現在選択されているソース（CD）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

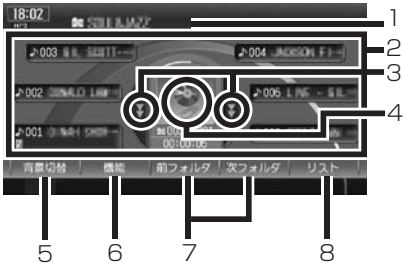
- 1曲ずつ選曲するときは、[>]および[<]を押します。[>]を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。[<]を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、[>]（早送り）および[<]（早戻し）を押し続けて行います。

お知らせ

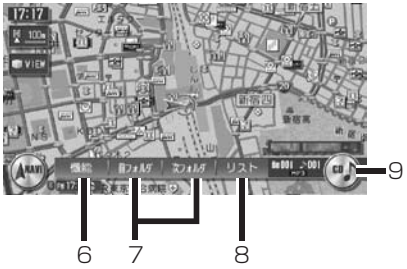
- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition Service[SM]の情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition Service[SM]からタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track 1」などの番号が表示されます。
- Gracenoteについて詳しくは、**「Gracenote® Music Recognition Service[SM]について」（P.547）**をご覧ください。

MP3/WMA/AAC

オーディオ画面



ナビ画面



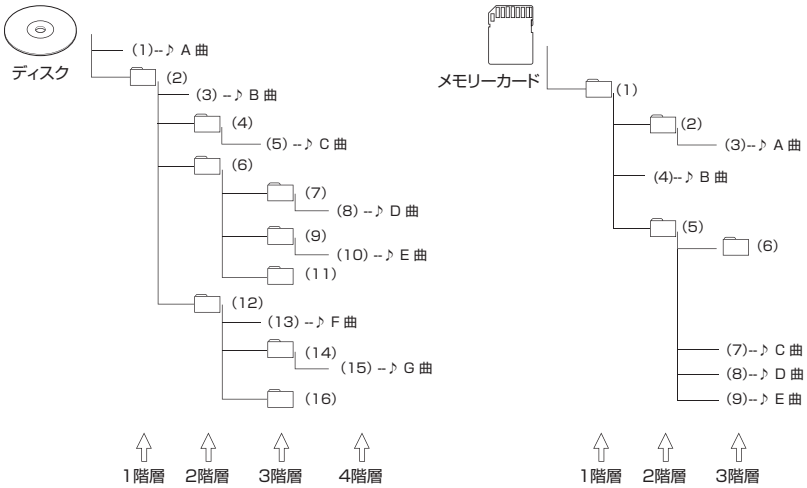
1	フォルダ名称	現在再生中のフォルダ名表示 タッチするとスクロールします。
2	トラックキー	再生中のディスクにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼▼、▼▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する **(P.184)**
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューやMP3/WMA/AACの初期設定画面を表示する **(P.257、P.260)**
7	前フォルダ、次フォルダ	再生するフォルダを切り替える
8	リスト	フォルダリストを表示する
9	AV操作キー	現在選択されているソース（CD、DVD）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するとき、また早送り／早戻しについては、CDと同様の操作を行ってください。詳しくは**P.249**をご覧ください。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMA/AACのファイル名称には、拡張子は表示されません。

ディスク／メモリーカードへの音楽データの保存方法について

CD、DVD、メモリーカードには、次のようなイメージで音楽データが保存されている必要があります。この構成以外のフォルダに存在する音楽データは再生できません。



曲のないフォルダ、また所定のフォルダ構成に当てはまらないファイルは飛ばして再生順序を決めます。

上図の場合の再生順序は、

ディスク：（1）→（3）→（5）→（8）→（10）→（13）→（15）

メモリーカード：（3）→（7）→（8）→（9）となります。

音楽データの記録メディアについて

	MP3	WMA	AAC
ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数	フォルダ：255（ルートを含む） ファイル：512 トラック：1フォルダあたり255 ディレクトリ構造：最大8階層まで（ルートを含む）		
メモリーカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数	フォルダ：500（ルートを含む） ファイル：4000 トラック：1フォルダあたり99 アーティスト名フォルダ：200 アルバム名フォルダ：200（1アーティストにつき） ディレクトリ構造：4階層（ルートを含む） （第1階層：ルート、第2階層：アーティスト名フォルダ、第3階層：アルバム名フォルダ、第4階層：トラック名ファイル）		

各ファイル形式の詳しい仕様については、**「MP3・WMA・AACファイルについて」（P.538）**をご覧ください。

- MP3/WMA/AACファイルを含まないフォルダは認識されません。
- ディスク内の場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3/WMA/AACファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、メモリーカードの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3/WMA/AACのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM/.M4）が残る場合があります。
  その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- メモリーカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、パソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- メモリーカードで1つのフォルダにMP3/WMA/AACファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- メモリーカードの各階層（アーティスト名フォルダ、アルバム名フォルダ）で認識可能なフォルダ数は最大200になります。
- メモリーカード、USBメモリーとも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

再生する

ディスクが本機に入っている場合の再生方法

1  を押す

2 

をタッチする

再生が始まります。

END

ディスクが本機に入っていない場合の再生方法

1 「DVDやCD」（基本操作ガイド P.68）を参照して、ディスクを本機に挿入する

自動的に操作パネルが閉じ、再生が始まります。

お知らせ

- 本機に録音されていないCDを挿入すると、自動的に録音が始まる場合があります。詳しくは、**「自動録音」（P.265）**をご覧ください。
- 本機では音楽CDのほかに、CD-R/RW、DVD-R/RWのMP3/WMA/AACを再生できます。詳しくは、**「MP3・WMA・AACファイルについて」（P.538）**をご覧ください。

END

メモリーカードから再生する

メモリーカードまたはMP3/WMA/AACファイルについては、**「MP3・WMA・AACファイルについて」（P.538）**をご覧ください。

1 **「メモリーカード」（基本操作ガイド P.70）を参照して、メモリーカードを本機に挿入する**

2 **を押す**

3 

をタッチする

再生が始まります。

END

お知らせ

- USBメモリーを本機に接続して、MP3/WMA/AACファイルを再生することもできます。詳しくは**「USBメモリーのオーディオを聴く」（P.313）**をご覧ください。
- サンプリング周波数が32kHzや48kHzのMP3/WMA/AACファイルを再生すると、音切れを起こす場合があります。その場合は、サンプリング周波数44.1kHzで作成したファイルをご使用ください。

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

フォルダ／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作 リスト

1 聴きたいフォルダ名を選択してタッチする（MP3、WMA、AAC）



選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。
聴きたいトラックを指定する場合は、手順2へお進みください。

2 聴きたいトラック名を選択してタッチする



選択したトラックから再生がはじまります。

アドバイス

・ > または < を押して、表示されているトラックを選択することもできます。

END

トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。



1 フォルダリスト画面で 番号指定 をタッチする（MP3、WMA、AAC）

フォルダ番号の入力画面が表示されます。

2 フォルダ番号を入力して 決定 をタッチする（MP3、WMA、AAC）

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 トラックリスト画面で 番号指定 をタッチする

トラック番号の入力画面が表示されます。

4 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

5 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生が始まります。

END

リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチし、閉じるをタッチする

CD表示画面



MP3/WMA/AAC表示画面



TRACK	(REPEAT)	：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。
TRACK	(SCAN)	：現在再生中のCDまたはフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
TRACK	(RANDOM)	：現在再生中のCDまたはフォルダの全トラックをランダムに再生します。
1FOLDER	(RANDOM)	
FOLDER	(REPEAT)	：現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。
FOLDER	(SCAN)	：各フォルダの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
ALL TRACK	(RANDOM)	：全フォルダの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。
選択を解除し、再生中のフォルダまたはトラックから通常の再生になります。

NEXT

アドバイス

- 選曲操作をすると、スキャン再生は解除されます。
- ALL TRACK （RANDOM）選択中にエンジンスイッチを切った場合、フォルダ・ファイルの数によってはエンジンスイッチを入れてから再生開始まで数十秒かかることがあります。

END

情報を表示する

トラックの情報を表示する

再生中のトラックのアルバム名、トラック名、アーティスト名、ジャンル（CDのみ）を表示します。

ここまでの操作

CD：リスト

MP3/WMA/AAC：リスト ▶▶▶ [目的のフォルダ]

1 情報を見たいトラックをタッチする

2 CD：トラック情報、MP3/WMA/AAC：TAG 情報をタッチする

CD





MP3/WMA/AAC





トラック情報画面が表示されます。

END

CD-TEXT/TAG情報を表示する

オーディオ画面のタイトル表示部にCD-TEXT/TAG情報を表示できます。リスト画面の表示は変わりません。

CD：CD-TEXTがある場合は、優先的に表示できます。

MP3/WMA/AAC：TAG情報がある場合は、優先的に表示できます。TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示します。メモリーカードの場合も同様です。

お知らせ

- TAG優先設定時は、オーディオ画面には現在再生中のトラックにのみトラック名とアーティスト名が表示されます。その他のトラックにはトラック番号のみ表示されます。フォルダ名には、再生中のトラックのTAGにあるアルバム名が表示されます。また、トラックキー・フォルダ名称部にTAGアイコンが表示されます。メモリーカードの場合も同様です。



ここまでの操作 機能

1 初期設定をタッチする

2 CD−TEXTを優先して表示する（CD）またはTAG情報を優先して表示する（MP3/WMA/AAC）をタッチする



チェックマークが表示され、タイトル表示部にCD-TEXT/TAG情報が表示されます。

※画面はCDのものです。

アドバイス

- CD-TEXT/TAG優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

END

ミュージックキャッチャー・マイアルバムを聴く

本機への録音方法、またミュージックキャッチャーとマイアルバムの再生方法などの操作について説明します。

目次

ミュージックキャッチャーとは …… 262
ミュージックキャッチャーに録音する …… 263
マイアルバムを作成する …… 267
画面表示とタッチキーについて …… 270
再生する …… 272
いろいろな再生方法 …… 273
アルバム、トラックを編集する …… 290

ミュージックキャッチャーとは

ミュージックキャッチャーとは、CDの曲を本機に録音し、再生する機能のことです。CDを持っていなくても、ミュージックキャッチャーからそのCDの曲を聴くことができます。

ミュージックキャッチャーの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	最大4000曲(*1)（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲） ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ(*2)
録音できる音源	音楽CDのみ(*3)
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。

(*1) ミュージックキャッチャーとファイルキャッチャー**（P.297）**では同一のドライブにデータが保存されるため、ファイルキャッチャーで大量のデータを取り込むとミュージックキャッチャーで録音できる曲数は減少します。

(*2) 録音可能時間については、**「ハードディスク情報（確認コード）を見る」（P.134）**をご覧ください。

(*3) 再生できるCDについては、**「CDについて」（P.537）**をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。
SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを＜1世代まで＞と規制しております。
したがって、下記の操作を本機で行うことはできません。

- ●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- ●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

アドバイス

- 録音した曲の中からお好みの曲を集めて、オリジナルのアルバムを作ることができます。詳しくは、**「マイアルバムを作成する」（P.267）**をご覧ください。

ミュージックキャッチャーに録音する

ミュージックキャッチャーを使用するには、まずCDの曲を本機に録音します。

録音する前に必ずお読みください

- 録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
- 万が一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償ができかねます。ご容赦願います。
- 録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。
- 録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
- CDの録音中は、ドルビープロロジックⅡ機能（P.389）に制限がかかることがあります。

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。
また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

アドバイス

- Gracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新することができます。
  詳しくは、**「アルバム情報の更新について」（P.455）**をご覧ください。

録音についてのご注意

録音時の状態について

下記のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に下記の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。

録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

- トラックキーまたはリストからの選曲（ダイレクトトラック選択）
- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生

お知らせ

- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。

また、録音中に下記の操作を行うと、録音中の曲が消去されます。

- エンジンを切る
  次回エンジンをかけると、前回録音していた曲の先頭から録音を再開します。
- CDを取り出す
  自動録音時：
  同じCDを再び挿入すると未録音の曲から録音・再生します。
  手動録音時：
  曲の消去と同時に録音設定がキャンセルされるので、同じCDを再び挿入するときは録音設定を行ってください。

自動録音

お知らせ

・自動録音は、最大6倍速で行われます。ただし、システムの動作状況により、必ずしも上記の動作が保証されるわけではありません。

1 CDを本機に挿入する

自動的に録音が始まります。
工場出荷時はこの設定になっています。

自動録音に設定する

1 を押し、各種設定をタッチする

2 録音設定をタッチする

3 挿入と同時に録音をタッチする

4 閉じるをタッチする

END

手動録音

設定が自動録音になっている場合は、まず手動録音に設定してから録音操作を行ってください。

手動録音に設定する

1 を押し、各種設定をタッチする

2 録音設定をタッチする

3 手動で録音をタッチする

4 閉じるをタッチする

END

手動録音する

1 CD再生中にRECをタッチする

2 希望の録音モードをタッチする



項目名	設定内容
全曲録音	再生中のCDを全曲録音する 確認画面ではいをタッチすると、アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生と録音が始まります。
現在の曲を録音	再生中の曲のみを録音する タッチすると再生中のトラック先頭に戻り、再生・録音を始めます。
曲を指定して録音	録音したい曲をリストから選択して録音する 選択後に決定をタッチすると、先頭に近い曲から再生・録音を始めます。

END

マイアルバムを作成する

マイアルバムは、ミュージックキャッチャーに録音した曲からよく聴く曲を集めて、お好みのオリジナルアルバムとして編集できる機能です。

お知らせ

- マイアルバムが1つも作成されていない場合は、マイアルバムをタッチすると「アルバムが作成されていません。作成しますか？」と表示されます。
  はいをタッチするとマイアルバムの作成画面（手順5）が表示されます。
- CD録音中は、マイアルバムの作成はできません。

1 を押し、M. CATCHERをタッチする

2 マイアルバムをタッチし、リストをタッチする

3 編集をタッチする



4 新規アルバムをタッチする



NEXT

5 アルバム名を全角／半角28文字までで入力して、決定をタッチする

6 トラックの追加方法を選択してタッチする



選択した方法で、ミュージックキャッチャーに録音済みの音源がリスト表示されます。
アルバム選択でトラックを追加する場合は、手順8に進んでください。

7 登録したいアーティスト名またはジャンルをタッチする



※画面は手順6で「アーティストから」をタッチした場合のものです。
選択した項目のアルバムリストが表示されます。

8 登録したいアルバムを選択してタッチする



9 登録したいトラックを選択してタッチする

複数のトラックを選択できます。



別のアルバムからさらにトラックを追加する場合にタッチします。手順6の画面に戻ってトラックを選択できます。

10 選択し終わったら、アルバム作成をタッチする

アルバムが作成され、アルバムリスト画面に戻ります。

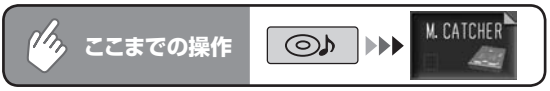
END

画面表示とタッチキーについて

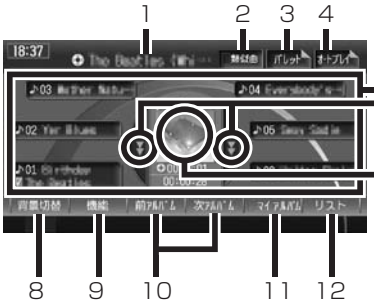
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

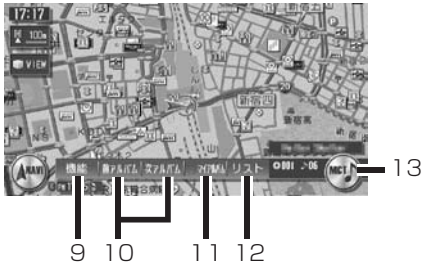
- 本機で対応しているディスクについては、**「対応メディア・対応ファイルについて」（P.536）**をご覧ください。



オーディオ画面



ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	類似曲※	ジャンル、リリース時期などが似ている曲を集めて再生する
3	パレット※	ソングパレットから再生する
4	オートプレイ※	お好みのプレイリストを作成する
5	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
6	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
7	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる

8	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.184）
9	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する（P.278）
10	前ｱﾙﾊﾞﾑ、次ｱﾙﾊﾞﾑ	再生するアルバムを切り替える
11	ﾏｲｱﾙﾊﾞﾑ	マイアルバムリストを表示する（P.267）
12	リスト	アルバム／トラックリストを表示する
13	AV操作キー	現在選択されているソース（MCT）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※ 背景の設定（P.184）で「メイン画面」を選択した場合のみ表示されます。

お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、＞および＜を押します。＞を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。＜を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に＜を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、＞（早送り）および＜（早戻し）を押し続けて行います。
- ミュージックキャッチャーに何も録音されていない場合は、「NO ALBUM HDDにはなにも録音されていません」と表示されます。

再生する

1  を押す

2 

をタッチする

前回再生していたトラックから再生が始まります。

END

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

アルバム／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作 リスト

アルバムリスト

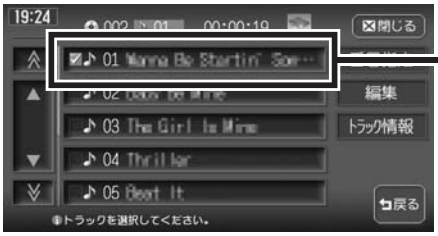


再生中のアルバムは、名称の横に☑が表示されています。
聴きたいアルバムをタッチすると、そのアルバムの先頭から再生が始まります。

▼

トラックリストを表示したいアルバム名をタッチする

トラックリスト



再生中のトラックは、名称の横に☑が表示されています。
聴きたいトラックをタッチすると、そのトラックの先頭から再生が始まります。

アドバイス

- 見たいアルバム／トラックタイトルが表示されていない場合は、▲または▼をタッチしてリストをスクロールしてください。
  ただし、走行中はリストをスクロールすることはできません。現在表示中のリストからのみ選曲できます。
- ＞または＜を押して、表示されているアルバム／トラックを選択することもできます。

アルバム名を選んで再生する

Mキャッチャー

お知らせ

- Gracenote Music Recognition Service[SM]から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.290）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作 リスト

1 検索 をタッチする

2 アルバム名をタッチする

3 アルバム名を入力し、決定をタッチする



入力した文字に該当するアルバムの数が右上に表示されます。
絞り込みにより、該当しない文字のキーは消えていきます。

該当するアルバムを先頭にしたアルバムリスト画面が表示されます。

4 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

アーティスト名を選んで再生する

Mキャッチャー

アーティスト名を入力して、目的のアルバムを探し出して再生します。

お知らせ

- Gracenote Music Recognition Service[SM]から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.290）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ アーティスト名

1 目的のアーティスト名をタッチする

アーティスト名は記号→数字→英語→ひらがな／カタカナ→漢字の順で表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

ジャンルを選んで再生する

Mキャッチャー

ジャンルを選択して、目的のアルバムを探し出して再生します。

お知らせ

- Gracenote Music Recognition Service[SM]から情報が取得されていないアルバムは検索できません。その場合は、**「アルバム情報を編集する」（P.290）**を参照して、情報を手入力してください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ ジャンル

1 目的のジャンルをタッチする

選択したジャンルで登録してあるアルバムが、番号の若い順にリスト表示されます。

NEXT

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

最近聴いた曲を選んで再生する

最近聴いた曲の中から、目的のトラックを検索できます。

お知らせ

- 最近聴いた曲として検索できるのは、アルバムリストから選択されたアルバム、音声操作で選択したアルバムとなります。ただし、再生中のアルバムを選択した場合は、そのアルバムは「最近聴いた曲」には登録されません。
- FUN RINGメニューから最近聴いた曲を探すこともできます。詳しくは**「最近聴いたアルバムの曲を聴く」（基本操作ガイド P.91）**をご覧ください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 検索 ▶▶▶ 最近聴いた

1 聴きたい曲をタッチする

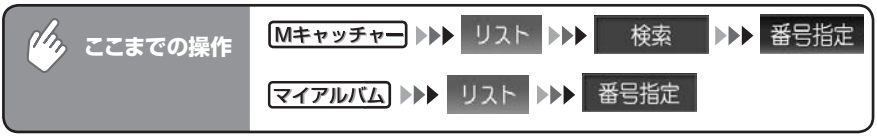


アルバムの先頭から再生が始まります。

END

アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。



1 アルバム番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。



1 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

2 聴きたいトラックをタッチする

選択したトラックから再生が始まります。

END

リピート、スキャン、ランダム再生をする

リピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

お知らせ

- ミュージックキャッチャーでランダム再生を選択し、その後ミュージックキャッチャー以外のソースに切り替えてふたたびミュージックキャッチャーに戻った場合、録音済みの曲数が変わっていると、異なる曲が再生されることがあります。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチし、閉じるをタッチする



ALBUM	(REPEAT)	：現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。
TRACK	(REPEAT)	：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。
ALBUM	(SCAN)	：各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
TRACK	(SCAN)	：現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。
ALL TRACK	(RANDOM)	：全アルバムの全トラックをランダムに再生します。
1ALBUM	(RANDOM)	：現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。
選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。

END

指定したアルバムを再生する

再生するアルバムを指定します。複数のアルバムを指定できるので、好きなアルバムだけをつづけて再生することができます。

ミュージックキャッチャーの場合

ここまでの操作

リスト ▶ 編集 ▶ 選択演奏

1 お好みの選択方法をタッチする



2 演奏したい項目（アルバム、アーティスト、ジャンル）を選択してタッチする



※画面は手順1で「アルバム選択」をタッチした場合のものです。
選択した項目のチェックマークが表示されます。

3 決定をタッチする

選択した項目が再生されます。

アドバイス

- 何も選択しないで決定をタッチすると、すべてのアルバムが再生されます。
- 選択演奏を中止するには、アルバムリストから 編集 → 選択演奏 → 選択演奏解除 の順にタッチし、確認メッセージ画面で はい をタッチします。
- 選択演奏中は、オーディオ情報表示部にそれぞれのアイコンが表示されます。
  - ：アルバム名選択時
  - ：アーティスト名選択時
  - ：ジャンル選択時

END

マイアルバムの場合

ここまでの操作

リスト ▶ 編集 ▶ アルバム選択

1 再生したいアルバムをタッチする



選択したアルバムのチェックマークが表示されます。

2 決定をタッチする

選択したアルバムが再生されます。

END

オートプレイリストを作成して再生する Mキャッチャー

オートプレイリストは、ミュージックキャッチャーに録音した曲からアーティスト名、アーティストタイプ、ジャンル、リリース時期などの条件で曲を集めて、お好みのプレイリストとして編集できる機能です。

お知らせ

- プレイリストは最大99曲まで集められ、曲順はランダムに再生されます。
- CD録音時は、オートプレイリストの設定および再生はできません。
- 走行中は、オートプレイリストの設定はできませんが、再生をすることはできます。

1 オートプレイをタッチする

オートプレイリスト設定画面が表示されます。

2 アーティスト、ジャンル、またはリリース時期にタッチし、条件を設定する



各条件設定画面が表示されます。

アドバイス

- 「アーティスト」、「ジャンル」、「リリース時期」の各設定画面で希望の項目を選択後に決定をタッチすると、選択した内容が有効になります。

アーティスト選択

アーティスト名 または アーティストタイプ をタッチし、希望の項目をタッチして選択します。



選択した項目のチェックボックスにチェックマークが表示されます。

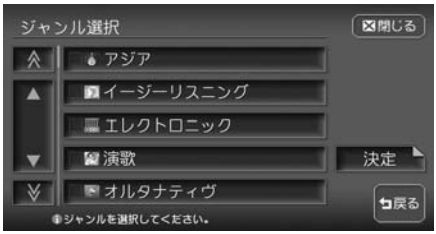
アーティスト名： アーティスト名のリストから選択します。アーティストを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

アーティストタイプ： 以下のアーティスト種別リストから選択します。
男性ソロ／女性ソロ／男性デュオ／女性デュオ／男女デュオ／男性グループ／女性グループ／男女グループ／その他
アーティストタイプを選択しない場合は、すべてのチェックマークを外します。

※アーティスト名とアーティストタイプは同時に選択できません。また、選択できるアーティスト名とアーティストタイプは１つだけです。

ジャンル選択

希望のジャンルを選択してタッチします。
選択できるジャンルは1つだけです。



NEXT

リリース時期設定

＋、－で指定するか、年代キーをタッチしてワンタッチで範囲を指定することもできます。

指定できる範囲は、1900年～本機を使用している当年までです。



3 登録したいプリセットキーを「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

設定した条件を登録しない場合は、手順4に進んでください。



タッチするとリリースされた日付順に曲を並べ替えて再生できます。

チェックボックスにチェックマークが表示され、オートプレイリストが登録されます。

プリセットキーには、以下が表示されます。

（アーティスト名が表示）：アーティスト名が指定されています。

指定無し：　再生条件が設定されているが、アーティスト名は指定されていません。

メモリーなし：　再生条件が設定されていません。

4 再生開始をタッチする

オートプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。

過去に設定した条件で再生する場合は、再生したプリセットキーをタッチしてから再生開始をタッチします。

お知らせ

- 設定した条件は4つまで登録できます。ユーザーを登録している場合は、ユーザーごとに4つまで登録できます。
- リリース順に並べ替えた曲順は、プリセットキーに登録できません。
- オートプレイリスト再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- オートプレイリスト再生中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、CDモードに画面が変わります。このときオートプレイリスト再生は終了しないため、ふたたびミュージックキャッチャーに画面が切り替わると、引き続きオートプレイリスト再生が始まります。
- プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、プレイリスト作成が完了するまで音が出力されないことがあります。
- プレイリスト作成中にAVを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- アーティスト、ジャンル、リリース時期を指定せずに再生を開始すると、すべてのトラックからランダムで99曲集められて再生されます。

END

オートプレイを中止する

ここまでの操作

オートプレイ

1 解除 をタッチする

オートプレイが中止され、オートプレイ再生の前に再生されていた曲に戻ります。

アドバイス

・AVコントロールバーの 通常再生 をタッチしても中止できます。

END

オートプレイ中にトラックリストを表示する

オートプレイリスト再生中に、登録されたトラックリストを見ることができます。

1 リスト をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。



現在再生中のトラックには、チェックマークが表示されます。

トラック情報画面が表示されます。

END

類似曲を再生する

Mキャッチャー

現在再生中のトラック情報から、アーティスト、ジャンルが類似している曲を集めて、自動再生する機能です。

お知らせ

- 類似曲として集められた曲を登録することはできません。

1 類似曲をタッチする

類似曲がランダムに最大で99曲集められ、曲の再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 類似曲再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。
- 類似曲再生中にオートプレイまたはソングパレットの再生開始をタッチすると、類似曲再生が中止となりオートプレイ再生が始まります。オートプレイ中に類似曲をタッチすると、オートプレイ再生が中止となり類似曲再生が始まります。
- CDの録音中は、類似曲再生はできません。ただし、類似曲再生中にCDの録音を始めた場合は、類似曲再生されたままCDの録音も開始されます。
- 類似曲リスト作成中にAVを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- 類似曲再生中にリストをタッチすると、集められた曲のリストが表示されます。
- AVコントロールバーの通常再生をタッチしても通常の再生に戻ります。

END

ソングパレットから再生する

Mキャッチャー

いま聴きたい曲のイメージを指定すると、そのイメージに合った曲を最大で99曲集めて、自動再生する機能です。
曲のイメージは、CDからの録音時に自動で本機に登録されます。

1 パレットをタッチする

ソングパレット画面が表示されます。

2 パレット上で、聴きたい曲のイメージに近いポイントをタッチする



タッチしたポイントのイメージに最も近い曲がプレビュー再生されます。
プレビュー再生が終了すると、それまで再生していた曲に戻って再生されます。

アドバイス

- ソングパレット表示時のカーソル位置は、現在再生中のトラックのイメージを示しています。
- タッチしたポイントのイメージに応じて、背景色と画像が変わります。
- タッチするポイントが端に近づくほど、そのエリアのイメージが強くなります。
- タッチしたポイントのイメージに合致する曲が存在しない場合は、「該当する曲が見つかりませんでした。」と表示され、通常の再生に戻ります。

3 再生開始をタッチする

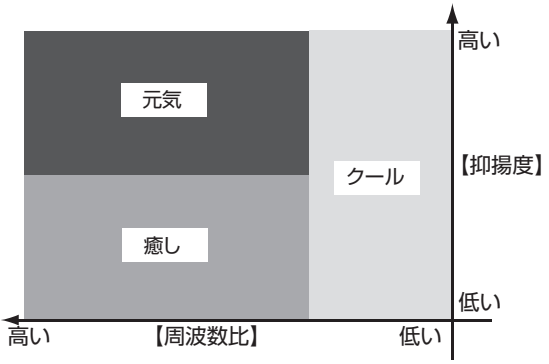
選択したイメージの曲のプレイリストが再生されオーディオ画面に戻ります。

お知らせ

- ソングパレット再生中は、リピート、スキャン、ランダム再生はできません。また、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名によるアルバム検索もできません。
- ソングパレット再生中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、CDモードに画面が変わります。このときソングパレット再生は終了しないため、ふたたびミュージックキャッチャーに画面が切り替わると、引き続きソングパレット再生が始まります。
- プレイリスト作成中にCDを挿入し自動録音が開始された場合、プレイリスト作成が完了するまで音が出力されないことがあります。
- プレイリスト作成中にAVを押して地図画面を表示すると、作成は中止されます。

アドバイス

- ソングパレットにおける曲のイメージは、抑揚度と周波数比で決められています。



抑揚度が高いほどビートが利いた印象になり、周波数比が高いほど力強く激しい印象になります。

例：周波数比が低く抑揚度が高い曲は、「クール」の中でも「元気」な印象の曲となります。

END

ソングパレット再生を中止する

ここまでの操作

パレット

1 解除 をタッチする

ソングパレット再生が中止され、ソングパレット再生の前に再生されていた曲に戻ります。

アドバイス

・AVコントロールバーの 通常再生 をタッチしても中止できます。

END

ソングパレット再生中にトラックリストを表示する

ソングパレット再生中に、登録されたトラックリストを見ることができます。

1 リスト をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。



現在再生中のトラックには、
☑が表示されます。

トラック情報画面が表示されます。

END

「探す」メニューから聴きたい曲を選んで再生する

（「探す」メニュー）を押して、聴きたい曲をプレイリストとして選曲することができます。
「探す」メニューから選曲できる曲は、ミュージックキャッチャーに録音された曲のみです。

お知らせ

- この操作を行うと、ソースがミュージックキャッチャーに切り替わります。
- CD録音中にソースをミュージックキャッチャーに切り替えて「曲を探す」メニューを表示すると、録音済みの曲のみ表示され、その後録音が終了した曲は表示されません。一度ミュージックキャッチャー以外のソースに移り、ふたたびソースをミュージックキャッチャーに切り替えると、録音済みの曲がすべて表示されます。

1 を押し、曲を探すをタッチする

曲を探すメニューが表示されます。

2 アーティスト、ジャンル、またはリリース時期にタッチする

以降の操作については、**「オートプレイリストを作成して再生する」（P.280）**をご覧ください。

END

アルバム、トラックを編集する

アルバム情報を編集する

お知らせ

- ミュージックキャッチャーで選択演奏中は、情報の表示のみで編集はできません。編集するときは選択演奏を解除してください。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ 情報編集

1 情報を編集したいアルバム名をタッチする

アルバム情報が表示されます。

2 情報を編集する

■ミュージックキャッチャー



■マイアルバム



アルバム名 / アーティスト：文字入力画面が表示されます。全角／半角で28文字まで入力できます。

→フリガナ：文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。

ジャンル：ジャンルリストが表示されます。登録したいジャンルをタッチして選択します。

画像：画像フォルダリストが表示されます。登録したい画像の入っているフォルダをタッチして選択し、さらに画像をタッチして選択します。

3 決定をタッチする

END

不要なアルバムを削除する

お知らせ

・ミュージックキャッチャーモード時に、マイアルバムに収録されているアルバムを削除すると、マイアルバムからも削除されます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ アルバム削除

1 削除したいアルバムをタッチする

2 決定をタッチする

3 はいをタッチする

選択したアルバムが削除されます。

END

アルバムの再生順序を変更する

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ 編集 ▶▶▶ アルバム並替

1 順序を変えたいアルバムをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に◀移動が表示されます。

2 移動したい場所の◀移動をタッチする



3 決定をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

END

トラック情報を編集する

Mキャッチャー

お知らせ

・ここで情報を編集したトラックがマイアルバムにも登録されている場合、編集内容はマイアルバムにも反映されます。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 情報編集をタッチする

2 情報を編集したいトラックをタッチする

3 情報を編集する



トラック名 / アーティスト：文字入力画面が表示されます。全角／半角で28文字まで入力できます。

→フリガナ：文字入力画面が表示されます。全角で28文字まで入力できます。

情報取得：アルバム情報を更新するときに使用します。詳しくは**「アルバム情報の更新について」（P.455）**をご覧ください。

4 決定をタッチする

5 閉じるをタッチする

情報を編集した次の曲から再生が始まります。

END

不要なトラックを削除する

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 トラック削除をタッチする

2 削除したいトラックをタッチし、決定をタッチする

3 はいをタッチする

選択したトラックが削除されます。

▶ END ◀

トラックの再生順序を変更する　マイアルバム

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム] ▶▶▶ 編集

1 トラック並替をタッチする

2 順序を変えたいトラックをタッチする

タッチした項目の色が変わり、移動可能な場所に◀移動が表示されます。

3 移動したい場所の◀移動をタッチする



4 決定をタッチする

確認メッセージが表示され、トラックリスト画面に戻ります。
トラックリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

END

トラック情報を表示する

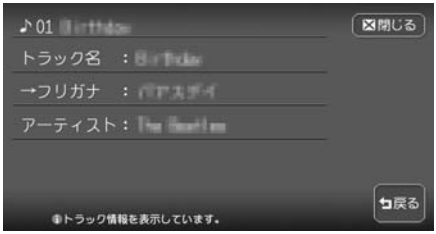
お知らせ

・ここで表示する画面から情報を編集することはできません。

ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [目的のアルバム]

1 情報を表示したいトラックをタッチし、トラック情報をタッチする

トラック情報が表示されます。



END

Memo

ファイルキャッチャーを聴く

MP3・WMA・AACファイルを本機へ取り込む方法、またファイルキャッチャーの再生方法などの操作について説明します。

目次

ファイルキャッチャーとは …… 298
ファイルキャッチャーにデータを取り込む … 300
画面表示とタッチキーについて …… 302
再生する …… 304
いろいろな再生方法 …… 305
情報を表示する …… 308
アルバム・トラックを編集する …… 310

ファイルキャッチャーとは

ファイルキャッチャーとは、メモリーカード／USBメモリー内のMP3/WMA/AACファイルを本機に取り込み、再生する機能のことです。
ファイルキャッチャーの仕様は、下記の通りです。

録音可能曲数	最大4000曲 (*1) ・アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できる曲数：最大99曲 ・アーティストは最大200、1アーティストあたりの最大アルバム数：200 ※ただし、録音可能時間の範囲内のみ (*2)
取り込み可能なファイル	拡張子に「.MP3」「.WMA」「.M4A」（大小文字混在可能）のついたMP3、WMA、AACファイル (*3) （ただし、AACファイルはiTunes Ver.6～7で作成したファイルのみ）

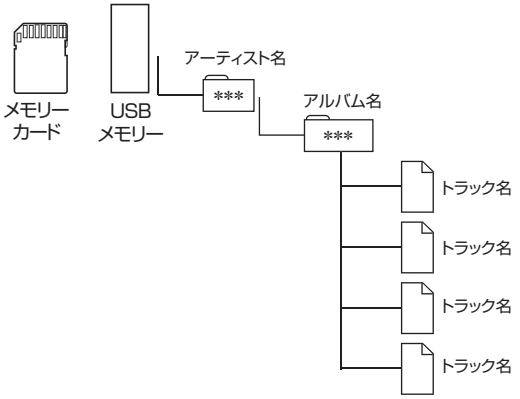
(*1) ファイルキャッチャーとミュージックキャッチャー**（P.261）**では同一のドライブにデータが保存されるため、ミュージックキャッチャーで大量のデータを取り込むとファイルキャッチャーで録音できる曲数は減少します。

(*2) 録音可能時間については、**「ハードディスク情報（確認コード）を見る」（P.134）**をご覧ください。

(*3) 取り込み可能なファイルについては、**「MP3・WMA・AACファイルについて」（P.538）**をご覧ください。

音楽データの保存方法について

メモリーカードまたはUSBメモリーには、次のようなイメージで音楽データが保存されている必要があります。この構成以外のフォルダに存在する音楽データはファイルキャッチャーに取り込むことができません。



・アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

お知らせ

・メモリーカード／USBメモリーに保存できる音楽データの最大数については、**「音楽データの記録メディアについて」（P.251）**をご覧ください。

・音楽データを保存する際の注意事項については、**「音楽データの記録メディアについて」（P.251）**のお知らせをご覧ください。

ファイルキャッチャーにデータを取り込む

ファイルキャッチャーを使用するには、まずメモリーカード／USBメモリー内の音楽データを本機に取り込みます。

1 音楽データの入ったメモリーカードを本機に挿入する、またはUSBメモリーを接続する

メモリーカードの出し入れについては「メモリーカード」（基本操作ガイドP.70）、USBメモリーの接続については「USBの接続と取り外し」（P.314）をご覧ください。

2 を押し、F.CATCHER をタッチする

確認のメッセージが表示されます。



3 はいをタッチする

機能メニューが表示されます。



4 ﾒﾓﾘｰｶｰﾄﾞ または USB をタッチする

5 はいをタッチする

音楽データが取り込まれます。

お知らせ

- 取り込みたいファイルを選択することはできません。拡張子が.MP3/.WMA/.M4Aのファイルを自動的に検出してハードディスクにすべて転送します。
- 取り込みを始める前に、ハードディスクの状態を最適な状態にするための処理を行います。取り込まれたファイルの数によっては最大1分程度かかります。
- 取り込み処理中は、再生は行われません。
- 取り込み処理中は、ソースの切り替えはできません。
- 取り込み処理中は、操作パネル開閉を除くほとんどの操作はできません。

END

次回からファイルキャッチャーを選択すると、取り込まれた音楽データが自動的に再生されます。

新しく音楽データを取り込む場合は、機能をタッチしてから上記の手順4、5を実行してください。

画面表示とタッチキーについて

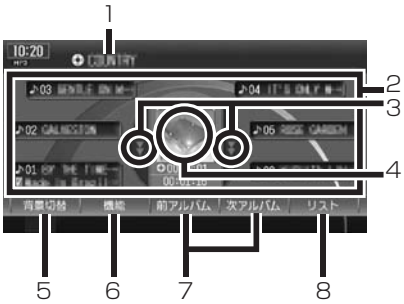
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

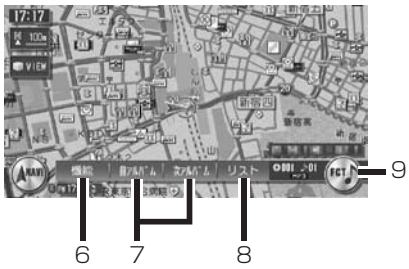
- 本機で対応しているファイルについては、**「対応メディア・対応ファイルについて」（P.536）**をご覧ください。



オーディオ画面



ナビ画面



1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する**（P.184）**
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生、新しい音楽データの取り込みをするための機能メニューを表示する**（P.307）**
7	前ｱﾙﾊﾞﾑ、次ｱﾙﾊﾞﾑ	再生するアルバムを切り替える

8	リスト	アルバム／トラックリストを表示する
9	AV操作キー	現在選択されているソース（FCT）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、[>]および[<]を押します。[>]を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。[<]を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、[>]（早送り）および[<]（早戻し）を押し続けて行います。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMA/AACのファイル名称には、拡張子は表示されません。
- ファイルキャッチャーに何も録音されていない場合は、「NO FILE 取り込まれた音楽データがありません」と表示されます。

再生する

1 を押す

2 

をタッチする

再生が始まります。

END

お知らせ

- 音楽データが本機に取り込まれていない場合は、取り込みの確認画面が表示されます。**「ファイルキャッチャーにデータを取り込む」（P.300）**を参照して、音楽データを取り込んでください。

いろいろな再生方法

リストから選んで再生する

アルバム／トラックリストから、ダイレクトに曲を選択できます。

ここまでの操作　リスト

1 聴きたいアルバム名を選択してタッチする



選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。
聴きたいトラックを指定する場合は、手順2へお進みください。

2 聴きたいトラック名を選択してタッチする



選択したトラックから再生がはじまります。

アドバイス

・ ＞ または ＜ を押して、表示されているトラックを選択することもできます。

END

アルバム番号を選んで再生する

アルバム番号を入力して、目的のアルバムを検索します。



1 アルバム番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたアルバムリストが表示されます。

2 聴きたいアルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

END

トラック番号を選んで再生する

トラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。



1 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

2 聴きたいトラックをタッチする

選択したトラックから再生が始まります。

END

リピート、スキャン、ランダム再生をする

アルバムやトラックのリピート、スキャン、ランダム再生のしかたについて説明します。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチし、閉じるをタッチする



TRACK（REPEAT）：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

TRACK（SCAN）：現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

1ALBUM（RANDOM）：現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

ALBUM（REPEAT）：現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

ALBUM（SCAN）：各アルバムの先頭トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

ALL TRACK（RANDOM）：全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

選択した動作での再生が始まります。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。
選択を解除し、再生中のアルバムまたはトラックから通常の再生になります。

アドバイス

- 選曲操作をすると、スキャン再生は解除されます。

END

情報を表示する

トラックの情報を表示する

再生中のトラックのアルバム名、トラック名、アーティスト名を表示します。

ここまでの操作 リスト ▶▶▶ [目的のアルバム]

1 情報を見たいトラックをタッチする

2 TAG 情報 をタッチする



トラック情報画面が表示されます。

END

TAG情報を表示する

オーディオ画面のタイトル表示部にTAG情報を表示できます。リスト画面の表示は変わりません。

TAG情報がある場合は、優先的に表示できます。TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示します。

お知らせ

- TAG優先設定時は、オーディオ画面には現在再生中のトラックにのみトラック名とアーティスト名が表示されます。その他のトラックにはトラック番号のみ表示されます。アルバム名には、再生中のトラックのTAGにあるアルバム名が表示されます。また、トラックキー・アルバム名称部にTAGアイコンが表示されます。



ここまでの操作 機能

1 初期設定 をタッチする

2 TAG情報を優先して表示する をタッチする



チェックマークが表示され、タイトル表示部にTAG情報が表示されます。

アドバイス

- TAG優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

END

アルバム・トラックを編集する

不要なアルバムを削除する



1 アルバム削除をタッチする

アルバムリスト画面が表示されます。

2 削除したいアルバムをタッチする

3 決定をタッチする

4 はいをタッチする

選択したアルバムが削除されます。

END

不要なトラックを削除する



ここまでの操作　リスト ▶▶▶ [編集したいアルバム]

1 トラック削除をタッチする

トラックリスト画面が表示されます。

2 削除したいトラックをタッチする

3 決定をタッチする

4 はいをタッチする

選択したトラックが削除されます。

▶ END ◀



お知らせ

- アルバムの中のトラックがすべて削除されると、アルバムリストからそのアルバム自体が削除されます。

Memo

USBメモリーのオーディオを聴く

本機のUSB接続ケーブルにお手持ちのUSBメモリーを接続し、メモリー内のMP3/WMA/AACファイルを再生することができます。
本機でのUSBメモリーの再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

USBの接続と取り外し …… 314
画面表示とタッチキーについて …… 316
再生する …… 318

USBの接続と取り外し

USBメモリーを接続する

1 USB接続ケーブルにUSBメモリーを接続する

USBメモリーが自動的に認識されます。

END

USBメモリーを取り外す

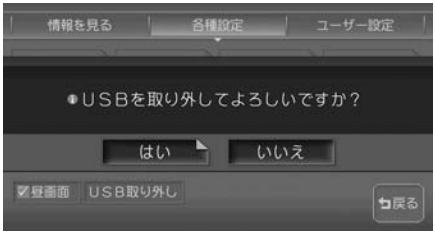
1 を押し、各種設定をタッチする

2 USB取り外しをタッチする



確認のメッセージが表示されます。

3 はいをタッチする



USBメモリーを取り外します。

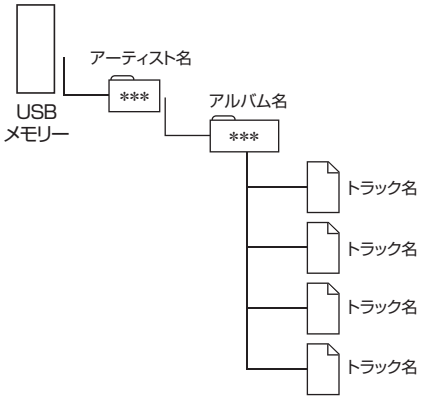
END

お願い

- **USBメモリーは必ず左記の手順で取り外してください。左記の操作をせずに取り外すと、USBメモリー内のデータが破壊されるおそれがあります。**

音楽データの保存方法について

USBメモリーには、次のようなイメージで音楽データが保存されている必要があります。この構成以外のフォルダに存在する音楽データは再生できません。



- アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

お知らせ

- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数は、メモリーカードと同じです。詳しくは、**「音楽データの記録メディアについて」（P.251）**をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項は、メモリーカードの場合と同様です。詳しくは、**「音楽データの記録メディアについて」（P.251）**のお知らせをご覧ください。

画面表示とタッチキーについて

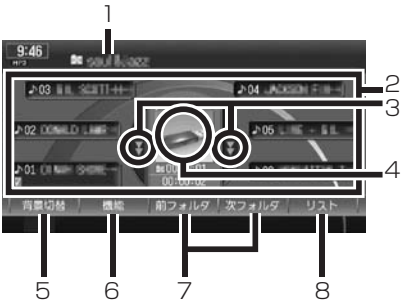
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

お知らせ

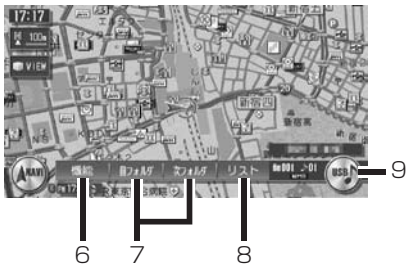
- 本機で対応しているファイルについては、**「対応メディア・対応ファイルについて」（P.536）**をご覧ください。

ここまでの操作

オーディオ画面



ナビ画面



1	フォルダ名称	現在再生中のフォルダ名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のフォルダにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▼、▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（P.184）
6	機能	リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する（P.257）
7	前フォルダ、次フォルダ	再生するフォルダを切り替える

8	リスト	フォルダリストを表示する
9	AV操作キー	現在選択されているソース（USB）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

お知らせ

- 1曲ずつ選曲するときは、[>]および[<]を押します。[>]を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。[<]を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、[>]（早送り）および[<]（早戻し）を押し続けて行います。
- 低ビットレート時のMP3再生中の早送り／早戻しは、再生ファイルの容量が小さいため、スピードが早くなります。
- MP3/WMA/AACのファイル名称には、拡張子は表示されません。
- USBメモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更することはできません。ただし、ファイル名の先頭に数字を入力すれば、数字順に並べ替えることができます。

再生する

1 USB接続ケーブルにUSBメモリーを接続する

2 を押す

3 をタッチする

USBメモリーの再生が始まります。

END

お知らせ

・すでにUSBモードになっている場合は、自動的に再生が始まります。

以降の操作は、メモリーカードからの再生と同様です。
下記のページを参照して操作を行ってください。

・フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する…P.255
・フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する…P.256
・リピート、スキャン、ランダム再生をする…P.257
・トラックの情報を表示する…P.259
・TAG情報を表示する…P.260

iPodを聴く／観る

別売のiPod接続ケーブルをつないで、お手持ちのiPodを本機で再生することができます。
本機でのiPod再生方法や設定などの操作について説明します。

目次

接続できるiPod …… 320
画面表示とタッチキーについて …… 322
オーディオを再生する …… 324
いろいろな再生方法（オーディオ）…… 325
情報を表示する（オーディオ）…… 329
ビデオを再生する …… 330
いろいろな再生方法（ビデオ）…… 331
iPod画面を設定する …… 332

接続できるiPod

本機は第５世代iPod、iPod Classic、iPod nano、iPod touchに対応しています。
接続可能なiPodについては、以下の表をご覧ください。
また、接続可能なiPodについての最新の情報は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com/jp/ja/support/connection/index.html）をご確認ください。

お知らせ

・iPodを本機に接続するには、別売のiPod接続ケーブル（EA-1403A）が必要です。

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod Classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1、第5世代）	ビデオ再生可
iPod nano（第6世代）	
iPod touch（第1世代）※2※3	ビデオ再生不可
iPod touch（第2世代、第3世代、第4世代）	ビデオ再生可

※1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。
※2 ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。
※3「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後は、プレイリストとして再生することができます。

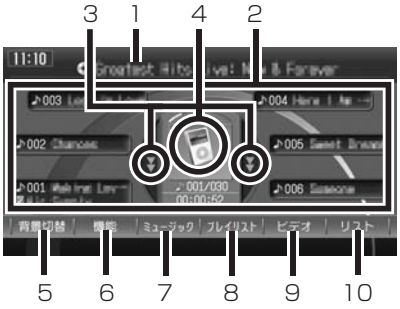
お知らせ

- iPodは、ヘッドフォンを外してから接続してください。音が出なくなるなど、正常に動作しなくなることがあります。
- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodモードのときに、iPodを着脱しないでください。雑音が発生し、スピーカー破損の原因となる場合があります。
- iPodの機種によって再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを外して再度接続してください。
- 車のエンジンを切った後は、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があり、iPodの電源を消耗する恐れがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。
  <リセット方法の例>
  iPod：「センター」ボタンと「メニュー」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  iPod touch：「スリープ/スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後にiPod単体で動作することを確認してから接続してください。

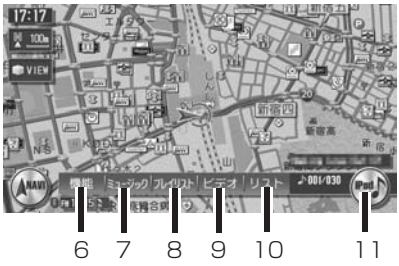
画面表示とタッチキーについて

ここまでの操作 ▶▶▶ iPod

オーディオ画面



ナビ画面



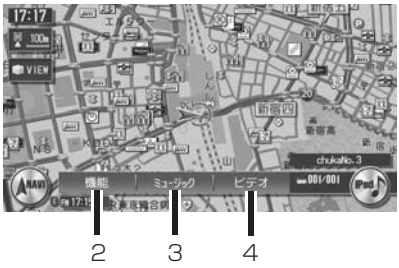
1	アルバム名称	現在再生中のアルバム名表示 タッチすると、スクロールします。
2	トラックキー	再生中のアルバムにあるトラックのキー 再生中のトラックキーをタッチすると、スクロールします。 再生したいトラックキーにタッチすると、選択したトラックが再生されます。
3	▲▲、▼▼	タッチして、隠れているトラックキーを表示させる タッチし続けると、連続してトラックキーリストが送られます。
4	画像表示部	タッチして、再生中のトラックキーを先頭に表示させる
5	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する（**P.184**）
6	機能	リピート再生、シャッフル再生をするための機能メニューを表示する（**P.326、P.328**）
7	ミュージック	タッチした方法でトラックを選択する（**P.327**）
8	プレイリスト	タッチした方法でトラックを選択する（**P.327**） この項目はカスタマイズできます。※
9	ビデオ	iPodのビデオ画面に切り替える（**P.330**） （ビデオ対応iPod接続時のみ）
10	リスト	トラックリストを表示する（**P.325**）
11	AV操作キー	現在選択されているソース（iPod）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

※：AVコントロールバーに選択演奏項目を登録できます。詳しくは、**「指定条件をカスタマイズする」（P.328）**をご覧ください。

ビデオ画面



ナビ画面



1	トラック名称	現在再生中のトラック名表示 タッチするとスクロールします。
2	機能	リピート再生、シャッフル再生をするための機能メニューを表示する（P.331）
3	ミュージック	タッチした方法でオーディオトラックを選択する 走行中はオーディオ画面に切り替わります。
4	ビデオ	タッチした方法でトラックを選択する（P.330）

お知らせ

- 走行中は、iPodビデオの映像は表示されません。

アドバイス

- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオファイル再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを観る場合、再度ビデオファイルを選択してください。
- 1曲ずつ選曲するときは、[>]および[<]を押します。[>]を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。[<]を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- Podcastなど、チャプターが存在するトラックを再生中には、[>]、[<]を押してチャプターのアップ／ダウン操作をすることもできます。[>]を押すと、押した回数だけ先のチャプターが再生されます。[<]を1回押すと再生中のチャプターの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のチャプターが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、[>]（早送り）および[<]（早戻し）を押し続けて行います。

オーディオを再生する

お知らせ

- iPodをiPod接続ケーブルに接続すると、iPodからの操作はできません。操作は本機のAVコントロールバーから行います。

1 iPod接続ケーブルにiPodを接続する

2 を押す

3 

をタッチする

iPodの再生が始まります。

END

いろいろな再生方法（オーディオ）

リストから選んで再生する

リストからトラックを直接選択して選曲できます。

ここまでの操作　リスト

1 聴きたいトラックをタッチする



選択した曲から再生が始まります。
選曲しても、リピート再生やシャッフル再生は解除されません。

END

トラック番号を選んで再生する

ここまでの操作　リスト

1 トラックリスト画面で 番号指定 をタッチする

トラック番号の入力画面が表示されます。

2 トラック番号を入力して 決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生が始まります。

END

リピート、シャッフル再生をする

アルバムやトラックのリピート再生、シャッフル再生をすることができます。

ここまでの操作　機能

1 目的の項目をタッチする



選択した動作での再生が始まります。

TRACK（REPEAT）：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

ALBUM（SHUFFLE）：アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK（SHUFFLE）：再生曲リストのトラックをランダムに再生します。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

END

条件を指定して再生する

AVコントロールメニューのユーザーカスタマイズキーからiPodの機能を呼び出して、いろいろな方法で再生できます。
選択できる機能は次の7項目です。

プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

アドバイス

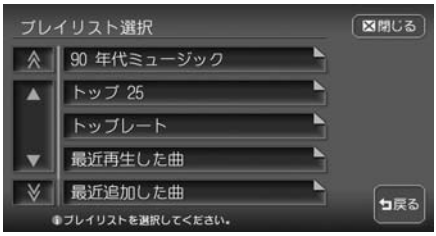
- お買い上げ時は、プレイリストが登録されています。ミュージックとビデオは常に表示され、カスタマイズはできません。
- ユーザーカスタマイズキーへの機能の登録方法については、**「指定条件をカスタマイズする」（P.328）**をご覧ください。

1 ユーザーカスタマイズキーをタッチする



ユーザーカスタマイズキー

2 指定条件をタッチする



トラックリストの最初の曲から再生が始まります。

この後は、本機のタッチパネルを使って、使い慣れたiPodの感覚そのままに選曲してください。

END

指定条件をカスタマイズする

ユーザーカスタマイズキーに指定条件を登録できます。

登録できる機能は7項目です。

プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

ここまでの操作 機能

1 機能の選択をタッチする



（ ）内には、現在設定されている機能名が表示されています。

2 変更したい機能をタッチし、閉じるをタッチする



選択した機能がユーザーカスタマイズキーに登録され、オーディオ画面に戻ります。

END

情報を表示する（オーディオ）

再生中のアルバム名、トラック名、アーティスト名を表示できます。



1 トラック情報 をタッチする



トラック情報画面が表示されます。

END

ビデオを再生する

⚠警告

- **運転者がiPodビデオの映像を観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像を観ることができます。走行中は、音声だけを聴くことができます。**

お知らせ

- iPodをiPod接続ケーブルに接続すると、iPodからの操作はできません。操作は本機のAVコントロールバーから行います。

1 ビデオ をタッチする



2 トラックを再生する方法を選択する



iPodビデオの再生が始まります。

END

いろいろな再生方法（ビデオ）

リピート、シャッフル再生をする

トラックのリピート再生、シャッフル再生をすることができます。

ここまでの操作 機能

1 目的の項目をタッチする



選択した動作での再生が始まります。

TRACK（REPEAT）：現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

ALBUM（SHUFFLE）：アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK（SHUFFLE）：トラックをランダムに再生します。

2 通常の再生に戻すときは、同じ操作を再度行う

通常の再生に戻ります。

END

お知らせ

- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。

iPod画面を設定する

本機とiPodを接続した時に表示されるiPod画面を、お好きな画像に変更できます。表示される画像は、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で作成された4階調のものになります。
iPod画面を設定するには、あらかじめ本機にデータを取り込む必要があります。
iPod画面の取り込み方法は、**「iPod画面の取り込み／削除」（P.467）**をご覧ください。

お知らせ

- ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定

1 iPod画面 をタッチする

2 iPod画面にしたい画像をタッチし、決定 をタッチする



アドバイス

- 初期画像に戻す をタッチすると、工場出荷時に設定されていたiPod画面に戻ります。“工場出荷時のiPod画面”に設定されている場合は、初期画像に戻す は表示されません。

3 はい をタッチする

選択した画像がiPod画面になり、設定メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- iPod touchは対応していません。
- iPodの機種によっては、設定後に画面が切り替わらない場合があります。設定した画像をすぐに確認したい場合は、iPodの接続を一度解除し、再度接続してください。

END

Memo

Bluetoothオーディオを聴く

Bluetoothオーディオの本機への登録方法や再生のしかたについて説明します。

目次

Bluetoothオーディオを登録する（ペアリング） …… 336
画面表示とタッチキーについて …… 338
再生する …… 340

Bluetoothオーディオを登録する（ペアリング）

Bluetoothに対応しているオーディオ機器を登録して、本機から再生などの操作を行うことができます。Bluetoothについては、**「Bluetoothとは」（P.151）**をご覧ください。

お知らせ

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetoothオーディオの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- Bluetoothオーディオについて詳しくは、各取扱説明書をご覧ください。
- Bluetoothオーディオの収納場所、距離によっては、接続できない場合があります。本機との間に障害物のない場所にオーディオ機器を置いてご使用ください。
- 著作権保護された音声はご利用いただけません。

初めてBluetoothオーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

お知らせ

- 走行中はペアリングを実行できません。
- 電話関連機能を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetoothオーディオは、10台までペアリングすることができます。11台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を削除する必要があります。

ここまでの操作 ▶▶ Bluetooth

1 機器選択 をタッチする



以降の操作については、**「携帯電話を登録する（ペアリング）」（P.152）**の手順3以降をご覧ください。

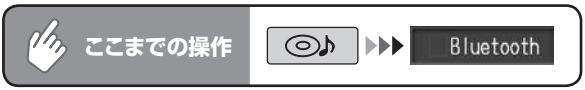
アドバイス

- ペアリング完了後、Bluetoothオーディオ上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「オーディオ」を選択してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth対応オーディオ機器の登録を削除するには、**「登録情報を削除する」（P.156）**を参照してください。
- 音飛びなどが発生する場合、オーディオ機器に音質／接続の優先設定があるときには、接続優先に切り替えてください。また、ご使用のBluetoothオーディオ機器がカバンの中や、ポケットに入っていると音が途切れる場合があります。本機の近くに置いてご使用ください。

END

画面表示とタッチキーについて

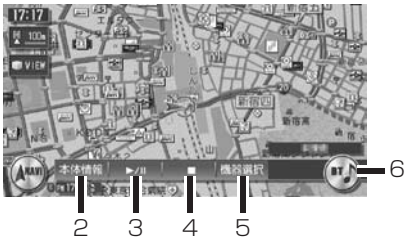
画面は、オーディオ画面を例に説明しております。ナビ画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビ画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。



オーディオ画面



ナビ画面



1	背景切替	画面の背景をお好みの表示に設定する **(P.184)**
2	本体情報	機器情報を表示する 本機のパスキー、名称、アドレス、ファームウェアバージョンを表示できます。 パスキーは変更可能です。詳しくは、**「パスキーを変更する」(P.167)** をご覧ください。
3	▶/II	一時停止する 再度タッチすると再生が始まります。
4	■	停止する
5	機器選択	登録（ペアリング）されている機器の表示 タッチすると、登録（ペアリング）されている機器の一覧を表示します。ここから、使用するオーディオを選択できます。
6	AV操作キー	現在選択されているソース（BT）表示 タッチするごとに、AVコントロールバーの表示／非表示を切り替えます。

アドバイス

- 1曲ずつ選曲するときは、[>]および[<]を押します。[>]を押すと、押した回数だけ先のトラックが再生されます。[<]を1回押すと再生中のトラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に[<]を押すと、押した回数だけ前のトラックが再生されます。
- 早送り／早戻しするときは、[>]（早送り）および[<]（早戻し）を押し続けて行います。
- Bluetoothオーディオの種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetoothオーディオから操作してください。詳しくは、Bluetoothオーディオの取扱説明書をご覧ください。

再生する

1  を押す

2  をタッチする

3  をタッチする

Bluetoothオーディオの再生がはじまります。



・トラック番号、トラックの再生時間、タイトル名は、画面に表示されません。



各種設定

ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画質などを、お好みで設定することができます。

目次

ナビゲーションの設定をする …… 342
OPTIONボタンの操作方法 …… 380
音質を設定する …… 382
映像を設定する …… 403
ユーザーを設定する …… 406
画面の表示色を設定する …… 414
オープニング画面を設定する …… 415

ナビゲーションの設定をする

本機のナビ設定は、設定メニューから行います。

お知らせ

・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

ナビ設定メニューは、以下の方法で表示されます。

1 を押し、各種設定をタッチする

2 ナビ設定をタッチする

3 設定したい項目をタッチする



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
画面	ナビゲーション画面に関する設定を行う	P.344
アイコン	地図上に示されるアイコンに関する設定を行う	P.346
軌跡設定	地図上に示される軌跡に関する設定を行う	P.348
VIEW設定	ルート誘導時の画面表示に関する設定を行う	P.352
誘導設定	ルート誘導中の案内表示に関する設定を行う	P.355

タッチキー	設定の内容	参照ページ
音と音声	音声案内に関する設定を行う	P.358
VICS	VICS情報に関する設定と別売のETCユニット接続時の設定を行う	P.361
VICS/ETC		P.378
その他	その他、便利な設定を行う	P.365
販売店	使用できません。	—
初期設定	ナビゲーションを使用するために必要な設定を行う	P.376

4 希望の設定値をタッチする



設定項目のページが移動します。設定したい項目が表示されていない場合は、画面を切り替えてください。

＊画面は、手順3で 画面 をタッチした場合です。

設定した項目のチェックマークが表示され、設定が確定されます。

設定終了後は、 閉じる をタッチすると現在地画面に戻ります。

END

画面の設定をする

自車位置マークなど、画面表示に関する設定ができます。



画面設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

画面設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
昼画面／夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の市街地図／通常地図の表示色を4色から選択する	市街地図：地図色1※～4 通常地図：地図色1※～4	P.345
地図表示選択	地図画面に表示する文字の大きさや文字の情報量を選択する	標準※／注記量少／大きな文字	P.345
一般道／有料道の経路色	一般道および有料道での誘導ルートの色を5色から選択する	黄※（一般道）／緑／オレンジ／紫／青※（有料道）	—
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置マークを5種類から選択する	※	—
マルチメーター表示	走行速度や平均速度などの表示／非表示を切り替える	する／しない※	基本操作ガイド P.43
時刻／日付表示	時刻／日付の表示形式を選択する 日付 を選択した場合、VICS情報提供時間などは、変更前の設定で表示されます。	12時間／24時間※／日付	—
3Dマップ星座表示	3D地図の空に、星座や月を表示させる	する／しない※	基本操作ガイド P.43
スクロール位置情報表示	スクロール先の地点の住所、緯度・経度、マップコードの表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.24

昼画面／夜画面の地図色を設定する

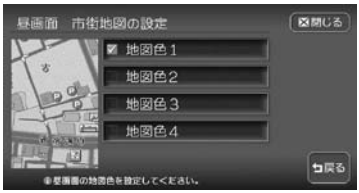
ここまでの操作



1 ［昼画面の地図色］または［夜画面の地図色］の 市街(色1) または 通常(色1) をタッチする

（　　）内には、現在設定している地図色番号が表示されています。

2 変更したい地図色を選択してタッチする



画面左側に選択した地図色の地図が表示されます。
※画面例は昼画面の市街地図です。

END

地図の表示方法を設定する

ここまでの操作



1 表示選択（標準）をタッチする

2 変更したい項目をタッチする



- ☑ 標準：文字の大きさと情報量を標準に設定します。
- 注記量少：文字の大きさを標準に、文字の情報量を少なく設定します。
- 大きな文字：文字を大きく、文字の情報量を少なく設定します。

END

地図上のアイコンの設定をする

ランドマークの表示など、地図上に示されるアイコンに関する設定ができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ アイコン

アイコン設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

アイコン設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ランドマークの表示	地図上に表示されるランドマークの種類を選択する	初期設定では以下がオフに設定されています。 • その他コンビニ • ファーストフード店	P.347
検索アイコンの表示	周辺検索（P.66）で検索した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
登録アイコン文字表示	登録アイコンに表示される名称の表示／非表示を切り替える	する※／しない	—

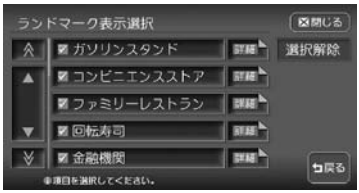
ランドマーク表示を設定する

ここまでの操作



1 ［ランドマークの表示］の 表示選択 をタッチする

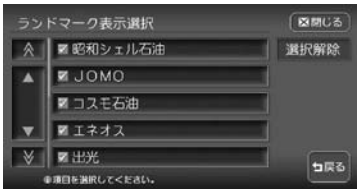
2 表示したいジャンルを選択してタッチする



選択したジャンルのチェックマークが表示されます。

3 選択したジャンルの 詳細 をタッチする

4 表示したいブランドを選択してタッチする



選択したブランドのチェックマークが表示されます。

END

走行軌跡の設定をする

軌跡（今までに走行した道のりの表示）に関する設定ができます。



軌跡設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

軌跡設定項目一覧　　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える	する／しない※	**基本操作ガイド P.42**
軌跡の間隔	軌跡の間隔を設定する 軌跡のポイントは2,000を超えると古いものから順に消去されますので、軌跡の間隔を長くすると、長い距離の軌跡表示が可能になります。	50m ／ 100m ／ 200m※／ 500m	—
軌跡マーク	軌跡マークを5種類から選択する	(青)※ (赤)、(緑)、(紫)、(足跡)	—
軌跡の消去	走行軌跡（本機への保存情報）の記録を消去する 軌跡の記録を消去すると、再表示はできません。	—	—
軌跡保存	表示している軌跡を、名前を付けて5つまで保存する	—	**P.349**
保存軌跡の表示	保存している軌跡を表示する	—	**P.350**

軌跡を保存する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁

1 ［軌跡保存］の保存をタッチする

2 軌跡を保存したい場所を選択してタッチする



すでに保存している軌跡があれば、上書きされます。
名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。

アドバイス

- 保存されるのは、本機に登録されている全ての軌跡です。

▶ END ◀

軌跡に名称を付ける

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存

1 名称変更をタッチする

2 名称を変更したい軌跡を選択してタッチする



3 名称を入力して決定をタッチする

名称を入れなければ、保存した日付が表示されます。

▶ END ◀

軌跡を削除する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存

1 削除 をタッチする

2 削除したい軌跡を選択してタッチする



3 決定 をタッチする

▶ END ◀

軌跡を表示する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁

1 ［保存軌跡の表示］の 保存軌跡選択 をタッチする

2 表示したい軌跡を選択してタッチする



地図上に選択した軌跡が表示されます。

3 決定 をタッチする



軌跡の表示が設定されます。

▶ END ◀

軌跡表示を解除する

表示されている軌跡の表示設定を解除します。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存軌跡選択

1 解除をタッチする



確認メッセージが表示されます。

2 はいをタッチする

保存軌跡の表示が解除されます。

▶ END ◀

軌跡を書き出す

本機に保存された軌跡情報をメモリーカードに書き出すことができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 軌跡設定 ▶ 次頁 ▶ 保存軌跡選択

1 書き出しをタッチする

2 書き出したい軌跡を選択してタッチする



3 書き出す軌跡情報の名称を入力し決定をタッチする



4 はいをタッチする

軌跡情報が書き出されます。

▶ END ◀

走行中の地図の設定をする

スクエアビュー表示や3Dマップ角度調整など、ルート誘導時の画面表示に関する設定ができます。



VIEW設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VIEW設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
ハイウェイモード自動切替	ハイウェイモードの自動表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.33
シティモード自動切替（*1）	シティモードの自動表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.36
スクエアビュー自動切替（*1）	スクエアビューの自動表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.36
左地図／右地図設定	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の表示方法を選択する	H-UP※（右地図）：進行方向を上向きに表示 N-UP※（左地図）：北方向を上向きに表示	P.32
左地図／右地図角度調整	1画面表示時の地図（2画面表示時の左地図）／2画面表示時の右地図の3Dの視点を設定する	レベル1～21（レベル6※）	P.354
一方通行表示	一方通行の道に矢印を表示する	する※／しない	P.30

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
抜け道表示 (*2)	一般道を走行中に、抜け道を表示させる 抜け道は、市街地図のないエリアでは10～200mスケール、市街地図のあるエリアでは50～200mスケールで表示されます。ただし、市街地図では表示されません。	する※／しない	—
スクエアビュー視点高	スクエアビュー表示時の視点を高い位置から表示させる	する／しない※	P.36

(*1) シティモード自動切替、スクエアビュー自動切替の両方が する の場合は、スクエアビュー表示が優先されます。

(*2) 抜け道表示の設定は、ルートには反映されません。

左地図／右地図角度調整（3Dマップ角度調整）

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VIEW設定 ▶ 次頁

1 ［左地図角度調整］または、［右地図角度調整］の 角度調整 をタッチする

角度設定画面が表示されます。

2 高 または 低 をタッチして視点を変更する

●視点を高くした場合

視点が上がります。

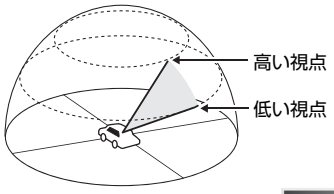


視点が下がります。

●視点を低くした場合



3Dマップ角度イメージ



▶ END ◀

ルート案内の設定をする

方面看板表示など、ルート誘導中の画面表示に関する設定ができます。



誘導設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

NEXT

誘導画面設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
誘導画面の種類	ルート誘導中の、交差点および都市高速道路入口での表示案内画面を設定する	拡大※ オートスケール 地図	—
オートリルート	ルート誘導中、ルートを間違えたときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する	する※／しない	—
方面看板表示	方面看板案内の表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
レーン表示	レーンガイドの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
AV画面での割込み(*1)	オーディオ画面表示中の交差点案内割込表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
AV2画面での割込み(*1)	AV2画面表示中の交差点案内割込表示／非表示を切り替える	する／しない※	—
到着予想渋滞考慮	到着予想時間の計算時、渋滞の統計データを(*2)考慮して計算するかしないかを設定する 「する」を設定すると次のようになります。 ・「到着予想速度設定」は考慮されません。 ・別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合、ビーコン情報も考慮された到着予想時間が計算されます。 ・オンライン（P.169）で交通情報を受信している場合は、受信した情報も考慮した到着予想時間が計算されます。	する※／しない	—
到着予想速度設定	到着予想時間の計算時に基準となる速度を設定する 「到着予想渋滞考慮」を、「しない」に設定した場合に有効となります。	高速道： 60～100km/h(80※) 有料道： 40～80km/h(60※) 一般道： 20～60km/h(30※)	P.357

(*1)　画面がOFFの状態でも交差点案内は表示されます。

(*2)　渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

到着予想速度設定

お知らせ

- 到着予想渋滞考慮を「する」に設定している場合、到着予想速度設定を変更することはできません。到着予想速度設定をする場合は、到着予想渋滞考慮を「しない」に変更してください。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 誘導設定 ▶ 次頁

1 [到着予想速度設定]の 速度設定 をタッチする

2 ▲ または ▼ をタッチして各速度を変更する



高速：高速道走行時の速度を60～100km/hに設定できます。

有料：有料道走行時の速度を40～80km/hに設定できます。

一般：一般道走行時の速度を20～60km/hに設定できます。

▶ END ◀

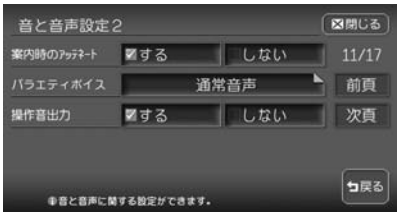
音声案内の設定をする

音声案内に関する設定ができます。



音と音声設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

音と音声設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声案内	音声案内などのナビゲーション音声を、出力するかしないかを設定する「しない」を選択しても、目的地到着案内・渋滞・規制の音声案内は行います。	通常※／しない	—
音量設定	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する	レベル1～15（レベル8※）	P.360
音声認識アンサーバック	ボイスコントロール時の音声による確認（P.444）を設定する	する※／しない	—
音声案内アイコン選択	登録地点のアイコンに近づいたときの、音声案内を設定する	鳴らす：音声案内をします。 オフ※：音声案内をしません。 選択：音声案内をするアイコンを指定します。	—
音声を鳴らす距離	音声案内を行うアイコンと、自車位置の距離を設定する	200m※／400m／800m	—
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	する※／しない	—
バラエティボイス	音声案内を4種類の中から選択する	通常音声※／簡易音声／関西弁／英語	P.360
操作音出力	ボタン・タッチキー操作時にビープ音を鳴らすかどうかを設定する	する※／しない	—

音量を調整する

ここまでの操作



1 音量設定をタッチする

2 ▲または▼をタッチして各音量を調整する



設定した音量で、「この音量でご案内します」と音声案内します。

アドバイス

- 高速走行時と通常走行時の音量切り替えは、時速80km/hを目安に行われます。

END

バラエティボイス

関西弁および英語は、交差点の進行方向を中心に音声案内を行います。交差点名・ランドマーク名・方面名称・道路名については音声案内を行いません。

簡易音声は、通常音声における音声案内の一部を省略した内容で案内を行います。

ただし、簡易音声に設定しても、通常音声と変更のない音声案内もあります。

ここまでの操作



1 [バラエティボイス]に表示されている音声をタッチする

2 案内させたい音声を選択してタッチする



選択した音声のチェックマークが表示されます。

END

VICS情報の設定をする

VICS情報に関する設定ができます。

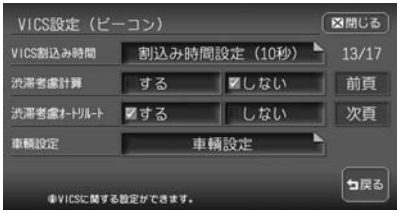
お知らせ

- VICS設定（ビーコン）の画面は、別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ VICS

VICS設定メニュー





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

VICS設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
周波数設定	VICS情報やFM多重放送の受信放送局を設定する	自動追尾※／OFF	P.363
文字情報表示	受信したVICS文字情報の表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.42
VICS情報更新の通知	VICS情報を更新したときに、音声でお知らせするかしないかを設定する	する／しない※	—
VICSアイコン情報表示	地図上にVICSアイコンの情報を表示するかしないかを設定する	する※／しない	P.42
VICS表示項目選択	VICS情報を表示する項目を選択する	一般道交通情報の表示※／高速道交通情報の表示※／渋滞なしの表示／駐車場情報の表示※／規制区間の表示	P.363

NEXT

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
VICS割込み時間(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報を、画面に割込表示する時間を設定する	OFF／5秒／10秒※／20秒／30秒	P.364
渋滞考慮計算(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したルートを計算する	する／しない※	—
渋滞考慮オートリルート(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、オートリルートを行う	する※／しない	—
車輌設定(*)	本機を使用する車輌を、6種類の中から選択する	軽車輌／小型車輌※／普通車輌／大型車輌／特定車輌／大型特定車輌	P.364

(*) 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

お知らせ

- VICS設定で設定された内容は、オンライン（**P.169**）で受信した交通情報についても適用されます。

FM周波数の設定

ここまでの操作

各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 周波数設定をタッチする

2 放送局を選択してタッチする



▶▶| |◀◀ :
周波数が切り替わります。タッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に検出します。

☑自動追尾 :
NHK-FM受信中は、放送エリア外に出た場合でも、そのエリアのNHK-FMを自動的に受信します。初期設定はON（チェックマーク表示）です。NHK-FM以外の放送局を受信すると、OFFになります。

▶ END ◀

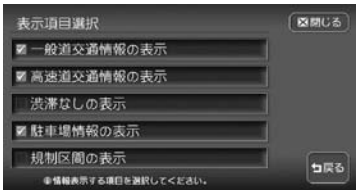
VICS表示項目選択

ここまでの操作

各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 ［VICS表示項目選択］の表示項目選択をタッチする

2 表示させたい項目を選択してタッチする



選択した表示形式のチェックマークが表示されます。

▶ END ◀

車輌を設定する（ビーコン）

正しく設定されていないと、高速道の料金表示が正しく表示されない場合があります。

大型車輌、特定車輌、大型特定車輌の高速道料金には対応していません。

アドバイス

・ナビ各種設定画面で 初期設定 をタッチしても、同様の操作ができます。(P.377)

ここまでの操作



▶ 次頁

1 車輌設定をタッチする

2 ご使用の車輌を選択してタッチする

選択した車輌のチェックマークが表示されます。

▶ END ◀

VICS割込時間（ビーコン）

お知らせ

・この設定を OFF にすると、ビーコンVICS情報は割り込み表示されません。

ここまでの操作



▶ 次頁

1 [VICS割込み時間]の 割込み時間設定（10秒） をタッチする

2 表示させたい時間を選択してタッチする



選択した時間のチェックマークが表示されます。

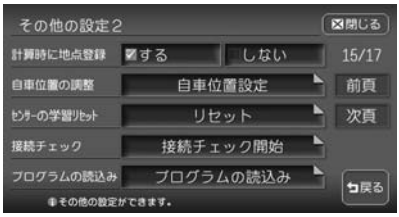
▶ END ◀

その他の設定をする（自宅編集・登録地点編集・自車位置の調整・カーソル表示…）

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ その他

その他の設定メニュー









以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

NEXT

その他設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
自宅編集	登録されている自宅の場所を変更する 編集方法については、**「まずは、自宅を登録しよう」(基本操作ガイド P.44)の手順5以降**をご覧ください。	—	—
カスタムボタンの割付	よく使う機能を、8個までカスタムボタンに割り付ける 割り付けた機能は、ナビゲーション操作メニューのカスタムから簡単に呼び出すことができます。	初期設定では以下の項目が割り付けられています。 • 音量設定 • 音声案内 • VICS表示項目選択 • 文字情報表示 • 誘導画面の種類 • 検索アイコン表示	P.369
登録地点編集	登録地点の編集、削除、グループ編集、マイリスト編集をする ［登録地点編集］の地点編集をタッチした後に、下記項目をタッチして編集してください。 • データ編集 • グループ編集 • マイリスト編集 • 地点削除	— — — — —	— P.62 P.64 P.60 P.65
ユーザープロファイル編集	ユーザープロファイルの編集やユーザーの削除をする ［ユーザープロファイル編集］のプロファイル編集をタッチした後に、下記項目をタッチして編集／削除してください。 • ユーザー編集 • ユーザー削除	— — —	— P.410 P.409
ユーザー選択画面表示	エンジンをかけた後のユーザー選択画面の表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.406
計算と同時に地点登録	目的地までのルートの設定と同時に、目的地を登録するかしないかを設定する	する※／しない	—
自車位置の調整	自車位置を修正する	—	P.371
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する	—	P.372

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
接続チェック	本機に接続されているセンサーや信号の状況をチェックする	—	P.372
	<GPS状態確認> GPSの受信状況を表示する		P.373
	<再起動> 車のバッテリーを交換した場合などに、システムを再起動する		P.373
プログラムの読込み	将来的に、メモリーカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
カーソル表示	画面上で、現在選択されている項目をハイライト表示する	する／しない※	P.368
コントロールバー自動消し	ナビゲーション／AVコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを設定する	する／しない※	—
盗難防止設定	盗難時にはセキュリティ機能がはたらき、いったん本機が取り外された後は、暗証番号を入力しないと起動できないようにする	する／しない※／変更	P.374
盗難防止イルミ点滅	エンジンがOFFのときに操作パネルのランプを点滅させて、盗難を抑制する	する／しない※	—
50音並び	文字入力画面の並び方を左右どちらかに切り替える	左並び／右並び※	P.368
OPTIONボタン割付	オプションボタンに割り付ける機能を設定する	目的地自宅設定／地図表示タイプ切替／マルチメーター表示／軌跡表示	P.380
OPカメラモード	別売のオプションカメラ接続時に、カメラ切替を自動にするか手動にするかを設定する	自動／手動※	—
アドオンデータ	追加データコンテンツがある場合に使用する ＊今後、追加データコンテンツの提供を予定しております。	—	—
出荷状態に戻す	本機の状態を工場出荷時の状態に戻す	—	P.375

カーソル表示画面

しない を選択しても、画面によっては項目がカーソル表示されることがあります。
リモコン操作時は、この設定は する に切り替わります。

する を選択した場合



選択中の項目がハイライトで表示されます。

しない を選択した場合



ハイライト表示はありません。

文字入力画面の並び方

文字入力画面で、文字列が左右どちらから始まるかを設定できます。

☑左並び を選択した場合
文字列が左始まりになります。



☑右並び を選択した場合
文字列が右始まりになります。



カスタムボタンの割付

ここまでの操作

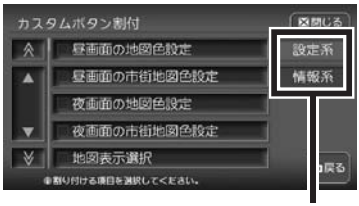


1 ［カスタムボタンの割付］のボタン割付をタッチする

2 割り付けたいボタンを選択してタッチする



3 割り付ける機能を選択してタッチする



割り付ける機能を絞り込むことができます。

選択した機能のチェックマークが表示され、カスタムボタン割付画面に戻ります。

END

■カスタムボタンに割り付けられる機能一覧表

設定系	昼画面の地図色設定	左地図設定	案内時のアッテネート
	昼画面の市街地図色設定	右地図設定	操作音出力
	夜画面の地図色設定	3Dマップ角度調整	文字情報表示
	夜画面の市街地図色設定	右地図3Dマップ角度調整	VICS情報更新の通知
	地図表示選択	一方通行表示	VICSアイコン情報表示
	一般道の経路色選択	抜け道表示	VICS表示項目選択
	有料道の経路色選択	スクエアビュー視点高	VICS割込み時間※2
	自車位置マーク設定	誘導画面の種類	渋滞考慮計算※2
	マルチメーターの表示	オートリルート	ユーザー選択画面表示
	時刻表示の選択	方面看板表示	計算と同時に地点登録
	3Dマップ星座表示	レーン表示	コントロールバー自動消し
	スクロール位置情報表示	AV画面での割込み	ETC音声ガイド※3
	検索アイコンの表示	AV2画面での割込み	ETCカード入れ忘れ警告※3
	登録アイコン文字表示	到着予想渋滞考慮	ETC本体ブザー音※3
	軌跡の表示	到着予想時間速度設定	ETCアイコン表示※3
	軌跡の間隔	音声案内	ETC割込み時間※3
	軌跡マーク	音量設定	50音の並び設定
	ハイウェイモード自動切替	音声認識アンサーバック	メニュー設定
	シティモード自動切替	音声案内アイコン選択※1	検索アイコン消し
	スクエアビュー自動切替	音声を鳴らす距離	
情報系	FM多重文字情報	NHK所要時間	ビーコン図形情報※2
	FM多重図形情報	ビーコン文字情報※2	ビーコン所要時間※2

※1 走行中には、アイコンは選択できません。
※2 別売のVICS光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
※3 別売のETCユニット接続時に表示されます。

自車位置を調整する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［自車位置の調整］の 自車位置設定 をタッチする

2 自車位置の移動方法を選択してタッチする

移動のしかたは、目的地を探す場合と同様です。詳しくは**「目的地を探す」**(P.49) をご覧ください。

3 場所を確認して、決定 をタッチする



4 自車位置の方向を調整する

自車位置の方向を、左方向に回転します。



自車位置の方向を、右方向に回転します。

5 決定 をタッチする

自車位置が修正され、現在地画面に戻ります。

アドバイス

- 自車位置修正は、可能な限り詳細地図で行ってください。

END

センサーの学習リセット

タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。
学習方法については、**「自車位置がずれていたら」（P.474）**、**「3Dセンサーによる上下道路判定について」（P.475）**をご覧ください。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［センサーの学習リセット］の リセット をタッチする

2 はい をタッチする

学習記録が初期化されます。

▶ END ◀

接続状況をチェックする

チェックは以下の13項目に対して行います。

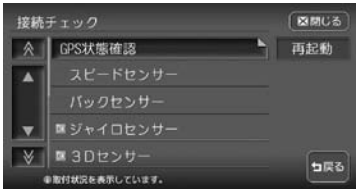
GPS状態確認／スピードセンサー／バックセンサー／ジャイロセンサー／3Dセンサー／サイドブレーキ／イルミ／ビーコン／ FM多重／オプションカメラ／リアカメラ／ ETC ／ Bluetooth

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］の 接続チェック開始 をタッチする

GPS状態確認 以外は、接続が確認されるとOKが表示されます。



GPS状態確認については、**「GPS情報を表示する」（P.373）**をご覧ください。

▶ END ◀

GPS情報を表示する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］の 接続チェック開始 をタッチする

2 GPS状態確認 をタッチする

3 GPS受信状態表示 をタッチする





GPS情報画面が表示されます。

END

システムを再起動する

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁

1 ［接続チェック］の 接続チェック開始 をタッチする

2 再起動 をタッチする

3 はい をタッチする

システムが再起動します。

END

盗難防止用に暗証番号を設定する

お知らせ

- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してからにしてください。
- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁 を2回

1 ［盗難防止設定］の する をタッチする

2 注意事項を読み、確認をタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号を4桁入力し、決定をタッチする

電話番号入力画面が表示されます。

4 電話番号を入力し、決定をタッチする

メッセージが表示され、暗証番号と電話番号が保存されます。

お願い

- 暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。

アドバイス

- 暗証番号を変更する場合は、［盗難防止設定］の 変更 をタッチして暗証番号を入力してから、新しい暗証番号と電話番号を入力してください。
- 盗難防止設定を解除する場合は、［盗難防止設定］の しない をタッチして暗証番号を入力してください。

▶ END ◀

■暗証番号を忘れてしまった場合は・・・

暗証番号を忘れてしまった場合は、次のことを行ってください。

1 メモリーカードを入れ、コード発行をタッチする

2 メモリーカードを取り出し、「暗証番号照会申込書」を添付して弊社お客様相談室宛に郵送で送る

※「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

※「暗証番号照会申込書」には、必ず暗証番号設定時に入力した電話番号をご記入ください。未記入、あるいは間違っている場合は、暗証番号のご通知はできません。

本人確認のため、「暗証番号照会申込書」には以下の事項を必ず記入してください。詳しくは、「暗証番号照会申込書」（P.549）をご覧ください。

- **暗証番号設定時に入力した電話番号**
- **自宅登録している場所（自宅住所や駐車場住所など）**
- **解除コードの送付先（お客様の氏名、住所、電話番号）**

▶ END ◀

出荷状態に戻す

お願い

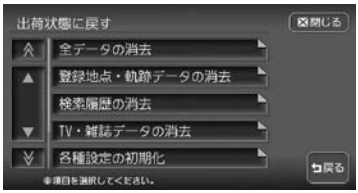
- 本機を譲渡・転売するときは、必ず全てのデータを削除してください。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ その他 ▶ 次頁 を3回

1 ［出荷状態に戻す］の項目選択をタッチする

2 出荷状態に戻したい項目をタッチする



確認画面が表示されます。

アドバイス

- 盗難防止機能が「する」に設定されている場合は、全データの消去または各種設定の初期化をタッチすると暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

3 はいを2回タッチする

選択した項目が出荷時の状態に戻ります。

▶ END ◀

初期設定

ナビゲーションを使用するために必要な設定ができます。



初期設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

初期設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
車輌設定	本機を使用する車輌を6種類の中から選択する	軽車輌／小型車輌※／普通車輌／大型車輌／特定車輌／大型特定車輌	P.377
アンテナの種類	本機を使用する車のアンテナの種類を設定する	オートアンテナ／その他※	P.377

車輌を設定する

正しく設定されていないと、高速道の料金表示が正しく表示されない場合があります。

大型車輌、特定車輌の高速道料金には対応していません。

アドバイス

・別売のVICS光・電波ビーコンユニットを接続している場合は、**「VICS情報の設定をする」（P.361）**の車輌設定からも同様の操作ができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶

初期設定

1 車輌設定をタッチする

2 ご使用の車輌を選択してタッチする



選択した車輌のチェックマークが表示されます。

▶ END ◀

アンテナの種類を設定する

お知らせ

・オートアンテナの設定ができるのは、オートアンテナ車で車両のアンテナ端子と本機のオートアンテナ端子を接続している場合です。

・立体駐車場など、天井の低い場所に入るときは、オートアンテナを下げてください。

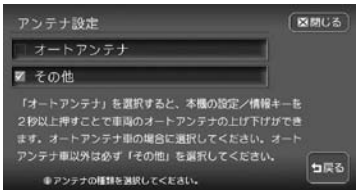
ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶

初期設定

1 ［アンテナの種類］のアンテナ設定をタッチする

2 ご使用の車に合わせて、オートアンテナまたはその他をタッチする



選択した設定項目のチェックマークが表示されます。

オートアンテナ：

車載ラジオのスイッチをONにすると自動的に出てくるアンテナです。本機の を押し続けると、オートアンテナの上げ下げができます。オートアンテナ車では、必ずこちらを選択してください。

その他：

オートアンテナ以外のアンテナをお使いの場合は、こちらを選択してください。

▶ END ◀

ETCの設定をする

別売のETCユニット接続時の設定ができます。

ここまでの操作

各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ VICS/ETC ▶

次頁 を2回

ETC設定メニュー



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

ETC設定項目一覧　※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	ゲート通過時の音声ガイドを設定する	する※：音声とメッセージ表示 しない：メッセージ表示のみ	—
カード入れ忘れ警告	エンジンをかけたときに、ETCカードが挿入されていない場合に警告をするかしないかを設定する	する※：メッセージ表示で警告 しない：警告しません	—
本体ブザー音	ETC本体のブザー音（ゲート通過時、カード挿入時、カード排出時、エンジンをかけたときにカード未挿入時）を設定する	鳴らす※／オフ	—
アイコン表示	地図上のETCアイコンの表示／非表示を切り替える する を選択した場合のETCアイコン表示： ETC OK（紫）：正常時 ETC（グレー）：カード無し、エラー時	する※／しない	—
ETC割込み時間	料金を割込表示させる時間を設定する	5秒／10秒※／15秒／20秒／30秒	P.379

※本機は、ETC10のカード有効期限切れ通知機能には対応しておりません。

ETC料金表示割込時間

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS/ETC

▶ 次頁 を2回

1 [ETC割込み時間] の 割込み時間設定（10秒） をタッチする

2 表示させたい時間を選択してタッチする



選択した項目のチェックマークが表示されます。

▶ END ◀

OPTIONボタンの操作方法

OPTIONボタンを押すだけで、設定の変更や切り替えを即座に行うことができます。

お知らせ

・サイドビューカメラ（CC-2016A）などの別売のオプションカメラ接続時は、OPTIONボタンに「カメラ映像ON/OFF」が割り付けられます。以下で説明する機能は使用できません。

OPTIONボタンの機能変更

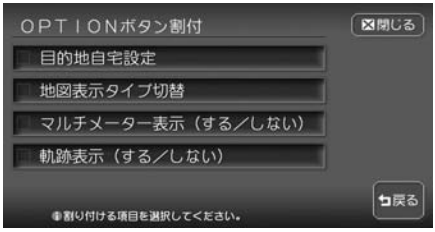
OPTIONボタンの機能の割付は、以下の方法で行います。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ その他 ▶▶▶ 次頁 を3回

1 [OPTIONボタン割付] の ボタン割付 をタッチする

はじめて操作する時は、 を押し続けてもOPTIONボタン割付画面が表示されます。

2 設定したい機能をタッチして選び、 閉じる をタッチする



選択した機能が割り付けられます。

END

OPTIONボタンの操作

1 を押し続ける

割り付けた機能を実行します。
OPTIONボタンの機能は、以下のようになっています。

機能の名称	機能の内容
目的地自宅設定	目的地を自宅に設定し、計算条件画面を表示する
地図表示タイプ切替	押すたびに地図の表示方法が下記のように切り替わる 1画面→2画面→AV2画面→ハイウェイorシティ→スクエアビュー→ピクチャービュー ハイウェイモードは、目的地までのルート設定時、または自車が高速道路上にある場合に表示されます。シティモードおよびスクエアビューは、目的地へのルート設定時のみ表示されます。
マルチメーター表示(する/しない)	マルチメーターの表示／非表示を切り替える
軌跡表示(する/しない)	軌跡の表示／非表示を切り替える

END

音質を設定する

オーディオの音に関する設定を行います。

お知らせ

- 最初に、スピーカーの設定を必ず行ってください。
- ここでの設定内容によっては、CDの録音スピードに影響が出る場合があります。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定

1 オーディオ設定 をタッチする

オーディオ設定画面が表示されます。

2 設定したい項目をタッチする



設定後は、閉じる をタッチして現在地画面に戻ります。
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
	ドルビー設定をする	—	P.389
	音場を5つのパターンから選択し、効果を調整する	STADIUM ／ HALL ／ CLUB ／ CHURCH ／ L-ROOM ／ OFF※ (EFFECTO～ 7)	P.391
	**<EQ BASIC>** EQを設定し、音質を変える	BASS.B ／ HIGH.B ／ ACOUSTIC ／ IMPACT ／ SMOOTH ／ FLAT※	P.392
	<EQ USER> EQ設定をカスタマイズして保存する	USER1～ 6	P.393
	<EQ設定のタイトル編集> カスタマイズしたEQ設定に名称をつける	—	P.393
	音像定位が最適になるように着座位置を選択する また、タイムアライメント調整 (*1) やスピーカーゲイン調整 (*2) もできます。	フロント左／フロント右／フロント／リア／フルシート／ユーザー／ OFF※	P.394
P.EQ	車両環境に合わせて車室内の音響特性を補正する	セダン／ワゴン／ワンボックス／ミニバン／コンパクトカー／ユーザー／ OFF※	P.398
2CH再生	5.1chのすべての音声を2ch再生させる	OFF※／ ON	—
高域補正	MP3などの圧縮オーディオの再生音を原音に近づける ドルビープロロジックⅡがONの場合、この設定はOFFになります。	OFF※／ ON	—
BALANCE	音量バランスを設定する	BAL：L9～ 0※～ R9 FAD：F9～ 0※～ R9	P.402

NEXT

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
スピーカー設定	スピーカーのあり・なしや各種調整をする また、各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットします）やサブウーファーローパスフィルター（高音域をカットします）の周波数を調整できます。	—	P.385
VIRTUAL BASS	低音域を強調して再生させる	0※～5	—
車速連動音量設定	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する	OFF※／LO／MID／HI OFF：速度が上がっても音量は変化しません。 LO→MID→HIの 順 で、速度上昇時の音量の上がり幅が大きくなります。	—

(*1) 音の到着時間の誤差をなくすために、選んだ座席位置に対して、各スピーカーからの距離を微調整できます。

(*2) スピーカー出力レベルを調整できます。

お知らせ

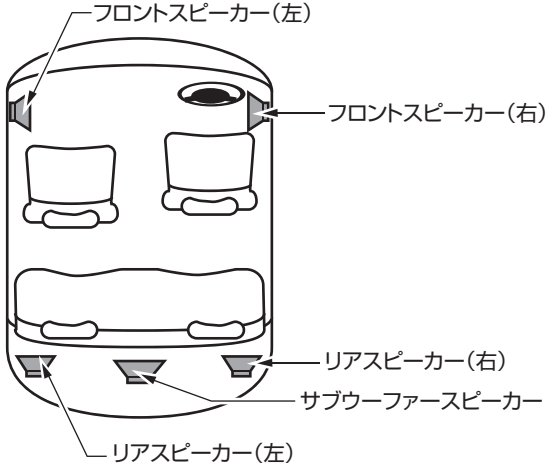
- 設定を中止するには、設定中に戻るをタッチします。
- オーディオOFF中は、オーディオ設定は操作できません。
- DOLBY、ホールシミュレーション、ボディソニックはいずれか一つの設定しか選択できません。どれか一つを選択すると、他の二つの機能は自動的にOFFになります。

スピーカーを設定する

接続しているスピーカーのあり・なしや各種調整を行います。
ここでの設定内容と実際に装備されているスピーカーの有無や内容が異なると、音声が出力されない場合があります。必ず実際のスピーカー状況に合わせた設定を行ってください。

※5.1chスピーカーシステムでない場合（通常の4スピーカーシステムの場合）は、ディスク（録音内容）により、スピーカーから音が出ないチャンネルがあります。これは、5.1chなどのマルチチャンネルにおける音声データが、通常のスピーカーシステムでの再生において、振り分けを禁止されているディスクによるものです。

例：［リアスピーカー接続］を「なし」に設定した場合、リアチャンネルの音声は、他のチャンネルに振り分けて出力されます。ただし、振り分けを禁止しているディスクの場合、リアチャンネルの音声はどこにも出力されません。



アドバイス

- 「2CH再生」**（P.383）**をONにすると、5.1ch音声が2chに切り替えて再生され、振り分けを禁止しているディスクでもすべての音声を出力することができます。

NEXT

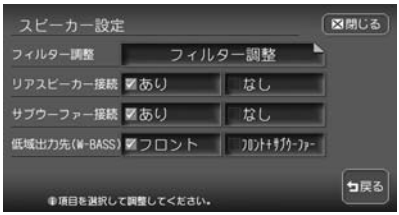
ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ スピーカー設定

1 各項目を設定する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて「あり」を選択した場合



以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
フィルター調整(*1)	各スピーカーのハイパスフィルター（低音域をカットする）やサブウーファーローパスフィルター（高音域をカットする）の周波数を調整する	—	P.388
リアスピーカー接続	リアスピーカーの有無を設定する	あり※／なし	—
サブウーファー接続	サブウーファーの有無を設定する	あり／なし※	—
低域出力先(W-BASS)(*2)	低域の出力先を設定する **<フロント>** 2チャンネルソースの低域信号を、フロントスピーカーからのみ出力します。 **<フロント+サブウーファー>** 2チャンネルソースの低域信号を、フロントスピーカーとサブウーファースピーカーの両方から出力します。	フロント※／フロント+サブウーファー	—

(*1) [リアスピーカー接続]［サブウーファー接続］で「なし」が選択されているスピーカーは、フィルター調整できません。

(*2) [低域出力先（W-BASS)]で「フロント」が選択されており、かつフロントスピーカーのハイパスフィルターで「スルー」を選択していると、CDなどの2チャンネルソース再生時にサブウーファーから低音が再生されなくなります。このような場合は、[低域出力先（W-BASS)]で「フロント+サブウーファー」を選択してください。また、[サブウーファー接続]で「なし」が選択されている場合、[低域出力先（W-BASS)]は表示されません。

END

フィルター調整をする

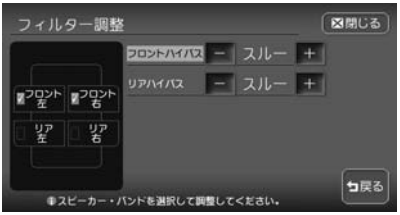
フロント（右／左）、リア（左／右）ごとにフィルターを調整できます。

ここまでの操作

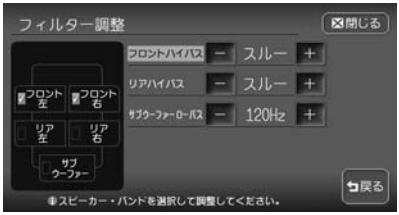


1 調整するスピーカーの − ＋ でフィルターを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて「あり」を選択した場合



設定の内容は、以下の表をご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
フロントハイパス	フロントスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	スルー※/50Hz/80Hz/120Hz
リアハイパス	リアスピーカーのハイパスフィルター周波数を選択する	
サブウーファーローパス	サブウーファーローパスフィルター周波数を選択する	50Hz/80Hz/120Hz※

アドバイス

- スピーカーの口径が小さい場合は、スピーカーの低域再生能力に応じてハイパスフィルターの周波数を設定してください。スピーカーの口径が大きい場合には、設定値「スルー」のままご使用ください。

END

ドルビープロロジックⅡを設定する

ドルビープロロジックⅡは、2ch音声をマルチチャンネル再生します。また、マルチチャンネル音声に対しても音の補正を行い、より臨場感あふれる音を再生します。

ドルビープロロジックⅡについて

- ドルビープロロジックⅡは最新のデジタルマトリクス技術を応用し、これまでのドルビープロロジックをさらに改良したマトリクスデコード技術です。ドルビーサラウンドソースをはじめ、CDのようなステレオ音源に対しても優れたマルチチャンネル再生を実現します。
- ドルビーデジタルは、マルチチャンネルの完全独立デジタルディスクリート方式のフォーマットです。フロント3chとサラウンド2ch、低域効果音に0.1chの信号が独立した状態で記録されているため、チャンネル間のクロストークもなく、音の定位感、遠近感など忠実に再現します。

お知らせ

- ドルビープロロジックⅡをONにしていても、モノラル録音ソースや圧縮オーディオなどステレオ音声成分が不足するようなソースでは、サラウンドチャンネルの効果が十分に得られず、ノイズ（または異音）に聞こえる場合があります。その場合は、ドルビープロロジックⅡをOFFにしてください。
- CDの録音中は、ドルビープロロジックⅡ機能に制限がかかることがあります。

NEXT

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ DOLBY

1 Dolby PLII ONをタッチする

ドルビープロロジックⅡがONになり、各種設定ができるようになります。

工場出荷時



［スピーカー設定］でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



ファントムセンター：センターチャンネルの音声を振り分けるスピーカーを設定します。

ファントムセンターをフロントに設定すると、前席の各ユーザーの正面にセンターチャンネルの音像が定位します。

また、フロント＋リアに設定すると、前席および後席の各ユーザーの正面にセンターチャンネルの音像が定位します。

※1　フロント＋リアに設定した場合、フロントスピーカーおよびリアスピーカーから出力される音声は2chとなります。

※2　後席に設置されたスピーカーが後席のユーザーの着座位置より後ろにある場合、フロント＋リアに設定しても、センターチャンネルの音像を前方に定位させることはできません。その場合は、フロント＋リアには設定しないでください。

ファントムセンター設定：－ ＋をタッチして、センターチャンネル音声が再生される位置を調整できます。調整範囲は1～9です。センターチャンネルの音声が正面に来るように調整してください。

アドバンスドフェダー：－ ＋をタッチして、入力信号がフロント／リアスピーカーに振り分けられる比率を調整できます。調整範囲はR9～ 0～ F9です。

END

音場を設定する（ホールシミュレーション設定）

音場を5つのパターンから選択し、効果を調整することができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ ホールシミュレーション

1 お好みの音場パターンをタッチする



- STADIUM：屋内競技場のような音場
- HALL：広いホールのような音場
- CLUB：低音が強調されたクラブのような音場
- CHURCH：天井が極端に高い大聖堂のような音場
- L-ROOM：リスニングルームのような音場
- ホールシミュレーションON：効果のON ／ OFFを切り替える

2 EFFECT ▲ または EFFECT ▼ をタッチし、エフェクトレベルを調整する



エフェクトレベルを調整することにより、効果の強弱を調整できます。

END

音質を設定する（グラフィックEQ設定<EQ BASIC>）

5つのEQ設定パターンから音質を選択できます。周波数特性の変更はできません。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ グラフィックEQ

1 お好みのEQ設定をタッチする



- BASS.B：重低音の増強
- HIGH.B：中高域の増強
- ACOUSTIC：中域（人の声）の増強
- IMPACT：低域と高域の増強
- SMOOTH：しっとりと落ち着いた感じ
- FLAT：原音、EQをOFF

END

お好みの音質に調整する（グラフィックEQ設定<EQ USER>）

お好みのEQパターンを設定できる機能で、6つの設定を保存しておくことができます。

ここまでの操作



1 調整したいEQ設定を選択し、USER1 調整をタッチする



パラメータ調整画面が表示されます。

アドバイス

- タイトルをタッチすると、設定にタイトルをつけることができます。

2 バーをなぞるか、▲ ▼ ◀ ▶をタッチして、パラメータを調整する



周波数ごとのゲイン（音の大きさ）を調整します。

調整する周波数を選択します。

3 戻るをタッチする

EQ USER設定画面に戻ります。

NEXT

4 保存したいEQ（USER1～6）を（ピーッと音がするまで）タッチし続ける

調整したEQパターンがそのEQ設定に保存されます。

END

ポジションを設定する

各スピーカーからの音の到着時間と出力レベルを、座席位置に合わせて選ぶことができます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ ポジション

1 基準となる座席位置をタッチする

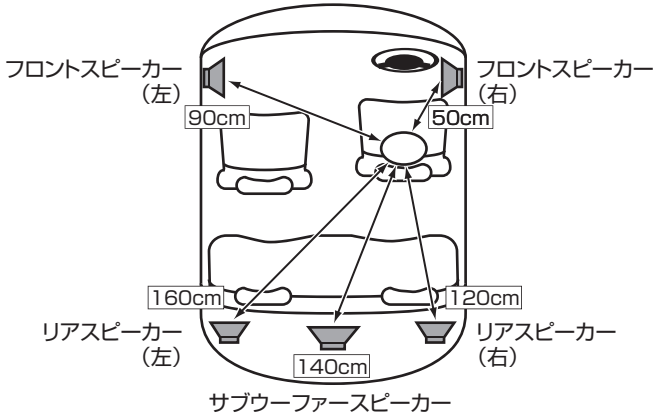


選んだ座席のチェックマークが表示され、ポジション ONになります。
ユーザーは、タイムアライメント調整とスピーカーゲイン調整をお好みで調整し、保存するモードです。詳しくは、**「タイムアライメントを調整する」（P.395）**、**「スピーカーゲインを調整する」（P.397）**をご覧ください。

END

タイムアライメントを調整する

車内では、各スピーカーからリスニングポジションまでの間に、それぞれの距離差により音が到達する時間差が生じます。そのために、音像定位や位相が狂います。
音の到着時間を補正するには、選択したポジションに対して、各スピーカーからの距離で微調整します。
下記のイラストは調整の例です。



お知らせ

- ［スピーカー設定］で「なし」が選択されているスピーカーは表示されず、調整できません。

NEXT

ここまでの操作



1 調整するスピーカーの − ＋ でタイムアライメントを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて「あり」を選択した場合



− ＋ ：タッチするごとに、5cmの単位で調整できます。
調整範囲は0〜 500cmです。

ユーザー に保存 ：調整したタイムアライメントがユーザー定義として保存されます。ポジション設定画面で ユーザー を選択すると、ここでの調整を呼び出すことができます。

END

スピーカーゲインを調整する

スピーカー出力レベルを調整できます。
左右のフロントスピーカー、リアスピーカーおよびサブウーファーの5つのスピーカーレベル出力が均一になるように調整します。

お知らせ

- ［スピーカー設定］で「なし」が選択されているスピーカーは表示されず、調整できません。

ここまでの操作



1 調整するスピーカーをタッチする

タッチしたスピーカーからテストトーンが出ます。

2 －＋でスピーカーゲインを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］ですべて「あり」を選択した場合



各スピーカーのテストトーンがすべて同じになるように調整します。

－ ＋ ：タッチするごとに、1dBの単位で調整できます。調整単位は-6～+6dBです。

ﾉｲｽﾞ ：スピーカーからテストトーンが出ます。

ﾕｰｻﾞｰに保存 ：調整したスピーカーゲインがユーザー定義として保存されます。ポジション設定画面でﾕｰｻﾞｰを選択すると、ここでの調整を呼び出すことができます。

END

パラメトリックイコライザーを設定する

車両の環境に合わせて車室内の音響特性を補正します。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ P.EQ

1 車種をタッチする



選んだ車種および ﾊﾟﾗﾒﾄﾘｯｸEQ ON のチェックマークが表示されます。
☑ﾕｰｻﾞｰ は、パラメーターをお好みで調整し、保存したモードです。詳しくは、**「パラメーターを調整する」(P.399)** をご覧ください。

END

パラメーターを調整する

選んだ車種の設定を元にして、音響特性を微調整できます。

■パラメトリックイコライザーとは

スピーカーから出力された音は車内のシートやインパネなどで吸収されたりして、音響特性は平坦ではありません。
本機ではパラメトリックイコライザー（P.EQ）で、車内の音響特性を補正します。

■調整について

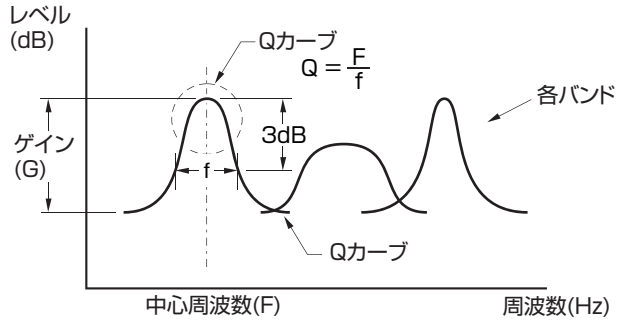
スピーカーとバンドの組み合わせに対して、中心周波数・ゲイン・Qカーブを調整できます。

●フロント・リア
　調整するスピーカーを選択します。

●BAND
　調整する周波数バンド（1・2・3）を選択します。周波数バンドごとに、中心周波数・ゲイン・Qカーブの選択と設定を行います。

■周波数特性の補正について

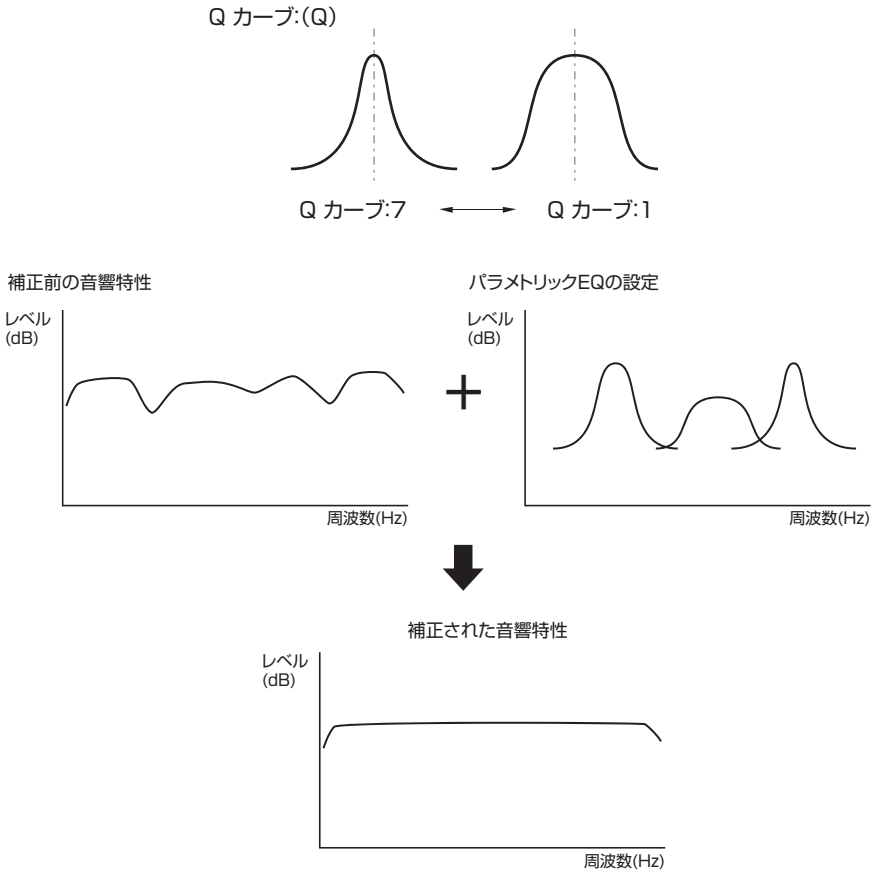
中心周波数・ゲイン・Qカーブの関係は、次の表のようになっています。



NEXT

Qカーブについて

Qカーブは、数値を大きくするとカーブが鋭く、数値を小さくするとカーブが緩やかになります。補正したい周波数カーブと逆のQカーブを選択することで、平坦な音響特性を作り出すことができます。



ここまでの操作



1 フロント、リアのBANDをタッチし、－ ＋でパラメーターを調整する

工場出荷時



［スピーカー設定］でリアスピーカー接続を「なし」にした場合



［周波数］：中心周波数（補正したい周波数帯＜バンド＞の中心となる周波数）を、BAND1では20Hz ～ 20kHz、BAND2および３では125Hz ～ 20kHzの範囲で調整します。1/3オクターブずつ調整できます。

［ゲイン］：ゲイン（出力レベル）を－12dB ～＋12dBの範囲で調整します。1dBずつ、25段階で調整できます。

［Q］　：Q カーブの鋭さを1、3、5、7のいずれかで設定します。

ﾉｲｽﾞ　：スピーカーからテストトーンが出ます。

ﾕｰｻﾞｰに保存　：ユーザー定義として保存され、パラメトリックEQ設定画面では、［ユーザー］が選ばれた状態となります。

END

音量バランスを調整する（BALANCE）

前後左右の音量バランスを調整できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ オーディオ設定 ▶▶▶ BALANCE

1 画面左の調整エリア内をタッチしてお好みのバランス／フェダーに調整する



1ステップずつ調整することもできます。

END

映像を設定する

映像のモードに関する設定を行ないます。

昼画面と夜画面を切り替える

昼間にヘッドライトを点灯させていて画面が見づらいときなどに、昼画面と夜画面を手動で切り替えることができます。

ここまでの操作

1 ☑昼画面 をタッチする

タッチするたびに昼画面と夜画面が切り替わります。



2 戻る をタッチする

アドバイス

- 各種設定画面で昼画面と夜画面を切り替えることもできます。

END

ディスプレイの明るさを調整する

ディスプレイをお好みの明るさに調整できます。
明るさは画面色（昼画面／夜画面）ごとに調整できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定

1 モニター設定 をタッチする

2 明 または 暗 をタッチして明るさを調整する



END

画質を調整する

テレビやDVD、VTRなどの画質を調整できます。

お知らせ

・この操作は、テレビ／ DVD ／ VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時のみ行えます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定 ▶▶▶ モニター設定

1 調整したい項目の調整キーにタッチし調整する



ブライト：明るさを調整します。＋、－で設定します。
色濃度：色の濃さを調整します。濃、薄で設定します。
色合い：色味を調整します。緑、赤で設定します。
コントラスト：コントラストを調整します。強、弱で設定します。
明るさ：ディスプレイの明るさを調整します。昼画面／夜画面ごとに調整できます。

END

ユーザーを設定する

ユーザーを選択する

この操作を行うには、2人以上のユーザー登録がされていて、「ユーザー選択画面表示」を「する」に設定しておく必要があります。詳しくは**「その他の設定をする」（P.365）**をご覧ください。

1 エンジンをかける

オープニング画面の後に、ユーザー選択画面が表示されます。

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

お知らせ

- 約5秒間操作をしないとユーザー選択画面は消え、最後に使用したユーザー設定に設定されます。

END

途中でユーザーを切り替える

ドライブの途中で運転を交代したときなど、ユーザーの切り替えができます。

1 を押し、ユーザー設定をタッチする

2 使用するユーザーを選択する



メッセージが表示され、選択したユーザー設定に切り替わります。

END

ユーザーを登録する

本機を使用するユーザーを登録します。
ユーザーを登録すると、以下の設定はユーザーごとに設定値が保持されます。

ナビ機能の設定（軌跡設定を除く）／マイリスト／メニュー設定／オープニング画面の設定／地図のスケール／カスタム設定／最近聴いた曲／ iPod画面

1 を押し、ユーザー設定をタッチする

ユーザー設定画面が表示されます。

2 未登録のユーザーボタンをタッチする



メッセージが表示されます。

3 はいをタッチする

ユーザー入力画面が表示されます。

4 ユーザー名称を入力し、決定をタッチする



設定値選択画面が表示されます。

5 設定値を選択し、はいをタッチする



ユーザーが設定されます。

END

ユーザーを削除する

登録したユーザーを削除できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ ユーザー設定

1 ユーザー削除をタッチする

2 削除したいユーザーを選択し、決定をタッチする



メッセージが表示されます。

3 はいをタッチする

選択したユーザーが削除されます。

END

ユーザー情報を編集する

ユーザー名称の変更や生年月日、画像や免許証の更新日などの情報を登録できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ ユーザー設定

1 ユーザー編集をタッチする

2 編集したいユーザーをタッチする

3 編集したい項目をタッチする





以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

タッチキー	設定の内容	参照ページ
名称	ユーザー名称を変更する	P.411
生年月日	生年月日を設定する 設定した月日になると、お祝いのメッセージが表示されます。	P.411
画像	画像を設定する 設定した画像は、ユーザー選択画面やユーザー設定画面に表示されます。	P.411
免許証	免許証の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.412
保険1 保険2	保険の満了日を設定し、さらに設定した満了日をお知らせする日にちを設定する	P.412
オリジナル	オリジナルの設定をする	P.413

ユーザー名称を変更する

ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

[編集したいユーザー] ▶ 名称

1 ユーザー名称を変更し、決定をタッチする



ユーザー名称が変更されます。

▶ END ◀

生年月日を設定する

ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

[編集したいユーザー] ▶ 生年月日

1 生年月日を入力し、決定をタッチする



生年月日が設定されます。

▶ END ◀

画像を設定する

ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

[編集したいユーザー] ▶ 画像

1 設定したい画像フォルダをタッチする



画像リストが表示されます。

2 画像を選択し、決定をタッチする



画像が設定されます。

▶ END ◀

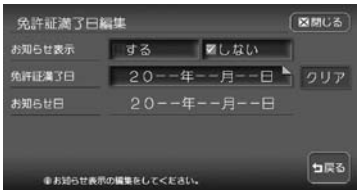
免許証の満了日を設定する

ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

［編集したいユーザー］▶ 免許証

1 免許証の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：
　免許証の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）
免許証満了日：
　免許証の満了日を入力します。
お知らせ日：
　免許証の満了日をお知らせする日にちを入力します。
　免許証の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。

▶ END ◀

保険の満了日を設定する

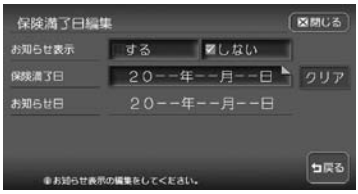
ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

［編集したいユーザー］▶ 次頁

▶ 保険1 または 保険2

1 保険の満了日やお知らせ表示の内容を設定する



お知らせ表示：
　保険の満了日をお知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）
保険満了日：
　保険の満了日を入力します。
お知らせ日：
　保険の満了日をお知らせする日にちを入力します。
　保険の満了日を設定した後に表示される年月日入力画面で、お好みの日にちを設定できます。初期設定は、満了日の2週間前です。満了日より後にお知らせ日を設定することはできません。

▶ END ◀

オリジナルの設定をする

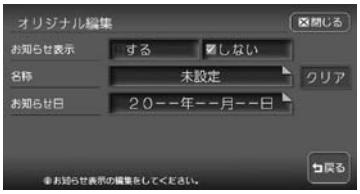
ここまでの操作

▶ ユーザー設定 ▶ ユーザー編集 ▶

[編集したいユーザー] ▶ 次頁

▶ オリジナル

1 お好みの名称、お知らせ日を設定する



お知らせ表示：
お知らせ表示するかしないかを設定します。（初期設定値は「しない」）

名称：
タッチして、お好みの名称を入力します。

お知らせ日：
お知らせする日を入力します。

▶ END ◀

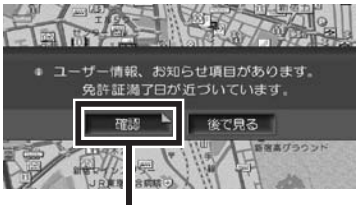
お知らせ表示について

設定したお知らせ日になると、画面にメッセージが表示されます。
以下に、表示例を示します。

■誕生日の場合



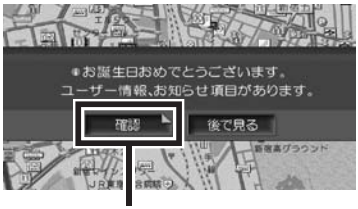
■誕生日以外のお知らせ内容がある場合



お知らせ項目が表示されます。



■誕生日とそれ以外のお知らせ内容がある場合



お知らせ項目が表示されます。

お知らせ

- 後で見る をタッチすると、メッセージ画面は消えます。

画面の表示色を設定する

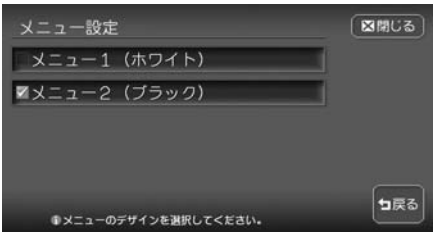
メニュー表示のベース色を設定できます。

ここまでの操作 ▶▶▶ 各種設定

1 メニュー設定 をタッチする

メニュー設定画面が表示されます。

2 希望の色をタッチする



選択した色のチェックマークが表示されます。
※工場出荷時の初期設定は（ブラック）です。

●メニュー１（ホワイト）を選択した場合



●メニュー２（ブラック）を選択した場合



END

オープニング画面を設定する

本機の電源を入れた時に表示されるオープニング画面を、お好きな画像に変更できます。

お知らせ

・ナビゲーション画面時のみ、設定できます。

オープニング画面を設定するには、あらかじめ本機にデータを取り込む必要があります。
オープニング画面の取り込み方法は、**「オープニング画面の取り込み／削除」**（P.462）をご覧ください。

ここまでの操作 ▶▶ 各種設定

1 オープニング画面 をタッチする

2 オープニング画面にしたい画像をタッチし、決定 をタッチする



アドバイス

・初期画像に戻す をタッチすると、工場出荷時に設定されていたオープニング画面に戻ります。
“工場出荷時のオープニング画面”に設定されている場合は、初期画像に戻す は表示されません。

3 はい をタッチする

選択した画像がオープニング画面になり、設定メニュー画面に戻ります。
ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、オープニング画面の表示に時間がかかる場合があります。

END

Memo

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

目次

データを消去（初期化）する …… 418

データを消去（初期化）する

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

●お客様のプライバシー保護のために・・・
ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

●著作権保護のために・・・
ハードディスクに保存された画像データ／音楽データなど（その他録音データ）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償および無償）・転売いたしますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去する

本機に保存されたデータを消去（初期化）します。
ここでは、本機内のすべてのデータを消去する方法を例にあげて説明します。

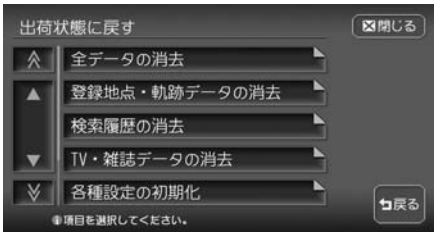
ここまでの操作

各種設定 ▶▶▶ ナビ設定 ▶▶▶ その他 ▶▶▶
次頁 を3回

1 ［出荷状態に戻す］の 項目選択 をタッチする



2 全データの消去 をタッチする



確認画面が表示されます。

アドバイス

- TV・雑誌データは、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

3 はい をタッチする

再度、確認画面が表示されます。

4 はい をタッチする

本機に保存された全データが消去されます。

END

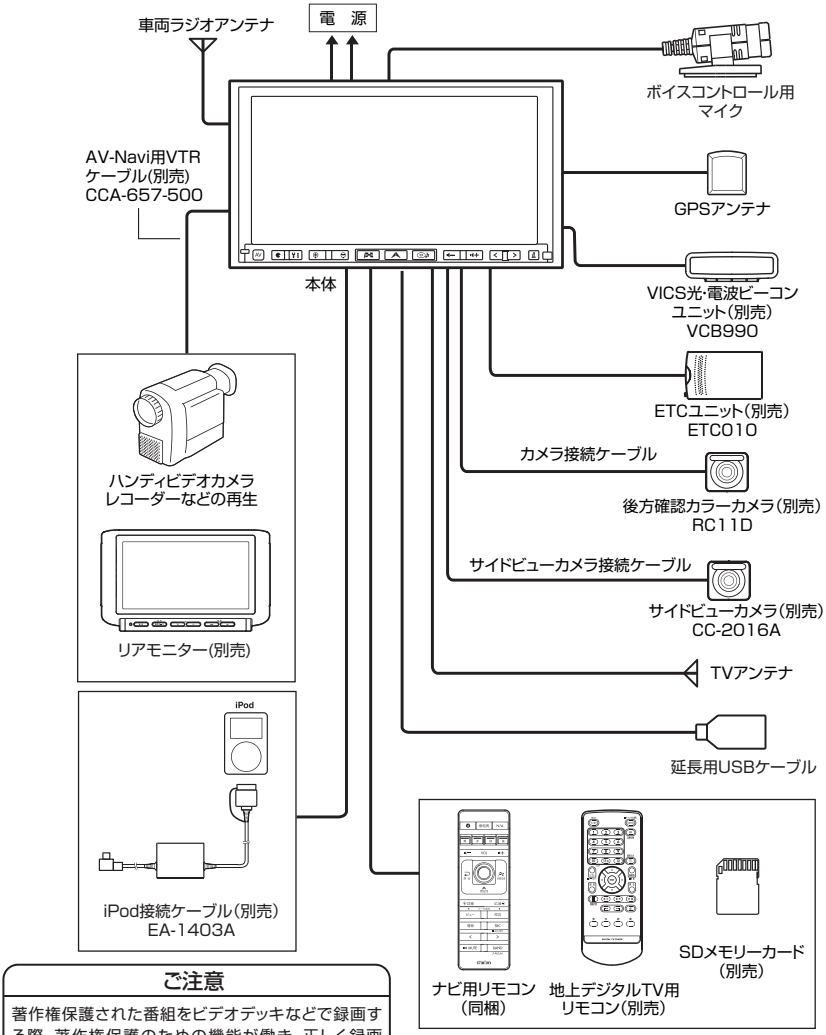
Memo

便利な機能(アクセサリー)の使いかた

目次

本機に接続できる機器 …… 422
地上デジタルTV用リモコンを使う（別売） … 423
接続したビデオを観る（別売）…… 427
リアモニターを使う（別売）…… 429
リアカメラシステムを使う（別売）…… 436
オプションカメラを使う（別売）…… 440
音声で操作するには（ボイスコントロール）… 444
メモリーカードを使う（別売）…… 450

本機に接続できる機器



ご注意

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力された場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

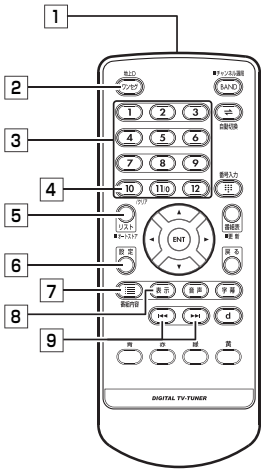
地上デジタルTV用リモコンを使う（別売）

別売の地上デジタルTV用リモコンの使いかたについて説明します。

各部の名称と働き

RCB-185-500（別売）

地上デジタルテレビを操作するためのリモコンです。



1 **リモコン送信部**
リモコンの信号を送信する場所です。

2 **ワンセグボタン**
ワンセグモード、12セグモードを切り替えるときに押します。(P.200)

3 **チャンネルボタン**
チャンネル番号を入力するときに押します。(P.203)
データ放送中は、数字入力ができます。(P.210)

4 **10ボタン**
入力したチャンネル番号をクリアするときに押します。

5 **リストボタン**
放送局リストを表示するときに押します。表示した放送局リストから選局できます。(P.206)また、押し続けると受信可能な放送局を本機に自動で登録させることもできます。(P.207)

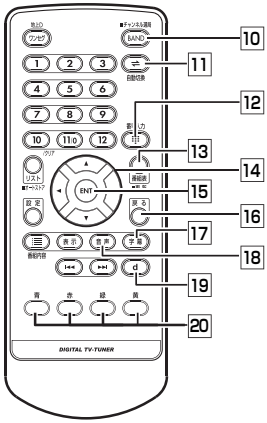
6 **設定ボタン**
地上デジタル放送のいろいろな設定を行うときに押します。(P.213)

7 **番組内容ボタン**
受信している番組の詳細内容を表示させるときに押します。(P.209)

8 **表示ボタン**
受信している番組の放送局名などのチャンネル情報を表示させるときに押します。

9 **<<、>>ボタン**
メイン／サブチャンネルの選局を行います。(P.202)

NEXT



10 **BAND ボタン**
プリセットモード（ホーム/お出かけ）のバンドを切り替えるときに押します。

11 **自動切換 ボタン**
12セグ⇔ワンセグ自動切替機能をON/OFFするときに押します。(P.213)

12 **番号入力 ボタン**
チャンネル番号を入力するときに押します。チャンネル番号を入力して選局できます。(P.203)

13 **番組表 ボタン**
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。表示した番組表から選局できます。(P.204) また、押し続けるとEPGを更新します。

14 **◄ ► ▼ ▲ ボタン**
画面に表示されている項目※を選択するときに押します。
（※番組表、番組内容、メール内容、B-CASカードID表示、データ放送、地域設定の画面のみ）

15 **ENT ボタン**
画面に 決定 が表示されている項目を確定するときに押します。

16 **戻る ボタン**
データ放送の項目を選択して処理を進めたときに、1つ前の画面に戻ります。（データ放送時のみ）

17 **字幕 ボタン**
字幕表示を切り替えるときに押します。(P.213)

18 **音声 ボタン**
2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりするときに押します。(P.212)

19 **d ボタン**
データ放送を受信させるときに押します。(P.210)

20 **カラーボタン**
カラーキーを操作するときに押します。(P.210)

リモコンの操作

電池を交換する

■電池に関するご注意

●**指定された電池以外は使用しない**

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。

●**リモコン内に電池を挿入するときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる**

指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

●**加熱・分解したり、火・水の中に入れない**

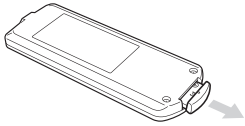
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

●**金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない**

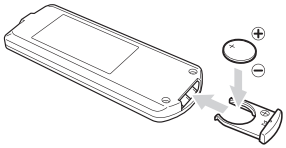
電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

●**使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する**

1 電池カバーを開ける



2 リチウム電池（CR2025）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



END

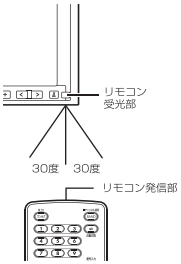
リモコン操作時の注意

●本機のリモコン受信部に直射日光があたっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

●リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。

●リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。



●リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

接続したビデオを観る（別売）

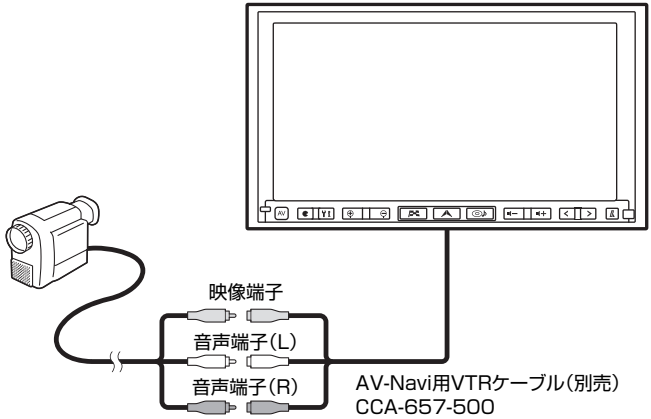
VTR機器接続時は、お手持ちのVTR機器などを接続して映像、音声が楽しめます。
接続には、別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）をお買い求めください。

⚠警告

- **運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、車が停車しているときのみビデオ映像を観ることができます。**
  走行中は、音声だけを聴くことができます。

1 別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）にお手持ちのVTR機器を接続する

接続した機器付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。



オーディオ・テレビ映像入力端子と音声入力端子は正しく確実に接続してください。

2 を押し、 VTR をタッチする

3 VTR機器を操作する

VTR映像が表示されます。

END

画面サイズを切り替える

VTR画面の表示サイズを、ノーマル、フルワイド、シネマに切り替えます。

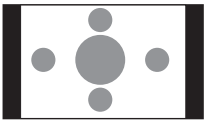
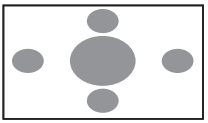
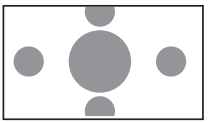
お知らせ

・画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ることがあります。

ここまでの操作 ▶▶▶ VTR ▶▶▶ 画面切替

1 希望の画面サイズを選択してタッチする



ノーマル		画面の左右が黒画面となります。
フルワイド		画面全体が横方向に広がります。
シネマ		画面上下の映像が見えなくなります。

通常のVTR画面に戻ります。

AVコントロールバーが消えると同時に、選択した画面のサイズが反映されます。

END

リアモニターを使う（別売）

本機はビデオ出力端子を装備しているので、後席に別売のリアモニターを増設することで、リアエンターテイメントを楽しむことができます。

お願い

- リアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。

お知らせ

- リアモニターを本機に接続するには、別売のAV-Navi用VTRケーブル（CCA-657-500）と、市販のRCAピンコードが必要です。
- DVDの設定の**「再生状態表示を設定する」（P.242）**で状態表示を設定すると、リアモニターにもDVDの再生情報が表示されます。なお、映像を本機の画面からリアモニターに切り替えたときに、本機の画面の再生情報の一部がリアモニターに残る場合があります。

リアモニターに表示できる映像

リアモニターに表示できる映像は、DVDビデオ、DVD-VR、テレビ、iPodビデオ、VTRの映像です。コントロールバーなどは表示されません。走行中/停止中に関係なく映像が表示されます。
DVD、テレビ、iPod、VTR以外のソースを選択しても、リアモニターには何も表示されません。
本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、選択したオーディオソースの映像のみが表示されます。

前席とリアモニターで別々のソースを選択する（2ZONE）

リアモニターでDVDやTVの映像と音を楽しみながら、前席では別のソースを楽しむことができます。

1 を押し、前席のソースを選択する

2 2ZONEをタッチする



後席ソース画面が表示されます。

3 ONをタッチし、ソース（TV/VTR/DVD/iPod）をタッチする



ONのランプが点灯し、チェックボックスにチェックマークが表示されます。
タッチするごとに、チェックマークの表示／非表示が切り替わります。

タッチして後席ソースを選択します。
チェックマークの表示された項目が選択中のソースです。

▼

リアモニターに映像と音声が流れます。
DVDが挿入されている場合は、DVDの再生が始まります。

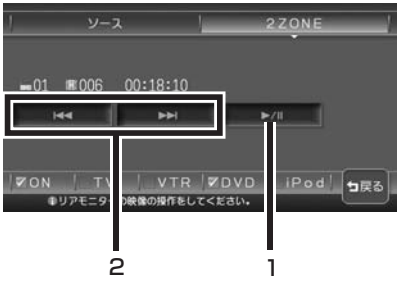
お知らせ

- リアモニターが接続されていない場合は、必ずチェックマークを外しておいてください。チェックマークがついたままだと、前席のソース選択が制限されることがあります。
- 最初の2ZONE「ON」時は、DVDモードが初期値となります。TV、iPod、VTRを選択時に、いったん2ZONE「OFF」にし再度「ON」にするとDVDモードに戻ります。エンジンスイッチを切ってエンジンをかけ直した場合は、TV、iPod、VTRの選択状態を保持します。
- 2ZONE「ON」時は、後席でナビ用リモコンを使用してDVDを操作した際に誤って本機が動作しないよう、以下のリモコンボタン操作は無効となります。
  VOL（－）／VOL（＋）ボタン、SRC ボタン、（＞）／（＜）ボタン、MUTE ボタン、BAND ボタン
  2ZONEを「OFF」にすれば、すべてのボタン操作が可能になります。

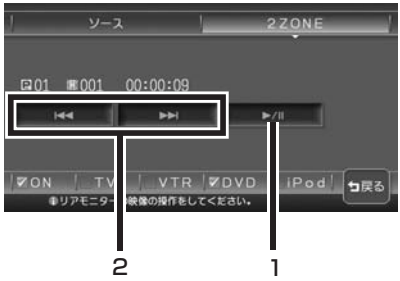
END

DVD

DVDビデオ画面



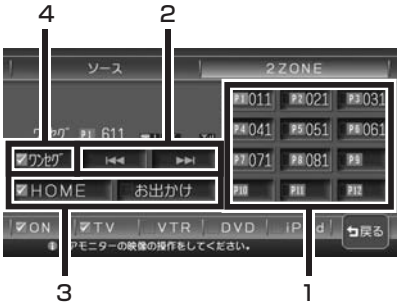
DVD-VR画面（プレイリスト再生時）



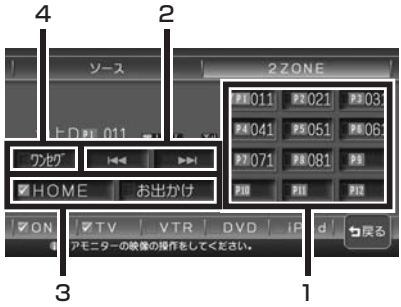
1	▶/II	タッチするごとに一時停止と再生を切り替える タッチし続けると再生を中止します。
2	⏮、⏭	チャプター／トラックを切り替える ⏭をタッチした回数だけ先のチャプター／トラックが再生されます。 ⏮を1回タッチすると再生中のチャプター／トラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に⏮をタッチすると、タッチした回数だけ前のチャプター／トラックが再生されます。タッチし続けると早送り、早戻しを行います。

テレビ

ワンセグ画面



12セグ画面



1	プリセットチャンネルキー	現在登録されているプリセットチャンネルのキー ご希望のチャンネルのキーにタッチすると、選択したチャンネルを選局します。
2		受信するチャンネル番号を切り替える
3		プリセットモードを切り替える
4		ワンセグ／ 12セグ放送を切り替える タッチするたびに、ワンセグ→12セグ→ワンセグの順に切り替わります。

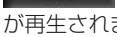
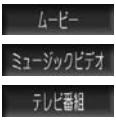
iPod

iPodオーディオ画面



iPodビデオ画面



1		チャプター／トラックを切り替える  をタッチした回数だけ先のチャプター／トラックが再生されます。  を1回タッチすると再生中のチャプター／トラックの先頭に戻り、さらに2秒以内に  をタッチすると、タッチした回数だけ前のチャプター／トラックが再生されます。タッチし続けると早送り、早戻しを行います。
2		ビデオの種類別にビデオリストの先頭から再生する

前席・リアモニターの選択可能ソース一覧

前席ソース	後席ソース（2ゾーン選択）			
	DVD	TV	iPod	VTR
DVD	○	○	○	○
TV	○	○	○	×
VTR	○	×	○	○
DVD・CD（MP3/WMA/AAC）	×	○	○	○
メモリーカード（MP3/WMA/AAC）	○	○	○	○
ミュージックキャッチャー	○	○	○	○
マイアルバム	○	○	○	○
ファイルキャッチャー	○	○	○	○
FM/AM、交通情報	○	×	○	×
USBメモリー（MP3/WMA/AAC）	○	○	○	○
iPod	○	○	○	○
Bluetoothオーディオ	○	○	○	○

お知らせ

- 後席ソースでTVを選択しているときは、前席でラジオ／交通情報は選択できません。
- 後席ソースでTVを選択しているときは、ボイスコントロールでラジオ／交通情報に切り替えることはできません。
- 前席ソースの音声は、車のスピーカーから出力されます。リアモニターには音声入力を装備したモニターをご使用ください。後席ソース音声は、本機から出力される音声出力信号をリアモニターに入力してご使用ください。
- リアモニターの音声は、リアモニター背面のスピーカーもしくは市販ヘッドフォンで聴いてください。

リアモニターの映像（後席ソース）を操作する

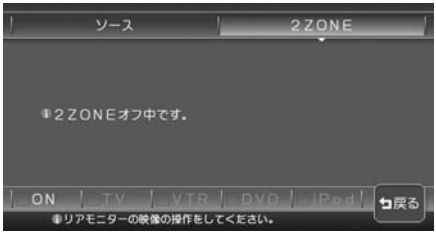
リアモニターの映像（後席ソース）を前席で操作できます。

アドバイス

- 後席ソースの詳細な操作をしたい場合は、前席も後席と同じソースにして前席側より操作してください。
- リアモニター側から後席ソースの操作はできません。

1 を押し、2ZONE をタッチする

2 ON をタッチする



後席ソースの操作キーが表示されます。

3 操作キーを選んでタッチする



後席ソースの映像が操作できます。
DVDの操作については**「DVDを観る」(P.219)**をご覧ください。
テレビの操作については**「地上デジタル放送のテレビを観る」(P.187)**をご覧ください。
VTRの操作については**「接続したビデオを観る（別売）」(P.427)**をご覧ください。

END

リアカメラシステムを使う（別売）

リアカメラシステム接続時は、車の後方をモニターで確認できます。
リアカメラシステムを本機に接続するには、別売の後方確認カラーカメラ（RC11D）が必要です。

⚠警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

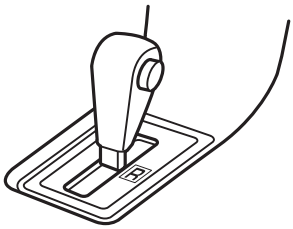
⚠注意

- **リアカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

リアカメラシステムの操作

1 エンジンをかける

2 シフトレバーを[R]（リバース）にする





リアカメラの映像に切り替わります。
リアカメラの映像は、オーディオ画面やDVD ／テレビ／ナビゲーション画面よりも優先して映し出されます。

お知らせ

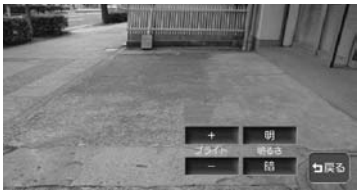
- カメラ表示中に操作できるのは、本体の[⏏]、[i]、[AV]長押し、[⏻]長押し（オプションカメラ接続時）、[音量+]、[音量−]、リモコンの上記同機能ボタンです。

END

画質を調整する

1 リアカメラ映像表示中に を押す

画質調整画面が表示されます。



●明るさを調節する

暗、明をタッチして調整します。

●ブライトを調節する

＋、－をタッチして調整します。

■カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

END

ガイドを表示する

1 リアカメラ映像が表示されている状態で、画面内をタッチする

ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示が表示されます。

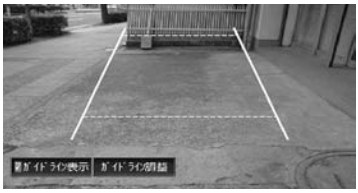
5秒間操作をしないと、ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示は画面から消えます。再表示させるには、画面内をタッチします。

2 ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ表示をタッチする



3 確認をタッチする





ガイドラインが表示されます。

END

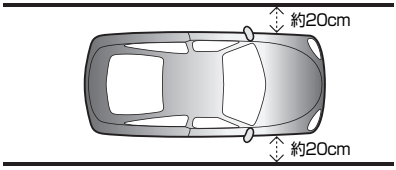
ガイドを調整する

ガイド線を表示する場合は、必ずお乗りの車両に合わせた調整を行ってください。

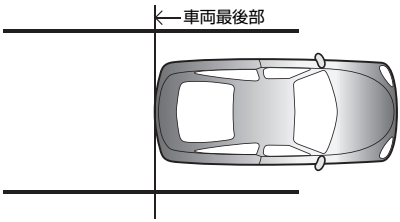
⚠警告

- 車を降りて目印をつける際には、必ずエンジンをお切りください。
- ガイド線を調整する際には、安全な場所に停車して行ってください。
- ガイド線はあくまで目安です。実際の運転では、必ずご自分で周囲の安全を確認してください。

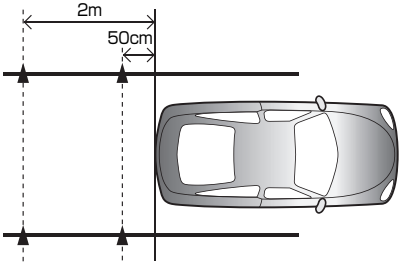
1 車両の幅+両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける



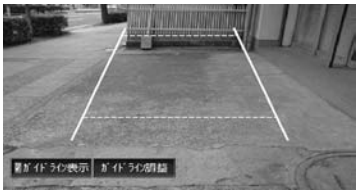
2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつける



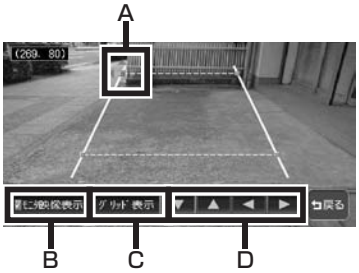
3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4箇所をマーキングする



4 ガイドラインを表示させ、ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ調整をタッチする



5 画面に表示されているガイドポイント（4箇所）を▼▲◀▶をタッチして調整し、マーキングした4点と合わせる

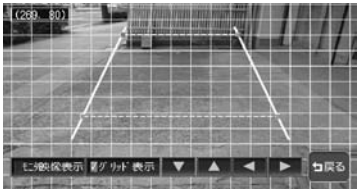


A：選択状態になっているガイドポイントです。別のガイドポイントを選択するときは、そのガイドポイントをタッチします。

B：映像の表示/非表示を切り替えます。

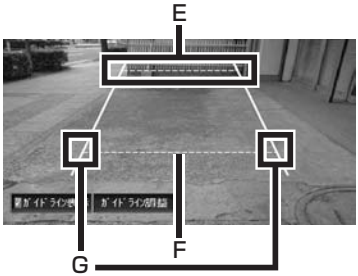


C：グリッド線の表示/非表示を切り替えます。



D：選択中のガイドポイントを上下左右に移動します。タッチし続けると、5倍の速さで連続して移動させることができます。

6 すべてのガイドポイントの調整が終了したら、戻るをタッチする



E：車両後端より約2mの位置を示します。

F：車両後端より約50cmの位置を示します。

G：車幅+約20cmの目安を示します。

設定が保存され、通常のリアカメラの映像に戻ります。

END

オプションカメラを使う（別売）

サイドビューカメラ（CC-2016A）などのオプションカメラを接続すると、車の前方やコーナーをモニターで見ることができます。オプションカメラを本機に接続するには、別売のオプションカメラが必要です。

⚠警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

⚠注意

- **オプションカメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。**
- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整をするときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**

初期状態では、オプションカメラ接続時にオプションカメラ映像を表示させたいときに手動で映像を表示するよう設定されています。
停車時または低速走行中、自動的にオプションカメラの映像を表示するよう設定することもできます。

オプションカメラの操作

オプションカメラは停車時または低速走行中に表示されます。停車時または低速走行中には、オプションカメラの映像をすばやく呼び出せます。停車時または低速走行中以外では、オプションカメラの映像表示を予約することができます。

アドバイス

・オプションカメラの表示方法を「自動」として設定している場合は、停車時または低速走行中、自動的にオプションカメラの映像が表示されます。あらかじめ、OPカメラモードの設定を「自動」にする必要があります。(P.367)

オプションカメラの映像をすばやく表示する

停車時または低速走行中で、かつオプションカメラ接続時に を押し続けると、オプションカメラの映像をすばやく呼び出せます。

アドバイス

・ は、OPカメラモードの設定を「自動」に設定している場合のほか、オプションカメラ表示予約時に表示されます。オプションカメラ予約については、**「オプションカメラの映像を予約表示する」**(P.442)をご覧ください。

1 停車時または低速走行中に、を押し続ける



オプションカメラの映像が表示されます。

アドバイス

・停車時または低速走行中以外に を押し続けると、オプションカメラ予約のオン／オフが切り替えられます。詳しくは、**「オプションカメラの映像を予約表示する」**(P.442)をご覧ください。

⚠注意

- **オプションカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりとした速度で運転してください。**

END

オプションカメラの映像を予約表示する

OPカメラモードの設定を「手動」にしている場合でも、速度が出ている状態から停車および低速走行になったときに、自動的にオプションカメラの映像を表示することができます。これを「予約する」と呼びます。停車時または低速走行時以外のときに を押し続けると、予約のオン／オフが切り替えられます。

1 停車時または低速走行中以外のときに、 を押し続ける



カメラアイコンが表示され、予約がONになっている状態がわかります。

⚠注意

- **オプションカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。**
- **道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりとした速度で運転してください。**

END

画質を調整する

1 オプションカメラ映像表示中に を押す

画質調整画面が表示されます。



●明るさを調節する

暗、明をタッチして調整します。

●ブライトを調節する

＋、－をタッチして調整します。

■カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではオプションカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- オプションカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

END

AV/カメラ２画面表示について

AV2画面表示に設定しているとき、オーディオ画面側にオプションカメラの映像を映し出すことができます。



AV/カメラ２画面は、以下のすべての条件が整った場合に表示することができます。

- 別売のオプションカメラが接続されている
- AV2画面で表示されている
- **「AV2画面での割込み」（P.356）**が「する」に設定されている

お知らせ

- 表示されるカメラ画面の大きさは、映像系のソースで選択した画面サイズが反映されます。また、カメラの映像が表示されている状態で画面サイズを変更した場合は、映像系の画面サイズにも設定が反映されます。
- AV/カメラ２画面表示時、音声はオーディオソースがそのまま出力されます。
- カメラの映像に切り替わっているとき、タイトル、オーディオ情報の表示は変わりません。
- オーディオOFFの状態でも、AV/カメラ２画面を表示させることができます。
- AV/カメラ２画面表示中にAVを押すと、カメラ映像が全画面表示されます。再度AVを押すか、[ ]を押すと２画面表示に戻ります。

音声で操作するには（ボイスコントロール）

さまざまな操作を、マイクに話しかけてボイスコントロール（音声操作）で操作できます。

お願い

- 走行中も一部を除いて操作できますが、運転の妨げにならないように十分注意してください。
- 操作に慣れるまで、停車状態で発話のタイミングや発音を練習してください。

音声操作について

音声で操作するボイスコントロールでは、発話した言葉に対し、音声による回答が返ってきます。（アンサーバック機能）
操作によってはアンサーバックしないこともあります。
アンサーバックは設定によりOFFにすることもできます。詳しくは**「音声案内の設定をする」（P.358）**をご覧ください。

■操作の種類

ボイスコントロールの操作方法は、次の2種類があります。状況に応じて使い分けてください。

●単独で操作する

地図画面上などで を押し、認識できる言葉を発話することで音声だけで操作を完結できます。

●目的地を探す

住所、電話番号、施設名称から目的地を音声だけで探すことができます。

ボイスコントロールに入る

ボイスコントロールモードに入るには、以下の操作を行います。

1 を押す

2 が赤く点灯したら、マイクに向かって発話する



言葉を認識すると、操作を実行します。

「ピッ」という音が鳴る前など、発話するタイミングが早すぎる場合は、発話しても認識されません。再度発話してください。

マイクアイコン消灯時は、アンサーバック中などで発話を受け付けていない状態です。

END

知っておきたい言葉

スムーズな操作のために、知っておくと便利な言葉です。
ナビゲーションとオーディオで共通です。

動作	発話内容
直前の画面に戻る	もどる →前の画面に戻ります。
ボイスコントロールを中止する（※1）	ちゅうし →ボイスコントロールが終わり、音声操作を始める前の画面に戻ります。
数字を認識させる（※2）	いち、に、さん、よん、ご、ろく、なな、はち、きゅう、ぜろ
何と発話していいのかわからなくなった（※3）	へるぷ →ヘルプ画面が表示され、ボイスコントロールは終了します。

※1 を押すか、 中止 をタッチしても中止できます。

※2「13」など2桁の数字は、1つずつではなく「じゅうさん」と発話してください。
※3 ヘルプの内容は、ナビゲーションとオーディオで異なります。

正しく認識させるために

ボイスコントロールをスムーズに行うために、以下のことに注意してください。

●車の窓を閉める

周囲の雑音により、言葉が正しく認識されないことがあります。

●マイクに向かってはっきり正しく発話する

早口や、こもった話し方では正しく認識されないことがあります。

●ボイスコントロール使用中は他の話をしない

話し声により正しく認識されないことがあります。

●発話できる言葉を使う

操作により発話できる言葉が決まっていますので、本書をよくお読みください。

お知らせ

・上記を正しくお守りいただいても、走行ノイズなどの音により、発話内容を認識できない場合や、間違った結果を出す場合があります。

音声操作例

ボイスコントロールの操作例です。
発話できる言葉については、**「ボイスコントロールで操作できる言葉」（P.521）**をご覧ください。

目的地を住所から探す

1 「じゅうしょ」と発話する

「住所名称をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。

2 都道府県名から丁目までを発話する



「○○（認識された住所）の次をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音が鳴ります。

アドバイス

- 丁目を発話をする時は、「いち」「いっちょうめ」が認識可能です。番地、号を発話するときは「いち」は認識可能ですが「いちばんち」「いちごう」などは認識されません。

3 番地などの番号を発話する

「○○（認識された住所）を表示します」とアンサーバックされ、地図が表示されます。「ピッ」と音が鳴ります。



希望するメニューを発話してください。
発話できるメニューについては、**「目的地検索後の操作に関する言葉」（P.525）**をご覧ください。

アドバイス

- 番地、号を続けて発話する時は、「いちのに」の様に「の」を入れて発話してください。
- 都道府県名と市町村名、地名、丁目、番地、号を分けて発話することもできますが、できるだけ都道府県～丁目を発話した後、番地～号を発話してください。
- 都道府県名～号までを一度に発話することもできますが、丁目までしか認識できませんので、その後再度、号までの発話をしてください。
- 途中で「地図表示」と発話すると、認識した住所までの代表地点を地図表示します。
- 認識した住所が文字表示されても実際の地図が出ない場合は、「地図表示」と発音してください。
- ボイスコントロールでは一部検索できない住所があります。

END

近くのコンビニを探す

■走行中の場合

1 「ちかくのこんびに」と発話する

最短の施設周辺の地図を表示します。複数該当するときは、「つぎ」または「まえ」と発話すると次の施設、前の施設に切り替わります。



希望するメニューを発話してください。

END

■停車中の場合

1 「ちかくのこんびに」と発話する

施設リストが表示されます。



施設リストが表示されると、ボイスコントロールモードは解除されます。リストから施設を選択、選択後の計算などは、タッチパネル操作を行なってください。

END

ソースを選択する

1 目的のソースを発話する

「○○（認識されたソース名）にします」とアンサーバックされ、ソースが切り替わります。



END

曲名を検索する

1 「きょくめい」と発話する

「曲名をどうぞ」とアンサーバックされ、「ピッ」と音がなります。

2 曲名を発話する



「○○（認識された曲名）を再生します」とアンサーバックされ、アルバムの再生をはじめます。

END

FMのプリセットチャンネルを選択する

この操作は、オーディオモードでのみ行えます。

1 「えふえむ」と発話する

ソースがFMに切り替わります。

2 を押し、聴きたいプリセットチャンネルを発話する



例：プリセットチャンネル1→「ぷりせっといち」発話した放送局が映ります。

END

メモリーカードを使う（別売）

お知らせ

- 本機はSDメモリーカードを付属していません。ご利用の際はそれぞれの規格に準拠した市販品をお買い求めください。

使用可能なメモリーカード

本機で使用可能なメモリーカードは、下表のようになっております。
本機では、SDメモリーカードと互換のない記録メディアには対応していません。

メモリーカードの種類	対応	備考
SDHCメモリーカード	○	
mini SDHCカード、micro SDHCカード	○	専用のアダプターが必要
HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
PRO HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
SUPER HIGH SPEED SDメモリーカード	○	
miniSDカード、microSDカード	○	専用のアダプターが必要

お知らせ

- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

メモリーカードに関するご注意

メモリーカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

●メモリーカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。

●メモリーカードの端子部に、手や金属で触れないでください。

●メモリーカードの最適化は行わないでください。

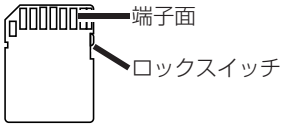
●書き込み中や読み込み中にメモリーカードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。

●操作パネルの開閉動作中およびチルト状態では、メモリーカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。

●メモリーカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。

●メモリーカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。

●メモリーカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



メモリーカード

メモリーカードのデータを編集する

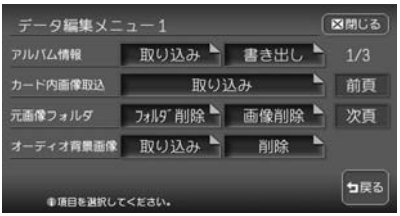
メモリーカードのデータは、データ編集メニューから編集できます。
操作は、メモリーカードを本機に挿入した状態で行います。メモリーカードの出し入れについては、**「メモリーカード」（基本操作ガイド P.70）**をご覧ください。

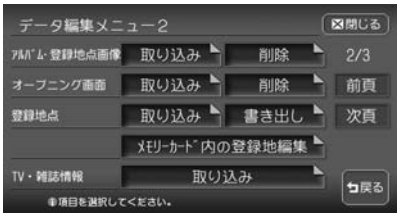
1 を押し、各種設定をタッチする

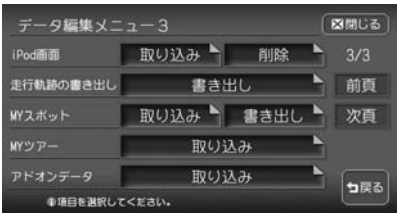
各種設定画面が表示されます。

2 データ編集をタッチする

データ編集メニューが表示されます。







以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

お願い

- 操作中は電源を切らないでください。
- メモリーカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。

お知らせ

- オーディオメイン画面から を押し、各種設定 ▶ をタッチしても、「オープニング画面」の項目は表示されません。「オープニング画面」を表示させるには、AV を押して地図画面に切り替えてから を押し、各種設定 ▶ をタッチしてください。

設定項目	設定の内容	参照ページ
アルバム情報の取り込み／書き出し	ミュージックキャッチャーのアルバム情報をメモリーカードに書き出す また、メモリーカードから本機にアルバム情報を取り込むこともできます。 ＊音楽データをメモリーカードにコピーすることはできません。	P.455
カード内画像の取り込み	メモリーカード内の画像データを、本機に取り込む	P.456
元画像フォルダのフォルダ削除／画像削除	本機内の画像フォルダや画像を削除する	P.457
オーディオ背景画像の取り込み／削除	メモリーカード内の画像データを、オーディオの背景用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.458
アルバム・登録地点画像の取り込み／削除	メモリーカード内の画像データを、アルバム・登録地点用の画像として本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.460
オープニング画面の取り込み／削除	メモリーカード内のオープニング画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.462
登録地点の取り込み／書き出し	本機からメモリーカードに登録地点を書き出したり、メモリーカードから本機に登録地点を取り込む また、メモリーカード内の登録地点を編集することもできます。	P.464
TV・雑誌情報の取り込み	メモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込む	P.466
iPod画面の取り込み／削除	メモリーカード内のiPod画面用画像データを、本機に取り込む また、本機に取り込んだデータを削除することもできます。	P.467
走行軌跡の書き出し	本機からメモリーカードに軌跡情報を書き出す	P.468
MYスポットの取り込み／書き出し	本機からメモリーカードにMYスポットを書き出したり、メモリーカードから本機にMYスポットを取り込む	P.469
MYツアーの取り込み	メモリーカードから本機にMYツアーを取り込む	P.471
アドオンデータの取り込み	追加データコンテンツを取り込む場合に使用する ＊今後、追加データコンテンツの提供を予定しております。	—

■パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要です。「HDDナビマスター」は、下記の弊社ホームページからダウンロードできます。

http://www.clarion.com

※［サポート］メニューの［ダウンロード（HDDナビ）］を選択すると、ダウンロードページが表示されます。

「HDDナビマスター」の操作方法は、アプリケーションの提供と併せてご案内します。

アルバム情報の更新について

メモリーカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。
録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]から取得したアルバム情報をメモリーカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。
「HDDナビマスター」については、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」（P.454）**をご覧ください。

アルバム情報の取り込み／書き出し

■アルバム情報を書き出す

ミュージックキャッチャーのアルバム情報をメモリーカードに書き出すことができます。
アルバム情報の書き出しは、ミュージックキャッチャーモード時のみ有効になります。
マイアルバムがONになっていると書き出せませんので、OFFにしてください。

お知らせ

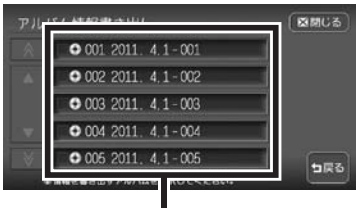
- CD録音時およびオートプレイ（P.280）、類似曲（P.285）再生中は、アルバム情報の書き出しはできません。

ここまでの操作

設定 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［アルバム情報］の 書き出し をタッチする

2 書き出すアルバム情報を選択して 決定 をタッチする



アルバム情報は、複数選択できます。選択した情報のチェックマークが表示されます。

3 はい をタッチする

情報転送中画面が表示されたあと、転送完了メッセージが表示され、アルバム情報画面に戻ります。
ハードディスクに録音されているアルバムや曲数が多いと、書き出しに時間がかかる場合があります。

END

■アルバムの情報を取り込む

メモリーカードから本機にアルバム情報を取り込むことができます。

ここまでの操作

設定 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［アルバム情報］の 取り込み をタッチする

2 はい をタッチする

更新メッセージが表示されアルバム情報が更新されます。
アルバムや曲数が多いと、取り込みに時間がかかる場合があります。

END

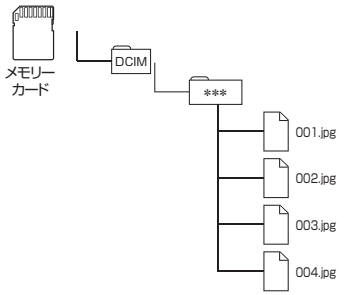
カード内画像の取り込み

■カード内画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、弊社ホームページでダウンロードできる専用アプリケーション「HDDナビマスター」とメモリーカードを使って本機に取り込むことができます。

■カード内画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



- メモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず任意の名称のフォルダを作成してください。
- カード内の全ファイル・フォルダ名称の合計文字数が半角254文字以下になるようにしてください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG 形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxxx.jpg」、「xxxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

取り込み可能な画像サイズは、最大5356×4056 ドットです。

■画像を取り込む

本機に画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［カード内画像取込］の 取り込み をタッチする

画像リスト画面またはフォルダリスト画面が表示されます。

2 画像を取り込むフォルダをタッチする



画像リスト画面が表示されます。
※フォルダリスト画面は表示されない場合もあります。

3 取り込む画像をタッチする



4 決定をタッチする

選択した画像が本機に取り込まれます。

取り込まれた画像データは、 → 画像を探す → HDD内画像 の操作で表示される日付のフォルダから見ることができます。

アドバイス

- 取り込まれた画像データは、別のフォルダに移動することはできません。
- フォルダのアイコン画像は、そのフォルダを開いたときに最初に表示される画像のプレビューです。任意のアイコンに変更できません。

END

元画像フォルダの削除／画像削除

■フォルダを削除する

本機内の画像フォルダを削除できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［元画像フォルダ］の フォルダ削除 をタッチする

2 削除するフォルダをタッチする



3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択したフォルダが削除されます。

END

■画像を削除する

本機内の画像フォルダの画像を削除できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［元画像フォルダ］の 画像削除 をタッチする

2 削除する画像のあるフォルダを選択してタッチする



3 削除する画像をタッチし、決定 をタッチする



4 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択したフォルダ内の画像が削除されます。

▶ END ◀

オーディオ背景画像の取り込み／削除

■オーディオ背景画像ファイルについて

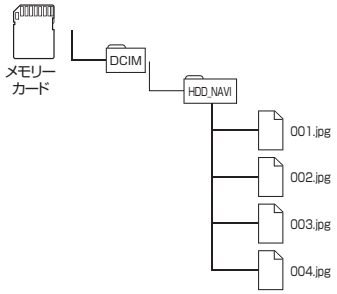
デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、弊社ホームページでダウンロードできる専用アプリケーション「HDDナビマスター」とメモリーカードを使って、オーディオ背景画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- **オーディオの壁紙（P.186）**

■オーディオ背景画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、次のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



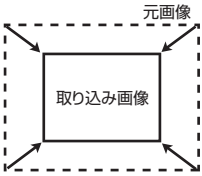
- メモリーカード内には、必ず「DCIM」フォルダを作成し、「DCIM」フォルダ内には、必ず「HDD_NAVI」フォルダを作成してください。
- 取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。プログレッシブJPEG 形式は使用できません。
- ファイル名は半角8文字（全角4文字）以内（「xxxxxxxx.jpg」、「xxxxxxxx.bmp」）としてください。

■画像ファイルのサイズについて

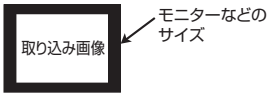
画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.454)**をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492 ドットです。

- オーディオユーザー壁紙に貼り込む画像サイズは、816×492ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。



- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にオーディオ背景画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［オーディオ背景画像］の 取り込み をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



3 決定 をタッチする

選択した画像がフォルダに取り込まれます。

▶ END ◀

■画像を削除する

本機に取り込んだオーディオ背景画像を削除できます。

ここまでの操作



1 ［オーディオ背景画像］の 削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

END

アルバム・登録地点画像の取り込み／削除

■アルバム・登録地点画像ファイルについて

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、弊社ホームページでダウンロードできる専用アプリケーション「HDDナビマスター」とメモリーカードを使って、アルバム登録地点用の画像として本機に取り込むことができます。

取り込んだ画像は、以下で表示させることができます。

- **ナビゲーションの登録リスト（基本操作ガイド P.114）**
- **ナビゲーションのマイリスト（基本操作ガイド P.85）**
- **ミュージックキャッチャー、マイアルバムのアルバム画像（P.290）**
- **iPod画面（P.332）**

■アルバム・登録地点画像ファイルの保存方法について

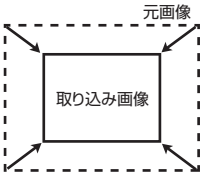
ファイルの保存方法は、オーディオ背景画像と同じです。**「オーディオ背景画像ファイルの保存方法について」（P.458）**をご覧ください。

■アルバム・登録地点画像ファイルのサイズについて

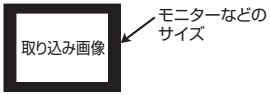
画像サイズの調整は、専用アプリケーション「HDDナビマスター」でも行うことができます。「HDDナビマスター」については、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」(P.454)**をご覧ください。

取り込み可能な画像サイズは、最大816×492 ドットです。

- 登録地点やアルバムなどで貼り込む画像サイズは、128×128ドットです。
- 取り込んだ画像が貼り込む画像より縦横ともに大きい場合は、自動的に貼り込む画像サイズに縮小して表示します。



- 取り込んだ画像が貼り込む画像サイズより小さい場合は、画像は中央に配置され、余白部分は黒く表示されます。



■画像を取り込む

本機にアルバム・登録地点画像を取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「JPEG」、「BMP」形式です。

ここまでの操作



1 ［アルバム・登録地点画像］の 取り込み をタッチする

画像リスト画面が表示されます。

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



3 決定 をタッチする

画像を取り込むフォルダをタッチすると、選択した画像が本機に取り込まれます。

END

■画像を削除する

本機に取り込んだアルバム・登録地点画像を削除できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 ［アルバム・登録地点画像］の 削除 をタッチする

フォルダ選択画面が表示されます。

2 削除する画像があるフォルダを選択してタッチする

画像リストが表示されます。

3 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

確認画面が表示されます。

4 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

▶ END ◀

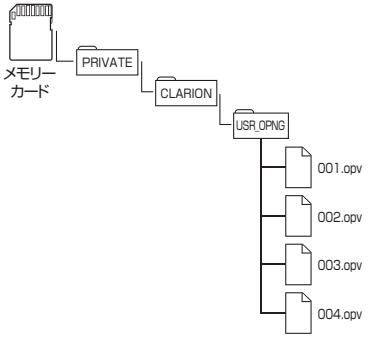
オープニング画面の取り込み／削除

■オープニング画面について

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、弊社ホームページでダウンロードできる専用アプリケーション「HDDナビマスター」とメモリーカードを使って、オープニング画面として本機に取り込むことができます。
オープニング画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■オープニング画面用画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「OPV」形式にしてください。
「HDDナビマスター」については、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」（P.454）**をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にオープニング用の画像を取り込むことができます。オープニング画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「OPV」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。
取り込んだ画像は、本機の電源ON時に、本機の画面に表示されます。

ここまでの操作



1 ［オープニング画面］の 取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択してタッチする

選択した画像のチェックマークが表示されます。

3 決定 をタッチする

選択した画像が本機に取り込まれます。

END

■画像を削除する

本機に取り込んだオープニング用の画面データを削除できます。

ここまでの操作



1 ［オープニング画面］の 削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

END

登録地点の取り込み／書き出し

本機では500カ所の登録地点を保存できますが、メモリーカードに最大10グループ（1グループ550件、合計5,500件）まで登録地点を保存しておくことも可能です。※

メモリーカードから保存した登録地点を表示させたり、再度メモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。

登録地点の取り込み、書き出し、メモリーカード内の登録地編集は、ナビゲーション画面からのみ行えます。

※ここで書き出した登録地点は、弊社Webサイト「チズルとススム」に取り込むことはできません。
MYスポットとして書き出してください。

■登録地点を書き出す

本機からメモリーカードに登録地点を書き出すことができます。

ここまでの操作

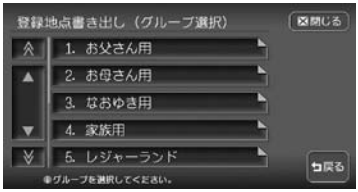
▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 [登録地点]の 書き出し をタッチする

2 書き出す登録地点を選択して 決定 をタッチする



3 書き出す先のグループを選択してタッチする



4 はい をタッチする

書き出しメッセージが表示され、選択した登録地点が書き出されます。

▶ END ◀

■登録地点を取り込む

メモリーカードから本機に登録地点を取り込むことができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 [登録地点]の 取り込み をタッチする

2 取り込むグループを選択してタッチする

3 取り込む登録地点を選択して 決定 をタッチする

選択した地点が登録リストに取り込まれます。

▶ END ◀

登録地点の編集

メモリーカード内の登録地点グループ名を変更できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集 をタッチする

2 名称変更 をタッチする



グループ名称変更画面が表示されます。

3 名前を変更するグループを選択してタッチする

4 変更したい名称を入力して 決定 をタッチする

名称が変更されてグループリストに戻ります。

▶ END ◀

登録地点の削除

メモリーカード内の登録地点を削除できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶ 次頁

1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集 をタッチする

2 削除する登録地点のグループをタッチする

3 地点削除 をタッチする



削除地点リストが表示されます。

4 削除する登録地点を選択して 決定 をタッチする

5 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した登録地点が削除されます。

▶ END ◀

登録地点を地図表示する

メモリーカード内の登録地点を地図に表示できます。

ここまでの操作



1 メﾓﾘｰｶｰﾄﾞ内の登録地編集をタッチする

2 表示する登録地点のグループをタッチする

3 表示する登録地点を選択してタッチする

タッチした地点が地図表示されます。

END

TV・雑誌情報の取り込み

メモリーカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込むことができます。

お知らせ

- メモリーカードとパソコンを使用してTV・雑誌情報を更新することができます。
  本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」が必要になります。
  HDDナビマスターについては、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」（P.454）**をご覧ください。
  なお、TV・雑誌情報は最長で過去3年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは削除され、過去3年以内の情報のみになります。削除したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV・雑誌の情報から探す」機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

ここまでの操作



1 ［TV・雑誌情報］の取り込みをタッチする

2 はいをタッチする

本機にデータが取り込まれます。

END

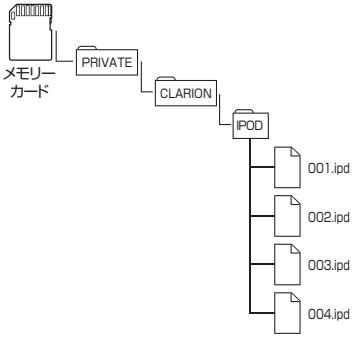
iPod画面の取り込み／削除

■iPod画面について

デジタルカメラなどで撮影したお好きな画像ファイルを、iPod画面として本機に取り込むことができます。
iPod画面とは、iPodを本機に接続しているとき、iPodのディスプレイに表示される画像です。表示される画像は、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で作成された4階調のものになります。
iPod画面として取り込む画像は、他では使用できません。

■iPod画面用画像ファイルの保存方法について

メモリーカードには、つぎの図のようなイメージで画像ファイルが保存されている必要があります。



デジタルカメラなどで撮影した画像は、必ずパソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」で画像変換をして、データ形式を「IPD」形式にしてください。「HDDナビマスター」については、**「パソコン用専用アプリケーション「HDDナビマスター」について」（P.454）**をご覧ください。

■画像を取り込む

本機にiPod用の画像を取り込むことができます。iPod画面は、20個まで取り込むことができます。取り込み可能な画像のデータ形式は、「IPD」形式です。あらかじめ、パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を利用して画像を作成してください。
取り込んだ画像は、本機とiPod接続時に、iPodのディスプレイに表示されます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［iPod画面］の 取り込み をタッチする

2 取り込む画像を選択して 決定 をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。
本機に画像が取り込まれます。

▶ END ◀

■画像を削除する

本機に取り込んだiPod用の画像を削除できます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［iPod画面］の 削除 をタッチする

2 削除する画像を選択して 決定 をタッチする



画像リストは、ファイル名の順で表示されます。

3 はい をタッチする

削除メッセージが表示され、選択した画像が削除されます。

▶ END ◀

走行軌跡の書き出し

本機に保存された軌跡情報、または表示中の軌跡情報をメモリーカードに書き出すことができます。軌跡情報については、**「走行軌跡の設定をする」（P.348）**をご覧ください。

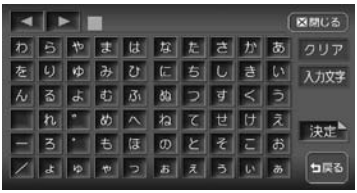
ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［走行軌跡の書き出し］の 書き出し をタッチする

2 書き出す軌跡情報の名称を入力し 決定 をタッチする



3 はい をタッチする

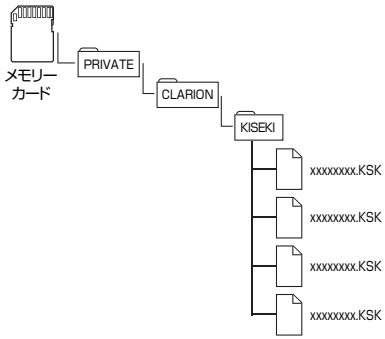
書き出しメッセージが表示され、軌跡情報が書き出されます。

アドバイス

- メモリーカードに書き出した軌跡情報をパソコン上で、弊社Webサイト「チズルとススム」に取り込み利用することができます。
  「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。
  「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。http://chizu-route-susumu.jp

■走行軌跡用ファイルの保存方法について

「チズルとススム」に走行軌跡を取り込むには、つぎの図のようなイメージでファイルが保存されている必要があります。



- ファイル名は、半角・全角の区別なく19文字以内（xxx….KSK）としてください。

END

MYスポットの取り込み／書き出し

本機では500カ所のMYスポット（地点登録を含む）を保存できますが、メモリーカードには最大550件までMYスポットを書き出せます。
メモリーカードに保存したMYスポットを表示させたり、メモリーカードから本機にMYスポットを取り込むことができます。

■MYスポットについて

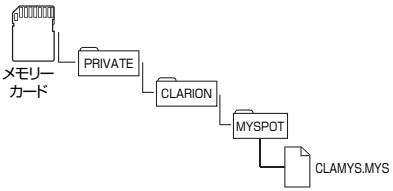
地図上で登録した地点の情報を、本機からメモリーカードにMYスポットとして書き出すことができます。また、メモリーカードに書き出した登録地点情報を、MYスポットとして再度本機に取り込むこともできます。
スクロール画面で登録された地点は、MYスポットとして書き出すことができます。
MYスポット書き出しでは、各種検索から登録した地点情報は表示されません。

アドバイス

- 弊社Webサイト「チズルとススム」から取得したMYスポットを本機に取り込みます。
  「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。
  「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
  http://chizu-route-susumu.jp

■MYスポット用ファイルの保存方法について

「チズルとススム」からMYスポットを取り込むには、つぎの図のようなイメージでファイルが保存されている必要があります。



⚠注意

- 1つのSDカードを複数のクラリオン製のナビゲーションで使用した場合、MYスポットデータの取り込み／書き出しができないことがあります。その場合は、SDカード内の「CLAMYS.MYS」を削除してから再度書き出してください。

■MYスポットを書き出す

本機からメモリーカードにMYスポットを書き出すことができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［MYスポット］の 書き出し をタッチする

2 書き出すMYスポットを選択して 決定 をタッチする



3 はい をタッチする

書き出しメッセージが表示され、メモリーカードにMYスポットが書き出されます。

END

■MYスポットを取り込む

メモリーカードから本機にMYスポットを取り込むことができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［MYスポット］の 取り込み をタッチする

2 取り込むMYスポットを選択して 決定 をタッチする



3 はい をタッチする

本機にMYスポットが取り込まれます。

END

MYツアーの取り込み

弊社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）では、ご使用のお客様から投稿されたスポット（位置情報）からお好みのものを探し、メモリーカードに保存できます。これを「MYツアー」と呼びます。

お知らせ

- 取り込むことのできるMYツアーデータは1件のみです。新しいデータを取り込むと古いデータは自動的に上書きされます。

アドバイス

- 「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。
  「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
  http://chizu-route-susumu.jp

お願い

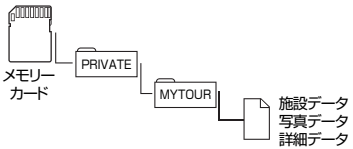
- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「MYツアー」機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

■MYツアーについて

取り込んだMYツアーデータは、ピクチャービュー画面から目的地・経由地として設定することができます。詳しくは**「ピクチャービューの表示について」（P.37）**をご覧ください。

■MYツアー用ファイルの保存方法について

「チズルとススム」からMYツアーを取り込むには、つぎの図のようなイメージでファイルが保存されている必要があります。



■MYツアーを取り込む

メモリーカードから本機にMYツアーを取り込むことができます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集 ▶

次頁 を2回

1 ［MYツアー］の 取り込み をタッチする

2 取り込むMYツアーを選択して 決定 をタッチする



本機にMYツアーが取り込まれます。

END

Memo

困ったときに…

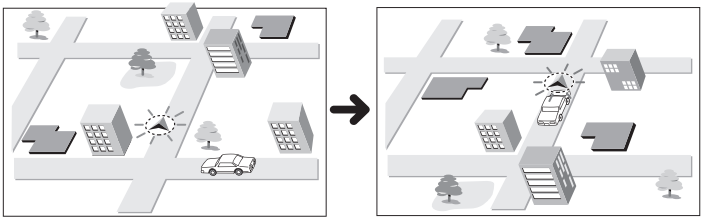
ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

目次

自車位置がずれていたら …… 474
故障かなと思ったら …… 480
よくある質問について（Q&A） …… 489
エラーメッセージ一覧 …… 498

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
従って、走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。



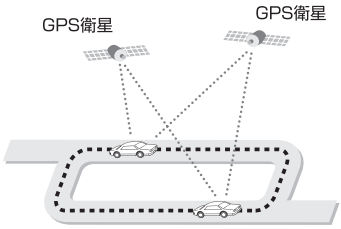
自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときや**「センサーの学習リセット」（P.372）**の操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになりますので、次の方法により短時間で学習をさせることができます。

上空に障害物がない道、あるいは周辺に高いビルがない（GPSが受信できる）道で、約5分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

アドバイス

- 自車位置マークの精度や誤差について詳しくは、**「自車位置の精度について」（P.476）**をご覧ください。



3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

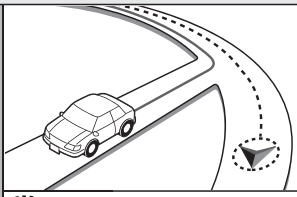
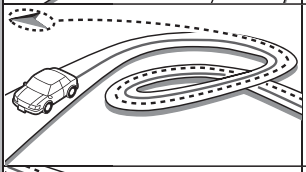
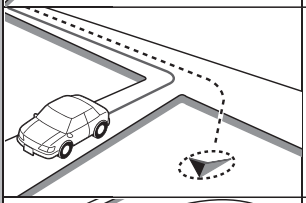
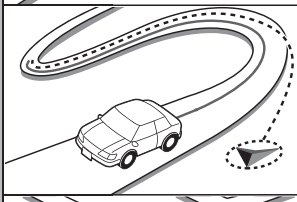
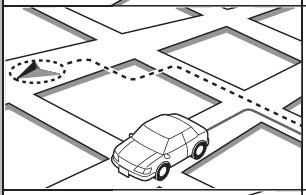
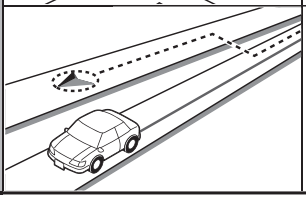
●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。

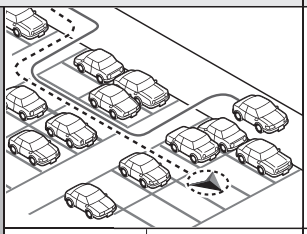
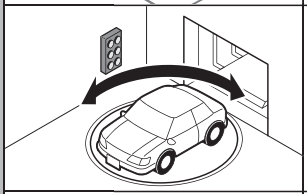
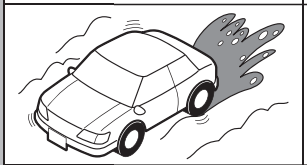
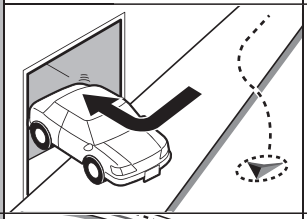
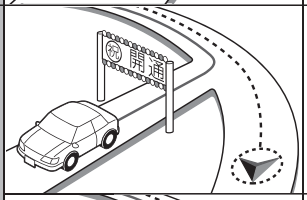
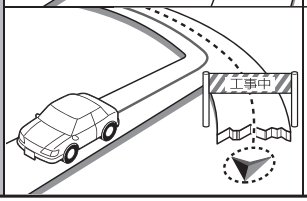
●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

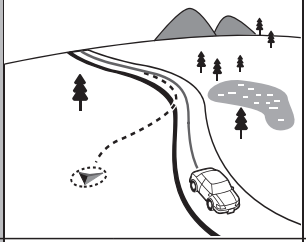
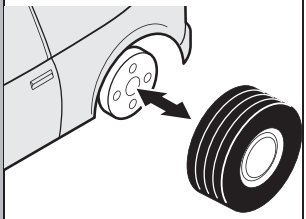
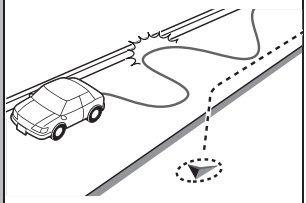
●本機を別の車に載せ替えたときや、取り付け位置・角度を変更した場合は、必ず**「センサーの学習リセット」（P.372）**を行ってください。

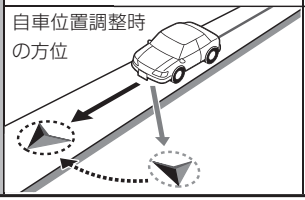
自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況）　——：走行中　- - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「自車位置を調整する」(P.371)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置からはずれていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「自車位置を調整する」(P.371)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路からはずれていることがあります。	
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	

原因（状況）　——：走行中　- - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
地図データ		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「自車位置を調整する」(P.371)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。この操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	一度停止して、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。この操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	**「自車位置を調整する」(P.371)**を行い、**「センサーの学習リセット」(P.372)**を行ってください。これらの操作を行った上で、**「自車位置のずれを修正するには」(P.474)**をご覧ください。

原因（状況） ——：走行中 - - - -：表示		走行条件	備考（処置など）
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、とくに道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	お願い **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症　状		原　因	処　置
●ナビゲーション関連			
表示関連	ＧＰＳ受信の表示がでない。	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを接続してください。（取付説明書参照）
		障害物などにより、ＧＰＳ衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なＧＰＳ衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示が可能になります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに出る。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	「目的地」メニューの「周辺検索」メニューを開いて「検索アイコン消去」を選択すると表示を消す事ができます。
	地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
	電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	バックライトが温まれば解消されます。
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい。（または大きい）	音量が小さく（または大きく）設定されている。	**「音量を調整する」（P.360）**を参照して、音量を調整してください。
	音声案内が出ない。	音声案内が、「しない」に設定されている。	**「音声案内の設定をする」（P.358）**を参照して、音声案内の設定をしてください。

	症　状	原　因	処　置
●ナビゲーション関連			
自車位置精度関連	自車位置がずれる。（購入直後）	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性がある。	GPSの受信しやすい場所で、時速50km程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。（タイヤ交換後）	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	**「センサーの学習リセット」（P.372）**を行ってください。
	自車位置がずれる。（他の電装品が装着されている）	GPS内蔵レーダー探知機など装着されている電装品の影響で、GPS等のセンサーに影響が出ている可能性がある。	装着されている電装品を、本機およびGPSアンテナ線から十分離してご使用ください。
VICS関連	FM多重周波数が自動追尾されない。	周波数を変更すると、自動追尾の設定は強制的に「オフ」になる。	自動追尾の設定を「オン」に変更してください**（P.363）**。
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合は追尾しない場合がある。	**「VICS情報の設定をする」（P.361）**のFM周波数設定を参照して、手動で放送局を選択してください。
	ビーコンの簡易図形が割込表示しない。	ビーコンから図形情報が提供されていない事がある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
音声認識関連	認識率が悪い。うまく認識してくれない。	窓を開けていて、車外の騒音がマイクに入った。	窓を閉めてはっきり発話してください。
	間違って認識する。	発話をはじめるタイミングが早い。	発話スイッチを押した後、「コマンドをどうぞ、ポッ」という音の後に発話してください。
		発話した言葉に似ている言葉が認識辞書にある。	大きな声ではっきり発話してみてください。

オーディオ関連

症状		原因	処置
●オーディオ関連			
表示関連	オーディオ画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品（以下）を本機の近くで使用している。 • 高電圧を発生させて作動するもの……マイナスイオン発生器など • 電磁波を発生するもの……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
オーディオ設定	リアスピーカーからノイズのような音が聞こえる。	ドルビープロロジックⅡをONにしているときに品質のよくないMP3などの音楽を再生すると、ノイズのように聞こえる場合がある。	ドルビープロロジックⅡをOFFにしてください。
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動選局で選局してください。
	放送局の名前が表示されない。	エリア選択で該当する地域を選択する。（その場合でもすべての放送局の名称が登録されているわけではありません。放送局名が出ないようであればユーザータイトルを入力してください。）	**「放送局名を編集する」(P.182)**を参照してユーザータイトルを入力してください。
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	ディスクを入れても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆に入れている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。	CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。ご使用のCDをもう一度ご確認ください。
		ファイナライズされていないディスクを入れている。	ディスクをファイナライズしてから入れてください。
		MIX MODE CDを入れている。	MIX MODE CDは再生できません。ディスクを取り出してください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物等の混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	7秒間イジェクトボタンを押してください。それでも取り出せない場合は販売店にご相談ください。
	音飛びする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが入らない。	本機の中にすでにディスクが入っている。	⏏ボタンを押してディスクを取り出してからディスクを入れてください。
	CD-TEXTが表示できない。	CD-TEXT優先表示になっていない。	CD-TEXT優先表示に設定してください。
	MP3/WMA/AACの音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA/AACの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMA/AACの音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をしてみてください。
	TAGが表示できない、文字化けする。	TAG優先表示になっていない。	TAG優先表示にしてください **(P.260)**。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を削除してファイルを作成してください。

	症　状	原　因	処　置
●オーディオ関連			
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1またはLV2に書き込み設定を変更して書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3/WMA/AACが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3/WMA/AACファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3/WMA/AACファイルが書き込まれたCDを使用してください。
	「ディスクを確認してください」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆に入れている。	ディスクのレーベル面を上にして入れてください。
iPod	リストが表示されない。	32,700曲以上のトラックを保存したiPodでトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音した。	パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を使用して最新の情報に更新する（**P.455**）か、タイトルの編集でユーザータイトルを入力してください（**P.290、P.293**）。
	表示されたタイトル(アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル)が間違っている。	GracenoteはTOC情報でタイトルを検索しますが、あいまい検索でタイトルを選択するために、タイトルが合わないことがある。	
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクのキズにより音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	録音が出来ない。	ハードディスクの容量が不足している。	録音済みの曲を削除してください（**P.291、P.294**）。
		コピー禁止ディスクを使用している。	コピー可能ディスクを使用して録音してください。
		全曲録音済みのディスクを使用している。	別のディスクを挿入してください。
		自動録音モードになっていない。	自動録音モードに設定してください（**P.265**）。
		SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）で2世代目のコピーになっている。	コピー可能ディスクをご使用ください。
	録音スピードが遅い。	CDに大きな傷があり、エラーが起こっている。	傷のないディスクをご利用ください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「編集」の「アルバム選択」でアルバムが選択されていない。	**「指定したアルバムを再生する」（P.279）**をご覧ください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
メモリーカード／USBメモリー	音がでない。※1	未対応のメモリーカードを使用している。	対応可能なメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードが挿入できない。※1	メモリーカードを表裏逆に挿入している。	メモリーカードの端子面を下にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。※2	USB取り外し処理を実行した。	一度USBメモリーを取り外して、再度接続してください。
	音が飛ぶ。	MP3/WMA/AACファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音してみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	4階層目（3階層目のフォルダ内）に収録されている曲以外は再生できない。また、フォルダは最大500（ルートを含む）、ファイルは最大4000（1フォルダには最大99ファイルまで）、各階層のフォルダ数が最大200を超えた場合には、再生できない。	PCを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	TAG（曲目）が表示されない。	TAG表示優先になっていない。	**「CD-TEXT/TAG情報を表示する」（P.260）**を参照して、TAG表示を優先にしてください。
	操作パネルをオープンしたら再生が停止してしまった。※1	メモリーカード内のデータ保護のために画面をオープンするとスロットの電源が切れる。	操作パネルをクローズすると再生を再開します。
	実際に入れているMP3/WMA/AACの数が違う。	USBメモリーまたはメモリーカードにMP3/WMA/AAC以外のファイルがある。	MP3/WMA/AAC以外のファイルを削除してください。
ファイルキャッチャー	音楽データの取り込みができない。	取り込み元のメディア(メモリーカード／USBメモリー)内のフォルダ構成が指定通りになっていない。	PCを使用し、指定通りに再構成してください。
		ハードディスクに取り込める最大数を超えている。 ハードディスクに取り込める最大数は、アルバム：500、トラック：4000、アーティスト:200、1アーティストあたりのアルバム数：200、1アルバムあたりのトラック数：99です。	最大数を超えないようにアルバム・トラックを削除してください。 アーティスト数が200に達している場合は、同一アーティストのアルバムをすべて削除してください。

※1　メモリーカードのみ
※2　USBメモリーのみ

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
ファイルキャッチャー	音楽データの取り込みができない。	ミュージックキャッチャーに大量の曲を録音している。	ミュージックキャッチャーの不要な曲を削除する。 ミュージックキャッチャーとファイルキャッチャーは同一のドライブを使用しているため、ミュージックキャッチャーに大量の曲が録音されていると、ファイルキャッチャーに取り込める曲数が減ってしまいます。
テレビ	放送局名が表示されない。	受信チャンネルのリストが取得できていない。	各地域でエリア選択後にオートストアを実行してください。
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境のよいところに移動してください。
	映りが悪い。	フィルムアンテナの給電端子が給電部からはがれている。	給電端子を給電部にしっかりと張り付けてください。はがれてくる場合は、販売店で新しい給電端子と交換してください。
		フロントガラスからアンテナ線がはがれている。	アンテナ線は張り直しができませんので、販売店で新しいアンテナと交換してください。

リアカメラシステム

症　状	原　因	処　置
●リアカメラシステム		
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。

オプションカメラシステム

症　状	原　因	処　置
●オプションカメラシステム		
カメラ映像が表示されない。	車速が速い。	減速してください。
	加速した。	
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。

Bluetooth対応電話

症　状	原　因	処　置
●Bluetooth対応電話		
電話がつながらない。	Bluetooth対応携帯電話を正しく接続していない。	**「携帯電話を登録する（ペアリング）」(P.152)** をご覧になり、Bluetooth対応携帯電話を正しく接続してください。
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機とBluetooth携帯電話とは、無線で通信を行います。無線の届く範囲内でないと通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。
	携帯電話側の接続処理の設定が完了していない。	P.154の設定まで完了した後に、携帯電話側で「ダイヤルアップ」や「DUN」などの設定を行う必要があります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
	電波干渉により、一時的にBluetooth接続が失敗していることがある。	再度接続処理を行ってください。
自動接続するよう設定しても自動的に接続されない。	携帯電話の機種によっては、自動的に接続されない場合がある。	登録機器のリストから接続したい携帯電話をタッチしてください。
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に[◀−]または[◀+]を押して通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	マイク感度が適切でない。	**「電話の設定をする」(P.166)** をご覧になり、マイク感度を適切に設定してください。

症　状	原　因	処　置
●Bluetooth対応電話		
本機の電話帳に携帯電話の電話帳が表示されない。	あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に転送していない。	**「電話帳からかける」（P.162）**をご覧になり、携帯電話の電話帳を本機に転送してください。

その他

症　状	原　因	処　置
●その他		
ディスプレイに「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	**「エラーメッセージ一覧」（P.498）**を参照して、内容を確認してください。
パネルが閉じない。	CD/DVD、メモリーカードが確実に差し込まれていない。	確実に差し込むか、取り出してください。

よくある質問について（Q&A）

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路計算結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路計算しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり計算条件を変えて計算を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、計算方法を変更しても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをお勧めします。

Q: 複数ルート表示で8ルート表示されません。

A: 必ずしも8ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、他のルートが計算できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート計算をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: 推奨ルートの方の距離が短い場合は、推奨ルートを優先することがあります。

Q: 条件が「距離優先」なのに、最短距離と思われるルートで案内されません。また、複数ルート表示で、標準2のルートよりも距離優先のルートの方が距離が長いようです。

A: あくまでも距離「優先」であり、距離のみでルートを引いているわけではなく、道路種別なども考慮してルートを引いているためです。また、標準2は「標準」「距離優先」とは別に提示可能なルートを表示しているため、標準2よりも距離優先の方がルートの距離が長くなる場合もあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。（対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。）

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、検索できません。

A: ハローページに電話番号と住所が掲載されていませんと、対象となりません。

Q: ナビ画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1)　情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。
(2)　FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。
(3)　新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますが？

A: 操作できないボタンは消える仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは消えるようになっています。

Q: AVボタンを押した直後に発話ボタンを押すと、反応が遅いことがあります。

A: 本機のソフトは複数の処理を同時に処理するマルチタスクで動作しています。発話ボタンを押した直後は地図表示の他、複数の処理が同時に行われることがあり、発話ボタンの反応が遅くなることがあります。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: **「到着予想渋滞考慮」（P.356）**を「する」に設定している場合には、渋滞の統計データを使用します（渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです）。
「しない」に設定している場合は、**「到着予想速度設定」（P.357）**を基準に算出します（こちらは、お好みの平均速度を設定することができます）。

Q: ルート誘導中の到着予想時刻は、時速何kmで計算しているのですか？

A: ルート誘導中の到着予想時刻は、「到着予想速度設定」から任意に設定が可能です。詳しくは、**「到着予想速度設定」（P.357）**をご覧ください。

Q: 計算条件にて、「統計渋滞考慮」の条件を選択していたのに、渋滞している道路に案内されました。

A: 過去の1年分のVICS情報から統計処理したデータを使用しています。そのため、必ずしも過去の渋滞情報と現在の渋滞情報が一致しないため、結果的に渋滞している道路が案内される場合もあります。

Q: 「○○のある交差点を…」という案内をされたが、そのような施設は見当たりません。

A: 地図データ上の情報をもとに案内しておりますが、発売後の移転や閉店等により、当該施設がなくなってしまっている場合があります。また、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともございますので、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: 一般道優先で計算したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使用することがあります。これは、あくまでも一般道「優先」であり、「使用しない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが引かれることがあります。

Q: 有料道路の料金が「○○円（仮）」と表示されたがどういう意味ですか？

A: 新規に開通した高速道路路線やICの一部について、本機発売時点では正式な通行料金が未決定であったため、このような表示がされる場合があります。実際に適用・請求される通行料金と異なる場合がありますが、その場合は実際に適用・請求される料金をお支払いください。

Q: ハイウェイモード時にパーキングエリアにある施設情報は表示できますか？

A: ハイウェイモードで表示される施設リストのパーキングエリア（PA）をタッチすると、そのパーキングエリアにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 星座表示可能な星座は？

A: 下記の32星座を収録しております。
小熊座・蛇使い座・牡牛座・ヘルクレス座・ケフェウス座・アンドロメダ座・蟹座・オリオン座・うみへび座・乙女座・はくちょう座・りゅう座・ペガサス座・射手座・牡羊座・うしかい座・魚座・大熊座・琴座・こいぬ座・獅子座・カシオペア座・きりん座・双子座・鯨座・山羊座・水瓶座・さそり座・わし座・天秤座・ぎょしゃ座・おおいぬ座

Q: 高速道路上で案内終了する経路を案内されました。

A: 原則としては高速道路上で案内終了する経路は案内しませんが、一部の一般有料道路については案内しています。目的地が高速道路高架下にあるなどで案内が不適切な場合は、目的地の座標を適切な位置に移動してください。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

Q: ハイウェイモードに自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路の一部には、ハイウェイモードに切り替わらない道路も含まれます。

Q: ハイウェイモードやシティモードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、計算が終了するまで通常地図に戻ります。計算終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q: ETCレーン図を表示できますか？

A: 可能です。表示方法について詳しくは、**「ハイウェイモードの表示について -ETCレーン図」（P.35）**をご覧ください。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されますが、仕様ですか？

A: 仕様です。マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。またマルチメーターの表示は、目的地解除や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: VICS情報／一般情報が取得できません。

A: VICS情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。

Q: 登録地点を新しいナビに移すことはできますか？

A: 可能です。移動方法については、下記の弊社ホームページをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/inquiry/products_faq/index.html

オーディオ編

■地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］ボタンとはなんですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるボタンです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: ワンセグ2の番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。

Q: 走行中、TVを見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席でTVを見ることはできません。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

■メモリーカード／USBメモリー

Q: ソース選択メニューの「メモリーカード」って何ですか？

A: SDメモリーカードのモードです。SDメモリーカードに記録されたMP3/WMA/AACファイルを再生することができます。

Q: MP3、WMAの作成方法を教えてください。

A: Windows Media Player 11でMP3やWMAを作成する方法の資料をWindows XP版とWindows Vista版で作成しました。弊社ホームページの下記の場所から作成資料をダウンロードしてお試しください。
http://www.clarion.com/jp/ja/files/support/faq/WMP11_MP3_WMA.pdf

Q: メモリーカードに音楽を入れる時の注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなり、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMA、iTunesで作成したAAC（Ver. 6～ 7）となります。また、アルバムフォルダは2階層目（ルートフォルダを含む）に作成してください。
※1階層目にアルバムフォルダを作成すると認識しません。
※iTunesで購入した音楽は再生できません。
※SDオーディオには対応していません。
※著作権保護された音楽は再生できません。

Q: USBメモリーは、再生中でなければいつでも外せますか？

A: USBメモリーは、必ず下記の手順で取り外してください。
①設定／情報ボタンを押して、［各種設定］をタッチする
②［USB取り外し］をタッチする
③確認画面で［はい］をタッチする
④USBメモリーを取り外す
この操作をせずに取り外すと、USBメモリー内のデータが破壊されるおそれがあります。

Q: USBケーブルの長さはどれくらいありますか？

A: 本体背面から約14cmです。付属の1.5m延長用USBケーブルを使用すると、合計して約1.6mとなります。

Q: メモリーカードやUSBメモリーに入れた音楽が再生できません。

A: 仕様上、2階層目にアルバムフォルダー、3階層目に音楽ファイルを作成しないと認識できません。
簡単な方法として、何かひとつフォルダーを作成して頂き、その中にアルバムフォルダーを入れれば2階層目になり認識いたします。
詳しい作成方法につきましては、Windows Media Player 11でMP3やWMAを作成する方法の資料をWindows XP版とWindows Vista版で作成しました。下記の場所から作成資料をダウンロードしてお試しください。
http://www.clarion.com/jp/ja/files/support/faq/WMP11_MP3_WMA.pdf

■DVD

Q: メニュー画面が選択できません。

A: タッチパネルを押してもメニューがうまく選択できない場合は、詳細ボタンか広域ボタンを押してメニュー操作画面を表示し、メニュー操作画面からメニューを選択してください。

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？

A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。

Q: 5.1chのDVDビデオを再生すると、後席でセリフが聞こえません。

A: 5.1chのDVDビデオでは、リアスピーカーはサラウンド成分（残響音）の音のみとなり、セリフなどの音声は聞こえづらくなります。
「2CH再生」**(P.383)** をONにすると、5.1ch音声を強制的に2ch音声に切り替えることができます。2ch音声に切り替えると、どの席でも5.1chのすべての音声が聞こえるようになります。

■CD

Q: CD-Rが再生されません。

A: CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できないケースがあります。書き込み速度を遅くすると、安定して書き込めますので、一番遅い速度での書き込みをお勧めいたします。

■ミュージックキャッチャー

Q: 「M.CATCHER」って何ですか？

A: CDに入っている音楽をハードディスクに録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。
一度アルバムを録音すれば、以降の録音は不要です。

Q: 録音できる曲数は？

A: 最大4,000曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は500以内、アルバム中の曲数は99曲以内、録音時間の合計時間は約250時間の制限があります。

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: マイアルバム機能をお使いください。

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されています。

A: CD データベースに該当するアルバムの情報が有りません。パソコン用の専用アプリケーション「HDDナビマスター」を使用して最新の情報に更新してください。または、編集メニューの「情報編集」で手動での入力が可能です。

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: メモリーカードにトラック情報を書き出し、パソコンからGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択してメモリーカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q: 自動的につけられたジャンルがしっくり来ません。

A: ジャンルは、CDデータベースに入っている内容で表示しています。気に入らない場合は編集メニューの「情報編集」から変更が可能です。

Q: USBメモリーやメモリーカードに入っている音楽ファイルをナビに取り込むことはできますか？

A: ファイルキャッチャーをご使用ください。MP3/WMA/AAC（m4a）形式の音楽データをメモリーカード・USBメモリーを介してハードディスクに取り込み、再生する機能です。

※お客様が購入した音楽ファイル、著作権保護された音楽ファイルには対応しておりません。

※WMA/AACファイルDRMには対応しておりません。

※USBマスストレージクラス（1パーテーションタイプ）対応です。

※USBメモリーおよびメモリーカード内の最大フォルダ数は500（1階層あたり最大200）、最大ファイル数は4000です。

※音楽ファイルは、必ずルートフォルダーを含む4階層目に入れてください。それ以外の場所に入れると、認識されません。

Q: ランダムおよびリピート再生は、エンジンを切ったら解除されますか？

A: エンジンを切っても保持されます。

Q: ノンストップCDを録音したが曲が途切れます。

A: 仕様です。ノンストップCDを録音し再生している場合、トラックとトラックの間に2～ 3秒の無音部分が発生します。

Q: マイアルバムはいくつまで作れますか？

A: 最大100個まで作成できます。

■ファイルキャッチャー

Q: 「F.CATCHER」って何ですか？

A: メモリーカードまたはUSBメモリーに入っているMP3/WMA/AAC形式の音楽データをハードディスクに取り込み、再生する機能です。

Q: 取り込めるデータの最大数は？

A: アルバムは500枚で、1アルバムあたりの最大トラック数は99です。
アーティストは200で、1アーティストあたりの最大アルバム数は200です。
トラックは1曲あたり4分とすると、最大で4000曲取り込むことができます。ただしファイルキャッチャーとミュージックキャッチャーは同一のドライブを使用しており、ミュージックキャッチャーの曲数と合計で4000曲となります。そのためミュージックキャッチャーに大量の曲が録音されていると、取り込めるデータの数は少なくなります。

■iPod

Q: iPodのバッテリーは充電はできますか？

A: iPodを専用ケーブルでつなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

その他編

■電話

Q:「登録機種が10台になりました。」とメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

A: 本機に登録できる電話は10台までです。さらに電話を登録したい場合は、既に登録された電話の設定を消す必要があります。**「登録情報を削除する」（P.156）**をご覧になり、電話の設定を消し、再度電話の登録を行ってください。

Q: 登録機器リストで本機と携帯電話を接続する方法として、「探索」と「探索待ち」の2種類があります。どちらを使うのがよいでしょうか。

A: どちらでもかまいません。本機と携帯電話のどちらからパスキーを送信するかの違いです。「探索」は本機から、「探索待ち」は携帯電話から、パスキーを送信することになります。携帯電話からのパスキーの送信・受信方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Q: 自分で消していないのに、発着信履歴が消えてしまいました。

A: 複数の電話を登録し、携帯電話の接続を切り替えると、切り替える前に接続していた携帯電話の発着信履歴は消えてしまいます。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A:**「電話の設定をする」（P.166）**をご覧になり、「自動応答」の設定を「する」にしてください。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: 携帯電話より応答がこない場合があります。携帯電話機の電源をOFF→ONにしてください。

Q: 相手の電話機からこちらの声が聞こえない。

A: マイクの接続を確認してください。プライベートONの場合、プライベートOFFにしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A: マイク感度の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ない場合、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q:「自動接続」を「する」にしているのに電話が接続されません。

A: Bluetoothオーディオ接続中は、携帯電話の自動接続を行いません。手動で接続してください。手動で接続をすると、接続が確立するまでBluetoothオーディオの音声が途切れることがあります。電話が接続できないときは、いったんBluetoothオーディオの電源をOFFにしてください。

Q: Bluetooth携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペアリング可能な携帯電話の登録は10台ですが、使用できる電話は1台のみとなります。他の携帯電話を使用する場合には、登録電話機一覧から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、様々な条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

■画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計と日付の表示にすることが可能です。詳しくは**「画面の表示を消す／時計画面にする」（基本操作ガイド P.34）**のアドバイスをご覧ください。

■画像データ

Q: 画像メニューの作成について教えてください。

A: お気に入りのCDジャケットのスキャン画像やデジカメの画像をアルバムメニューにして楽しむことができる機能です。取り込み可能な画像のサイズやファイル形式については、**「アルバム・登録地点画像の取り込み／削除」（P.460）**をご覧ください。

■リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？

A: 可能です。詳しくは**「画質を調整する」（P.437）**をご覧ください。

Q: リアカメラの映像は、リアモニターに映りますか？

A: リアカメラの映像はナビゲーション本体にのみ映り、リアモニターには映りません。

■修理

Q: インターネット通販で購入した製品が故障したので修理してほしい。

A: 通販会社経由でサービスセンターにご相談ください。窓口は通販会社の相談窓口になります。

Q: 部品がほしいのですが、どこで購入できますか？

A: 修理部品はサービスセンターで扱っておりますので、お近くのサービスセンターにご相談ください。ご注文は最寄りのクラリオン製品取り扱いカー用品店にてお願いします。

Q: 修理の見積もりを取るには、どこに頼めばよいですか？

A: お近くのサービスセンターで修理見積もりをお受けしております。有償見積もりとなりますが、一度ご相談ください。

Q: 購入店がなくなってしまった修理は、どこに出せばいいですか？

A: 最寄りのクラリオン商品取り扱いカー用品店または、お近くのサービスセンターにご相談ください。

■バージョンアップ

Q: 途中のバージョンを飛ばして、最新のバージョンアップを行っても大丈夫ですか？

A: バージョンアップ可能です。バージョンの間隔をあけてバージョンアップをしても問題はありません。

Q: 無償地図バージョンアップの登録方法は？

A: 2013年度版（1回のみ）の無償地図バージョンアップは、2013年5月31日までに「チズルとススム」への会員登録が必要です。

■その他

Q: 赤外線カットおよびUVカットのフロントガラスに、フイルムアンテナを取り付けても大丈夫ですか？

A: 赤外線カットガラスは、通常は電波を通しません。しかし最近では電波透過型IRカットガラスもあり、電波を受信できるものがあります。詳しい内容については販売店にご確認ください。

エラーメッセージ一覧

■画面にこんなメッセージが出たら

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

⚠注意

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態では使用しないでください。

お願い

- 下記の処置を行う場合は、車を安全な場所に止めてから行ってください。
- 下記の処置を行ってもまた同様のメッセージが表示されるときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	MECHANISM ERROR	メカニズムに障害が生じている場合。	ディスクを再度入れ直すか、電源を入れ直してください。
	DISC ERROR ディスクを確認してください。	裏挿入などで読み出せないとき。	ディスクを交換してください。 または、もう一度ディスクを入れなおしてください。
		再生可能なファイルが存在しないとき。	
		ブランクCD-R、DVD-Rのとき。	
		MIX MODE CDが挿入されたとき。	
		ディスクが挿入できなかったとき。	ディスクを正しく挿入してください。
		ファイナライズしていないDVD-VRディスクを挿入したとき。	ご家庭のDVDレコーダーでディスクをファイナライズしてください。
		オーバーバーンCDなど、レッドブックの規格を逸脱しているディスクを挿入したとき。	ディスクを取り出してください。
	FOCUS ERROR ディスクを確認してください。	ディスクの傷などにより、フォーカスが合わないとき。	ディスクを交換してください。
	DSP ERROR	録音が継続できない。	再度録音の操作をしてください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／DVD／MP3／WMA／AAC	FORMAT ERROR このディスクは再生できません。	デッキ内のディスクに傷などがあり、演奏できないとき。	ディスクを交換してください。
		データフォーマットに不正がある。	
		再生できないメディアを挿入した。	
	WRONG REGION このディスクは再生できません。	挿入されたディスクのリージョンが設定と一致しない。	ディスクを交換してください。
	DISABLED FILE ファイルの種類が適切ではありません。	拡張子が「.MP3/WMA/M4A」で、中身が再生できない形式（DRM含む）のファイルだったとき。	ディスクを交換してください。
		AACファイルがiTunesで作成されたものではないとき。	iTunesで作成したAACファイルを入れてください。
	PARENTAL VIOLATION ディスクを抜いてパレンタルレベルを変更してください。	設定されているパレンタルレベルより制限が厳しいコンテンツのとき。	パレンタルレベルを変更してください。
メモリーカード	ACCESS ERROR メモリーカードとの通信ができません。	通信ができない、フォーマットされていない、認識できるメモリーカードではないとき。	メモリーカードを交換してください。
	NO FILE MP3/WMA/AACファイルがありません。	メモリーカードにMP3、WMA、AACファイルが入っていないとき。	メモリーカードにMP3、WMA、AACファイルを入れてください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
ミュージックキャッチャー	SCMS ERROR このディスクは録音できません　録音をキャンセルします。	コピー不可ディスクを再生したとき。	コピー可能なディスクを入れてください。
iPod	iPodを確認してください	iPodと通信できないとき。	iPodとの接続を確認してください。
		iPod内にトラックがないとき。	iPodにトラックを追加してください。
	認証できませんでした。	iPodが本機との認証に失敗したとき。	iPodを接続し直すか、iPodの接続を解除してiPod本体をリセットしてください。それでも改善されない場合は、エンジン（アクセサリ電源）をOFFにし、再度ONにしてください。
HDD系	TEMP ERROR 低温のため正常な動作が出来ません、正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。	車内温度が低いためにHDDにアクセスできないとき。	温度が正常になるまでお待ちください。
	TEMP ERROR 高温のため正常な動作が出来ません、正常な動作をする温度になるまで、お待ちください。	車内温度が高いためにHDDにアクセスできないとき。	温度が正常になるまでお待ちください。
	ACCESS ERROR HDDに異常がみられます、販売店にご相談ください。	HDDとの通信ができないとき。	他のAUDIOモードに切り替えて使用し、販売店にご相談ください。
		HDDのセクター/クラスターが破壊されたとき。	

付録

市街地図エリアの一覧、ボイスコントロールで使える言葉の一覧など、参考となる資料について説明しています。

目次

収録データベースについて …… 502
市街地図収録エリア一覧 …… 510
VICSシステムの問い合わせ先…… 517
VICS情報有料放送サービス契約約款…… 518
カントリーコード一覧 …… 519
ボイスコントロールで操作できる言葉 …… 521
対応メディア・対応ファイルについて …… 536
お手入れ …… 540
保証書とアフターサービス …… 542
仕様 …… 543
商標について …… 545
暗証番号照会申込書 …… 549
索引 …… 551

収録データベースについて

■データ取得日について

本機ハードディスク内の情報は

- 道路情報　：2010年9月現在
- ハイウェイ情報　：2010年9月現在
- 抜け道データ　：2006年9月データ
- 交通規制情報　：2010年9月現在
- イラスト情報　：2010年10月現在
- スマートIC情報　：2010年9月現在
- 施設検索情報　：2010年11月現在
  （一部のジャンルは2009年10月現在のものです。）
- 住所検索情報　：2010年10月現在
- 市区町村合併情報　：2010年4月1日施行分
  （2009年10月時点で取得できた情報に限ります。）
- 郵便番号検索情報　：2010年10月現在
- TV・雑誌　：2010年12月現在
  （定期的に最新データを提供しています。）
- 個人宅電話番号　：2010年9月現在

の情報を使用しています。

＊本機ハードディスク内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■地図データについて

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2011財団法人日本デジタル道路地図協会）を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認　90－063）[2010年3月発行データ使用]
（測量法第44条に基づく成果使用承認　09－193M1/M2）[2010年3月発行データ使用]

●新刊地形図更新は2010年9月刊行分を反映しました。

●この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の2500分の1国土基本図を使用しました。
（承認番号）小田原市指令第52号　平成10年4月2日承認

●この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1の都市計画基本図を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認　平成12年度 知都発第170号）
●この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用しました。
(平成12年　養建第1902号)
●この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の2500分の1全図を使用し、調製しました。
（承認番号）平10．近公．第34号
●この地図は大木町の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。
（承認番号)15大木建第734号
●この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。
(承認番号)16堀第5417号
●この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500使用し、調製したものです。
（承認番号　東開第111号　平成18年2月28日承認）
●この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
（承認番号)伊建農発229号　平成17年7月14日承認
●この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものです。
(承認番号:18東デ共041号)
●この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものです。
(承認番号) 18都市基交 第478号
●この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
(承認番号)指令宇都第13号　平成18年5月15日承認
●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
(承認番号)指令宇都第14号　平成18年5月31日承認

●この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものです。
(承認番号)周防建設第56号　平成18年5月12日承認
●この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものです。
(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
●この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものです。
(承認番号 H18東温都第174号)
●この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
●この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
●この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
●この地図は、山形県の森林基本図を複製したものです。
承認番号森第18-10号
●この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものです。
(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
●この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
●この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものです。
(承認番号 18森政第5-5号)
●この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
●この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
●この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)

●この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
●この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
●この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものです。
承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)
●この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
●この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
●この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号林18-1 平成18年12月5日)
●この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
●この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
●この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
(承認番号 平18 林振第360号)
●この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものです。
(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
(承認番号　平19総使、第24号－11号)

●この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
(承認番号　平19総使、第247号－11号)
●この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
●この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものです。
(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
●この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものです。
(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
●この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものです。
(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
(承認番号 平19 林振第404号)
●この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものです。
(承認番号) 平21樽港事第33号
●この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものです。
(承認番号)平成21年森計第477号
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
(承認番号 平18 林振第497号)
●この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を用し調製したものである。
(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
●この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の２千５百分の１幕別町現況図を使用し、調整したものです。
(承認番号)H22　幕都計第185号

●この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものです。
(承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日)
●抜け道データは、株式会社昭文社提供のデータを使用しています。
© 2011 財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2011 INCREMENT P CORP.

■交通規制データについて

●本製品に使用している交通規制データは、2010年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
●本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識･表示などに従ってください。
●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■スクエアビューについて

●スクエアビューデータは以下のデータを元に作成されています。
・インクリメントP株式会社提供のデータ
・株式会社キャドセンター提供のデータ
・株式会社パスコ提供の「MAPCUBE」データ

●整備対象エリアは、札幌市、仙台市、さいたま市、東京23区、川崎市、横浜市、千葉市、名古屋市、大阪市、京都市、神戸市、広島市、福岡市、北九州市の中心部における主要一般道および全国都市高速道路（※）。

（※）　首都高速道路
名古屋高速道路
阪神高速道路（湾岸垂水線、8号京都線を除く）
広島高速道路
福岡高速道路
北九州高速道路
ただし一部の区間でスクエアビューを表示しない箇所があります。

■検索データについて

●電話番号検索で表示される個人宅データは、日本ソフト販売株式会社提供の「Bellemax」を使用しました。
データの修正を希望される場合は、お手数ですが登録者ご自身にて
データ管理会社（日本ソフト販売・浜松　電話番号：053-452-0743）へご連絡をお願いいたします。
（個人情報につきご本人からの修正依頼が必要となります。）

●TV・雑誌情報は、クラリオン株式会社オリジナルデータを使用しました。TV、雑誌情報の著作権は、クラリオン株式会社に帰属します。
承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。

●施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
・NTTタウンページデータ
・インクリメントP株式会社提供のデータ
・日本観光協会提供のデータ
・株式会社昭文社提供のデータ

●NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。
また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。

●施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、 必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。

●自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。

●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。

●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。

●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。

●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本製品に収録されている地図データ及び検索データ等、収録内容に誤りが発生する場合や調査時期によっては、新しい情報が反映されていない場合等、実際の地形と異なる場合があります。ご了承下さい。

■ジャンル検索リスト

大分類の項目と、そのジャンルに分類される中・小分類の例です。

大分類	内容・例
交通機関	交通に関する施設です。**→駅・空港・フェリー乗り場**
カー＆ドライブ	車に関する施設です。**→ガソリンスタンド・駐車場・カーディーラー・カー用品店など**
遊ぶ・見る	レジャーに関する施設です。**→レジャーランド・観光ポイントなど**
食べる・飲む	食事に関する施設です。**→おすすめのグルメ情報・ファミリーレストランなど**
泊まる	旅行・宿泊に関する施設です。**→ホテル・旅館・ペンションなど**
お店	各種のお店です。**→コンビニ・スーパー・ホームセンターなど**
公共施設	公共の施設です。**→役所・学校・図書館など**
医療	各種病院や薬局です。**→総合病院・内科・小児科など**
金融機関	お金に関する施設です。**→都市銀行・信用金庫など**
その他	その他の施設です。**→結婚式場・葬儀場など**

市街地図収録エリア一覧

＜95%＞ …… 全面積の95%以上が収録されている都市
＜80%＞ …… 全面積の80%以上が収録されている都市
それ以外…… 市街中心部または一部地域が収録されている都市

お知らせ

・一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
	北海道・東北地域
北海道	**＜80%＞室蘭市** 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町
青森県	**＜95%＞田舎館村** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、藤崎町、大鰐町、板柳町、鶴田町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、八郎潟町、井川町、美郷町、羽後町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、三川町、庄内町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町
宮城県	**＜95%＞塩竈市、多賀城市、亘理町、七ヶ浜町** **＜80%＞名取市、東松島市、利府町** 仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、山元町、松島町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、加美町、涌谷町、美里町、女川町

収録都道府県	市街地図収録都市
福島県	**<95%>湯川村** **<80%>鏡石町、泉崎村、矢吹町** 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、中島村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町
関東地域	
東京都	**<95%>千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町
千葉県	**<95%>千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ケ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町** 匝瑳市、いすみ市
埼玉県	**<95%>さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町** **<80%>本庄市、小川町、長瀞町、寄居町** 秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町

収録都道府県	市街地図収録都市
茨城県	**<95%>水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町** **<80%>桜川市** 日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、常陸大宮市、城里町、大子町
栃木県	**<95%>小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町** **<80%>宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町** 足利市、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、西方町、益子町、茂木町、市貝町、那須町
群馬県	**<95%>伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町** **<80%>吉岡町** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町
神奈川県	**<95%>横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町** **<80%>相模原市** 秦野市、松田町、山北町、清川村
中部地域	
静岡県	**<95%>熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町** **<80%>伊東市、磐田市** 静岡市、浜松市、沼津市、富士宮市、島田市、富士市、掛川市、藤枝市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、長泉町、小山町、森町
長野県	**<95%>小布施町** 長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町

収録都道府県	市街地図収録都市
新潟県	**<95%>新潟市、聖籠町** **<80%>燕市** 長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、弥彦村、田上町、湯沢町、津南町
山梨県	**<95%>昭和町** **<80%>中央市** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、身延町、富士川町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
富山県	**<95%>射水市、舟橋村** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	**<95%>川北町、野々市町、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町
岐阜県	**<95%>岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町** **<80%>可児市、養老町、富加町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、垂井町、関ケ原町、揖斐川町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村
愛知県	**<95%>名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町** **<80%>豊橋市** 岡崎市、瀬戸市、豊田市、新城市
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町
近畿地域	
大阪府	**<95%>大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町** **<80%>泉佐野市、島本町** 高槻市、貝塚市、茨木市、河内長野市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、千早赤阪村

収録都道府県	市街地図収録都市
京都府	**<95%>城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町
兵庫県	**<95%>神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町** **<80%>加西市、福崎町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、三田市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、神河町、上郡町
奈良県	**<95%>大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** **<80%>御所市、葛城市、高取町、大淀町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、明日香村、吉野町、下市町、黒滝村
滋賀県	**<95%>彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町** **<80%>愛荘町** 大津市、長浜市、栗東市、甲賀市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町
三重県	**<95%>四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町** **<80%>桑名市、鈴鹿市、玉城町** 津市、伊勢市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
和歌山県	**<95%>和歌山市、太地町** **<80%>有田市、岩出市** 海南市、橋本市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	**<95%>倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町** **<80%>笠岡市** 岡山市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町

収録都道府県	市街地図収録都市
鳥取県	**<95%>境港市、日吉津村** **<80%>米子市** 鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、南部町、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、東出雲町、斐川町
広島県	**<95%>府中町、海田町、熊野町、坂町** **<80%>広島市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町
山口県	**<95%>和木町** **<80%>田布施町** 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町
香川県	**<95%>宇多津町** **<80%>善通寺市、琴平町、多度津町** 高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町
徳島県	**<95%>石井町、松茂町、北島町、藍住町** **<80%>小松島市** 徳島市、鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町
愛媛県	**<95%>松前町** 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町
福岡県	**<95%>北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町** **<80%>久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町** 大牟田市、飯塚市、田川市、八女市、豊前市、筑紫野市、古賀市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町
佐賀県	**<80%>上峰町、みやき町、大町町、江北町** 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、有田町、白石町

収録都道府県	市街地図収録都市
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町
熊本県	**<95%>熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町** **<80%>玉東町** 八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町
長崎県	**<95%>時津町** **<80%>波佐見町** 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、東彼杵町、川棚町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	**<80%>東串良町** 鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市、さつま町、大崎町、肝付町
沖縄県	**<95%>那覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町** **<80%>うるま市** 石垣市、名護市、宮古島市、南城市、今帰仁村、恩納村、金武町

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては下記のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、弊社「お客様相談室」（連絡先は裏表紙をご覧ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	クラリオン（株）お客様相談室	VICSセンター
VICSの概念、計画	−	○
レベル1（文字情報）の表示内容	−	○
レベル2（図形情報）の表示内容	−	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容	−	○
情報のサービスエリア	○	−
受信の可否	○	−
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	−

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831
受付時間：9:30～ 17:45（土曜、日曜、祝日を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX番号：（03）3562-1719（東京）
●インターネット・ホームページ
http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について

VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　則

（約款の適用）
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　約

（契約の単位）
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA（local name:Hrvatska）	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE,METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN（ISLAMIC REPUBLIC）	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBORG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784

国名	国コード	入力番号
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

ボイスコントロールで操作できる言葉

ナビゲーションモードで操作できる言葉

地図操作に関する言葉

操作目的		発話内容
現在地を表示する		げんざいち
スケールを変える		こういき/しょうさい　または すけーるきりかえこういき/すけーるきりかえしょうさい
平面地図で表示する		へいめんちず　または　へーめんちず、 つーでぃーちず、へいめん、へーめん、つーでぃー
3D地図で表示する		すりーでぃーちず　または　すりーでぃー
1画面で表示する		いちがめん
2画面で表示する		にがめん
ＡＶ2画面で表示する		えーぶいにがめん　または　てれびにがめん、 でぃーぶいでぃにがめん、おーでぃおにがめん
ハイウェイモードで表示する		はいうぇいもーど　または　はいうぇーもーど
シティモードで表示する		してぃもーど
スクエアビューに切り替える		すくえあびゅー
ピクチャービューに切り替える		ぴくちゃーびゅー
ヘディングアップに切り替える		へでぃんぐあっぷ
ノースアップに切り替える		のーすあっぷ
地図尺度を切り替える	10m	じゅうめーとる　または すけーるきりかえじゅうめーとる
	25m	にじゅうごめーとる　または すけーるきりかえにじゅうごめーとる
	50m	ごじゅうめーとる　または すけーるきりかえごじゅうめーとる
	50m市街地図	ごじゅうめーとるしがいちず　または　しがいちず、 すけーるきりかえごじゅうめーとるしがいちず、 すけーるきりかえしがいちず
	100m	ひゃくめーとる　または すけーるきりかえひゃくめーとる
	200m	にひゃくめーとる　または すけーるきりかえにひゃくめーとる
	500m	ごひゃくめーとる　または すけーるきりかえごひゃくめーとる

操作目的		発話内容
地図尺度を切り替える	1ｋｍ	いちきろめーとる　または すけーるきりかえいちきろめーとる
	2ｋｍ	にきろめーとる　または すけーるきりかえにきろめーとる
	4ｋｍ	よんきろめーとる　または すけーるきりかえよんきろめーとる
	8ｋｍ	はちきろめーとる　または すけーるきりかえはちきろめーとる
	16ｋｍ	じゅうろっきろめーとる　または じゅうろくきろめーとる、 すけーるきりかえじゅうろっきろめーとる、 すけーるきりかえじゅうろくきろめーとる
	32ｋｍ	さんじゅうにきろめーとる　または すけーるきりかえさんじゅうにきろめーとる
	64ｋｍ	ろくじゅうよんきろめーとる　または すけーるきりかえろくじゅうよんきろめーとる
	128ｋｍ	ひゃくにじゅうはちきろめーとる　または すけーるきりかえひゃくにじゅうはちきろめーとる
	256ｋｍ	にひゃくごじゅうろっきろめーとる　または にひゃくごじゅうろくきろめーとる、 すけーるきりかえにひゃくごじゅうろっきろめーとる、 すけーるきりかえにひゃくごじゅうろくきろめーとる
地点を登録する		ちてんとうろく　または　とうろく
昼画面に切り替える		ひるがめん
夜画面に切り替える		よるがめん
地図色を切り替える（地図色1～4）		ちずしょく※1　いち/に/さん/よん
市街地図色を切り替える(地図色1～4)		しがいちずしょく※1　いち/に/さん/よん
カスタムメニューを表示する		かすたむ※2
軌跡を保存する		きせきほぞん

※1 画面通常地図表示中の「しがいちずしょく」は、表示画面の変更は行いません。
※1 画面市街地図表示中の「ちずしょく」は、表示画面の変更は行いません。
※2 カスタムメニューが表示されると、音声認識は終了します。メニュー選択はタッチパネル操作で行います。

ルートに関する言葉

操作目的	発話内容
ルートを再計算する	さいけいさん※1　または　さいけーさん
一般道優先でルート再計算する	いっぱんどうゆうせんさいけいさん　または いっぱんどうゆうせんさいけーさん、 いっぱんどうさいけいさん、 いっぱんどうゆうせんけーさん
有料道優先でルート再計算する	ゆうりょうどうゆうせんさいけいさん　または ゆうりょうどうゆうせんさいけーさん、 ゆうりょうどうさいけいさん、ゆうりょうどうさいけーさん
複数ルート計算する	ふくすうけいさん　または　ふくすうけーさん、 ふくすうるーと※2
迂回計算する	うかいけいさん　または　うかいけーさん、 うかいるーと
全ルートを表示	ぜんるーと
経由地を削除する	けいゆちさくじょ　または　けーゆちさくじょ、 ちゅうけいてんさくじょ、ちゅーけーてんさくじょ

※1「さいけいさん」をする時、計算条件は現在の条件で計算されます。
※2「ふくすうけいさん」または「ふくすうるーと」で複数ルートが表示されると、ボイスコントロールは終了します。ルート選択はタッチパネル操作で行います。

経路情報に関する言葉

操作目的	発話内容
次の案内を表示する	つぎのあんない
渋滞情報を聞く	じゅうたいじょうほう　または　じゅうたいちぇっく、 じゅうたい
誘導情報を表示する	ゆうどうじょうほう　または　るーとじょうほう
再音声	さいおんせい
目的地を表示する	もくてきちひょうじ　または　もくてきち

情報関係の操作に関する言葉

操作目的	発話内容
交通情報を聴く	こうつうじょうほう　または そーすきりかえこうつうじょうほう
FMレベル1	えふえむれべるわん　または　えふえむれべるいち、 えふえむもじじょうほう
FMレベル2	えふえむれべるつー　または　えふえむれべるに、 えふえむずけいじょうほう
ビーコンレベル1	びーこんれべるわん　または　びーこんれべるいち、 びーこんもじじょうほう
ビーコンレベル2	びーこんれべるつー　または　びーこんれべるに、 びーこんずけいじょうほう

その他の言葉

操作目的	発話内容
案内音量調整	あんないおんりょう　あっぷ/だうん　または あんないおんりょう　おおきく/ちいさく
自宅	じたく※1
戻る	もどる
音声認識解除	ちゅうし　または　きゃんせる
ヘルプ表示	へるぷ※2
ユーザーを切り替える（1～4）	ゆーざーいち/に/さん/よん

※1「じたく」は、走行中、停止中ともに、現在の計算条件で計算します。
※2 ヘルプ画面を表示するとボイスコントロールは終了します。

目的地検索に関する言葉

操作目的	発話内容
住所検索する	じゅうしょ　または　じゅうしょけんさく
電話番号検索する	でんわばんごう　または　でんわばんごうけんさく
施設検索する	しせつけんさく
近くの施設を検索する	ちかくの○○
登録リスト愛称	それぞれ登録してある愛称を発話してください
マイリスト（1～16）	まいりすといち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち/ きゅう/じゅう/じゅういち/じゅうに/じゅうさん/ じゅうよん/じゅうご/じゅうろく※

※「マイリスト（1～16）」は、走行中、停車中ともに現在の計算条件で計算します。

目的地検索後の操作に関する言葉

操作目的	発話内容
目的地までのルートを計算する	けいさん　または　けーさん
一般道優先計算する	いっぱんどうゆうせんけいさん　または いっぱんどうゆうせんけーさん、 いっぱんどうけいさん、いっぱんどうけーさん
有料道優先計算する	ゆうりょうどうゆうせんけいさん　または ゆうりょうどうゆうせんけーさん、 ゆうりょうどうけいさん、ゆうりょうどうけーさん
経由地を設定する	けいゆち　または　けーゆち、ちゅうけいてん、 ちゅうけーてん
ルート検索した地点を登録する	ちてんとうろく　または　とうろく
複数施設があるときに次/前の施設を探す	つぎ/まえのしせつ

施設検索のジャンル

操作目的	発話内容
JR	じぇいあーる　または　じぇいあーるえき
私鉄	してつ　または　してつえき
地下鉄	ちかてつ　または　ちかてつえき
空港	くうこう　または　ひこうじょう
フェリー乗り場	ふぇりーのりば　または　ふぇりー
レジャーランド	れじゃーらんど　または　ゆーえんち
動・植物園	どうしょくぶつえん　または　どうぶつえん、 しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん　または　すいぞっかん
プール	ぷーる
名所・旧跡	めーしょきゅうせき
自然地	しぜんち
観光牧場	かんこーぼくじょー
海水浴場	かいすいよくじょー
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
公園	こうえん
劇場・ホール	げきじょーほーる　または　げきじょー、ほーる
スポーツ観戦	すぽーつかんせん
温泉地	おんせんち　または　おんせん

操作目的	発話内容
温泉浴場	おんせんよくじょう
ゴルフ場	ごるふじょう
スキー場	すきーじょー
ホテル	ほてる
ビジネスホテル	びじねすほてる
デパート	でぱーと
ショッピング街	しょっぴんぐがい

「ちかくの○○」で、○○の部分で認識できるジャンル

操作目的	発話内容
駅	えき
JR	じぇいあーる　または　じぇいあーるえき
私鉄	してつ　または　してつえき
地下鉄	ちかてつ　または　ちかてつえき
高速入口	こうそくいりぐち　または　ゆうりょういりぐち、はいうぇいいりぐち
カー用品店	かーよーひんてん　または　かーよーひん
スーパーオートバックス	すーぱーおーとばっくす
オートバックス	おーとばっくす
イエローハット	いえろーはっと
オートハローズ	おーとはろーず
コクピット	こくぴっと
オートアールズ	おーとあーるず
ジェームス	じぇーむす
タイヤ館	たいやかん
タイヤセレクト	たいやせれくと
ドライバースタンド	どらいばーすたんど
オートウェーブ	おーとうぇーぶ
タイヤランド	たいやらんど
タイヤガーデン	たいやがーでん
ミスタータイヤマン	みすたーたいやまん
ガソリンスタンド	がそりんすたんど　または　すたんど
昭和シェル石油	しょーわしぇるせきゆ　または　しぇる、しょーわしぇる
コスモ石油	こすもせきゆ　または　こすも

操作目的	発話内容
出光	いでみつ
エッソ石油	えっそせきゆ　または　えっそ
キグナス石油	きぐなすせきゆ　または　きぐなす
ゼネラル石油	ぜねらるせきゆ　または　ぜねらる
モービル石油	もーびるせきゆ　または　もーびる
エネオス	えねおす
カーディーラー	かーでぃーらー　または　でぃーらー
HondaCars	ほんだかーず　または　ほんだ
日産	にっさん
スバル	すばる
マツダ	まつだ
アンフィニ	あんふぃに
ネッツトヨタ	ねっつとよた　または　ねっつ
トヨタ	とよた
三菱自動車	みつびしじどうしゃ　または　みつびし
三菱ふそう	みつびしふそう
ダイハツ	だいはつ
UDトラックス	ゆーでぃーとらっくす
日野自動車	ひのじどーしゃ　または　ひの
いすゞ	いすず
スズキ	すずき
フォード	ふぉーど
ヤナセ	やなせ
マツダオートザム	まつだおーとざむ　または　おーとざむ
フォルクスワーゲン	ふぉるくすわーげん　または　わーげん
ボルボ	ぼるぼ
フィアット	ふぃあっと
BMW	びーえむだぶる　または　びーえむだぶりゅ
アウディ	あうでぃ
ジャガー	じゃがー
プジョー	ぷじょー
メルセデスベンツ	めるせですべんつ
レクサス	れくさす
ポルシェ	ぽるしぇ
ミニ	みに
クライスラー・ジープ・ダッジ	くらいすらーじーぷだっじ　または　くらいすらー

操作目的	発話内容
コーンズ	こーんず
シトロエン	しとろえん
ルノー	るのー
ランドローバー	らんどろーばー
駐車場	ちゅーしゃじょー　または　ぱーきんぐめーたー、ぱーきんぐ
レジャーランド	れじゃーらんど　または　ゆーえんち
動・植物園	どうしょくぶつえん　または　どーぶつえん、しょくぶつえん
水族館	すいぞくかん　または　すいぞっかん
プール	ぷーる
観光ポイント	かんこーぽいんと　または　かんこーすぽっと
名所・旧跡	めーしょきゅーせき
自然地	しぜんち
観光牧場	かんこーぼくじょー
海水浴場	かいすいよくじょー
美術館	びじゅつかん
博物館	はくぶつかん
公園	こうえん
劇場・ホール	げきじょーほーる　または　げきじょー、ほーる
映画館	えーがかん
スポーツ観戦	すぽーつかんせん
カラオケボックス	からおけぼっくす　または　からおけ
温泉・お風呂	おんせんおふろ　または　おんせん、おふろ、せんとう
ゴルフ場	ごるふじょー
スキー場	すきーじょー
ファミリーレストラン	ふぁみりーれすとらん　または　ふぁみれす
ガスト	がすと
デニーズ	でにーず
ロイヤルホスト	ろいやるほすと
ジョナサン	じょなさん
CASA	かーさ
バーミヤン	ばーみやん
フレンドリー	ふれんどりー
藍屋	あいや

操作目的	発話内容
夢庵	ゆめあん
リンガーハット	りんがーはっと
COCO'S	ここす
サイゼリヤ	さいぜりや
ジョイフル	じょいふる
ジョリーパスタ	じょりーぱすた
びっくりドンキー	びっくりどんきー
安楽亭	あんらくてー
王将	おーしょー
牛角	ぎゅーかく
ファーストフード店	ふぁーすとふーどてん
マクドナルド	まくどなるど　または　まっく、まくど
ロッテリア	ろってりあ
モスバーガー	もすばーがー
ケンタッキーフライドチキン	けんたっきーふらいどちきん　または　けんたっきー
ファーストキッチン	ふぁーすときっちん
ミスタードーナツ	みすたーどーなつ
吉野家	よしのや　または　よしぎゅー
かまどや	かまどや
小僧寿し	こぞーずし
ラーメン屋	らーめんや
ホテル	ほてる
ビジネスホテル	びじねすほてる
旅館	りょかん
コンビニエンスストア	こんびにえんすすとあ　または　こんびに
セブンイレブン	せぶんいれぶん
ローソン	ろーそん
ファミリーマート	ふぁみりーまーと
ミニストップ	みにすとっぷ
サークルK	さーくるけー
サンクス	さんくす
セイコーマート	せいこーまーと
デイリーヤマザキ	でいりーやまざき　または　でいりーすとあ
セーブオン	せーぶおん
am/pm	えーえむぴーえむ
ココストア	ここすとあ

操作目的	発話内容
ヤマザキYショップ	やまざきわいしょっぷ
SHOP99	しょっぷきゅーきゅー
デパート	でぱーと
ショッピング街	しょっぴんぐがい
CD・DVD・ビデオ店	しーでぃーでぃーぶいでぃーびでおてん　または しーでぃーびでお、しーでぃーびでおてん、 しーでぃーでぃーぶいでぃーびでお
家電量販店	かでんりょーはんてん　または　でんきや
ホームセンター	ほーむせんたー
郵便局	ゆーびんきょく
都市銀行	としぎんこー　または　ぎんこー、としぎん
三井住友銀行	みついすみともぎんこー　または　みついすみとも
みずほ銀行	みずほぎんこー　または　みずほ
りそな銀行	りそなぎんこー　または　りそな
埼玉りそな銀行	さいたまりそなぎんこー　または　さいたまりそな
三菱東京UFJ銀行	みつびしとーきょーゆーえふじぇーぎんこー　または みつびしとーきょーゆーえふじぇー
地方銀行	ちほーぎんこー　または　ちぎん

オーディオモードで操作できる言葉

基本操作に関する言葉

操作目的	発話内容
ボリュームUP/DOWN	ぼりゅーむあっぷ/だうん　または ぼりゅーむおおきく/ちいさく
ラジオモードにする	らじお　または　そーすきりかえらじお
FM放送に切り替える	えふえむ　または　えふえむらじお、 そーすきりかええふえむ、 そーすきりかええふえむらじお
AM放送に切り替える	えいえむ　または　えーえむ、えいえむらじお、 えーえむらじお、そーすきりかええいえむ、 そーすきりかええーえむ、 そーすきりかええいえむらじお、 そーすきりかええーえむらじお
CDモードにする	しーでぃー　または　そーすきりかえしーでぃー

操作目的	発話内容
DVDモードにする	でぃーぶいでぃー　または　でぃーぶいでぃーびでお、 そーすきりかえでぃーぶいでぃー、 そーすきりかえでぃーぶいでぃーびでお
テレビモードにする	てれび　または　そーすきりかえてれび
ビデオモードにする	ぶいてぃーあーる　または そーすきりかえぶいてぃーあーる
ミュージックキャッチャーモードにする	みゅーじっくきゃっちゃー　または おりじなるあるばむ、 そーすきりかえみゅーじっくきゃっちゃー、 そーすきりかえおりじなるあるばむ
マイアルバムモードにする	まいあるばむ　または　そーすきりかえまいあるばむ
メモリーカードモードにする	えすでぃーかーど　または　めもりーかーど、 そーすきりかええすでぃーかーど そーすきりかえめもりーかーど
ファイルキャッチャーモードにする	ふぁいるきゃっちゃー　または そーすきりかえふぁいるきゃっちゃー
USBモードにする	ゆーえすびー　または　そーすきりかえゆーえすびー
iPodモードにする	あいぽっど　または　そーすきりかえあいぽっど
Bluetoothモードにする	ぶるーとぅーす　または そーすきりかえぶるーとぅーす
交通情報を聴く	こうつうじょうほう　または そーすきりかえこうつうじょうほう

ラジオモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
FM放送に切り替える	えふえむ　または　えふえむらじお、 そーすきりかええふえむ、 そーすきりかええふえむらじお
AM放送に切り替える	えいえむ　または　えーえむ、えいえむらじお、 えーえむらじお、そーすきりかええいえむ、 そーすきりかええーえむ、そーすきりかええいえむらじお、そーすきりかええーえむらじお
次の放送局に進める	つぎのほうそうきょく
前の放送局に戻る	まえのほうそうきょく
プリセットチャンネル番号を選ぶ	ぷりせっと いち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち
プリセットリストを表示する	ぷりせっとりすと　または　ほうそうきょくりすと、 りすと※
AMモードをホームに切り替える	えーえむほーむ　または　えーえむいち

操作目的	発話内容
AMモードをお出かけに切り替える	えーえむおでかけ　または　えーえむに
FMモードをホームに切り替える	えふえむほーむ　または　えふえむいち
FMモードをお出かけに切り替える	えふえむおでかけ　または　えふえむに

※ 放送局リストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

CDモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
曲のリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※、りすと

※ リストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

MP3、WMA、AAC、メモリーカード、ファイルキャッチャー、USBで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
次のフォルダー（アルバム）を選ぶ	つぎのふぉるだ　または　つぎのふぉるだー、 つぎのあるばむ
前のフォルダー（アルバム）を選ぶ	まえのふぉるだ　または　まえのふぉるだー、 まえのあるばむ
フォルダ（アルバム）リストを表示する	ふぉるだりすと※　または　ふぉるだーりすと、 あるばむりすと
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ フォルダ（アルバム）リスト/トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

DVDモードで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次のチャプターに進める	つぎのちゃぷたー
前のチャプターに戻る	まえのちゃぷたー

デジタルテレビで認識できる言葉

操作目的	発話内容
モードをホームに切り替える	ほーむ または でじたるてれびほーむ、でじたるてれびいち
モードをお出かけに切り替える	おでかけ または でじたるてれびおでかけ、でじたるてれびに
次の放送局に進める	つぎのほうそうきょく または つぎのちゃんねる
前の放送局に戻る	まえのほうそうきょく または まえのちゃんねる
プリセットリストを表示する	ぷりせっとりすと または ちゃんねるりすと、りすと※
番組表（EPG）を表示する	ばんぐみひょう
プリセットチャンネル番号を選ぶ	ぷりせっといち/に/さん/よん/ご/ろく/なな/はち/きゅう/じゅう/じゅういち/じゅうに
番組内容を表示する	ばんぐみないよう
系列局をサーチする	けいれつきょく または けいれつきょくさーち
音声切り替え	おんせいきりかえ
ワンセグ放送に切り替える	わんせぐ または わんせぐほうそう
フルセグ放送に切り替える	ふるせぐ または ふるせぐほうそう、じゅうにせぐ、じゅうにせぐほうそう

※ プリセットリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

ミュージックキャッチャー、マイアルバムで認識できる言葉

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
アルバム名を指定して再生する	あるばむめい※1
アーティスト名を指定して再生する	あーてぃすとめい　または　かしゅめい※1、 あーてぃすとめえ、かしゅめえ
トラック名を指定して再生する	きょくめい　または　とらっくめい※1
次のアルバムに進める	つぎのあるばむ
前のアルバムに戻る	まえのあるばむ
アルバムリストを表示する	あるばむりすと※2
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※2

※1 録音時にGracenote Music Recognition Service℠から取得したフリガナ情報をもとに検索されます。情報が取得されていないものについては、検索されません。**「アルバム情報を編集する」(P.290)**を参照して入力してください。また、同じフリガナの項目が複数ある場合、リストが表示され、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。走行中の場合は、リストは表示されず、番号が小さいアルバムから再生されます。

※2 アルバムリスト/トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

iPodモードで認識できる言葉（iPod接続時）

操作目的	発話内容
次の曲を聴く	つぎのきょく　または　とらっくあっぷ
前の曲を聴く	まえのきょく　または　とらっくだうん
曲の先頭にする	きょくのせんとう　または　とっぷぷれい、 とっぷぷれー
トラックリストを表示する	とらっくりすと　または　きょくりすと※

※ トラックリストを表示すると、ボイスコントロールは終了します。タッチパネルで選択してください。

電話操作に関する言葉

操作目的	発話内容
ダイヤルする	はんずふりー　または　はんどふりー、けいたいでんわ、けいたい
リダイヤルする	りだいやる　または　りだいある
発信履歴からダイヤルする	はっしんりれき
着信履歴からダイヤルする	ちゃくしんりれき

オンラインに関する言葉

操作目的	発話内容
オンライン探索する	おんらいんたんさく
渋滞情報取得	じゅうたいじょうほうしゅとく

認識愛称に登録できる語句一覧

ア	イ	ウ	エ	オ	キャ		キュ		キョ	ギャ		ギュ		ギョ
カ	キ	ク	ケ	コ	シャ		シュ		ショ	ジャ		ジュ	ジェ	ジョ
サ	シ	ス	セ	ソ	チャ		チュ		チョ	ヂャ		ヂュ		ヂョ
タ	チ	ツ	テ	ト	ニャ		ニュ		ニョ	ビャ		ビュ		ビョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ヒャ		ヒュ		ヒョ	ピャ		ピュ		ピョ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ミャ		ミュ		ミョ		ディ			
マ	ミ	ム	メ	モ	リャ		リュ		リョ			ドゥ		
ヤ		ユ		ヨ		ウィ		ウェ	ウォ	ヴァ	ヴィ		ヴェ	ヴォ
ラ	リ	ル	レ	ロ					クォ			デュ		
ワ		ヲ		ン				シェ		ッ	ー			
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ				チェ						
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ツァ			ツェ	ツォ					
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド		ティ								
バ	ビ	ブ	ベ	ボ			トゥ							
パ	ピ	プ	ペ	ポ	ファ	フィ	フュ	フェ	フォ					

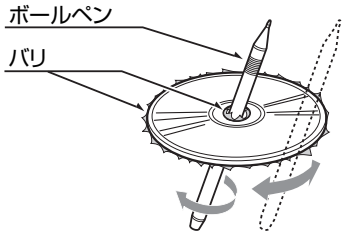
お知らせ

- 「、」「ッ」「ー」を先頭に入力することはできません。

対応メディア・対応ファイルについて

●DVD/CD取り扱い上のご注意

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 新しいディスクには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



●DVDについて

再生できるディスク

- <DVDビデオロゴ>のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- VRモードで録画したディスク

再生できないディスク

- 8cmディスク、異形のディスク、およびデュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- DVD-RAM
- ご家庭でハイビジョン録画したDVD
- ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

●CDについて

再生できるディスク

- 音楽CD（Compact Disc DIGITAL AUDIOロゴのついたもの）
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク（※1）
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク（※2）
- コピーガード付きCD（※3）
- DTS CD

※1：アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2：正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3：再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク、異形のディスク、およびデュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- オーバーバーンCDなど、レッドブックの規格を逸脱しているディスク
- ラベルを貼り付けたディスクは、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

●MP3・WMA・AACファイルについて

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
AACとは、Advanced Audio Codingの略称で、映像圧縮規格MPEG-2またはMPEG-4で使用される音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、同等の音質で再生します。本機で再生できるAACファイルは、iTunes Ver.6～ 10で作成したファイルのみです。
本機では、MP3、WMAまたはAACファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、USBメモリーを再生することができます。

再生できるMP3・WMA・AACファイル

	MP3	WMA	AAC
記録メディア（*1）	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDメモリーカード、SDHCカード、USBメモリー		
記録フォーマット	CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo SDメモリーカード／ USBメモリー：FAT16、FAT32		
パケットライト	非対応		
拡張子（*2）	.MP3	.WMA	.M4A

*1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RWはマルチセッション未対応）
*2 雑音や故障の原因となるため、MP3/WMA/AACファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.M4A」の拡張子をつけないでください。

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）、ジャンルの表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz　MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz（Low Sampling Frequencyのみ）
  ※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps　MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- 32GBまでの容量の、メモリーカードまたはUSBメモリーに対応
- ディスク、メモリーカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- サンプリング周波数が44.1kHz以外のMP3ファイルは、再生時に音切れが発生することがありますので、サンプリング周波数は44.1kHzを推奨します。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応
- ディスクまたはメモリーカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数：記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレート：記録メディアによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスクWMA	メモリーカード／USBメモリー WMA
ビットレート（kbps）	サンプリング周波数（kHz）	サンプリング周波数（kHz）
320	—	48/44.1
256	—	44.1
192	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1
80	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32
48	44.1/32	48/44.1/32
44	—	32
40	32	32
36	—	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	—	32/22.05
20	22.05	22.05
VBR※	48/44.1	48/44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

AACファイルについて

- iTunes Ver.6～ 10で作成したファイルのみ再生できます。
- ディスクまたはメモリーカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数
  8kHz/11.025kHz/12kHz/16kHz/22.05kHz/24kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz
- 再生可能なビットレート
  8kbps ～ 384kbps

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

●ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。

●レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。

●DVD/CD 専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

●ディスクは次のような場所には保管しないでください。

・直射日光のあたる場所

・湿気やホコリの多い場所

・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

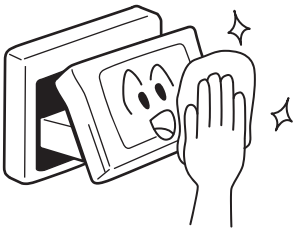
本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

●本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。



※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

●液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。



TVアンテナのお手入れ

●フロントウィンドウ（室内側）をお手入れする際は、アンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。

●一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

保証書とアフターサービス

■保証書
この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。
なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間
保証書に記載の期間をご確認ください。

■万一故障が発生した場合
保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について
修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

■その他
アフターサービスの詳細、その他ご不明な点は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口、あるいはお客様相談室へご相談ください。

仕様

ナビゲーション部
受信周波数　：1575.42MHz
C/A コード
感度　：－133dBm
チャンネル数：パラレル12チャンネル

LCD モニター部
画面寸法　：7型
（155.2mm×82.0mm）
表示方式　：透過型TN液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）
アクティブマトリクス駆動
方式
画素数　：1,152,000画素
[水 平800× 垂 直480×
3（RGB)]

12seg/1segチューナー部
受信チャンネル：UHF 13～ 62ch

CD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.07%（1kHz）

DVD プレーヤー部
周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN比　：80dB
高調波ひずみ率：0.07%（1kHz）

FMチューナー部
受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　：9dBf（IHF）

AMチューナー部
受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：28dBμV

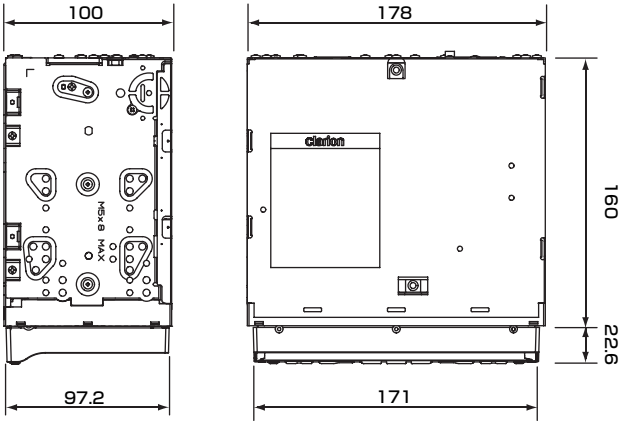
Bluetooth部
受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
（1MHzステップ）
感度　：-73dBm以下
規格　：バージョン1.2

オーディオ部
定格出力　：17W×4（10%、4Ω）
瞬間最大出力：50W×4
適合インピーダンス：4Ω

共通部
電源電圧　：14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約4A（1W出力時）

構成内容

外形寸法図（本体）



※ これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの一部にはMPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。ソースコードの入手およびMPLについては以下のWEBサイトをご覧ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
・Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●米国特許5,956,674、5,974,380、6,487,535およびその他の国における特許（出願中含む）に基づき製造されています。DTSおよび記号はDTS社の登録商標です。また、DTS Digital SurroundおよびDTSロゴはDTS社の商標です。製品にはソフトウェアを含みます。著作権DTS社。不許複製。

●DVDはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●「SDHCメモリーカード」「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDカードアソシエーションの登録商標です。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

●GracenoteおよびCDDBは、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴ、ロゴ標記、および“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。

●VICSは、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

●「マップクリップ」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「iMapFan」および「ケータイ地図MapFan」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●スクエアビューには、インクリメントP株式会社、株式会社キャドセンター、株式会社パスコ作成の「MAPCUBE」を使用しています。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●「個人宅電話番号データベース」は、日本ソフト販売（株）の「Bellemax®」を収録しています。

●「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

●「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod および iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

●Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

■Gracenote® Music Recognition Service℠ について

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ：copyright © 2000 to present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。

適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2011年2月時点のものです。



Gracenote® Music Recognition Serviceのご利用の前に、以下の同意書をご一読ください。

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（ 以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関するGracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2011

暗証番号照会申込書

盗難防止のために、本機に暗証番号を設定しておくことができます。
万が一設定した暗証番号をお忘れになった場合は、コード発行されたメモリーカード（**P.375**）と、下記の「暗証番号照会申込書」を弊社お客様相談室宛に郵送でお送りください。
「暗証番号照会申込書」は、弊社ホームページ（**http://www.clarion.com**）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

暗証番号照会申込書

盗難防止機能の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社　お客様相談室　行

1.　登録情報（本人確認するための情報になります。）

電話番号	セキュリティ機能を設定した際に入力した電話番号を記載してください。
自宅登録	ナビゲーションに自宅登録している場所（住所）をできるだけ詳しく記載してください。

2.　お客様の連絡先（暗証番号の発行およびメモリーカードの返送先になります。）

氏　名	フリガナ
住　所	フリガナ 局留め等の住所表記では受け付けることはできません。 〒
電話番号	

※　本人確認のため電話連絡させていただく場合があります。

3.　商品情報

機種名	保証書等を参考に記載してください。例）MAX7700
購入先	□ カー用品店　□カーディーラー　□ その他（　　）

＜申し込み手順＞
① 対応したメモリーカードをカードスロットに挿入します。
　メモリーカードを郵送していただきますので余分なデータは消去するようにしてください。
② 暗証番号入力画面から「コード発行」をタッチします。
　「コード発行」をタッチするとメモリーカードに解除コード発行に必要な情報が書き込まれます。
③ コード発行されたメモリーカードと本申込書を同封の上、クラリオンお客様相談室 宛に送付してください。

送付先：
〒330-6030 埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2
ランド・アクシス・タワー　30階
クラリオン株式会社 お客様相談室 宛

【個人情報保護に関して】
本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

Memo

索引

基：基本操作ガイド

あ

アーティスト名検索…… 275
アイコン・名称変更…… 62
アイコン設定…… 346
アイコンの移動…… 基-89
アイコン表示…… 378
愛称の変更…… 63
明るさ…… 404
明るさ（画質調整）…… 405
アッテネート…… 359
アナログ放送…… 190
アルバム・登録地点画像…… 461
アルバム削除（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 291
アルバム削除（ファイルキャッチャー）…… 310
アルバム情報（データ編集）…… 455
アルバム情報の更新…… 455
アルバム情報の編集…… 290
アルバム選択再生…… 279
アルバム並べ替え…… 292
アルバム番号検索（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 277
アルバム番号検索（ファイルキャッチャー）…… 306
アルバム名検索…… 274
アルバムリスト（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 273
アルバムリスト（ファイルキャッチャー）…… 305
アングルの切り替え…… 232
アングルマーク表示時間設定…… 244
暗証番号…… 374
アンテナの種類…… 377

い

位置調整…… 111
一般道の経路色…… 344
一般優先…… 101
一方通行…… 28
一方通行表示…… 352
緯度経度検索…… 85
色合い…… 405
色濃度…… 405

う

迂回計算…… 102

え

映像画面のサイズ…… 32
エリア切替…… 183

お

オーディオON/OFF …… 基-33
オーディオ設定…… 382
オートスケール…… 41
オートストア（テレビ）…… 207
オートストア（ラジオ）…… 180
オートプレイリスト…… 280
オートリルート…… 356
オープニング画面（データ編集）…… 462
オープニング画面の設定…… 415
お好み一括検索…… 67
お好み最短検索…… 69
お好み最短リスト登録…… 68

お好み最短リストの削除…… 68
お知らせ設定…… 136
お知らせ表示…… 413
音と音声設定…… 358
オプションカメラ…… 440
オリジナル…… 413
音楽データ取込…… 300
音声案内…… 359
音声案内アイコン選択…… 359
音声ガイド…… 378
音声切替…… 212, 232
音声言語…… 237
音声認識アンサーバック…… 359
音声を鳴らす距離…… 359
音量設定…… 360
音量調節…… 基-39

か

カーソル表示…… 368
カード入れ忘れ警告…… 378
ガイド調整…… 438
ガイド表示…… 437
開閉ボタン…… 基-36, 基-37
拡大…… 40
画質調整…… 405
画質調整（オプションカメラ）… 442
画質調整（リアカメラ）…… 437
カスタムボタンの割付…… 369
画像（データ編集）…… 456
画像の設定（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 290
画像の設定（ユーザー設定）…… 411
画像を探す…… 146
画像を探すメニュー…… 基-27
画面ON/OFF …… 基-34
画面サイズ切替（DVD） …… 245
画面サイズ切替（VTR） …… 428
画面設定…… 344
カレンダー …… 185
関係者以外立ち入り禁止区間… 基-60
カントリーコード…… 240

き

キーワード検索…… 58
軌跡設定…… 348
軌跡の書き出し…… 351
軌跡の間隔…… 348
軌跡の消去…… 348
軌跡の表示……基-42, 348
軌跡表示（OPTIONボタン） … 381
軌跡保存…… 349
軌跡マーク…… 348
機能（CD・MP3・WMA・AAC）
…… 257
機能（DVD） …… 231
機能（iPodオーディオ） …… 326
機能（iPodビデオ） …… 331
機能（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 278
機能（ファイルキャッチャー）… 307
緊急放送…… 211

く

区間設定…… 107
グラフィックEQ …… 392
グループ設定…… 64
グループ選択…… 62
グループの編集…… 64
グループ名称変更…… 64

け

計算条件…… 98
計算と同時に地点登録…… 366
経由地の削除…… 111
経由地の追加…… 109

経由地の並べ替え…… 110
経路情報…… 117
現在地表示…… 22
現在地ボタン…… 22
検索アイコン…… 74
検索アイコンの表示…… 346
検索結果画面表示…… 93

こ

広域ボタン…… 25
交差点案内…… 39
交差点表示…… 40
交通情報…… 133
ここに行く…… 98
個人情報初期化…… 218
コントラスト…… 405
コントロールバー自動消し…… 367

さ

サーチ…… 224
再音声…… 119
細街路誘導…… 基-62
再起動…… 373
最近聴いたアルバム…… 基-91
最近聴いた曲検索…… 276
再計算…… 101
再生停止…… 223
探すボタン……基-18, 289
探すメニューから選曲…… 289
サブチャンネル…… 189

し

時刻／日付表示…… 344
自車位置の精度…… 474
自車位置の調整…… 371
自車位置マーク……基-41, 344
自車周辺検索（TV・雑誌） …… 78
自車周辺検索（周辺検索）…… 70
施設情報…… 94
施設名称入力検索…… 56
施設名称入力検索（ハイウェイ）… 84
自宅…… 基-63
自宅登録…… 基-44
自宅へ戻る…… 51
自宅編集…… 366
視聴制限の設定…… 240, 241
指定条件のカスタマイズ…… 328
シティモード…… 36
シティモード自動切替…… 352
自動応答…… 166
自動録音…… 265
字幕言語…… 237
字幕の切り替え…… 232
字幕表示…… 213
字幕表示・音声チャンネルの
切り替え…… 233
写真…… 186
シャッフル再生（iPodオーディオ）
…… 326
シャッフル再生（iPodビデオ）
…… 331
車輌設定（初期設定）…… 377
車輌設定（ビーコン）…… 364
ジャンル検索…… 57
ジャンル検索（Mキャッチャー）
…… 275
ジャンル検索（TV・雑誌） …… 77
ジャンル検索リスト…… 509
住所検索…… 53
渋滞考慮計算…… 362
渋滞情報…… 119
周波数設定…… 363
周辺検索…… 66
出荷状態に戻す…… 375
出発時刻指定…… 112
手動録音…… 266

条件指定再生（iPodオーディオ）
…… 327
詳細ボタン…… 25
状態表示…… 242
情報メニュー…… 基-24
情報を見る…… 122
初期設定…… 376
初期設定（DVDビデオ） …… 234

す

スキャン再生（CD・MP3・WMA・
AAC） …… 257
スキャン再生（DVD） …… 231
スキャン再生（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 278
スキャン再生（ファイルキャッチャー）
…… 307
スクエアビュー …… 36
スクエアビュー検索…… 92
スクエアビュー視点高…… 353
スクエアビュー自動切替…… 352
スクロール位置情報表示…… 344
スクロール時の地図表示…… 24
スケールの詳細調整…… 26
スピーカーゲイン調整…… 397
スピーカー設定…… 385
スマートインターチェンジ…… 35
スライドショー …… 148
スロー再生…… 230

せ

静止画データ…… 146
静止画データの編集…… 149
静止画の再生…… 230
生年月日…… 411
接続可能なiPod …… 320
接続チェック…… 372
設定／情報ボタン…… 基-20, 基-21
設定とメモリの初期化…… 166
設定メニュー…… 基-25
センサーの学習リセット…… 372
選択演奏（iPodオーディオ） … 327
選択演奏（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 279
全ルート表示…… 113

そ

操作音出力…… 359
操作パネル…… 基-28
操作パネルの開閉…… 基-36
操作パネルの角度調節…… 基-37
ソース選択メニュー…… 基-19
ソースの切り替え…… 基-66
ソングパレット…… 286

た

タイムアライメント調整…… 395
ダイレクト再生…… 225
ダイレクト選曲（CD・MP3・
WMA・AAC）…… 255
ダイレクト選曲（iPodオーディオ）
…… 325
ダイレクト選曲（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 273
ダイレクト選曲
（ファイルキャッチャー） …… 305
ダイレクト操作…… 228
ダイレクト操作アラート…… 243
立寄地…… 73
タッチパネルの操作…… 基-92

ち

地域設定…… 214
遅延補正…… 213

地上デジタル放送の設定…… 213
地図（交差点表示）…… 41
地図画面…… 基-40
地図の縮小、拡大…… 25
地図のスクロール…… 23
地図の向き…… 27
地図表示選択…… 344
地図表示タイプ切替（OPTIONボタン）…… 381
地図表示の種類…… 29
地図表示の変更…… 28
チズルとススム…… 基-124
地点登録…… 59
地点メニュー…… 基-27, 基-96
地名入力検索…… 55
着信音量…… 166
着信履歴…… 161
駐車場ニアピン…… 71
駐車場リレー検索…… 72
チルト機能…… 基-37

つ

次の案内…… 118

て

ディスクメニュー再生…… 226
データの消去…… 418
データ編集…… 452
データ放送…… 210
デジタル放送…… 190
デモ走行…… 114
テレビ…… 187
テレビの選局…… 202
電源ON/OFF …… 基-32
電話受信…… 165, 169
電話設定…… 166
電話帳…… 162
電話番号検索…… 52
電話番号変更…… 62

と

到着予想渋滞考慮…… 356
到着予想速度設定…… 357
盗難防止イルミ点滅…… 367
盗難防止設定…… 374
登録アイコン文字表示…… 346
登録地…… 59
登録地点（データ編集）…… 464
登録地点の削除（データ編集）… 465
登録地点の地図表示（データ編集）…… 466
登録地点の編集（データ編集）… 465
登録地点編集…… 366
登録地の位置修正…… 63
登録地の音声案内変更…… 63
登録地の画像設定…… 63
登録地の削除…… 65
登録リスト検索…… 61
登録リストの表示方法…… 基-114
登録リスト編集…… 62
道路名検索…… 82
時計画面表示…… 基-34
閉じる（DVD-VR）…… 221
閉じる（DVDビデオ）…… 221
閉じる（テレビ）…… 196
トラック削除（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 294
トラック削除（ファイルキャッチャー）…… 311
トラック情報（CD・MP3・WMA・AAC）…… 259
トラック情報（iPodオーディオ）…… 329
トラック情報（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 295
トラック情報（ファイルキャッチャー）…… 308

トラック情報の編集…… 293
トラック並べ替え…… 294
トラック番号検索
（iPodオーディオ） …… 325
トラック番号検索
（MP3・WMA・AAC）…… 256
トラック番号検索（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 277
トラック番号検索
（ファイルキャッチャー） …… 306
トラックリスト（CD・MP3・
WMA・AAC）…… 255
トラックリスト（iPodオーディオ）
…… 325
トラックリスト（Mキャッチャー・
マイアルバム）…… 273
トラックリスト
（ファイルキャッチャー） …… 305

な

ナビゲーションコントロールバー
…… 基-40, 基-94
ナビゲーションコントロールメニュー
…… 基-22
ナビ設定…… 342

ぬ

抜け道表示…… 353

の

ノイズコンシールメント…… 213

は

バーコード…… 95
ハードディスク情報（確認コード）
…… 134
ハイウェイ検索…… 81
ハイウェイモード…… 33
ハイウェイモード自動切替…… 352
背景の設定…… 184
パスワードの消去…… 239
パスワードの編集…… 238
発信履歴…… 162
発話ボタン…… 445
バラエティボイス…… 360
パラメーター調整…… 399
パラメトリックEQ …… 398
パレンタルレベル設定…… 241
番組表…… 204
番号指定…… 277
販売店情報…… 139

ひ

ビーコンVICS情報 …… 128
ピクチャービュー …… 37
左地図角度調整…… 354
左地図設定…… 352
表示画面の切り替え…… 基-38
表示先周辺検索（TV・雑誌） …… 78
表示先周辺検索（周辺検索）…… 70
昼画面…… 403
昼画面の地図色…… 345

ふ

ファイルキャッチャー …… 297
フィルター調整…… 388
フォルダリスト…… 255
複数計算…… 103
ブライト…… 405
プレイリスト…… 229
プログラムの読込み…… 367

へ

ペアリング…… 152

ほ

ボイスコントロール…… 444
方位マーク…… 27
放送局の登録（テレビ）…… 206
放送局の登録（ラジオ）…… 179
放送局名の編集…… 182
放送メール…… 216
方面看板表示…… 356
ホールシミュレーション…… 391
保険の満了日…… 412
ポジション…… 394
保存軌跡の削除…… 350
保存軌跡の表示…… 350
保存軌跡の表示解除…… 351
保存軌跡の名称…… 349
本体情報…… 166
本体ブザー音…… 378

ま

マイアルバム…… 267
マイアルバムの作成…… 267
マイク感度…… 166
マイリスト検索…… 基-87
マイリスト登録…… 基-85
マイリストの整理…… 基-88
マップクリップ…… 95
マップコード検索…… 87
マルチチャンネル…… 189
マルチメーター表示……基-43, 344
マルチメーター表示
（OPTIONボタン）…… 381

み

右地図角度調整…… 354
右地図設定…… 352
右地図の縮小、拡大…… 32
ミュージックキャッチャー …… 262

め

メインチャンネル…… 189
メディアの出し入れ…… 基-68
メニュー言語…… 237
メニュー設定…… 414
メモリーカード…… 450
メモリーカード地点検索…… 88
メモリーカード内の登録地編集… 465
メモリーカードの再生…… 254
免許証の満了日…… 412
メンテナンス情報の初期化…… 135
メンテナンス情報…… 135

も

モード…… 232, 233
目的地自宅設定
（OPTIONボタン）…… 381
目的地周辺検索（TV・雑誌） …… 78
目的地周辺検索（周辺検索）…… 70
目的地周辺検索（ハイウェイ）…… 83
目的地選択メニュー…… 基-23
目的地の解除…… 114
目的地の検索…… 50
目的地の設定…… 50
目的地表示…… 118
文字種類の切り替え……基-103
文字情報表示…… 361
文字入力…… 基-98
文字の編集……基-100
元画像…… 457

モニターサイズ切替…… 236
モニター設定…… 404
最寄りの入口…… 83

ゆ

ユーザー切替…… 407
ユーザー情報の編集…… 410
ユーザー選択…… 406
ユーザー選択画面表示…… 366
ユーザーの削除…… 409
ユーザーの登録…… 408
ユーザープロファイル編集…… 366
ユーザー名称変更…… 411
優先エリア切替…… 214
優先路…… 105
誘導画面の種類…… 356
誘導情報…… 120
誘導設定…… 355
郵便番号検索…… 86
有料道の経路色…… 344
有料優先…… 101

よ

よく行く場所…… 基-90
夜画面…… 403
夜画面の地図色…… 345

ら

ラジオ…… 175
ラジオの選局…… 178
ランダム再生（CD・MP3・WMA・AAC）…… 257
ランダム再生（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 278
ランダム再生（ファイルキャッチャー）…… 307
ランドマーク…… 46
ランドマーク（VICS情報）…… 43
ランドマークの表示…… 347

り

リアカメラシステム…… 436
リアモニター…… 429
リスト（CD）…… 248
リスト（DVD-VR）…… 221
リスト（iPodオーディオ）…… 322
リスト（MP3・WMA・AAC）…… 250
リスト（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 271
リスト（USB）…… 317
リスト（テレビ）…… 196
リスト（ファイルキャッチャー）…… 303
リスト（ラジオ）…… 176
リスト送り…… 基-105
リストから発信…… 164
リストの絞り込み…… 基-107
リストの操作…… 基-105
リストのタブ切り替え…… 基-106
リストの並べ替え…… 基-111
リストの表示方法…… 基-113
リダイヤル…… 161
リピート再生（CD・MP3・WMA・AAC）…… 257
リピート再生（DVD）…… 231
リピート再生（iPodオーディオ）…… 326
リピート再生（iPodビデオ）… 331
リピート再生（Mキャッチャー・マイアルバム）…… 278
リピート再生（ファイルキャッチャー）…… 307
リモコン…… 423
履歴…… 79

る

ルート…… 100
ルート確認…… 113
ルートサイド検索…… 73
ルートの計算条件…… 105
ルートの再計算…… 101
ルートの編集…… 108
ルート誘導中の音声案内…… 基-61
ルート誘導中の画面表示…… 基-57
ルート誘導中の地図表示…… 38

れ

レーン表示…… 356

ろ

録音設定…… 265

わ

ワンセグ…… 188
ワンセグ自動切替…… 213

A

AAC …… 247
AACについて …… 538
AV/カメラ2画面表示 …… 443
AV2画面 …… 29
AV2画面での割込み …… 356
AV画面での割込み …… 356
AVコントロールバー … 基-41, 基-95
AV操作キー …… 基-94
AVボタン …… 基-34

B

B-CASカード …… 192
B-CASカードのID情報 …… 217
BALANCE …… 402
Bluetooth …… 151
Bluetoothオーディオ …… 335

C

CD …… 247
CD-TEXTの優先表示 …… 260
CDについて …… 537

D

DOLBY …… 389
DVD-VR …… 219
DVDについて …… 536
DVDビデオ …… 219

E

EPG …… 204
EQ BASIC …… 392
EQ USER …… 393
EQ USERのタイトル編集…… 393
ETC警告 …… 142
ETC情報 …… 143
ETC設定 …… 378
ETC予告案内 …… 141
ETC料金表示 …… 141
ETC割り勘 …… 145
ETC割込み時間 …… 379

F

FM VICS情報 …… 123
FUN RING …… 基-84

G

GPS情報表示 …… 373
GPS測位状態 …… 基-41

I

iPod …… 320
iPod画面 …… 467
iPod画面の設定 …… 332
iPod画面の取り込み …… 467
iPodビデオ …… 330

M

MP3 …… 247
MP3について …… 538
MYコース検索…… 90
MYスポット検索…… 89
MYツアー …… 471

N

NAVI操作キー …… 基-94

O

OPTIONボタン …… 380

P

P.EQ …… 398

Q

QRコード …… 95

S

SA/PA図 …… 34
SA/PA図のマーク …… 34
SCMS …… 262
SOURCEボタン …… 基-19

T

TAG情報の優先表示 …… 260, 309
TI…… 133
TV・雑誌情報 …… 466
TV・雑誌情報検索 …… 75
TV番組・雑誌名検索 …… 76

U

USB …… 313
USB取り外し …… 314

V

VICSアイコン情報表示 …… 361
VICS緊急情報 …… 127
VICS情報 …… 123
VICS情報画面 …… 42
VICS情報更新の通知 …… 361
VICS情報の種類 …… 127
VICS所要時間 …… 127
VICS図形情報 …… 127
VICS設定 …… 361
VICS表示項目選択 …… 363
VICS文字情報 …… 127
VICS割込時間 …… 364

VIEWキー …… 28
VIEW設定 …… 352
VOLボタン …… 基-39
VTR機器 …… 427

W

WMA …… 247
WMAについて …… 538

数字

12セグ …… 188
2D地図 …… 30
2ZONE …… 430
2画面 …… 29
3D地図 …… 30
3Dマップ角度調整 …… 354
3Dマップ星座表示 ……基-43, 344
50音検索入力支援機能 …… 基-104
50音並び …… 367

Memo

本製品にはシリアルNo.ラベルが同梱されております。
シリアルNo.ラベルはお客様のナビゲーションであることを速やかに
判別するために、本体と同じシリアルNo.が記載されています。

ここに貼ってください

●お問い合わせの際には、品番、シリアルNo.を
確認させていただきます。

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ　**http://www.clarion.com**

お問い合わせはお客様相談室へ
フリーダイヤル　**0120-112-140**
（土・日・祝・祭日を除く　9:30～12:00、13:00～17:00）

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	
	TEL.

280-9032-00

QX-6910A
Printed in Japan　2011/4